ドクター・ドブズ・ジャーナル日本版11月号増刊　11月30日発行

PC-PAGE **GURU**

おもしろくて役に立つパソコンライフマガジン

GURU

1994 Vol.8
680YEN

一冊まるごとの大特集

パソコン㊢買い物ガイド

とびっきりのパソコンが欲しい!

新装刊記念
連続プレゼント
コンパック
PRESARIO
ほか豪華景品が
当たる!



新製品 ぐるぐるレビュー

テレビパソコンの時代がやってきた

コンパックCONTURA400シリーズ
CD-ROM「POP UP COMPUTER」

このプライス、この使いやすさが、
Pentiumパソコンのビジネス基準になるだろう。

きのうまでパワーばかりが話題だったPentiumパソコン。
そろそろ仕事でほんとうに使いこなせる、"プライス"や"使い勝手"を考えるときがきました。
そういう発想をひとつひとつ具体化したのが、「CELEBRIS(セレブリス)」。
たとえば、デスクトップでもPentiumパソコンなら90MHzが欲しいし、
キャッシュメモリも標準で256KBは必要だと考えました。
グラフィックスも拡張スロットを犠牲にしないオンボードのS3 Vision864、
ハードディスクは528MB以上に拡張できる
Enhanced IDE、Windows95を
焦点に入れたPlug & Playなど
充実した機能も身につけました。
ボディ左右のロックを回すだけで開けられる
ワンタッチ機構は、パワーユーザに
まっ先に喜ばれるはずです。
ビジネスには、Pentiumパソコン。
次は、"セレブリス"から始めてください。

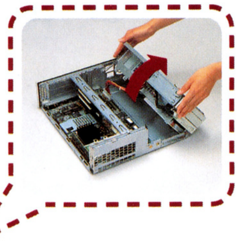




Digital PC(ディジタル・ピーシー)の第一弾「CELEBRIS」新登場!



新設計
ユニット式内部ベイがワンタッチで開きます。



Celebris(セレブリス) 560 ¥398,000

Pentium/60MHz、Enhanced IDE 540MB、8MB、S3 Vision864、
PCI×1、PCI/ISA×1、ISA×1、MS-DOS 6.2/V・Windows3.1プリインストール

Celebris(セレブリス) 590 ¥498,000

Pentium/90MHz、Enhanced IDE 540MB、16MB、S3 Vision864、
PCI×1、PCI/ISA×1、ISA×1、MS-DOS 6.2/V・Windows3.1プリインストール

Celebris(セレブリス) FP(エフピー) 590 ¥618,000

Pentium/90MHz、Enhanced IDE 540MB、16MB、S3 Vision864、
PCI×1、PCI/ISA×1、ISA×3、CD-ROM装置、MS-DOS 6.2/V・Windows3.1プリインストール

【CELEBRISの語源】…Celebrity(名声)を語源とする造語です。この製品が高い評価と名声を得られることを願ってこの名がつけられました。

〈セレブリス〉
CELEBRIS

DECpc HotLine 0120-147655(MONDAY→FRIDAY 9:00~17:00)

DOS/V EXPO出展!
11月24日(木)~26日(土)/東京国際見本市会場(晴海)・西館
名前も性能も新しくなった、「Digital PC」の新製品をぜひご覧ください。

日本DEC 日本ディジタルイクイップメント株式会社 〒167 東京都杉並区上荻1-2-1 ☎(03)5349-7111(代)

〈資料請求番号C02〉

「興味うんぬん以前に、もう超文系人間やから、メカとか全然わけわからないんです」

〝テトリスなんか、あんなチマチマしたのなんで面白いんやろ〞〝ワープロは、手で書く10倍くらいの時間がかかる〞〝フロッピーて振ってもいいんかな、落としたら中に入っているもんが、パラパラってばらけてしまえへんのかな〞と、彼女にとってデジタルの世界は、不可解なことでいっぱいらしい。

「でもね、こないだシンセ買ったんですよ。シンセって、今やコンピュータでしょ。でね、フロッピーの入れ方もわからなくて、適当にギュッと押し込んで、適当なとこポンポンてボタン押したら、ジーガタガタガタって音がして。お!やったあ〜!って。でもそれまで。そこから先がわからなくて、最近は毎日数時間シンセの前に座って、泣きながらボタン押して、また泣いてみたいなね。でも、懲りずにやってしまうんです」

オモシロイなんてまったく思えない段階から、ようやく3キロ先に、オモシロみの入り口が見えてきたかもしれないという。もう少し辛抱して、入り口まで挫折せずに辿り着けば、あとは徐々に自分の体の一部となると思うのだが……。

「シンセ買ってから気になりだしてはいるんです。この先のマルチ・メディア時代に40代とかを迎える身としては、ちょっと勉強しといた方がいいかなって。だってあと20年ぐらいしたら、確実にコンピュータが一家に一台とかになりそうじゃないですか。それについて行けないかも、という危機感はあるし。こないだもスーパーファミコン買おうかなって、ちょっと思ったんですよ。だから自分の中で、生活のイノベーションが起こりつつあるカンジ」

非常に時間がかかるというワープロも、買おうかなと思い始めているそうだから、アナログ人間からデジタル人間になるのも、そんなに遠い未来の話ではなかったりして。

「あとね、超わかりやすいビギナーのためのシンセ関係のマニュアルがあったら、買いたい。今のマニュアルって、たとえばフロッピーの入れ方とかは、もう誰もが知っていると思われてて、どんだけ探しても書いてない。だから全然わかれへん人のために、ゼロからああしてみましょう、こうしてみましょうって書いてあるのがあったらいいんだけれど」

この号が書店に出るころ彼女は、全国数カ所での超アナログな(笑)アコースティック・ライヴ・ツアーを終えて、遅まきながらの夏休みをとっている(遅すぎるって?)。

「とりあえずは何も考えないでいれる時間を取りたいから、温泉につかって御飯食べて寝るみたいな、そういうのしてみたいなと思ってるんだけど、ひとりでいるとどうしても次のこととか考えてしまうかも。本当は遊ぶための友だちみたいな人と、何も考えずに遊ぶほうが、リフレッシュできるかなって気もしますね」

91年にバンド、東京少年から卒業し、ソロになったみちるちゃん。今年後半は、8月にソロ活動の2枚目にあたるアルバム『僕と君の合図』をリリースし、9月はアルバム発売記念のライヴツアー、10月はステージ構成を変えたアコースティック・ライヴツアーと全国を縦断していた。ここでやっと一息。でも、買ってしまったシンセをマスターできるまで、「たまには音楽を忘れて充電」はできないかもね

ささのみちる

文=角野恵津子
Text:KADONO Etsuko



PC-PAGE GURU Vol.8
CONTENTS

表紙
撮影:小木曽威夫
メイク:浦林克生
AD:植野浩二



発行人：長廻健太郎
NAGASAKO Kentaro
編集人：安藤聡
ANDO Akira
編集：藤井政登
FUJII Masato
臼井かおる
USUI Kaoru
安藤健一郎
ANDO Kenichiro
上野英紀
UENO Hideki
及川毅
OIKAWA Takesi
アート・ディレクション：植野浩二
UENO Koji for FIELDS
デザイン：長薗賢江
NAGAZONO Masae for FIELDS

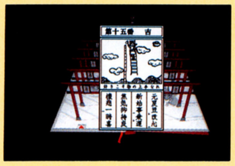
大特集





レビュー





連載



発行所:株式会社翔泳社
〒107東京都港区北青山3-10-18
北青山本田ビル
TEL.03-5467-0361
（出版事業部販売部）
TEL.03-5467-3777
（出版事業部編集部）
写植組版:株式会社タイプランド東広
DTP出力:東京リスマチック株式会社
株式会社アビック
印刷:図書印刷株式会社
定価680円（本体660円、税20円）

マルチメディアパソコンで

写真を遊ぼう。







Royalty Free!
著作権フリー

SAMPLER *with Film*

Kodak Photo CD Sampler with FILM

Kodak フォトCDサンプラー／**Kodak** SUPER GOLD 400／**Kodak** 生フォトCD（100コマ書き込み可能）1枚入

◎メーカー希望小売価格 4,980円（税別）

No.1〜5 10月21日発売

No.1

Zoom-Up

「ズームアップ」



魚や鳥や花、そして車や時計など見慣れた世界もズームアップで新しい世界ができあがります。

No.2

Marine

「海」



広々とした海の風景、色鮮やかな珊瑚礁、そして深海の魚達。色々な海が楽しめるマリンファン必需の一枚です。

No.3

U.S.A.

「アメリカ」



パワフルなアメリカ、雄大なアメリカ、元気なアメリカ。さまざまなアメリカの表情がぎっしり詰まっています。

No.4

Pet

「ペット」



猫、犬、鳥、熱帯魚など、かわいいペット達が表情豊かに楽しい世界を広げます。

No.5

Flowers

「花」



世界の花を一挙に収録。アップの世界から引きの世界まで、カラフルな花がさまざまな角度から映しだされます。

SE Books 翔泳

Macの宝箱 CD-ROM

ベストゲーム101



編者：SE編集部
A5判ケース入り　320ページ
定価 4,800円

アクションや戦争ゲームから優れた画像と音声を使った3Dシミュレーション・ゲームまで、付録CD-ROMには誰もが楽しめる素晴らしいゲームが詰まっています。
内容は、カードゲーム、エンターテイメント、宇宙、戦争、子供用、ロールプレイング、テキストアドベンチャー、言葉遊び、そしてマルチユーザーゲームにそれぞれ分類されています。
既刊のゲームコレクションとのプログラムのだぶりはほんの数本、すでに紹介されたゲームはできる限りバージョンアップ版を収録するよう努めました。

スペシャルセレクションIII



著者：浪江　貴実孝
A5判
定価3,600円

定番フリーウェア／シェアウェアを国内外を問わず厳選した１６０本をCD-ROMに収録。圧縮していないので、すぐに使うことが出来ます。その手のソフトを単に寄せ集めた類似本とは異なり、いわば、便利なフリーウェアを組み合わせることで、自作の「統合ソフト」を作ってみようという新しい提案をしています。本文も単なる説明の羅列ではなく、もっとアグレッシブにフリーソフトを使いこなそうという姿勢に基づいています。「高いお金は出せないけど、マックで遊びたい」「マック買ったらお金が無くなったんだけど、もっと便利にしたい」本書は、そんな大多数のマックユーザーの声にこたえる一冊。

スペシャルセレクションII
THE LITTLE MAC TOOLKIT



著者：Clay Andres　翻訳：武舎　広幸
A5判ケース入り　360ページ
定価 4,800円

好評のCD-ROM版Macの宝箱の第２弾。今回は、システムを強化したりFinderまわりを充実させるユーティリティをメインに、PowerBook専用のユーティリティやゲームなど130プログラムとフォント約50書体を収録しました。

スペシャルセレクション I
The Best of MEGA-ROM collection



A5判ケース入り　300ページ
定価 7,800円

アメリカのCD-ROM制作会社QuantumLeap社と提携し、同社からリリースされたCD-ROM "MEGA-ROM" の中から人気の高いフリーウェア、シェアウェア、データを選んで新たに編成したのがこのCD-ROM版Macの宝箱。プログラムやデータの合計数は420本にも及び、今までのMacの宝箱シリーズとの内容の重複はほとんどありません。

※定価はすべて消費税込みです。※翔泳社の本は全国どの書店でもお求めになれます。
※図書目録をご希望の方は、官製はがきでお申し込みください。

Macの宝箱シリーズ 3.5インチ2HD フロッピーディスク付き



PlayMaker Footballコレクション'95

B5変型ケース入り 256ページ
3.5インチ2HD FD2枚付き
定価3,000円

米国Broderbund社の "プレイメーカー" の攻略本。フットボールの基礎作りから、チームドラフトの秘訣、ディフェンスプレイの実践、ネットワークリーグの紹介まで幅広い内容をカバーしています。付属のディスクにはネットワークリーグのチームリーダーも合わせて収録。



ゲームコレクション III

B5変型ケース入り 128ページ
3.5インチ2HD FD2枚付き
定価2,800円

定番のテトリスものからビリヤード、ダイスゲームなどのレトロもの、他ではなかなかお目にかかれない変なゲームや不思議なゲームまで幅広く紹介。収録プログラム数も26本と、コストパフォーマンスの高さも魅力の "強力版"。



ゲームコレクション II

B5変型ケース入り 104ページ
3.5インチ2HD FD2枚付き
定価3,200円

好評のゲームコレクションの第２弾。知力と体力が勝負のゲームの中から選りすぐったもの18本を収録。シューティングなどのアクションものから、テトリス、オセロもどき、パズルゲームなど単純明快かつ知的に楽しめるゲームを満載。

読んでみる。使ってみる。Macがもっと楽しくなる本とディスク。



ビジネスアプリケーションコレクション

B5変型ケース入り 約96ページ
3.5インチ2HD FD2枚付き
定価2,600円

ワープロ、データベース、スケジューラーなど、シェアウェア、フリーウェアの中からビジネスに活用できるソフトウェアをピックアップして紹介。すべて漢字Talk7で使えるソフトです。さらに、収録したプログラムはPowerMacでも動作します。



宮下由紀子コレクション

宮下由紀子 著
B5変型ケース入り 96ページ
3.5インチ2HD FD2枚付き
定価2,400円

ニフティサーブなどの商用ネットワークで人気を博している謎のスタック作家、宮下由紀子の代表作から最新作までを一挙に公開。さらに、そのユニークなスタックの制作秘話や発想法などを紹介。



ゲームコレクション IV

Don Rittner 著
B5変型ケース入り 112ページ
3.5インチ2HD FD4枚付き
定価3,200円

コンピュータジャーナリスト、ドン・リトナーが選んだシェアウェアゲーム・トップ40の中から、ゲームコレクションI〜IIIに収録されているプログラムを除いた23プログラムを紹介。今までのゲームコレクションと趣きを変えて、ゲーム作者のプロフィールや裏技などを中心に解説。



ユーティリティコレクション II

B5変型ケース入り 128ページ
3.5インチ2HD FD2枚付き
定価3,200円

漢字Talk7をさらに使いやすく、パワフルにするユーティリティを紹介。PowerBook専用のユーティリティ11本をはじめ、機能拡張ファイルやコントロールパネルを中心に、アプリケーション、漢字Talk7で動くDAなど合計56本を収録。



フォントコレクション

B5変型ケース入り 128ページ
3.5インチ2HD FD2枚付き
定価3,200円

Macの特長のひとつであるマルチフォント環境をより充実させる、アルファベットとパターンのTrueTypeフォントを50書体収録。文字に限らず、汽車、花、矢印など意表をつくフォントも盛り沢山。フォント管理関連のユーティリティ7本も併せて紹介。



グラフィック&サウンドコレクション

B5変型ケース入り 120ページ
3.5インチ2HD FD2枚付き
定価3,600円

Macならではの華麗なグラフィック&サウンドの世界を堪能！プロユースに耐え得る多機能グラフィックソフトから、お子様向けの楽しいお絵描きソフトまで選び抜かれた7本を紹介。また、Macの内蔵音源を利用するミュージックソフトやサウンド関係のユーティリティ7本も併せて紹介。



System7コレクション

B5変型ケース入り 104ページ
3.5インチ2HD FD2枚付き
定価3,600円

System7.0、7.0.1、7.1(英語版)用に発表されているシェアウェア、フリーウェアの中から漢字Talk7でも動作するプログラム41本をセレクト。System7をさらに強化し、使いやすくするユーティリティから、ナンセンスなジョークものまで広範囲に紹介。



ユーティリティコレクション I

B5変型ケース入り 128ページ
3.5インチ2HD FD2枚付き
定価3,600円

Macintoshユーザ必携のユーティリティ32本を収録。CDEV、INIT、アプリケーション、DAのタイプ別に徹底解説。Apollo、BootMan、Conversion、DiskDup+、escapadeなど定番から最新のプログラムまで役立つものばかりを収録。



ゲームコレクション I

B5変型ケース入り 96ページ
3.5インチ2HD FD2枚付き
定価3,200円

フリーソフトの中から特に人気が高いゲーム21本を厳選し、遊び方から使用環境、裏技まで詳しく解説。定番のシューティングゲームからRPG、アクション、パズルまで誰でも夢中になるようなゲームがいっぱい。

SE SHOEISHA 株式会社 翔泳社 出版局販売課
〒107 東京都港区北青山3-10-18 北青山本田ビル
TEL.03-5467-0361 FAX.03-5467-0360
〈資料請求番号SE〉

ぐるぐるインターナショナル

GURU GURU International

インターネットから身近なショップ情報まで1カ月の話題を超ダイジェスト。
パソコン雑誌は何誌か創刊されたようですが、GURUがお届けする新鮮情報はひと味違うぞ！

新98MULTi発表 愛称は"CanBe"

「見る　聴く　つなぐ　創る」をコンセプトに、98MULTiの新製品"CanBe"シリーズ3機種が登場した。従来の『PC-9821Cs/Ce』シリーズのセールスポイントであった易しさに加え、より積極的なマルチメディアへのアプローチと、これを実現するための性能強化がはかられたモデルチェンジとなっている。

具体的には、新しい3機種とも、TV受信＋静止画取り込み機能、FAXの送受信機能、コンパクトディスク媒体（CD-ROMと音楽CD、VIDEO CDなど）の自動識別機能などを実現。ソフトウェアはWindowsにMS Works for Windows3.0、PC-VANナビゲータ、98FAXなどが導入済みとなる。また、電源を入れると自動的に使い方を説明してくれる新



キャラクター「Qハチ君」、1クリックでソフトウェアを起動できる「98ランチ」メニューなど、従来よりさらにグラフィカルなインターフェースが採用されたのも大きな特徴だ。

今回発表された機種のうち、エントリータイプの『Cb』は i486SX/33MHzのCPUに、メモリ7.6MB／ハードディスク210MBを搭載した15"カラーモニター一体型。ステレオスピーカーや倍速CD-ROMドライブ、FAXモデム（DATA/FAX14400bps）などを内蔵したmodel 2F（355,000円）ほか3モデルがある。このほか15"モニタがセパレート型、スピーカーも外付けの『Cx』（415,000円〜）、Cxとボディ共通でCPUにPentium/60MHzを採用した『Cf』（590,000円）などの機種もある。問合せはNECパソコンインフォメーションセンター（03-3452-8000ほか）。

PRESARIOのニューモデル

コンパックがPRESARIOにニューモデル『PRESARIO CDS520』を投入した。249,000円と、従来機種である433とも大差ない価格設定ながら、一体型14"カラーモニ



タ、倍速CD-ROMドライブ、ステレオスピーカー、FAXモデム（DATA2400bps/FAX9600bps）など数々の装備を搭載。基本性能も、CPUにi486SX/66MHz、メモリ8MB／ハードディスク420MBなどと、ビジネスでも十分通用するレベルである。

家庭向けの販売を主に開発されたモデルのため、箱から出して電源をつなげばすぐ使えるように、Windowsや統合ソフト（MS Works for Windows3.0）、スケジュール管理ソフト（Lotus Organizer R1.1J）などが当然のように導入済み。さらに、留守番電話機能など独自のコミュニケーション拡張機能も備えている。問合せは0120-099589コンパック・プレサリオセンターまで。

セガサターンの発売日・価格がついに発表 気になる価格は44,800円だ

これから年末にかけて各社から発売される次世代ゲーム機の中でも、特に注目を浴びているゼガ・エンタープライゼスの『セガサターン』。32ビットRISC CPUを2つも搭載し



たそのマシンは、従来の16ビット機より格段にグラフィック能力が向上し、CD-ROM特有のアクセス時間のロスも大幅に短縮されている。機能については徐々に明らかになってきていたが、ベールに包まれていたのがその価格だ。5万円を切るか切らないかが大きな鍵をにぎると見られていたが、ついに発表になった。発売日は11月22日、価格は予想の5万円をかなり下まわる44,800円（税別）ということ。同時発売ソフトは『バーチャファイター』（セガ／8,800円）、『WanChai Connection』（セガ/7,800円）、『TAMA』（タイムワーナー／5,800円）、『麻雀悟空天竺』（シャノアール、エレクトロニックアーツビクター／5,800円以上すべて税別価格）の4本。10月末にはセガサターンと同じ32ビットのソニー『PlayStation』の詳細も発表になる。ここではそちらの方はお伝えできないが、続報は、次号で！

「リムネット」稼動を開始

巷間の話題独占の感もあるインターネット。ブームのあおりもあってか、個人単位でもインターネットへの接続を可能にするサービス会社、いわゆる「プロバイダ」がたてつづけに登場してきた。リムネットもそうしたプロバイダのひとつである。もともと金融系のシステム開発会社であった「ラピドシステムズ」が母体となって発足したこのリムネット、そのルーツにUNIXの技術的背景やノウハウ、ハードウェア資産などを蓄積しているだけあって、先行他社とは一味違ったサービスの提供を企画している。

といった経済誌みたいな話は早めにきりあげて、肝心のリムネット自体の情報だ。ネットそのものの活動は10月1日から始まっている。最初は「パソコン通信形式接続サービス」によってネットに加入することになるはず。サインアップは全てオンラインで行い、クレジットカードによる支払いに決められている。このクレジットカードの認証のシステムそのものがラピドシステムの開発によるものであり、サインアップから加入まで約2時間で完了する。めでたく加入できると、そこから先はインターネットの世界だ。とりあえずNetNews、E-Mail、FTP/Telnetといったベーシックなサービスが利用できるようになる。関心を集めている「Mosaic」などWWWサーバへのアクセスには11月1日から稼動するダイアルアップIP接続が必要となる。

さて、リムネットでは初めてインターネットの世界に入ってくる人達のために、E-Mailの使い方や情報のギブ＆テイクといったインターネットを支える「ルール」の普及に努めたいといっている。そのためのセミナーなどの計画もあるそうだ。

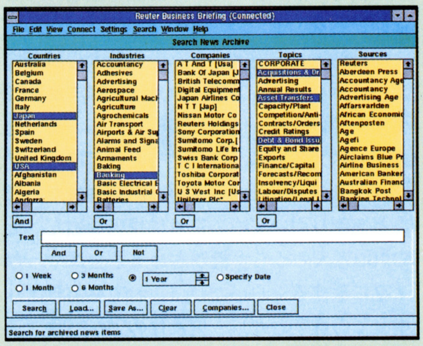
最後に、もっとも関心の高い接続料だが、パソコン接続サービスの登録料が3,000円。ダイアルアップIPへの接続料が5,000円（いずれも加入時のみ）、あとは月間7時間30分まででなら1,800円、以降3分10円など。いくつかある個人向けプロバイダの中でも、ひときわ利用しやすい設定になっている。オンラインサインアップは03-5489-5553（ID:guest パスワードなし　データ長：8／ストップビット：1／パリティ：なし／フロー制御：Xon/Xoff）、電話による申し込みは03-5489-5655まで。

「RBB(ロイター・ビジネス・ブリーフィリング)」東京に進出

サラリーマンのパソコン通信経由のデータベース検索といってもピンとこない人も多いだろうが、株価や為替レート、商品市場、企業買収といった分野ではネットワーク型のデータベースがもはや必需品である。

アメリカでは、「FIND」と「ロイター」がこの分野で競合していて金融情報を流しているが、日本では契約ができず不便を感じていた人もいると思う。というより、この2大サービスがなくて、ビジネスマンが満足のいくデータベースサービスを受けられるはずがないとも思えるのだが。

ついにというか、やっとというかロイターが提供しているデータベース「RBB（ロイター・ビジネス・ブリーフィリング）」が東京にホストを開設し、受け付けを開始した。サービス内容は、ニュース速報、過去5年間の主要新聞・雑誌のニュース検索、株価、株式指数、為替レート、25万社の企業情報など。株価や為替レートなどはリアルタイムの数字を手に入れられるほか、非英語圏のニュースは英文に翻訳した状態で閲覧できる。Windows用の専用ソフトを見せてもらったが、検索も楽で、国内のディストリビューターにはもう少し頑張って欲しい。

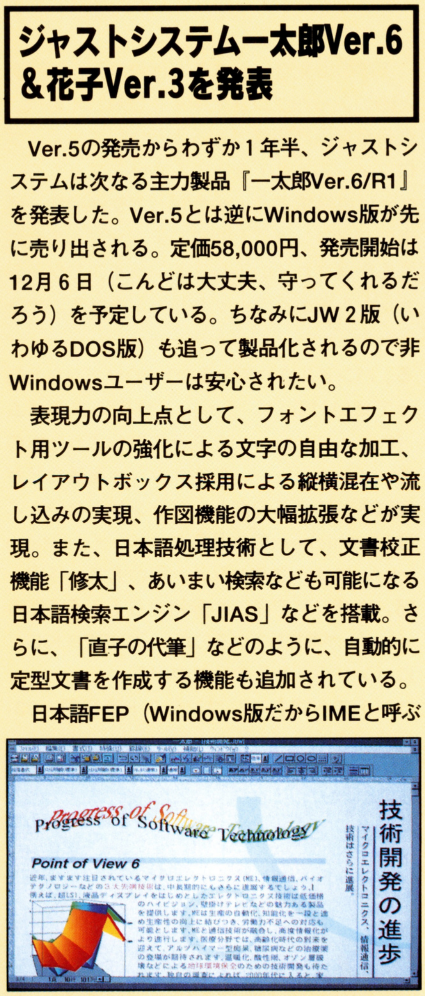


ジャストシステム一太郎Ver.6＆花子Ver.3を発表

Ver.5の発売からわずか1年半、ジャストシステムは次なる主力製品『一太郎Ver.6/R1』を発表した。Ver.5とは逆にWindows版が先に売り出される。定価58,000円、発売開始は12月6日（こんどは大丈夫、守ってくれるだろう）を予定している。ちなみにJW 2版（いわゆるDOS版）も追って製品化されるので非Windowsユーザーは安心されたい。

表現力の向上点として、フォントエフェクト用ツールの強化による文字の自由な加工、レイアウトボックス採用による縦横混在や流し込みの実現、作図機能の大幅拡張などが実現。また、日本語処理技術として、文書校正機能「修太」、あいまい検索なども可能になる日本語検索エンジン「JIAS」などを搭載。さらに、「直子の代筆」などのように、自動的に定型文書を作成する機能も追加されている。

日本語FEP（Windows版だからIMEと呼ぶべきか）も当然バージョンアップされてATOK 9に。これが、誤入力判別や接続判別などAI的機能を山ほど追加した高性能FEPとして登場する。



なお、同時に『花子Ver.3.1 for Windows』も発売される。花子としては初めてのWindows対応バージョンとして、フルカラー、BMPやTIFFフォーマットのファイル、CADデータフォーマットのDXFファイルなども扱えるようになり、Macとのデータ授受も可能になった。今回の発売に合わせて、バージョンアップキャンペーン、乗り換えキャンペーンなども行われる。問合せはジャストシステムインフォーメーションセンター（0886-52-8555/03-5470-6006）まで。

PC-VANウエルカムキット作成記念

これさえあればPC-VANに簡単にオンラインサインアップ（パソコン通信で直接加入申し込み）ができる「ウエルカムキット」が作成された。この小冊子を使えば、簡単にオンラインサインアップできるだけでなく、無料のID交付、2,000円分のPC-VAN試用権が受けられる。この冊子完成を記念して、200部をプレゼントします。詳細は、本誌プレゼントP.130を参照のこと。

GURU GURU International

バーチャルじゃない本物のお見合いをパソコン通信で



パソコン通信がきっかけで結婚しましたというカップルの話をちょくちょく耳にするようになったのは、いつ頃からだろうか。たしかにパソコン通信はコミュニケーションの場。そこに集まるのが男と女であれば、ロマンスが生まれるのも当然の話。ときおりテレビなどで、さもものめずらしげにとりあげられる例もみるが、べつに不思議でもなんでもないことなのだ。

財団法人ニューメディア開発協会の調査によれば、パソコン通信の会員は、昨年から32％増えて260万人に達しようとしている。そのなかの大多数は、IDはとったけどほとんどアクセスしてませんっていう幽霊会員だってことを割り引いても、これは相当な数だ。その260万人のうち女性が占める割合はやっと1割に達するくらいだが（これでも前年より増えての数字とか）、男女比のアンバランスさはこの場合たいした問題ではない。女9対男1の集団のなかではロマンスは成立しにくくても、男9対女1の集団なら容易にロマンスは成り立つ。某フェミニズムの理論家によれば「メスライオンは、ただ1匹のオスライオンが勝ち残るまで、自分をめぐる殺しあいを眺めていればいい」のだ。

まあ脱線したオスメス談義はともかく、こうしたコミュニケーションツールとしてのパソコン通信に着目して、お見合いシステムをはじめた結婚相談所がある。神奈川県と民間企業団体共同出資の第3セクターであるK-NETのなかで、CUGシステム（会員のみがアクセスできる会議室）を使って運営する「グレースブライダル横浜」である。

グレースブライダル横浜代表の水澤宏氏は、これまでの結婚紹介業のやり方に限界を感じていたという。会費が高いこともそうだが、会員リストのなかから会いたい人を選んで、実際に当人同士が会えるようになるまでに、何度も煩雑な手続きを経なければならない。そのことが、斡旋する側／される側の両方に余計な負担をかけていたという。もっと自由に、会員同士がコンタクトをとれるシステムにできないものかと考えていたところ、パソコン通信の可能性に気づいたという。

最初はNIFTY-Serve、PC-VANなどの大手商用ネットにあたってみたが、文字情報しかやりとりできないのがネックで断念。そこでNAPLPS方式のグラフィックをリアルタイムで表示できることを売りにするK-NETに白羽の矢をたてた。

実際のお見合いシステムは単純だ。顔写真とIDの入ったプロフィールを登録しておき、会員が自由に閲覧できるようにしておく。プロフィールを見て会ってみたいと思ったら、あとは直接電子メールを送って交渉開始。通常のパソコン通信と同様、テーマごとの会議室も用意されているし、オンラインでツーショットをキメるチャットルームもある。オンライン／オフライン含めた何度かのデートを重ねて、本格的にオツキアイしてみようという合意が成立したら、その旨シスオペにメールを送り、2人のプロフィール情報をクローズドにしてもらう。この手続きをとる段階にいくまでは、仲介者の介入は一切ナシというオープンなシステム。さしずめオンライン版ねるとんパーティといったところだが、自分の都合のいい時間帯を使って、自宅にいながらできるところがメリットだろう。

実際にプロフィールの画面を見せてもらったが、顔写真が入っているだけで情報量がグンとアップするものだと実感。職業とか趣味とか、ごくあたりまえの情報しか登録されていないのだが、これが実在の人間の情報なのだと思うと、妙に生々しい感じがしてそれだけでけっこう楽しい。こうしたゲーム的な感覚が入ると、お見合いってのもまた違った参加の仕方ができるのかもしれない。

ちなみにこうしたシステムって、フーゾク方面でも当然出てきそうな気がしますが、今度はそっちも取材に行きたいです(笑)。

グレースブライダル横浜（045-262-1313）

テイ・トウワオリジナルCD-ROMの入手法はこれだ

アスキーとツァイトがレコード会社のフォーライフと組んで、「メディアリミックス・コンテスト」を開催中だ。対象は、坂本龍一が総合プロデュースするグートレーベルのアーティスト、テイ・トウワをテーマにしたマルチメディア作品。マルチメディア部門、シングルCDジャケット作品部門の2部門での募集で、締め切りは95年1月13日。

これに合わせてアスキーとツァイトが発売しているWindows版グラフィックソフト『SUPER KiD』（年内はキャンペーン価格15,000円）に、テイ・トウワのオリジナルプロモーションCD-ROMがバンドルされている。バンドルされているCD-ROMだからと侮ってはいけない。テイ・トウワのアルバム『Future Listening』を元に制作されたもので、インタビュー、自宅スタジオ風景などが収録されているのだが、ファンじゃない人にはGraphickersの作品集がオイシイ。Graphickersには、立花ハジメ、田中秀幸、谷田一郎、中ザワヒデキ、中野裕之らそうそうたるメンバーが参加しているのだ。『SUPER KiD』にバンドルされるのは年内のみ。

コンテスト問合せ　コンテスト事務局　03-5351-8452／SUPER KiD問合せ　アスキー　03-5351-8080



レンダリングソフト「Real3D」無料セミナー開催

本誌連載の「キッチン・アミーガ・シンク」でも協力してもらっているマイクロソフトアソシエイツが、レンダリングソフト「Real3D」のイントロダクションセミナーを開催する。日時は、毎週火・木曜日の2回で、午後3時から5時または、午後7時から9時の2回制。レンダリングに興味のある方ならだれでも自由に参加できる。参加は無料。

会場：MSA会議室　東京都台東区台東2-1-1
東秋葉原ビル
03-5688-1411まで予約を

ラジオをおもちゃにする電脳音声ロボット

放送とマルチメディア、というとインタラクティヴTVを思い出すむきも多いでしょうが、ラジオの世界でもマルチメディア的な試みは始まっているのだ。ニッポン放送は、スタジオインタラクティヴシステム「電脳音声ロボット」を開発し、10月６日に記者会見を行った。



「マルチメディア技術の一環として、ラジオ放送での将来的なコンピュータ利用の可能性を探る」という目的は建前で、「ラジオをおもちゃにしてしまう」ために開発されたこの電脳音声ロボット、TRONシステムの提唱者である坂村健東大助教授の指導のもと、構想３年、開発費ウン千万円をかけた力作。「リスナーとスタジオのリアルタイムなコミュニケーションを重視した」という。

システムは登録した人たちのプロフィール・データベースが基本となり、番組はその人たちが電話で参加することによって進行する。プロフィールには顔写真も入っているので、司会者は番組中にそれを参照することで、電話参加の聴取者と文字どおり「顔の見える」会話ができる。リスナーの側からは、プッシュホンのボタンを押すことでクイズに答えたり、自由に効果音を挿入しながら「１人ドラマ」を演じてみるなどして、それまでの声だけの電話参加よりも能動的に番組に参加できるようになる。

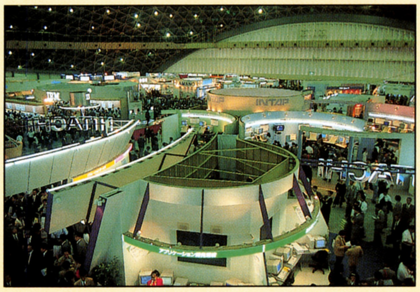
また、電話のパーティーラインのように複数の聴取者が同時に参加できるので、ラジオでは技術的に難しかった「ねるとん」式のお見合いゲームや、早押しクイズも可能になる。

このシステム、10月15日からスタートしている同局の「夜のおもちゃ　ぜんじろげっ！（毎週土曜23:30～25:00）」で、実際に使用される。番組のパーソナリティで、記者会見の司会も勤めたぜんじろうさんは、大阪ローカル局の自分の番組にMacを持ち込み、NIFTYを利用したこともある。その時はどうしてもスタジオとリスナー間のコミュニケーションの「間」が気になったというが、新番組の相棒となるこの機械には、「リスナーの顔やプロフィールが判ると、より親近感がわいてしゃべりやすいですわ」と興味たっぷりの様子だった。

このシステム、他にも同局の若者向け番組や、フジテレビのマルチメディア番組などにも利用して行くことを検討中とか。

データショウ'94はこんなイベント

今年も９月26日から29日まで、東京・晴海でデータショウが行われた。コンピュータの総合展示会として始まった同イベントも、今回で22回目。メインテーマを読んだ人はいないかもしれないので念のために書いておくと「情報、通信、画像、音声などを一体化した技術活用が、人間の日常生活において身近で容易に役立つツールを幅広い分野に提供する」だそうである。昨年より６社減って152社が参加、全体的には、ワークステーションやノートパソコンの展示がめだったが、WindowsやMacのシステムをネットワークに接続するソフトやハードも展示され、これからのビジネス分野ではネットワークが課題になるであろうことを考えるには十分な展示内容だったと思う。



サンリオCD-ROMソフトの販売店を開業

キティ、タキシードサムなどのキャラクタービジネスでお馴染みのサンリオが、今度はCD-ROM専門店を開業した。１号店は、９月27日から池袋に開店した「サンリオ／メディアパレット池袋」で、売り場面積が90平方メートルという大型店舗。1800のソフトがならび、国産ソフトは定価の約２割引き、会員になると新製品情報を年3回無料で配布してくれる。

今後、新宿、神戸、大阪など10店舗ほどのチェーン化をめざす予定ということで、いよいよパソコンソフトの販売にも大型の企業が乗り出してくることになるだろう。

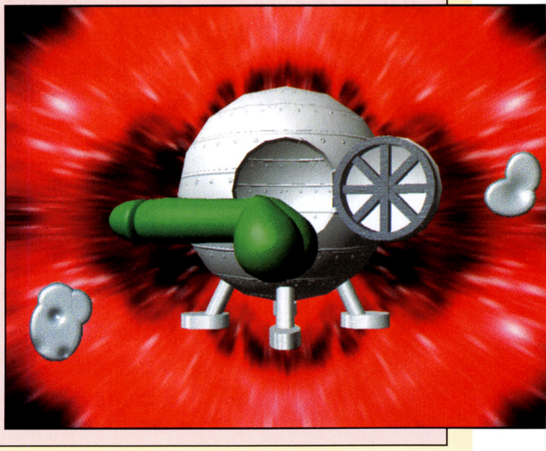
発禁処分？　販売自粛？『UNDERGROUND AtoZ:SO OUT』

先月のGURU vol.7で紹介した谷田一郎氏の快作CD-ROM『UNDERGROUND AtoZ: SO OUT』は見ていただけましたでしょうか？　と、言っても見た人はいないだろう。９月下旬の発売予定を過ぎても店頭には並ばなかったのです。

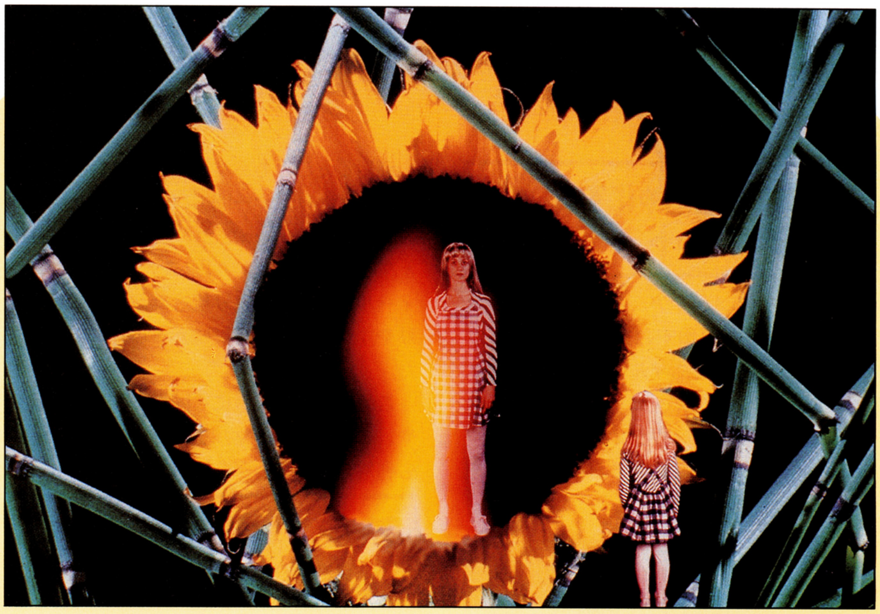
今は「諸事情によって」としかお伝えできないが、とにかく発売延期となってしまった。今のところ国内では発売の予定もない（外国というのはありうる話）。GURUとしては作者インタビューで扱ったほどオススメの作品なので、トラブルを乗り越えて、ぜひ多くの人に見てもらいたいと願うばかりだ。

今のところそういう状況ではあるが、彼らスタッフはめげていない。現在、すでに『SO OUT II（仮称）』の制作を始めている。これはパソコンのCD-ROMになるかもしれないし、そのほかのメディアのCD-ROM（なにかはヒミツ）になるかもしれない、ということで、新しい楽しみかたも期待できるようだ。

谷田氏には、本誌レビューコーナー（P99～）のアイコンを作ってもらったので、今はこれを見てガマンしてくださいね。



なにもない舞台で3D映像と役者が競演



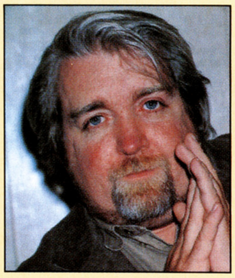
過ぎた話になってしまうが、メディア・アート界の第一人者と評される、ジョージ・コーツ率いるパフォーマンスグループ「ジョージ・コーツ・パフォーマンス・ワークス（GCPW）」が来日。その最新作「NOWHERE NOW HERE」が、去る10月の７日から３日間、天王洲アイルのアートスフィアで行われた。

「テクノ詩人（Techno-bard）」と呼ばれるジョージ・コーツ。彼は、NASAのエイムズ研究所やアップル、シリコン・グラフィックスなどの大手企業のエンジニアやプログラマたちがバックアップしている非営利団体「サイエンス・ミーツ・アーツ・ソサエティ（SMARTS）」を組織。この組織は演劇とコンピュータ・アートを融合し、新しい芸術分野として開拓する研究機関として活動しているという。SMARTSの開発したステージ・オペレーティング・システムは、これまで話題になってはいたものの、日本では今回が初公演だった。

＊

雑誌記事を探しても「世界初のマルチメディア・ファンタジック・オペラ」「ステージの上のマルチリアリティ空間」と、それを表現している言葉は、どれも怪しく、なんだかワケが分からない。一体それは何だ！

というわけで、自分の眼で確かめてまいりました。その公演の始めから終わりまで、観客は偏光レンズの付いた3Dメガネを装着。ふと振り返ると、会場はなんとも80年代的サイバーな状況である。そこでGCPWによって演じられるのは、少女の夢の物語。しかも、舞台の上にはセットではなく、3D映像が映写され、3Dコンピュータ・グラフィックが飛びまわる。ビジュアルと音楽でストーリーが展開する世界。夢というパーソナルな世界を、テクノロジーを駆使して集団体験するファンタジーだった。



アクターたちは、ステージの上の方まで浮かび上がり、映像のハズの樹に腰掛け、突然現れては消えるかと思えば、ありえないほど奥の方から歩いてくる。これらの映像効果や照明、音響がすべて、出演者の持つ端末とスタッフのオンライン入力によって、インタラクティヴに操作されているというが、

「マルチメディア・アーティスト？　そりゃいい呼び名じゃないか（笑）でも、私はコンピュータやコンピュータグラフィックを使うずっと以前から、マルチにパフォーミングをやっていたんだ、音楽とヴィジュアルのふたつのメディアを使ってね」

ジョージ・コーツは言う。これが「テクノ詩人」の言葉か？　と思うほど、屈託がない。

「LIVE Max 4-Dのコントローラを観客の皆さんに持ってもらって、操作してもらおうと思っているんだ。ボタンを押すと同時に、舞台に鳥が飛んできたり花が咲いたりするインタラクティビティを盛り込みたい」

まるでテクノロジーが、想像力そのものであるかのように言ってのける。来年の春に再来日、今度は４週間ほど滞在する予定だという。その時の公演で実現するかどうかはわからないが、ジョージ・コーツのメディアの魔術は、きっとまた我々を楽しませてくれるはずだ。

P.S.

「世界中のアーティストたちとネットワークを作って、その作品で舞台をコラボレートしていきたいと思っている」

ジョージ・コーツは、インターネットを通じて、世界中からCGアーティストを募集中だそうだ。雑誌に載るのなら、ぜひ一緒に載せてくれというコトなので、興味がある人は“GURUで読んだ”旨を書き添え、メールで下記にコンタクトを取って欲しい。

Send e-mail to
<nowhere-band@gergecoates.org>

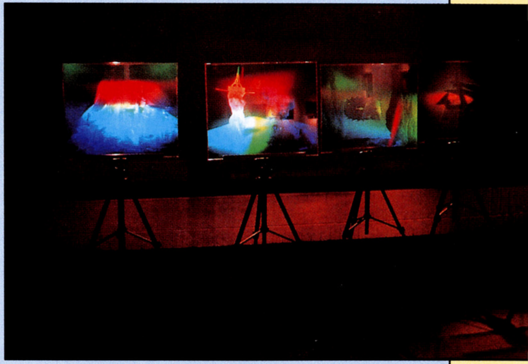
英国アーティスト、マーティン・リチャードソンのホログラム・アート展開催

なにやらわかりにくいタイトルで申し訳ないのだが、マーティン・リチャードソンというイギリス人のホログラム・アートの開催のお知らせである。

マーティン・リチャードソンは、イギリスで活躍中のホログラム・アーティストで、今回は彼の作品 ＋ 国内のアーティストの作品70点近くが展示され、しかも、販売も行われる予定だ。

ホログラムは、イギリスではすでにインテリアや雑貨として、そしてアートの１分野として認識されているそうで、日本ではこうした試みは初めてということもあり、注目したいイベントだと思う。

開催期間：11月10日（木）から11月23日（水）
会場：東京・銀座ニューメルサ特設会場
問合せ　ブレイネ03-5395-7030



ISDNショールーム見学会

高度情報化社会への切り札として登場した"N-ISDN"、この"N-ISDN"の一般家庭への普及は、21世紀の通信と言われる"B-ISDN"化の成功へのステップとなる筈ですが･･･現実として"N-ISDN"の一般家庭への普及は厳しいものがある。

そこで、PC-VANのSIG通信技術クラブが、ISDN導入に近い位置にいるパソコン通信利用者を対象にして、ISDNショールーム見学会を行っている。

毎回、モデムのプレゼントやモデムの設定などに関するセミナーもあり、シスオペクラスの方、自分でホストをお持ちの方でも十分に満足できる内容である。

次回は
11月26日（土曜日） 13:30〜16:30
ISDN機器のデモ、最新V.34モデムの接続実験、携帯電話やテレターミナルを使ったパソコン通信のデモと、ISDN機器やモデム等のメーカーさんからの製品説明＆質問タイムを予定。14400bpsのモデムが当たる大抽選会もあるとか。参加費用は無料。

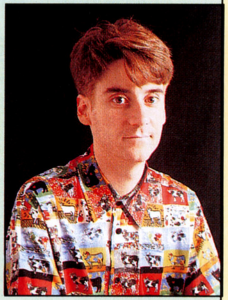
東京の新宿駅から小田急線に乗り換え、急行で約25分、新百合ヶ丘駅下車、北口から線路に沿った歩道を町田方向へ進んでください。新百合21というビルの１Ｆの奥がISDNショールーム。

参加申し込み
PC-VAN 通信技術クラブSIGのフリートークボード（JTUSHIN）、
MIYA-NET（048-650-1234）のISDNボード（ISDN）、
NIFTY-Serve MXF05202へメール、
FAX 048-685-8462 宮崎 聖崇まで！

マイクロソフト、ビデオレンタル店でソフトの貸し出し

マイクロソフトは、ビデオレンタルの大手ＣＣＣ（カルチャコンビニエンスクラブ）と手を組んで９月に発売したソフト「ホーム」シリーズのレンタル使用＆販売を開始した。マイクロソフトが提供するのは、ゴルフ、教育、映画データベースなど「ホーム」シリーズ約20点で、今後１年間以内にCD-ROMの形態でレンタルを行う。レンタルは、試用ということで返品後同じ店舗で購入もできる。ＣＣＣのチェーン店舗は100店を超えており、今後の展開に注目したい。

Rodney TimeはFun & Wonderful Time ロドニー・グリーンブラット展



本誌３号の大特集「夢のヌルチメディア」の巻頭をかざってくれた、N.Y.在住のファンキーなマルチアーチスト、ロドニー・グリーンブラットの個展"Rodney Time"が、10月11日〜11月４日まで、銀座のリクルート クリエイションギャラリーG8で行われた。１年間かけて作った力作CD-ROM『DAZZELOIDS』の日本発売を目前にひかえ、ロドニー自身も来日し、『東脳』の佐藤理氏とのトークショーや、ライブ・ペインティングなどのイベントもあり、盛りだくさんの内容だった。

会場には、ロドニーのコンピュータグラフィックによる絵画作品、オブジェなどが展示されたほか、彼の手によってコラージュがほどこされ"Wonder Window"に変身した３台のMacintoshで、CD-ROM『RODNEY'S FUNSCREEN』『RODNEY'S Wonder Window』『DAZZELOIDS』がそれぞれ自由に体験できるようになっていて、観客の人気を呼んでいた。"Wonder Window Mac"で遊ぶ『RODNEY'S Wonder Window』は、これまた格別にタノシイんだから。

ウゴウゴ・ルーガの『ロドニー・ガイ』にしても、一連のCD-ROMにしても、日本のロドニーファンがいままで目にできたものは、いずれも動画やデータものがほとんどだった。今回の個展のように、ひとつの完成された絵画としてのロドニー作品をまとめて目のあたりにすると、あらためて彼の描くキャラクターたちの不思議な魅力に気づかされる。ロドニーが描くユートピア的な世界のファニーな住人たちは、みんなキラキラした生命力にあふれていて、難解なところがまるでない。N.Y.のアーチストでこんなにオープンでふっきれたマインドを持つ人って、なかなかいないんじゃないだろうか。

ファンタジーは未来を創る原動力だといわれるけど、そのことをこれほど実感させてくれる作家もいない気がする。なんてコムズカシク語る必要なんてどこにもないんだ。ロドニーが作ったものは、ともかく見てると楽しくて、そして元気が出てくるんだから。来年２月ごろには待望の『DAZZELOIDS』がMacintosh／Windows両対応でボイジャージャパンから発売になる。次号ではひと足早くレポートをお届けするので、お楽しみに。



ゲームソフトに年齢制限

松下電器産業に続いて三洋電機も『TRY』というマシンを発売した3DO業界だが、3DOジャパンがゲームソフトに年齢指定を導入すると発表した。

区分は３つに分かれていて、制限のない一般向けの「E」、16歳未満不適の「16」、18歳未満禁止の「AO」のマークがそれぞれにつけられる。

年齢制限は、3DOだけでなくフォトCDにも導入される予定で、松下電器産業、三洋電機、日本電気ホームエレクトロニクス、日本コダックの４社が中心になり、倫理水準の向上を目的に「フォトCDパブリッシング クラブ」を設立した。

こちらの区分も3DOと同じ「E」「16」「AO」の３つのマークがソフトにつけられる。こちらは、本年度中に100社以上の加盟を目標としているが、松下電器が中心となったこの規格にどれだけのメーカーが協賛するのか気になるところである。どちらにしても、アダルト製品の過激度が分類によって増すことは間違いないだろう。

Pentiumマシン20万を切る!!

66MHz/PCI そして万全のサポート

サンクエストならではの
6つのメリット

(model P586-66)
Pentium-66MHz
199,000yen

(model P586-90)
Pentium-90MHz
229,000yen

各限定200台

メリット 1 高性能＆低価格

スペック表をご覧いただいても分かる通り、これだけの高性能マシーンがこの価格でお求めいただけます。

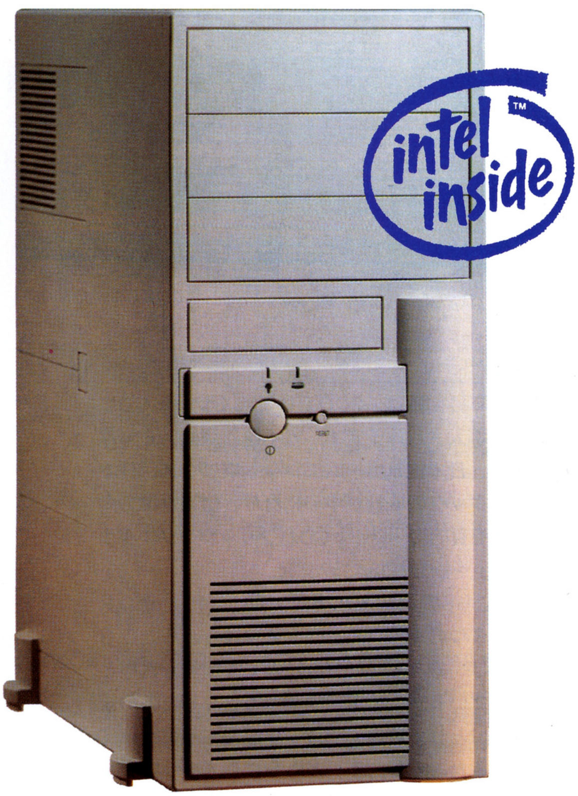
スペック表

model	P586-66	P586-90
CPU	Pentium-66MHz	Pentium-90MHz
外部キャッシュ	256Kbyte	
HDD	IDE 420Mbyte	
FDD	2モード	
メモリ	8Mbyte(72pin-70ns)	8Mbyte(72pin-60ns)
ビデオカード	S3 Vision 864 (2M)	
スロット	PCI×3，ISA×3，共用×1	
シリアル	×2(16550搭載)	×2(16550搭載,オンボード)
パラレル	×1	×1 (オンボード)
メインボード特記	SCSI付	Enhanced IDE
ケース	ミドルタワー(W169×D393×H404)	
キーボード	106日本語キーボード	
マウス	シリアルマウス	

各種オプション(CD-ROM, RAM / HDD増設等)も豊富に取りそろえております。詳しくは、お問い合わせください。

ネットワークセット

構成	型番	コネクタ	追加料金	備考
ボードのみ	LGY-AT-2	10BASE2	¥12,000	NetWare 3.12J 等のネットワークソフトが別途必要です
	LGY-AT-T	10BASE-T		
ボード＋Web4.1	WBC-V-2	10BASE2	¥19,000	ケーブルは5m付属
	WBC-V-T	10BASE-T		ケーブルは10m付属
ボード＋NetWare Lite1.1J	NLC-V-2	10BASE2	¥28,000	ケーブルは5m付属
	NLC-V-T	10BASE-T		ケーブルは10m付属



メリット 2 サポートも充実

★日本語セットアップマニュアル
輸入AT機にありがちな、英文マニュアルでのセットアップガイドでは、オプション機器等の増加時に支障をきたすため、セットアップに必要な技術資料は日本語でわかりやすく説明しています。

★BBSサポート
TEL、FAXでのサポートに加え、弊社BBSにて24時間体制のサポートが受けられます。（当BBSでは、マシーンサポート、新製品紹介、ユーザ同士の情報交換、人気のフリーウエア、シェアウエアのダウンロード等のサービスがご利用いただけます。）

★ビックな保証
購入後1年間に限り、故障はもちろんのこと、盗難、火災等によるマシーンの全損にも無償で対応します。（送料だけはお客様で負担して下さい）

★アドバイス
現状でお使いのマシーンからの移行、ネットワーク移行等の問題点を的確にアドバイスいたしますので、お気軽にご相談ください。

メリット 3 ソフトウェアインストールサービス

市販されている殆ど全てのアプリケーションを安価にご提供できます。また、同時にお買い上げ頂いた商品はご希望により無料でハードディスクにインストールします。

メリット 4 現地導入サービス

ネットワークセットを10台以上お買い上げの場合、ネットワークの導入作業を現地(※)にて無料で行います。お客様は交通費のみご負担下さい。（ケーブルの敷設工事につきましては、お客様でご用意いただくか別途費用にて弊社が代行いたします。）
また、10台未満の場合でも一律¥50,000（税別、交通費別）で承りますのでお気軽にお申し付けください(※)。 ※全国の新幹線各駅から1時間以内の場所に限らせて頂きます
なお、各社UNIXワークステーションとの接続についても弊社は豊富なノウハウを持っておりますので、最適なネットワーク環境を安価に実現出来ます。

メリット 5 下取りサービス

ご購入台数の範囲内で、現在ご使用のマシーンを下取りさせていただきます。
下取りは、弊社より買い取り専門店に委託しておりますので、適正価格での買い取りが可能ですが、お取り扱いできない機種もございますのでご了承ください。

メリット 6 便利なお支払い

銀行振込、現金書留、代金着払い、クレジット、リース等各種のお支払い方法をご用意いたしております。

(表示価格には消費税・送料は含まれておりません)

Sunquest
株式会社 サンクエスト DOS/V事業部
〒115 東京都北区赤羽1-52-16 田口ビル7F

お問い合わせは TEL 03-3902-1169
FAX 03-3902-1292 日・土・祝日を除く AM10:00-12:00,PM2:00-6:00

振込口座 第一勧銀 赤羽支店 (普)1235408 株式会社サンクエスト
三和銀行 赤羽支店 (普)1010061 株式会社サンクエスト

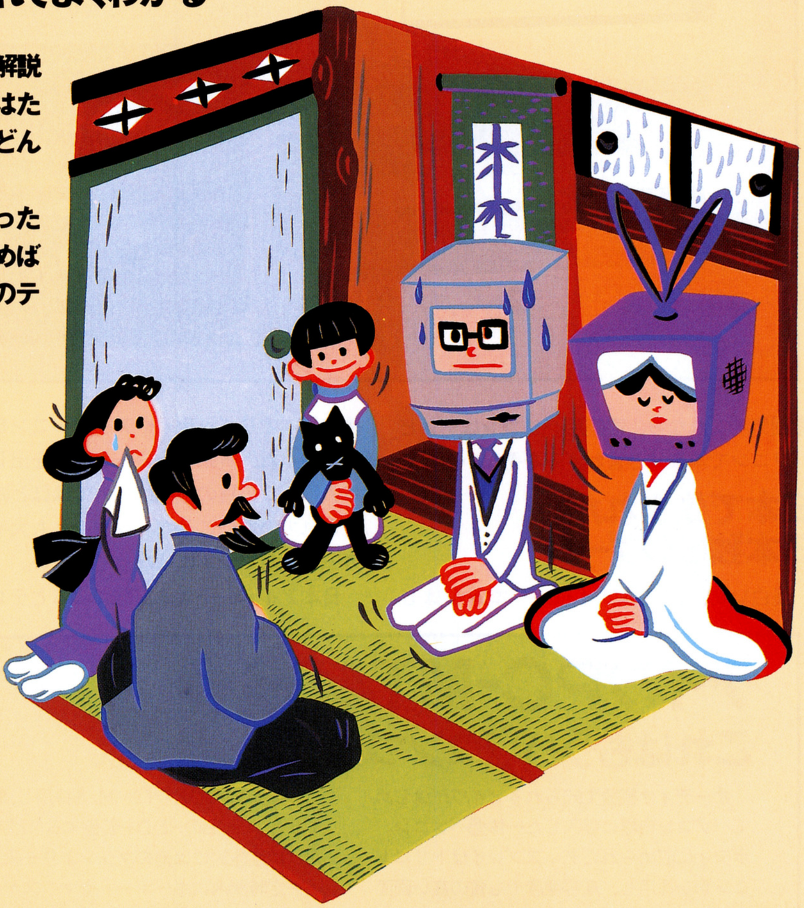
〈資料請求番号016〉

文＝後藤弘茂
Text: GOTO Hiroshige
イラスト＝長崎訓子
Illustration: NAGASAKI Kuniko

テレビパソコンの時代がやってきた

そんなに難しいもののはずはないテレビパソコン。ちゃんと読めば大丈夫。これでよくわかる

テレビでも雑誌でも、さかんに宣伝されたり解説されたりしている、ご存じテレビパソコン。はたして何がそんなに面白いのか、いったい誰がどんな目的で買うモノなのか。
メーカーの人にも聞いてきました。初めて触った人の声も聞きました。ちょっと長いけど、読めば読むほどよくわかる。これは、あなたのためのテレビパソコン教室なのである。



テレビ大好きニッポン国民

日本人がどれだけテレビ好きか知っているだろうか。視聴率調査会社のニールセンによれば、日本人は一世帯平均、1日8時間44分（93年の関東・関西統計の平均）のテレビを見る。それに対してアメリカ人は一世帯平均7時間2分（90年）。この差は約1時間40分。年間ではなんと約608時間になる。1日24時間として約25日間ぶっ続けでテレビを見ている計算になるわけだ。

これだけテレビ好きの人種は、まあ確かに世界でも珍しい。さすがは家電王国ニッポンだが、さて、そこでこんな日本人にふさわしいパソコンはというと、そう、やはりテレビも見られるパソコンをおいてほかにない!?　少なくとも、そんな短絡的ともいえる発想でテレビパソコンは登場した。

今年に入ってテレビパソコン大洪水

テレビパソコン、つまりTVチューナーを内蔵したパソコンは、これまでもなかったわけではないが、けっして主流にはなれなかった。

しかし、今回は違う。今年の5月に松下電器産業と日本アイ・ビー・エムが新製品を発売して以来、他のメーカーも次々と両社のあとを追い、今や富士通、NECなど大手はもちろん、これまでパソコンには縁のなさそうだったアイワ、日本オリベッティといった意外なプレーヤーまで登場、百花繚乱のありさまだ。先月はついにアップルコンピュータまで戦列に加わった。

日本アイ・ビー・エムでは「いちばん売れている製品のひとつ。ある程度は売れると予想していたが、これまでとは考えていなかった」と意外な成功に驚いている。他のメーカーでも、軒並み市場のウケはいいらしい。

新しいテレビパソコンの特徴は、徹底して家庭向けのアプローチがとられていること。どのメーカーの製品も入門機で、ディスプレイ一体型か、ディスプレイとのセットで売られている。ソフトもバンドルされて、買ってくればすぐに使えるというコンビニエンスさは、初心者にはとっつきやすい。おまけに、CD-ROMドライブも当然のようについているので、CD-ROMのマルチメディアタイトルや音楽CDを楽しむこともできる。

さらに加えて、値段もこれが結構安い。定価で30万円台前半からというのは、パソコンでもと考えているビギナーが手を出しやすい価格帯。しかも、これはテレビが映らない同クラスのパソコンと比べてほんの少し（たとえばNECでは1万円くらい）高いだけと、テレビ分は本当にオマケ感覚なのだ。テレビショッピングではないが「今ならパソコンに、便利なテレビとCDプレーヤーが付いて、ハイこのお値段。やーおトクですね〜」といった

アップルPerforma630
Macはテレビもアメリカン



Windowsマシンのテレビ付パソコンたちからはやや遅れての登場だが、アップルが作ればテレビ付パソコンもこんなふうになるのか、と思いたくなるほど他のマシンとは趣が異なる。

標準装備のTV/ビデオシステムには、テレビチャンネルの記録、チャンネルのロック、それから、CATVやクローズドキャプションへの対応といった、もの珍しい機能が山ほど用意されていて、かなり本格的にテレビで遊べる。また、Mac自体の起動もできる多機能リモコンや、動画の取り込み、加工のキャプチャ機能採用など、テレビ/ビデオとの連携をとことん重視した設計になっているというわけだ。

買ったその日からフルに活用することが可能なのはPerformaのお約束。CPUにはLC575などと同じ68LC040/33MHzを搭載して、たとえビジネス用に使ったとしても過不足のない性能を発揮してくれる。

Macintosh Performa630
価格●オープン価格
CPU●MC68LC040
メモリ●8MB(最大36MB)
ハードディスク●250MB
フロッピーディスク●3.5"×1
CD-ROM●倍速
モニタ●セパレート型15"フラットスクリーン
最大解像度および最大発色数●800×600ドット(256色)/3万2000色(640×480ドット)
スピーカー●モノラル
寸法・重量(本体)●W320×D419.5×H109.5(mm)・8.6kg
導入済みソフトウェア●漢字Talk7.12　At Ease Ver2 クラリスワークス他
添付装備・ソフトウェア●TV・CDリモコン　マイク　Video Shop　ムービーペイント　キッドピクス　おばあちゃんとぼくと　ピーターと狼　他
問合せ●アップルコンピュータ　03-5562-5600

雰囲気。これなら、家庭用パソコンはテレビパソコンで決まりと言わざるを得ないだろう。

日本で生まれた日本独自のブーム

面白いのは、日本アイ・ビー・エムをはじめ、日本オリベッティやアップルコンピュータといった外資系メーカーが製品を出しているのに、この種の機種は海外ではほとんど発売されていないことだ。少なくとも大手メーカーの主流マシンにはなっていない。

日本アイ・ビー・エム広報によるとテレビパソコンは、「日本市場へ向けた独自のアプローチで、日本で開発したもの」という。パソコンといえば、これまでの流れはアメリカから来るモノだったのだが、テレビパソコンの場合はちょっと違うようだ。「開発した日本のエンジニアたちが、実際に自宅にこういうのが

アイワPC-MT466
これはもうパソコンつきテレビか

オーディオ機器で知られるアイワがはじめてパソコン市場に参入した一体型パソコン。ボディに収められたディスプレイはトリニトロン管を採用し、高解像度でも質の高い画面表示が可能だ。

CPUにi486DX2/66MHzを採用し、8MBメモリと345MBのHDDを装備するなど、新しいだけに性能的には他のマシンより一枚上手だ。

一定時間内にキーボードやマウスから入力がないとモニタやHDDの消費電力を半減させるパワーマネージメント機能をサポートするなど、環境にもやさしい設計となっている。

オプションとして、これまた同社お得意のFAXモデムやテープストリーマ、リムーバブルHDDなども用意されており、意外に拡張性も高い。

ビジネスからホビーまで幅広い用途に使えるマシンだ。



PC-MT466　infortainment 466
価格●435,000円(税別)
CPU●i486DX2/66MHz
メモリ●8MB(最大36MB)
ハードディスク●345MB
フロッピーディスク●3.5"(3モード)×1
CD-ROMドライブ●倍速
モニタ●一体型14"トリニトロン
最大解像度および最大発色数●1280×1024ドット(16色)/1677万色(640×480ドット)
スピーカー●アンプ付きステレオ(3+3W、脱着式)
寸法・重量(本体+モニタ)●W479×D426×H410(mm)・26kg
導入済みソフトウェア●MS-DOS6.2/V　Windows3.1　アイワ・イージーメニュー　CD操作ソフト　オンライン・マニュアル
添付装備・ソフトウェア●TV・CDリモコン　マイク　On Handデモ全集CD-ROM
問合せ●アイワ　03-3371-7981

富士通FM TOWNSⅡFresh・TV
親子のパソコン

日本のマルチメディアパソコン市場を切り開いたFM Townsもいよいよ熟成の領域に入ってきた。他のマシンがソフトウェアをWindowsに頼り切っているのに対し、Townsには発売以来のオリジナルCD-ROMタイトルが豊富にある。

学校などでも使われているためか、根強いファンも多い。ファミコン感覚で使えるゲームパッドや赤外線リモコンなどが標準で付いているなど、他のマシンにはない個性も売りのひとつ。パソコンを使っているときにリモコン操作でテレビに切り換えられる手軽さはうれしい。

ただ、画面が640×480ドット/256色しか表示できないことや周辺機器が少ない、スピーカーが貧弱といった不満点も残されている。他人とは違うちょっと面白味のあるマシンが欲しいユーザーにお勧め。



FM TOWNSII Fresh TV
価格●388,000円（税別）
CPU●i486SX2/33MHz
メモリ●6MB(最大36MB)
ハードディスク●170MB
フロッピーディスク●3.5"(3モード)×2
CD-ROMドライブ●倍速
モニタ●セパレート型14"トリニトロン
最大解像度および最大発色数●640×480ドット(256色)/3万2000色(360×240ドット)
スピーカー●モノラル
寸法・重量(本体)●W340×D380×H127(mm)・10kg
導入済みソフトウェア●TownsOS V2.1 MS-DOS6.2/V Windows3.1 OASYS/Win V2.0
添付装備・ソフトウェア●リモコン マイク ゲームパッド TownsMagazine (CD-ROM)
問合せ●富士通 03-3646-0816

あったら便利だと思って作った」(日本アイ・ビー・エム広報)という日本人感覚が、オリジナルマシンを生んだというべきか。

また、日本アイ・ビー・エムでは「日本の住宅事情では、ひとつの部屋が狭い。特に一人暮らしの人や、自分の部屋をもっていてもそこにパソコンとテレビの両方を置くのが難しいといった人に」も合うパソコンを、という発想がもともとあったともいう。

たしかに、パソコンを家の中に持ち込むためにはそれなりのスペースが必要だ。自分の書斎なんて贅沢なものは持ち合わせていないおとうさんは多いし、はっきりいって、家の中にパソコンが落ち着ける居場所なんてなかなかないのである。ならば、テレビのスペースと兼用にしてしまおうというわけだ。もちろん、アメリカのようにドーンと広い家ではこんなことを考える必要は一切ないわけで、テレビパソコンがうさぎ小屋ニッポンならではの発想としたら、これはちょっと悲しい気がしないでもない。

家庭で親しめるところがテレビパソコンの利点

そんなわけで、うまく当たった家庭向けテレビパソコンだが、家庭向けということでは、テレビのないCD-ROMドライブ付きマルチメディアパソコンがすでにたくさん出ている。テレビパソコンとテレビ機能なしのホームパソコンでは何が違うのか。

たとえば日本アイ・ビー・エムでは、それまでも家庭向け入門パソコンとしてPS/V Visionというシリーズは存在していた、ところが一体型で使いやすいはずなのに、家庭ではあまり触ってもらえなかったという。CD-ROMやWindowsの登場で、何となくパソコンって便利そう、という興味を持つ人は増えたものの、そういう超初心者はやっぱり何をしていいのかわからない。パソコンって、何となく敷居が高いというのが現実だったのだ。そこへ、とっつきやすいテレビパソコンが登場した、というのがシナリオ。

つまり、ぐっと来るいい女（男）だけど、

VOD(ビデオ・オン・デマンド)

CATV用同軸ケーブルや電話ケーブル、光ファイバーなどを使ってビデオを各家庭まで配信するシステム。名前の通り、要求に応じて(オン・デマンド)好きなビデオを流す。また、家庭用VTRと同じように、画像のポーズや巻き戻しなども可能になる。つまり、レンタルビデオ店に行かなくても、家庭で最新のビデオ作品を好きなときに見ることができるようになるという、レンタルビデオ店泣かせのサービスなのだ。次世代の情報サービスの核として注目されており、米国ではすでに実用化実験も始まっている。

ビデオキャプチャ

VTRなどから入力したビデオ画像などをパソコンのデータとして取り込む機能。単にキャプチャと呼ばれることもあり、AVシリーズのMacintoshでは標準機能としてこの機能を備えている。最近では、ビデオキャプチャボードが多数売られている。これら製品のほとんどが外部からのビデオ入力端子を持っているので、ビデオなど外部チューナーを接続してテレビを見ることができる。

オーバーレイ表示

ビデオ画像などをディスプレイに表示する方法のひとつ。パソコンがディスプレイに表示する前に、ハードウェアで合成して画像をはめ込む。いわばディスプレイの中にテレビをハードウェア的に作り出してしまうようなものと考えればいいだろう。そのため、パソコン側ではオーバーレイ表示されている映像に対して処理を加えることができない。つまり、同じディスプレイに表示はされているものの、パソコンの画面と映像はまったく独立したものなのだ。だから、画面のコピーなどでビデオ画像を取り込むことはできない。取り込むには、ボードなどのオーバーレイ機能に対応した専用のツールが必要になる。多少不便だが、その代わり画質はテレビ並みに高い。テレビパソコンでもこの方式を取っているものは多い。

NEC PC-98MULTi TV

テレビだけでも使える98マルチ

テレビ付パソコンの中で、唯一、パソコン側ではなく、モニタ側にテレビ機能を持たせたのが98MULTiだ。テレビの電源だけをONにできるため、パソコンを起動しなくてもテレビを見られるのが特長である。ちなみに、一見すると一体型のようであるが、実はパソコン本体とモニタを切り離すこともできるのだ。

弱点をあげるとすれば、キャプチャー機能(画像取り込み機能)がないなど、マルチメディア度は今ひとつなこと。もっとも、10月末に発表された新シリーズのモデルでは、最上位モデルにPentiumプロセッサを搭載するなど、大幅な改良を受けている。強力なマルチメディアパソコンとしても使いたいならばニューモデルに要注意だ。

でも、Ce2 model T2だって、98MULTiらしく、大衆車的な安心感は相変わらず。定番中の定番マシンと言えるだろう。



PC-9821 Ce2 modelT2
価格●358,000円(税別)
CPU●i486SX/25MHz
メモリ●5.6MB(最大37.6MB)
ハードディスク●170MB
フロッピーディスク●3.5"(3モード)×1
CD-ROMドライブ●倍速
モニタ●セパレート型15"、TV機能内蔵、モノラルスピーカー内蔵、イヤホン端子付き
最大解像度および最大発色数●256色(640×480ドット)
スピーカー●ステレオ
寸法・重量(本体+モニタ)●W370×D416×H458(mm)・23.5kg
導入済みソフトウェア●MS-DOS/5.0 Windows3.1
添付装備・ソフトウェア●マイク リモコン デモCD-ROM
問合せ●日本電気　03-3452-8000

ビデオCD

CDに最長74分までの映像や画像を収める規格がビデオCD。MPEG1の圧縮方式を使っている。パソコン用の規格というより、家電向けのもので、日本の家電メーカーが中心になって普及を進めている。今年から本格的に製品化が始まっており、普及すれば家電店にプレーヤーが並び、レコード屋などにこの規格のビデオがたくさん並ぶことになる。パソコンでも対応ボードを挿入すれば楽しむことができる。

データ圧縮

動画データのデータ量はじつに膨大だ。たとえば、320ドット×240ドットでフルカラーの映像の場合、テレビ並みの毎秒30フレームで保存した場合、1秒間分のデータだけで約6.6メガバイトになってしまう。30秒で約200メガバイトが埋まってしまう計算だ。これではとても映像ライブラリどころの話ではない。映画なんか保存したら破産してしまう。というわけで、デジタル動画を保存する場合はデータを圧縮する必要があるわけだ。圧縮技術にはさまざまなフォーマットがあり、圧縮効率や画質が違う。また、処理に要するプロセッサの負担も違っていて、Indeoのように比較的負担の低いモノではパソコンのCPUで処理できるが、MPEG1のように高い圧縮率のものでは専用チップを必要とするのが現状だ。

いい女(男)過ぎてなにを話したらいいのかわからないしモジモジ…、としていたところへ、当のパソコンのほうが「テレビ」という普段着で、ほらほらこわがることはないのよー、とすりよってきてくれて、ああほっとした、てな感じが今の状況だろうか。

なにせ、テレビはお茶の間に入り込んでもう40年近く。最初の頃こそエラそうにしていたそうだけど、いまどきどんなおばあちゃんだって、別にテレビをありがたがったりしないどころか、ビデオぐらい使いこなしてしまう。30代前半以下なら、子どもの時から見慣れた代物なわけだ。

というわけで、テレビパソコンは「ユーザーの半数以上がこれまでパソコンを買ったことのない人」(松下電器)と、パソコン恐怖症を取り除くことに成功した。

それから、テレビパソコンは、パソコン初心者の財布のひもをゆるめさせることにも成功した。ふつうの家電と比べるとパソコンは異様に高い。しかし、パソコンだけでなくテレビも見られるとなれば話は別だ。

なにせ、先述の統計のとおり、テレビは1日9時間近く使う道具。パソコンだけの場合のように、ダンナ(に限らず奥さまだったり子供だったりするが)一人が独占したりホコリをかぶる心配もないというわけで買いやすくなったというわけだ。

パソコンが借りるテレビのマルチメディアっぽさ

しかし、テレビパソコンがこれだけ受けた理由は、じつはテレビのマルチメディア性が、普通の人の描くマルチメディアのイメージと合っていたためではないだろうか。このところ、マルチメディアへの期待はずっと高まっているが、現実のパソコンができるマルチメディアと、パソコンなんて触ったことない人が描くマルチメディアとは、けっこう隔たりがあった。これまでのマルチメディアソフトは、動画と言っても小さく見にくい代物で、テレビを見慣れた目にはなんとも情けない。パソコンで動画ができること自体がスゴイとありがたがらないビギナーユーザーは、「えっこれがマルチメディア?」となってしまうわけだ。

ところが、パソコンでテレビが見れるとなれば、イメージが違う。本当はテレビはパソコン上でただ映るだけで、本当のマルチメディアではないのだけれど、とりあえず〝マルチメディアっぽい〞気分は堪能できるわけだ。つまり、パソコンが、テレビのマルチメディア性とイメージを借りた、それがテレビパソコンだとも言えるだろう。デジタル時代をリードするパソコンが、前時代のメディアであるテレビに頼ったところがなんとも皮肉とは



COLPO66
価格●348,000円（税別）
CPU●i486DX2/66MHz
メモリ●8MB(最大64MB)
ハードディスク●540MB
フロッピーディスク●3.5"(3モード)×1
CD-ROMドライブ●倍速
モニタ●セパレート型14"
最大解像度および最大発色数●1024×768（256色）/3万2000色(640×480ドット)
スピーカー●（あり）
寸法・重量(本体)●W381×D417×H161(mm)・12.5kg
導入済みソフトウェア●MS-DOS6.2/V Windows3.1 Champion 電子手帳 ロータスオーガナイザー R1.1J他
添付装備・ソフトウェア●マイク リモコン ジョイパッド PhotCD「SEE AMERICA」他
問合せ●オリベッティ 0120-045-393

オリベッティ コルポ
ヨーロッパの香り漂う

コルポはヨーロッパ最大のPCメーカーであるオリベッティの手によるものだ。限定300台がオリベッティダイレクトによる直販のみで販売される。

さて、このCORPO、最大の特長は、プリインストールソフトの多さにある。ベストセラーPIMソフトのロータス・オーガナイザーをはじめ、ワープロと表計算機能を持つ統合ソフトのChampion、TVチューナーコントローラー、サウンドツール、アニメーションツール、ジュラシック・パーク・スクリーンセーバーまでバンドルされる。ビジネスにも兼用できるテレビ付きパソコンをお探しの方にはうってつけだ。他のマシンのような一体型モデルではないが、デザインはさすが、すっきりとまとめられている。

また、通常のサポートの他に、NIFTY-Serve内のフォーラムでオンラインサポートが受けられる。

いえ、家庭へ進出する足場は着実に築きつつあるといえるだろう。

同じテレビパソコンでも異なる方向性

ところで、一口にくくってしまってきたテレビパソコンだが、じつはテレビ画像をどう扱うかという方向性で、大きく２つに分かれてくる。

ひとつは、パソコンのディスプレイをテレビの表示用に切り替えてしまうというスタイル。このスタイルの場合、テレビはテレビ、パソコンはパソコンとして画面を切り替えるので、テレビとパソコンを同時に使うことはできないわけだ。

もうひとつは、パソコンを使っているときにテレビ画面をウィンドウ表示したり、テレビの画像をパソコンに取り込んだりすることもできるようにした機種。これなら、片隅にテレビウィンドウを開いてそれを見ながらワープロする、〝ながらコンピューティング〞ができる。こちらのタイプの先駆けとしてWOODYを出した松下では、「せっかくパソコンにテレビを合体させているのだから色々できるようにした」と言う。それでどんなことができるかというと、「たとえば、宝くじの当選番号や料理のレシピが映った時にその場面をフリーズして映したり、画像として保存したりでき



IBM PS/V Vision
テレビもちゃんと楽しみたいなら

一体型パソコン市場を一気に加速させたPS/V Visionは、２代目モデルからテレビチューナーボードを内蔵し、「テレパソ」ブームを巻き起こした。

この10月には発表一周年を記念して、さらに簡単なパソコンとして進化。Windowsをより使いやすくするIBMメニュー、文字/音声/画像で説明するCD-ROMマニュアル、出荷時のHDDの内容をバックアップしたCD-ROMなどが追加され、価格は約25%OFFと超お買得だ。スペックは先代モデル同様、CPUにIBM486SLC2/66MHz、内蔵メモリが８MBと、Windows環境も快適に使うことができる。ウィンドウ表示やキャプチャー機能を持たないのが唯一の弱点といえば弱点か。

さて、このPS/V Visionの最大のウリは、テレビ画面の美しさにある。なぜかおおっぴらに宣伝されていないようだが、テレビ表示用に徹底してチューニングされたというモニタは、ぜひ一度実物をご覧いただきたい。

PS/V Vision 2408NTC
価格●328,000円（税別）
CPU●IBM486SLC2/66MHz
メモリ●8MB(最大16MB)
ハードディスク●340MB
フロッピーディスク●3.5"(3モード)×1
CD-ROMドライブ●倍速
モニタ●一体型14"
最大解像度および最大発色数●1024×768ドット(256色)/1677万色(640×480ドット)
スピーカー●ステレオ
寸法・重量(本体＋モニタ)●W319×D448.4×H432(mm)・17.5kg
導入済みソフトウェア●PC-DOS6.2/V Windows3.1 IBMメニュー MS Works 筆ぐるめ 読み上げ君 DOS/Vパチンコ DOS/Vマージャン 他
添付装備・ソフトウェア●マイク オンライン・マニュアル
問合せ●日本アイ・ビー・エム 0120-04-1992

松下 WOODY
音にもこだわる王者の嫡子



画王、ヨコヅナと家庭用テレビで絶好調の松下電器が作ったテレビパソコンWOODY。AV機器に強いメーカーだけに、さすがにテレビ機能との連携はうまい。

10月末に発表された最新モデルでは、静止画キャプチャはもちろん、1分間までの動画キャプチャをもサポートしている。

テレビ画面はもちろんWindows上でウィンドウ表示ができ、本体前面のワープボタンで瞬時にフル画面へ切り換えることもできるなど、いろいろ試してみたい人にはうってつけのマシンといえるだろう。

内蔵スピーカーにはＡＶで培ったドームスピーカーをぜいたくにも採用し、ＤＳＰを使ったサラウンド機能もサポートしているなど、オーディオ面での充実は絶対見逃せないポイントだ。

ボディカラーが今イチ地味で、置く部屋を選ぶという点を除けば、かなり完成度の高いテレビ付きパソコンだ。

WOODY CF-V31DBKJ
価格●398,000円（税別）
CPU●i486SX/33MHz
メモリ●8MB(最大24MB)
ハードディスク●340MB
フロッピーディスク●3.5”(3モード)×1
CD-ROMドライブ●倍速
モニタ●一体型14”
最大解像度および最大発色数●1024×768（256色）/1677万色(640×480ドット)
スピーカー●アンプ付きステレオドーム型(3＋3W)
寸法・重量(本体)●W353×D443×H451(mm)・21kg
導入済みソフトウェア●MS-DOS6.2/V Windows3.1 マルチCDビューア Dash-boardライト
添付装備・ソフトウェア●マイク リモコン ジョイパッド CD-ROM
問合せ●松下電器産業 06-908-1151

る」(松下）と発想はややステレオタイプだが、確かに使い方の可能性は広がりそうだ。画像を別のファイルに貼り込むこともできるのだから、手持ちの映画ビデオのデータベースを作って、それに画面を張り込むなんてのもいいアイデアかもしれない。カラープリンタがあれば印刷もできるし。

ただし、画質は一般的には取り込み型の方が落ちるようだ。だから、単純にテレビだけを楽しみたいという人は切り替え型を、画像を使っていろいろと楽しみたいというのなら取り込み可能型を選べばいいだろう。

家電メーカーは使い勝手にフォーカス

それから、使い勝手も機種により違う。これは家電化しているか、それともパソコンに留まっているかの違いとも言える。

家電化した典型は松下やアイワといった、これまでパソコンとは縁の少なかった家電メーカーの製品だ。なんと言っても、なにもかもくっつけて多機能にっていう合体マシンは、メイド・イン・ジャパン型AVのお得意だ。パソコン業界に参入するなら、これほどマッチした機種はない。

「高機能をだれでも使えるように配慮し、操作もできるだけ簡単にしました。例えばテレビ画面の映像をポーズしたり取り込んだりといった操作がボタンひとつでできます」と松下。さすがは「機能は豊富に操作はシンプル」、を追求してきた家電業界の雄だけある。

この2社の機種は、顔も家電そのものだ。アイワはほとんどミニコンポののりで、着脱式のスピーカーが本体の横に飛び出ているし、おまけにカラオケマイクまでついているという念の入れようだ。また、リモコンをつけているメーカーも多くなってきた。やっぱり、マウスでチャンネルを変えるんじゃ、テレビの気分は出ないということか。

買うときには、こうした使い勝手も点検して、テレビ中心なら家電感覚の機種にした方がいいだろう。

本当のマルチメディアパソコンは次のステップ

さて、一気ににぎやかになったテレビパソコンだが、本当は、これはまだまだ真のマルチメディア時代の気分を味わうだけの先駆け的存在だ。さっきも書いたけれど、テレビという先行した優秀なメディアのイメージを借りているだけなのだから。

だから、本当に〝マルチメディアテレビパソコン〞になるのは、テレビ自体もデジタルになって、光ファイバーなどを経由して家庭まで配信される双方向マルチメディアテレビ放送が始まったときだろう。たとえば、好きな番組を好きなときに呼び出して見るVOD(ビデオ・オン・デマンド)のデジタル版がそのひとつの形だ。

もっとも、それ以前の段階でCD-ROMでテレビ並みの動画を使った作品もどんどん登場するはずだ。ビデオCD規格の映画やカラオケもどんどん普及すれば、デジタルビデオは誰もが普通に使うものになっているだろう。そのうちには、テレビ電話やテレビ会議といった利用の仕方もできるようになる。それに、カラーノートでテレビが映るノートテレビパソコンというのも出て来るだろう。

CD-ROMパソコンにテレビ機能を加えたテレビパソコンは、もしかすると本格的なマルチメディア時代に近づくための変革的な一歩かもしれない。でも、これがとりあえずでもマルチメディアというもののイメージを日本のご家庭に伝える役目を果たすのだとしたら、結構大きな一歩だろう。ま、そこまで言わなくても、ゲームしてるのにJリーグが気になるという葛藤がひとつ減ると思えば、これはホントに大きな一歩に違いない。

後藤　弘茂　1960年生まれ。学生時代にフリーライターを始め、ビジネス雑誌のライターなどを経て、テクニカル系ライターに。取材モノを中心に、おもに技術や市場の動向について記事にしている。パソコン関連雑誌への執筆は少ない（…）。

手持ちのパソコンをテレビパソコンに

別にテレビパソコンでなくたって、テレビを見ることはできる。今使っているパソコンに、テレビチューナー機能を持つパーツを買い足せば、ちゃんとテレビパソコンに変身するのだ。

この手のパーツとしては、ビデオキャプチャボードと組み合わせて使うものと、単体で表示あるいはビデオキャプチャ機能まで備えているものの2種類がある。

単体で使えるものとしては、Logitecの「LVC-98TV(PC-98シリーズ用)」やノバックの「LifeView VideoII(DOS/V用)」などがある。

一方、キャプチャボードと組み合わせて使うタイプのものも、ボードの入力端子にビデオなど外部チューナーからテレビ信号を入力して映す方法をとっているものが多く、これならスロットが余計にふさがることもなく便利だ。

たとえば、PC-98シリーズ用のキャプチャボード&テレビチューナーならば、アイ・オー・データ機器の「GI-98」+「GV-TV」や緑電子の「View Screen・98」+「TV Porter」、カノープスの「Power Movie」+「TV Tuner」といったさまざまな製品があり、もちろん、AT互換機用にも同様に各種のセットが発売されている

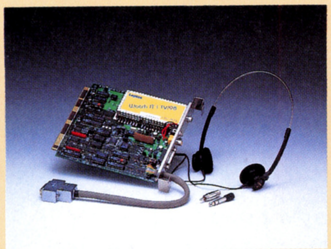
また、「本当にパソコンでテレビだけ見られればよくて、余計な機能は使わないの」と、いう人には、トライコーポレーションの「WATCH MATE」のような単機能ボードも用意されていて、テレビを見るという目的のためにかかる予算を抑えることができる。

Macintosh用ではインタウェアのキャプチャボード「PicPom」がオプションでTVチューナーを用意している。これ以外にもMacintosh用ではキャプチャボードの種類は多い。また、AV機能を持つMacintoshの場合は、キャプチャ機能をはじめから備えているので、チューナーさえ用意すればテレビを見ることができる。

さて、ビデオキャプチャボードで注意しなければならないのは、ビデオ・フォー・ウィンドウズなどに対応して動画像を取り込むことができるかどうか。静止画は取り込み機能を持つが、テレビチューナーつきボードでは動画をサポートしていないものもある。また、取り込んだ動画を圧縮して保存することでディスクスペースを節約する製品もある。

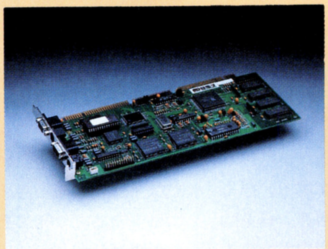
また、オーバーレイ表示機能を持っているかどうかもポイント。これは、ハード的にディスプレイ上に動画像をスーパーインポーズして表示してしまう機能で、なめらかな動きの美しい表示が可能だ。

さいごに、最近カラーの品質が上がってきたノート型パソコン用にも製品が登場している。98NOTE用にNECが出した「PC-9821N-P03 TVチューナー付きビデオ表示パック」などを使うと、アンテナさえあればいつでもどこでもテレビが見られるようになる。


Logitec「LVC-98TV(PC-98シリーズ用)」
単体でもテレビが見られるタイプ



アイ・オー・データ機器の「GV-TV」
キャプチャボードに接続するタイプ


キャプチャボードの一例。これは緑電子の
「View Screen・98」



Macintosh用のテレビチューナーユニット
「PicPom」(インタウェア)


今回のテーマとは正反対に、テレビにパソコンの画面を表示してしまおうというのが東芝のMMTV。29形ワイドスクリーンで420,000円は少々高いが、IBM PC/AT互換機(当然Dynabookを含む)ほか大半のパソコンが接続可能だ。何よりサウンドが素晴らしい。

製品名	価格(税別)	キャプチャ	オーバーレイ	テレビチューナー	説明	問合せ
LVC-98TV	58,000円	—	—	○	PC-98シリーズ用内蔵型テレビチューナーユニット	ロジテック●03-3251-3271
LifeView Video II	79,800円	○	—	○	DOS/V用キャプチャ機能付きテレビチューナーボード	ノバック●03-3817-8711
GV-TV	25,000円	—	—	○	GI-98などと組み合わせて使用する外付け型	アイ・オー・データ機器●0762-60-1024
GI-98	43,000円	○	○	—	PC-98シリーズ用ビデオボード。Indeoチップ搭載	アイ・オー・データ機器●0762-60-1024
TVporter	16,800円	—	—	○	View Screnn・98などと組み合わせて使用(価格は予価)	緑電子●044-989-7633
View Screen・98	59,800円	○	○	—	PC-98用ビデオボード	緑電子●044-989-7633
TV Tuner	29,800円	—	—	○	Power Movieと組み合わせて使う外付け型	カノープス●078-992-6830
Power Movie	79,800円	○	○	—	PC-98用多機能ビデオボード	カノープス●078-992-6830
PicPom TVチューナー	28,000円	—	—	○	Macintosh用。AVシリーズ以外はPicPomビデオボードが必要	インタウェア●03-5411-8010

User'sView WOODYはGOODY！

今、巷で流行ってるらしいテレビ付パソコン、これってテレビにパソコンが付いているのか、パソコンにテレビが付いているのかわかんないけど、要するに『一粒で二度おいしい』ってことなんだろうか？　まあそんなことはどうでもよくて、そんなことよりうれしいことは"WOODY"に触れるってこと。なんと、我がモンキー王国にPanasonic（がんばれ！ 3DO）から出ているテレビ付パソコン"WOODY"がやってくるのである。（といっても、この原稿を書くために借りるだけだけど）"WOODY"っていうくらいだから、立ち上げた時にあのアニメのキャラクターのようにカン高い声で鳴いてくれたりするのだろうか？　などと思いをはせながら待つこと数日…



やっぱりテレビと比べると小さいけど、部屋の中で普通のパソコンを置く位置より低いところに置いたりすると、意外にインテリアとしてはグーな感じ。"WOODY"はホビー感覚で使うマシンだから、この置き方で決まり、これでいいのだ！

無難にカーペットの上に置いてみる

○月×日　ついに"WOODY"が届く。思ったより大きな箱に入っている。早速、箱を開いて取り出してみるが、本体は箱ほど大きくはなくウチで使っているMacのLC575よりもちょっと背が高い感じだ。次にコイツをどこにおくか？これが問題でいろいろと考えた結果、応接室（と言うほど全然立派じゃないが）に置くことにした。なぜならその理由は、お客さんが来た時に自慢ができるからである（ただ単にそれだけのこと）。部屋の中では、当然テレビの代わりとして、今までテレビがあった所に置いてみる。ウチの14インチのテレビデオと比べると当然のことながら、かなり小さい。テレビ用の台の上にも置いてみたりしたが、それはあまりにもマヌケな姿だったので、ここは無難にカーペットの上に置いてみた。とりあえずセッティング完了、部屋のインテリアとしては、まあまあってところかな。

付属のCD-ROMアローン・イン・ザ・ダークで遊ぶ

○月×日　いよいよ"WOODY"に電源を入れて立ち上げてみる。立ち上りの時間は速くはないけど、パソコンとしてはストレスを感じない程度、でもこれがテレビだと思うとやっぱり遅いと思っちゃう。それと残念だったのは、立ち上り時にあのカン高い声で鳴いてくれたりはしなかったってこと（それくらいの小細工があったほうが愛着が湧くのは私だけ？）。モニタ画面の壁紙にはPanasonicのロゴのパターンが描かれていて、ちょっと見づらい気がするけど。右側にメニューが表示されていて、開きたい所をクリックすればウインドウが開いてくれる。比較的、操作はカンタンな気がする。まず初めにテレビをつけてみる。すると、テレビ画面（全体の3/5くらいのサイズで）とコントロール画面が同時に表示され、なんか新鮮な感じがする。画面の映りは、かなりきれいでこれくらいだったら問題なし。でも映っているのは、確かにいつものテレビの番組と変わらないんだけど、なんだか違和感を感じてしまうのはなぜ？　画面サイズはモニタ全画面にも切り替え可能、他の作業をしながらテレビを見る場合は画面サイズを変えれば大丈夫。それから静止画切り取り機能が付いていて、これがなかなか楽しめる（保存しておく枚数は少ないけど、テレビ画面をカンタン一発操作でデータにできるのは面白い）。テレビの後はやっぱりゲームとCD-ROM！　付属でついているものが結構あるので（"WOODY"活用マニュアルディスク、アローン・イン・ザ・ダーク、コダックのPhotoCDサンプル、他２枚もついてきてなんかお得な気分）、結局この日は朝までゲーム三昧。二日目はこんなところかな。

目には涙のお別れの日

○月×日　時がたつのは早いもので、もう"WOODY"とお別れの日。ほとんど遊んでばかりでパソコンとしての性能はわからないけど、"WOODY"って結構楽しくていいんじゃない。

まあ見た目のデザインがちょっとごつくて、カラーリングもあまりきれいでないとか、はっきり言ってちょっとダサイ感がなくもないけど、まあ使い方は難しくないし、多機能でいろんなことができそうだし、それに単純にテレビが見れるパソコンって便利だと思う。今までのパソコンからすると、なーんとなく邪道な感じがしなくもないけど、そんなことを気にしなければ、ホビー感覚のマシンとしては大満足、買って損なしってとこかな（でも、もう少し安くして欲しいけど）。

ところで、これってなんで"WOODY"って名前なんだろうか？　なんか理由があるのかな？　―筍 鉄也・モンキー王国―





CD-ROM+BOOKS

CD-ROMと本の新感覚パソコン・エンターティメント



本とCD-ROMをセットにしたこのシリーズは、ゲーム、コミック、ノベル、ポエム、写真集、音楽、アート、デザインなど、今までにない幅広いタイトルで、パソコンの面白さを開拓します。このパンドラ電影館から新しいマルチメディア感覚を体験してください。これであなたのパソコンは１００倍面白くなる。

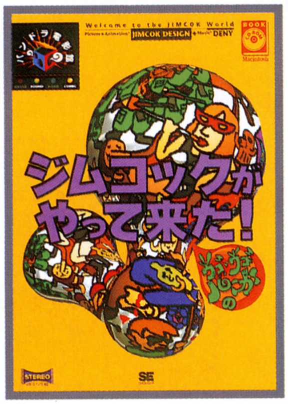


岩窟王

ひとは何故、岩を掘るのか?ひとは何故ゲームするのか?今、あなたにもわかる岩窟のココロ。

定価2400円（本体2330円）
A5判　64ページ
郵送料310円
マッキントッシュ版

岩窟（岩を掘ること）」をテーマに編集した本と、CD-ROMのマック対応のゲームを絶妙にドッキングしました。この音と映像の「岩堀り」シミュレーションゲームは、簡単な操作でパソコン初心者にも分かりやすく、誰にでも末永くつき合える内容です。「岩窟王」は、岩窟にまつわる人や歴史、現象をまとめた本とゲームで、バラエティ豊かな新しいパソコンの楽しみ方を提案します。

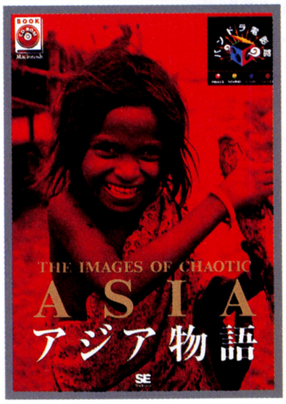


ジムコックがやって来た!

ウゴウゴルーガのジムコックデザインが贈るCD-ROM版動くコミック集

絵／ジムコック・デザイン
音楽／ＤＥＮＹ
定価2400円（本体2330円）
A5判 64ページ 郵送料310円
マッキントッシュ版

フジテレビの人気番組「ウゴウゴルーガ」から登場した「ジムコックデザイン」。彼らの動くコミック（アニメーション作品）10本を、QuickTimeでCD-ROMに収録。あなたのクリックで26の音楽と写真を背景に、ナンセンスなイメージが高速回転し始めます。見て、聴いて、読んで愉快なタイトルの登場です 。フルカラーの絵本といっしょに新しいコミック感覚を体験してください。おまけにオーディオCDプレーヤーでも音楽だけ楽しめるよう、16分の音楽専用トラック（2〜7）を用意しました。



アジア物語

6人の写真家、9つの国、1114枚の写真、30の環境音楽

写真／生駒鉄明　他
定価2400円（本体2330円）
A5判　64ページ
郵送料310円
マッキントッシュ版

「アジア物語」は、アジアを舞台に展開する新感覚のCD-ROM写真集です。すべての写真をランダムに検索する。あるいは、地、水、火、風、虚空の５つのイメージファイル別、写真家別、エリア別に検索する。さらにあなたがチェックした写真のカスタムファイルをつくる。わかりやすいインターフェイスによる簡潔な操作でパソコンのモニターにアジアのイメージが立ち現れる。背景に流れるサウンドや音楽とともにそれぞれの写真家が切り取った映像は、私たちのアジア的感性を甦らせます。

＊定価はすべて消費税込です。＊翔泳社の本は全国どの書店でもお求めになれます。書店に在庫がない場合は書店もしくは小社に直接お申し込みください。
＊図書目録をご希望の方は、官製ハガキでお申し込みください。

SE SHOEISHA 株式会社 翔泳社　出版局販売課
〒107 東京都港区北青山3-10-18 北青山本田ビル
TEL. 03-5467-0361　FAX. 03-5467-0360

〈資料請求番号SE〉



おまかせ！CD-ROM制作

MO、DATなどのマスターデータをCD-ROMに変換します。

サービス内容

- マスターCD-ROMの制作…………マスターデータのフォーマット変換およびCD-ROM化
- ディスク………………………………1枚から多量枚数まで
- CD-ROMのディスク面印刷………1枚からでも印刷OK
- パッケージング ………………………作成したCD-ROMおよび関連印刷物をパッケージにして納品

[マスターデータ]
HD、MO
DAT-DDS(4mm)
EXABYTE(8mm)
QIC(1/4inch)
[データ容量]
MAX560MB

→ フォーマット変換
[フォーマット]
ISO 9660
CD-ROM XA
CD-I, MMCDほか

→ マスターCD-ROMの作成
[使用レコーダー]
SONY CDW900E

→ プレス
(多量生産)
ライトワンスディスク
(少量生産)

対応機種
(CD-ROM プレマスタリング)

ワークステーション…●SUN ●HP ●PC-UNIX
パソコン…●IBM PS/55および互換機 ●NEC PC-98および互換機 ●Apple Macintosh ●富士通 FM TOWNS (IPL組込にも対応)
●その他ISO9660をサポートするすべてのパソコン

ご自分でCD-ROMを作成したいときは——

マスターデータをCD-ROMフォーマットに変換するプレマスタリングツール　CDの国オランダより上陸

あらゆるレコーダーに対応する「GEAR」……試作盤の製作、大量プレス用のテープアウトプットなど、ニーズに合わせた選択が可能

[GEARの機能]
- フォーマット変換
- プレマスターテープの作成
- WriteOnceの作成
- シミュレーション

※オプションにてマルチセッション対応

[対応機種]
- PC/AT(MS-DOS5.0以上)
- PC/AT(Windows3.0以上)
- Macintosh

[対応フォーマット]
- ISO9660 ●Mixed-Mode
- CD-DA ●Multi Session
- CD-ROM XA ●Hybridほか

[対応レコーダー]
- SONY CDW900E
- YAMAHA CDE100(4x)
- Philips CDD521
- Kodak PCD200
- RICOH RS9200CD

販売元　エフティ技研株式会社　〒236　神奈川県横浜市金沢区福浦1-3-8　TEL:045-782-7201　FAX:045-785-6622

※記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせは／エフティ技研（株）メディア技術部CD-ROM係まで（TEL:045-782-7201）
〈資料請求番号026〉

パソコン得買い物ガイド

とびっきりのパソコンが欲しい!



暴論だが正論!



パソコン選び7つのヒケツ

「初心者向け」をうたったパソコン誌がいろいろと出ているようだが、
どれも最初の段階でカン違いをしている。
これからパソコンを買おうとする人に、「初心者」なんていない。
パソコンを買おうとする人は、すでにかなりの知識を持っているのだ。
そんな「わかってる」あなたに贈る、「これがパソコンを買うときのヒケツだ!」。

1 「パソコンは難しい」と心せよ

「初心者用パソコン」なんて、実はナイのだ。考えてもみなさい。「入門機」と呼ばれるものでも、「最上位機種」と呼ばれるものと同じOSが載っているのだ。したがって、操作方法はまったく同じ。「パソコンの初心者」でも、「最上位機種」を使っている人と同じレベルの技量を要求される。「パソコンは、難しいものなのだ」と思って買うほうが、今後の身のためだ。

2 持てる財産をつぎ込め

値段が高いパソコンは、ほかのものとどこが違うのか? —— 実は、CD-ROMドライブがついているだけだったりする。しかし、そんな「パソコン以外の部分」は、ワープロや通信をすることよりも、簡単で楽しい。パソコンは、高いものほど面白いことができるのだ。カネをケチったあげくに人生を楽しめないような人間に、あなたはなりたいのか。



3 性能よりも、まず大きさ

パソコン雑誌で見つけて一目惚れ、店頭では喜びいさんで購入、いざ部屋に運んでみて、あーらビックリ！　なんと憧れの21インチモニタは、私の机には載らなかったのでした…。なんてことにならないよう、まず自分の生活環境を振り返ることからはじめよう。

4 長いものに巻かれろ

MS-DOSをみてみよう。PC-98シリーズやAT互換機でこれの載っていないものは、皆無といってよい。はるか以前には、なにかほかのOSもあったのだろうが、いまとなっては、それは価値のない骨董品にすぎない。パソコン選びにおいて、今後売れそうもない商品に同情をかける必要は一切ない。時流に乗ることが、パソコンを上手に買う唯一のコツだ。

5 店員と仲良くなってもムダ

パソコン雑誌によく書いてある「店員さんと仲良くなりましょう」って記事、ありゃ何だ？　店員といちゃつくと、なにか割り引きでもされるというのか？　モノの価格は、それまでにかかったコストと、その時点での需要および供給量ですでに決まっているのだ。世間一般の常識とパソコンの世界の常識があるのなら、間違いなく前者を選ぶべきだ。

6 ライターを信じるな

パソコン誌に文章を書いている人には、パソコンでなにかを作っている人と、そうでないいわゆる「パソコンライター」がいる。後者の文章は、「パソコンを何のために使うのか」「その結果どう面白くなるのか」という部分が完全に抜け落ちている。また「快適に使える」などといったあいまいなことばを多用する。雑誌の持つ華美な部分に、十分気をつけよう。

7 テレビを買うなら パソコンつき

パソコンマニアのキミ、テレビつきパソコンを馬鹿にしていないかな？　あれはやっぱほしくなるよ。たとえば、いま編集部のテレビ（ふつうの）では、中日×巨人最終戦をやっているのだが、仕事中に見続けるのは気が引ける。手元のモニタで見たいなあ、と思うわけだ。「テレビつきパソコン」を「パソコンつきテレビ」と考えてもいいはずだ。

疑問解消! パソコン買い物Q&A集

パソコンを買いたい! と思ったその時から疑問は芽生える。
GURU編集部に届けられた、聞くに聞けないでいた買い物にまつわる疑問の数々。
ショップの店先で路頭に迷わないよう、
あなたの素朴な疑問にGURU(導師)がお答えします。
講師=牧野武文

カタログの読み方Q&A

パソコンを選ぼうとカタログを取り寄せたはいいが、
そこはあやしげなジャーゴン(専門用語)の森。奥深いパソコン樹海の中で遭難しないための、カタログを読みとくためのQ&A。

Q ◆できるだけ速いパソコンを購入したいと考えております。聞いたところでは、パソコンの速さはCPUで決まるとか。どのCPUがいちばん速いのでしょう?(42才男性、会社役員)

A 現在は、事実上2社のCPUのいずれかがパソコンに搭載されています。ひとつはi386、i486などのIntel社のCPUで、いわゆるWindowsマシンに採用されています。もうひとつは、68030、68040などのMotorola社のCPUでMacintoshなどに採用されています。これらのCPUは、型番の数字が大きくなるほど速いと考えてください。もうひとつ、CPUの速度を決める数値にクロック数があります。これは大雑把に言うと「1秒間に何回の命令を実行できるか」を数値化したもので、数値が大きいほどCPUの速度は速くなります。たとえば、i486の33MHzのCPUと66MHzのCPUでは66MHzの方が倍速いと思ってください。

最近ではRISC技術(CPUの命令を簡素化して高速化する技術)を取り入れたPowerPC(Macintosh系)や、Pentium(Windows系)といったCPUも登場しています。速さを追求するのであれば、これら新世代CPUを搭載したパソコンを購入するのがいいでしょう。

Q ◆RAMとメモリは違うものなんですか? また、ハードディスクとメモリはどう違うんですか? どっちも「何MB」って書いてありますけど。(26才女性、会社員)

A RAMは、Random Access Memoryの略で、読み書きの両方ができるメモリのことです。この他に読み込みしかできないRead Only Memoryがありますが、最近ではROMをユーザーが意識する必要はまずないので、事実上メモリ=RAMと考えていいでしょう。

さて、メモリとハードディスクの違いですが、どちらもデータを保存するためのものという点では同じです。ただ、メモリは電源を切ると内容が消える、読み書きが速いという特徴があり、ハードディスクは電源を切っても内容が消えない、読み書きが遅いという特徴があります。それぞれの特徴をいかして、メモリはデータを加工する作業台、ハードディスクはデータを保管する貯蔵庫といった使い分けがされていると考えてください。

購入のさいのメドとしては、Windowsマシンでも Macintoshでも、快適に使おうと思うのであれば、メモリは8MB以上、ハードディスクは200MB以上がひとつの目安になると覚えておきましょう。

Q ◆PentiumとPowerPCはどちらが速いのでしょう?「比較できない」なんて回答では納得できません。よろしく。(21才男性、大学生)

A これは厳しい質問ですね。このことについては、いろいろと議論がありますが、私個人としてはPowerPCに分があると考えています。というのはどちらもRISCチップと言われていますが、Pentiumは厳密に言うとRISCチップではありません。旧来のCISCチップにRISC技術を取り込んだCPUです。このため内部が複雑化したため、発熱がおこるなどの問題がおきており、これ以上の高速化は難しいとさえ言われています。

一方PowerPCは、完全なRISCチップなのでこのような問題はなく、順調に高速化が進められています。ですから私の結論としては「PowerPCの方が速い」ということになります。ただしPentiumもこのまま終わるわけではなく、さまざまな改良を加えてくるでしょうから、将来についてはまだまだわかりません。またパソコンの評価は、CPU単独の性能で決まるものではなく、OSや周辺機器を含めた総合評価で決まるので、単なる速度比較はあまり意味がないでしょう。



Q ◆やっぱりパソコンもカラーがいいんですけど、テレビみたいに天然色ではないって聞きました。総天然色のパソコンはないんですか？(22才女性、専門学校生)

A 総天然色とはずいぶんと古びた言い方ですが、パソコンの世界では「フルカラー」という言い方が一般的です。もちろんパソコンでもフルカラー表示は可能ですが、ほとんどの機種ではビデオボードなどの機器を追加しなければならないのが現状です。

しかし、かならずしもフルカラーが必要かということは、もう一度考えてみてもいいのではないでしょうか。現在、多くのパソコンは256色表示か3万2千色表示ですが、256色表示のパソコンでも、固定した256色の組み合わせしか表示できないということではありません。あくまでも同時に表示できるのが256色ということで、256色の組み合わせはその場その場で変えることができます。ですから、256色で映像を表示してもさほど不自然な感じはしません。テレビのように映像を表示するだけなら、256色を表示できれば十分ではないでしょうか。フルカラーが必要なのは、デザイナーや写真家などのプロに限られると思います。

Q ◆パソコンで音楽したいんですが、パソコンサウンドってへぼくないんですか？ファミコンみたいなピコピコ音ではやる気もおきません。(19才男性、大学生)

A 私は特に「へボい」とは思いません。ピコピコ音でも使い方によって楽しめることは、すでに10年以上も前にYMOが証明しています。もちろん現在ではパソコンのサウンドも進歩しているので、主なものをざっと紹介しておきましょう。

パソコンが扱えるサウンドは、FM音源、PCM音源、MIDIの3つが主なものです。FM音源は初期のパソコンで使われたサウンドですが、いわゆるピコピコ音で、確かにへぼいものではありました。次に現れたのが、PCM音源で、こちらになると、サウンドのリアルさも高まり、オリジナルのサウンドも簡単に作れることから、現在でもゲームサウンドなどに広く使われています。

3つめのMIDIは、簡単に言うとシンセサイザーなどをコントロールするための演奏情報を定めた規格です。この規格にあった音源がMIDI音源で、これをパソコンでコントロールして演奏するのが、最近注目されているデスクトップ・ミュージックです。

Q ◆PC-98の拡張スロットにはどんなものがありますか？(26才男性、会社員)

A PC-9801の拡張スロットには、本体背面にある「汎用拡張スロット」が一般的です。このスロットは、まさに汎用の名前にふさわしく、カードを差し込むことでほとんどなんでも拡張できてしまいます。たとえば、SCSIボードを差し込めばSCSI周辺機器が接続でき、グラフィックアクセラレータボードを差し込めばグラフィック表示が速くなり、メモリボードを差し込めばメモリが増設できるという具合です。

また、最近の機種のなかには、本体の前面に「ファイルスロット」、本体内部に「ファイルベイ」とそれぞれ呼ばれる拡張スロットがついているものもあります。ここにはCD-ROMドライブやハードディスクなどが装着できます。さらに最新型のPC-9821Xa/Xtでは背面にPCIスロットが搭載され、98ノートではPCMCIAカードに対応したICカードスロットが搭載されるようになるなど、PC-98シリーズのスロットも多様化してきています。

Q ◆SCSIってなんのことですか。ついでに正しい読み方も教えてください。(26才女性、自営業)

A 読み方は「スカジー」というのが一般的ですが、スノッブな人々の中には「スクージ」などと発音する人もいます。正式な読み方はきっと「エスシーエスアイ」なのでしょうね。

SCSIは、Small Computer Systems Interfaceの略で、ハードディスクやレーザープリンタ、スキャナなどデータを高速でやり取りする必要のある周辺機器を接続するための規格です。最大で4MB/秒のデータ転送ができ、ひとつのSCSIポートに最大6台の周辺機器が接続できるのが魅力です。パーソナルプリンタやモデム以外の周辺機器は、すべてSCSI接続だと思って間違いないでしょう。

ただし、最近ではハードディスクの高速化、大容量化に伴い、SCSI規格でも十分ではなくなってきました。そこでより高速転送のできるSCSI2という新たな規格も採用されはじめています。また、AT互換機などで多く使われているIDEという規格も、安価で高速なので採用するマシンが増えてきています。

Q ◆MacintoshのNuBusスロット、PDSスロットについて教えてください。(29才男性、自営業)

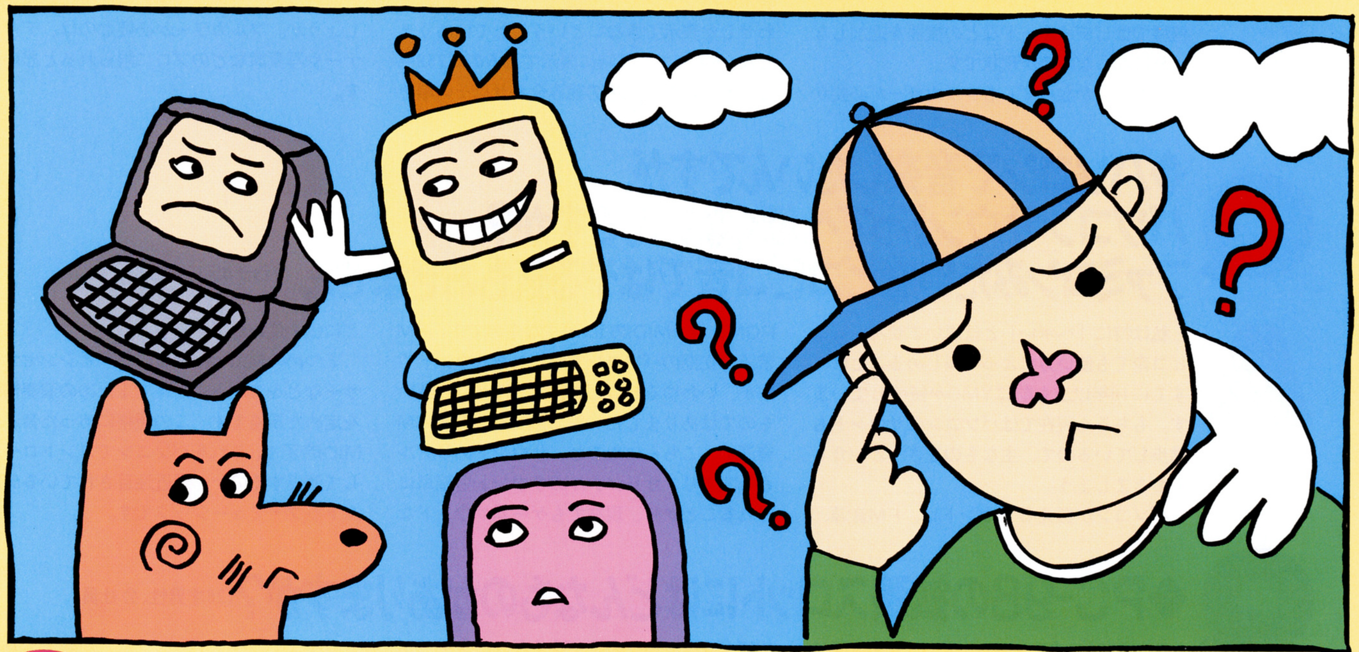
A NuBusスロットもPDSスロットも専用カードを差し込んで、Macの機能を拡張するためのものです。PDS(Processor Direct Slot)はCPUに直接接続するもので、アクセラレータなどのCPUの機能を補強するカードを差し込みます。機種間の互換性はありません。

一方、NuBusスロットはMacintosh IIで採用されたスロットです。データバスを経由して接続するもので、ビデオカード、キャプチャカード、アクセラレータカードなどさまざまなものが市販されています。NuBusに関しては機種間の互換性も高く、汎用性もあるので、カードのバリエーションも豊富です。Radiusロケットカードのように、もう一台分のMacをそっくりそのままNuBusカードに納めたものさえあります。

さらに、より高速で汎用性の高いPCIスロットを採用することをアップルは発表していますので、PCIスロットを搭載したMacが近々登場することになるでしょう。

トレンドの読み方Q&A

雑誌の広告や記事には、これからのパソコントレンドについての記事があふれている。
これを知らずに買ってしまうと、後で地団駄踏むことになるという、パソコントレンドを見極めるためのQ＆A。



Q
◆Windows95とChicagoの違いがよくわからない。(27才男性、会社員)

A

Windows95とChicagoは、基本的に同じものです。いずれもWindowsの新バージョンのことで、Chicagoは開発元であるMicrosoft社の社内での開発コードネームです。正式な製品名はWindows4.0にするかWindows95にするか議論があったそうですが、結果として後者に決まりました。どちらの呼び方を使ってもかまわないのですが、技術スノッブは開発コードであるChicagoを、一般人は製品名であるWindows95を使う傾向にあるようです。

Windows95の全貌はまだ明らかではありませんが、Windows3.1よりも格段に使いやすくなっていることはもちろん、ネットワーク機能が大幅に拡張される予定です。また、Macintosh風のインターフェースを大々的に取り入れていて、「もはやMacOSのアドバンテージはなくなった」とまで言い切る人もいます。来年早々には実際の製品が市場に出ると言われていますので、楽しみにして待ちましょう。

Q
◆System 7.5は、私のMacでも動きますか？(26才女性、会社員)

A

もちろん動きます。ただし、現在あるSystem7.5は英語版なので、Japanese Language Kitを追加しないと日本語は扱えません。現段階（11月10日）では、JLKはSystem7.5に正式対応していないので、動作には若干の問題があるようです（来年1月アップデート予定）。日本語をまったく扱わなくていいというのであれば、まったく問題なくSystem7.5はあなたのMacでも動きます。

しかし、できれば日本語版System7.5の発売まで待つのが得策かと思います。当初の予定ではQuickDraw GXの搭載など大幅な改善が望めるはずでしたが、さまざまな問題でSystem7.5の機能をフルに発揮できるかどうか、まだ全貌はみえてきません。私個人としては、漢字Talk7から切り替えるメリットをさほど感じません。どうしても今すぐ使ってみたいという人は、輸入ソフトショップや海外のショップへ直接ファックスなどで注文してみてください。日本版System7.5は、年内にアップグレードキットが出荷の予定です。

Q
◆プラグ&プレイってなんでしょうか？(21才女性、大学生)

A

プラグ＆プレイは、「入れたらすぐ使える」という意味です。今までの周辺機器は、本体の電源を切って接続して、それから本体を起動し、デバイスドライバなどの設定を行わなければならないという煩わしさがありました。このような煩わしさを取り除こうというのがプラグ＆プレイの思想です。プラグ＆プレイに対応したシステムと周辺機器が発売されれば、面倒な設定が不要で、いつでも好きなときにコードを差し込めば、即その機器が利用できるという「簡単便利な世界」が到来するわけです。現在で言ったら、電話器やファックスがプラグ＆プレイにいちばん近い感覚でしょうか。

なお、プラグ＆プレイシステムについては、Apple社とIntel社が次世代の周辺機器システムとしてそれぞれに概要を発表しはじめている段階です。プラグ＆プレイの世界が私たちの手元に本格的に来るのは、もう少し先のことなのかもしれません。



Q ◆エナジースターという言葉を最近聞きます。これはいったいどういうものでしょうか？(24才男性、公務員)

A

エナジースターは、正式には〝EnergyStar Computers Program〞と言い、アメリカ環境保護局が提唱した理念です。オフィスユースを考えてみるとわかりやすいのですが、電源が入っているにもかかわらず、使用されないまま電気だけが消費されていることがパソコンではよくあります。電力の無駄はエネルギーの無駄であり、環境破壊にもつながるという発想なのでしょう。米国政府は、本体、モニタ、プリンタの待機時消費電力が30ワット以下のものをエナジースター対応とみなし、ロゴシールを貼る省エネ政策を打ち出しました。現在、米国政府はエナジースター対応の機器しか購入できないようになっています。

各メーカーもエナジースター対応の製品を続々と発表し、さらにリサイクル可能などにしたコンピュータを「グリーンPC」として販売しはじめました。日本でも省エネ基準をパソコンに義務づけることが決定しています。これからは環境を考えずして、パソコンを使うことはできないということです。

Q ◆ポインティングデバイスにはどんなものがあるのでしょうか。(34才男性、会社員)

A

ポインティングデバイスは、その名のとおり画面上のポインタ（カーソル）を移動するための周辺機器です。その代表がおなじみのマウスですが、その他さまざまなバリエーションが生まれており、とくに小型化することが必須のノート型パソコンでは、各メーカーがいろいろなアイデアを競っています。

一般的なのが、マウスをひっくり返したようなトラックボールです。これにもいくつかバリエーションがあり、98ノートについているのは非常に小型のトラックボール、MacのPowerBookは比較的大型のトラックボールです。また、新しいPowerBookに付いているトラックパッドは、指でなぞってポインタを移動させるもので、可動部分がなく故障しにくいと言われています。さらにIBM ThinkPadには、TrackPointという独特の形態のポインティングデバイスが付いています。ノート型パソコンを選ぶときは、こうしたポインティングデバイスの使いやすさが大きなポイントになると考えてください。

Q ◆PCMCIAカードについて解説してください。(28才男性、会社員)

A

PCMCIAカードは、大雑把に言うと電子手帳などに使われているICカードのパソコン版です。Personal Computer Memory Card International Associationという団体が発表しているところから、こう呼ばれています。

電子手帳などで使われている従来のICカードは、基本的にカード型メモリでした。しかし最新のPCMCIA2.0という規格では、モデムカード、ハードディスクカード、LANカード、無線カードなどさまざまなものが使えるようになり、省スペースを基本とするノート型パソコンでは、ほとんどすべての周辺機器がカード化できる可能性も生まれてきました。モービルコンピューティングではもはや無視できない必須アイテムだと言えます。これからノート型パソコンを買おうと考えている人は、PCMCIAカードのスロットが用意されているモデルを選ぶべきでしょう。

なお、PCMCIA2.0は、日本ではJEIDA Ver.4.1と呼ばれることもあります。

Q ◆PhotoCDが読めるCD-ROMドライブと読めないCD-ROMドライブがあると聞きました。本当ですか？(24才女性、家事手伝い)

A

厳密に言えば本当です。しかし、PhotoCDが読めないCD-ROMドライブはほとんど過去のものとなりました。ひとくちにCD-ROMドライブと言っても、シングルセッション対応のものとマルチセッション対応のものがあります。マルチセッション対応のドライブですと、CD-ROMに追加で書き込みをした部分も読めますが、シングルセッション対応のドライブでは、その部分が読めません。

PhotoCDでは、CD-ROMの空き容量の許すかぎり何度でも追加で写真を焼き込むことができますが、追加で焼いた写真を読むためには、当然マルチセッション対応のドライブが必要になります。シングルセッション対応のドライブでは、最初に焼き込んだ写真だけしか読むことができないわけです。ですから、PhotoCDを十分堪能したいと思ったら、マルチセッション対応のCD-ROMドライブを選んでください。もっとも、現在発売になっているCD-ROMは、ほぼマルチセッションに対応していると考えていいと思います。

Q ◆PCIバスとはなんのこと？(19才男性、予備校生)

A

まずバスという言葉から説明しておきましょう。パソコンはCPUでさまざまな計算を行いますが、計算結果をメモリやハードディスクに出力しなければなりません。このようなパソコン内部のデータをやり取りする部分を「バス」と言います。

CPUがどんなに速く演算できても、結果を吐き出すのに時間がかかると、パソコン全体の処理能力は下がってしまいます。そこでいろいろな種類のバスが作られてきたのですが、今最も注目されているのがPCIバスです。基本的には一度に32ビット分のデータを送受信できる32ビットバスですが、PCIコントローラで制御することによりCPUの負担を減らすことができます。PCIバスが採用されたパソコンでは、同じCPUでも全体の処理能力が速くなることが期待できます。もともとはIntel社が提唱した規格ですが、Apple社をはじめとして、IBM社、Microsoft社などの主要メーカーが採用を表明していて、今後の業界標準となるのは間違いありません。

買い物の現場最前線Q&A

パソコンの知識を仕入れていざ店頭へ。
しかし、最後の最後でまた疑問が生じるもの。
買い物の手順で後悔しないため、
買ったあとのアフターケアで痛い目を見ないためのＱ＆Ａ。



Q ◆雑誌広告にある「大特価セール」「限定特価販売」というのは、本当に安いのでしょうか？(22才男性、会社員)

A

言葉だけからはなんとも言えません。一年中大特価セールをやっているようなショップも少なくないからです。言葉に惑わされず、価格をたんねんに比較して安いショップを見つけるのが基本です。

「限定販売」については、ほとんどの場合確かに安いということが言えます。ただし、ショップに出かけてみると、すでに売り切れということがほとんどではありますが。

雑誌などの広告で、価格が表示されていると、どうしても１円でも安いショップを見つけたくなる気持ちはわかりますが、パソコンは手に入れたらそれで終わりというものではありません。アフターケアも重要な要素なのです。ショップによっては、安く売る代わりにアフターケアは一切しないというポリシーの店もありますし、値段は安くなくてもアフターケアをきっちりやってくれるショップもあります。できれば目先の割引に走らず、きちんとした応対をしてくれるショップで購入したいものです。

Q ◆地方在住の私は、近くにパソコンショップがありません。通信販売を利用したいと思いますが、トラブルの心配はないでしょうか？(33才男性、自営業)

A

通信販売でのトラブルは、本当に少なくなったと言っていいでしょう。どうしても不安が拭えない人は、注文する前にクレジットカードが使えるかどうかを確認してください。カードが使えるということは、カード会社と提携をしているということで、信用度をはかるひとつの目安になります。

さらに安心を得るためには、ファックスなどで事前に見積書を取るようにしてください。見積書には、代金と納品日が記載されているはずで、後でトラブルになったときに重要な証拠になります。電話で注文して、すぐに口座振り込みするなどという軽率なことは避けましょう。

もし万が一トラブルになってしまったときは、直接交渉は早めに切り上げて、消費者センターに相談してください。消費者センターからクレームを入れてもらうと、割と簡単に解決することが多いからです。近くの消費者センターの連絡先は、地域の役所で教えてもらえます。

Q ◆パソコンを購入した後でも、パッケージの段ボールはとっておいた方がいいと言われました。じゃまなんで捨ててしまいたいんですけど、なにか不都合はありますか？(23才女性、会社員)

A

確かに段ボールはじゃまで捨ててしまいたくなりますが、できるだけ取っておくことをお勧めします。その理由は２つあります。

ひとつは修理や引っ越しなどで持ち運ぶときに使えるからです。段ボール（と中の発泡スチロール）があれば、簡単に梱包して宅配便で送ることもできます。しかし、段ボールがないと、パソコンは壊れ物なので、素人にはなかなか梱包できません。結局、膝に抱えて自動車で運ぶしかなくなってしまいます。配送業者などに梱包を依頼すると、意外に高くつくものなのです。

もうひとつは、中古ショップに売ったり、下取りに出すときにメリットになるからです。段ボールがないと、業者でも配送に手間取るので、下取り価格などが若干安くなってしまいます。

とはいっても、狭い住宅事情では大きな段ボールを取っておくスペースもばかになりません。押入れの下に引いたり、天井に貼り付けたりとみなさん工夫をしているようです。



Q ◆秋葉原や日本橋の電気街は本当に安いのでしょうか？(24才男性、会社員)

A 街の電気店より安いのは間違いありませんが、以前のような「秋葉原神話」はかなり崩れてきています。その最大の原因は、ディスカウントショップの出現でしょう。最近ではターミナル駅にある大手カメラ店などがパソコン関連品も扱っていて、秋葉原や日本橋とほぼ同額か、それ以下の価格で販売していることも少なくありません。さらに大手カメラ店では、ポイントカードといって、購入価格の何％かをカードに貯めておいて、次に買い物をしたときに割引してくれるというサービスを行っていたりしますから、店頭価格が少し高くても、総合的に判断すると安くなることもありえます。

価格面での秋葉原神話、日本橋神話はもはや崩れてしまったと言っていいでしょう。しかし、知識の豊富な店員がいて、購入の相談にのってくれたり、疑問点を説明してくれたりというのは秋葉原、日本橋ならではなので、購入するものによってカメラ店と電気街を使い分けるのが賢い消費者ではないでしょうか。

Q ◆モニタやハードディスクをセットで購入するときと、バラで購入するときと、どちらがお買い得になりますか？(29才男性、会社員)

A 一概には言えませんが、ほとんどの場合、セット購入の方が安くなります。ただし、セットについてくるモニタなどの周辺機器は、ショップ側から見れば「早めにさばいてしまいたい商品」であることは覚えておいてください。つまりたくさん在庫を抱えている周辺機器をセットにしているケースが多いのです。在庫を抱えることになる理由にはいくつかあって、売れ筋の商品を大量に仕入れて在庫になる場合もありますし、人気がなくて在庫が残っている場合もあります。前者なら問題ないのですが、後者の場合は考えものです。

セット購入を考えているときは、本体以外の機器の型番を必ず確かめるようにしましょう。これが純正品や人気商品であれば、まちがいなく買いです。しかし聞いたこともないような型番であるときは、すぐに手を出さず他の広告やショップで単独で購入したらいくらになるのかを計算してみましょう。それだけ人気のない商品ならバラで買ってもかなり安く購入できる可能性があるからです。

Q ◆パソコンは電力をかなり消費すると聞きました。家庭用の電源で問題ないですか？(22才女性、専業主婦)

A 現在のパソコンはほとんど電力を消費しませんから、家庭用電源でもまず問題ないでしょう。デスクトップ機でも消費電力は100ワットから150ワット程度です。ノート型パソコンの消費電力はさらに少なく、50ワット以下のものがほとんどですし、モニタも大型テレビよりも少ないくらいなのでこれも問題ないでしょう。

ただ気をつけていただきたいのは、Power-Macintoshのようなハイエンド機とレーザープリンタです。このような機器は本来プロ用のものなので、消費電力を抑える工夫がなされていないことが多いようです。いずれも400ワットから多いものでは600ワットぐらいの電力を必要とすることもあって、クーラーなどと同時に使うと家庭用電源ではブレーカーが落ちてしまうことも考えられます。不安な方は、電力会社に連絡して、契約アンペア数を高くすることも考えていいでしょう。ただし工事費はかかりますし、基本料金も高くなりますが。

Q ◆ユーザー登録ってどうやるのですか？しないとなにかソンしますか？(27才女性、専業主婦)

A ユーザー登録をしないと大損します。ユーザー登録はユーザーの権利でもあり、義務でもあるので必ず登録してください。ソフトウェアにしても、ハードウェアにしても、本体のパッケージの中に登録はがきが入っているはずです。これに必要事項を記入して、ポストに入れればユーザー登録できます。

ユーザー登録をしないと、アップグレードサービス、バージョンアップサービスなど、ユーザーとしての特典が受けられなくなってしまいます。また、質問などのサポートも、ユーザー登録をしていないと受けられない場合が多いのです。サポート係にダイアルしても、ユーザー登録番号や名前をたずねられ、正規ユーザーであることが確認できないと質問にも答えてもらえないのです。

万が一、登録はがきを紛失してしまったときは、あわてずメーカーに相談してみてください。あなたが正規に購入したことが証明できれば、ユーザー登録を受けつけてくれることもあります。

Q ◆パソコンが故障したときは修理に来てもらえないんでしょうか。いちいちショップに持っていくのは大変なんです。(24才男性、会社員)

A 修理の依頼は、ショップへ持ち込むのが原則です。しかし、これだと送料もばかになりませんし、自分で運ぶのも大変です。そこで最近では、出張修理や引き取りサービスを行ってくれるショップも増えてきました。ただし、これはパソコンショップすべてに共通していることではなく、あくまでも販売しているショップが独自で行っているものがほとんどです。

また、最近では一歩踏み込んで、修理の間代替機を貸し出してくれるサービスや、購入してから一定期間以内にトラブルが起きたときは、すぐに新品交換してくれるサービスなど、ユーザーの視点に立ったサービスを行ってくれるショップも増えてきました。ただ、このようなアフターケアの完備したショップに、安売りを求めることはできにくいと考えるべきです。購入するときは、やみくもに価格の安さに走るのではなく、こういうサービスの充実度も含めて総合的に価格を判断してください。





とびっきりのパソコンを探せ!

パソコンとびっきり調査隊
法林岳之+広野忠敏+戌野速太朗



98、Mac、AT互換機 各種オススメモデル徹底研究

はたしてどのパソコンを買うべきか？ 機能をとるか、デザインをとるか、はたまたコストパフォーマンスか…。買い物でハムレットのように迷うのも楽しいが、迷いすぎて判断不能になってしまうのも、これまた困りもの。パソコンをはじめて買うんだけど、ムズカシイことはわからないし、わからなくてもかまわない。いますぐ買って、その後も後悔しないオススメマシンがどれなのかを知りたい。そんなわがままなGURUの読者のため、パソコン選びにかけては右に出るものなしの歴戦の強者たちに、PC-98、Macintosh、AT互換機それぞれのなかから、とびっきりのパソコンを選んでもらった。これを読んだキミはすぐにショップへ直行だ！

これがおすすめ——すぐにWindowsできるPC-9821Xp

PC-98シリーズには、かなり豊富なバリエーションがある。はじめて買うときはもちろん、買い換えるときでも迷ってしまいそうだ。

しかし、98のラインナップのなかには、必ず主力・主流になる機種が存在する。従来のマシンで言えば、PC-9801VX、PC-9801RA21などで、'94年前半ならPC-9821Ap2/As2などがそうだ。豊富なラインナップのなかから、こうした主力・主流機種を見きわめることが「98選び」の極意である。主力・主流機種を買っておけば、動作も安定しているし、周辺機器が豊富、買い換え時の値落ちが少ないなどのメリットがある。

現在の主力モデルはなにかというと、登場したばかりのPC-9821Xa/Xt/Xn/Xp/Xs/Xe、通称『X-MATE』だ。『A-MATE』という上位モデルもあるが、今後の主力は『X-MATE』になるだろうというのが大方の予想だ。

では『X-MATE』のなかではどれだろうか。まず、上位機種のXa/Xtは、世界標準のPCIバスが、98でははじめて搭載されているのが特長。PCIバスは面倒な設定のいらないプラグ&プレイ機能、高速なデータ転送が可能などのメリットを持っている。しかし、PC-98では「初物に手を出さないほうが賢明」と言われており、次のモデルまで待ったほうが安全だ。

つぎにPentium/90MHzを搭載したXnだが、実売価格で40万円前後とまだ高いのが難点。モニタなどの周辺機器を購入することを考えれば、もう少し安い機種が望ましい。

そこで、最終的なお勧めとなるのが、PC-9821Xp/U8Wだ。これはCPUにIntel DX4/100MHzを搭載し、メモリは5.6MB、HDDは270MB、グラフィックアクセラレータはS3の最新チップVision864を標準装備している。MS-DOSとWindowsもインストール済みで、すぐにでもWindows環境が作れるというわけだ。CD-ROMドライブが欲しいときは、CD-ROM内蔵のPC-9821Xp/C8Wを選ぶより、サードパーティから発売されているファイルベイ内蔵用の倍速/4倍速ドライブを購入するほうが、コストパフォーマンスは高い。

ちなみに、Xpの下位機種のXsも、CPUがi486DX2/66MHzになっている部分以外はほぼ同等のスペックを持っており、予算が少なければ、こちらもお勧めできる。ただし、最下位機種のXeは、CPUが現状での最低ラインと言われるi486SX/33MHzなので、将来性を考えれば、避けたいところ。実売価格は、Xp/U8Wで32〜33万円程度、Xs/U7Wで25〜26万円程度が目安になるだろう。（法林岳之）



写真＝栗本 光
Photo by KURIMOTO Hikaru
協力＝東急ハンズ

各機種徹底研究❶▶PC-98シリーズ・デスクトップ型

PC-9821Xpがイチオシ



98デスクトップの世界

安価なDOS/VマシンやMacintoshの激しい追撃を受けているNECのPC-98シリーズ。しかし、実際には相変わらず約50%近いシェアを確保しており、圧倒的な強さを誇っている。自動車のトヨタ、オートバイのホンダ、ビデオカメラのソニーなども業界ナンバーワンの企業だが、パソコン業界でのNECの位置付けはそれ以上に強大なのである。パソコン業界では、すべてにおいて98が優先すると言っても過言ではない。Windows3.1の登場により、異機種間の非互換性は少なくなったが、相変わらず多くのアプリケーションソフトやゲームは98用が最初に発売され、周辺機器なども98用のものが最も充実しているというのが現状だ。

現在、NECのPC-98シリーズには、いくつかのラインナップが存在する。まず、'94年前半、98シリーズの中心と言われたのが、通称『A-MATE』『高機能MATE』などと呼ばれるPC-9821Ap2/As2だ。それぞれCPUにi486DX2/66MHz、i486SX/33MHzを搭載し、グラフィックアクセラレータや倍速CD-ROMドライブを標準で搭載したモデルなども用意されている。

この『A-MATE』シリーズの廉価版ともいえるのが、'94年前半に販売されていた通称『B-MATE』『普及型MATE』だ。『A-MATE』からMS-DOS時の256色モードやPCM音源を省いたモデルだが、現在では'94年7月に発表された通称『X-MATE』のPC-9821Xa/Xt/Xn/Xp/Xs/Xeに取って代わられている。『X-MATE』は従来の『B-MATE』で不評だった部分に改良を加え、現在では『A-MATE』をおさえ、今後の98シリーズの主流になると言われている。ただし、Xa/Xtは世界標準のPCIバスをいきなり装備するなど、『X-MATE』の中でも冒険色の強いモデルでもある。また、ほとんどのモデルにはMS-DOSとWindowsがプリインストールされている点も要チェックだ。

この他に、マルチメディアパソコンの98MULTiシリーズ、省電力型のPC-9821Esなどがあるが、拡張性や周辺機器の豊富さなどはMATEシリーズに一歩譲る。

一方、98互換機を販売するエプソンは、PC-486HA/HX/HGをメインに据えている。マルチメディアモデルのPC-486MUや同じ筐体を使ったPC-486MS2/MR2、コンパクトボディのPC-486FR/FS/FEなど、豊富なバリエーションがある。（法林岳之）

おもな機種

メーカー	機種名	CPU／クロック	メモリ	内蔵HDD	その他	標準価格
NEC	PC-9821Ce2 model T2	i486SX/25MHz	5.6MB	170MB	CD-ROMドライブ内蔵, TV内蔵モニタ付	358,000円
	PC-9821Xe/U7W	i486SX/33MHz	5.6MB	210MB		238,000円
	PC-9821Xs/C8W	i486DX2/66MHz	5.6MB	340MB	CD-ROMドライブ内蔵	398,000円
	PC-9821Xp/U8W	Intel DX4/100MHz	5.6MB	270MB		448,000円
	PC-9821Xp/C8W	Intel DX4/100MHz	5.6MB	340MB	CD-ROMドライブ内蔵	488,000円
	PC-9821Xn/C9W	Pentium/90MHz	7.6MB	540MB	CD-ROMドライブ内蔵	660,000円
	PC-9821Xa/C9W	Pentium/90MHz	7.6MB	540MB	CD-ROMドライブ内蔵	730,000円
	PC-9821Xt	Pentium/90MHz	15.6MB	1GB	CD-ROMドライブ内蔵	1,000,000円
EPSON	PC-486MS2IW	i486DX2/66MHz	5.6MB	300MB		338,000円
	PC-486MU2IWM2	i486SX/33MHz	5.6MB	300MB	CD-ROMドライブ,17インチモニタ付	398,000円
	PC-486HX2GW	i486DX2/66MHz	3.6MB	200MB		398,000円
	PC-486HA3JW	Intel DX4/100MHz	7.6MB	320MB		528,000円

これがおすすめ——拡張性の高さでPC-486NAU

いずれも似たようなスペックを持っているPC-98シリーズ／エプソンPCシリーズのノートパソコン。しかし、拡張性を重視して、エプソンのPC-486NAUをおすすめしたい。

ごく当たり前のことだが、ノートパソコンはデスクトップ機と違い、ボディがコンパクトにまとめられている。これは携帯性や省スペースというメリットを生み出すが、その反面、拡張性がなくなるというデメリットも持ち合わせている。数年前までは、Windowsならデスクトップ機、ノートパソコンはMS-DOSマシンという位置付けがなされていたが、Windows全盛の現状を考えれば、ノートパソコンでもWindowsをバリバリ使いたいところ。そこで重要になるのが拡張性だ。98アーキテクチャのノートパソコンの拡張性と言えば、本体後部の拡張コネクタがメインになるが、これは98ノートの一部のマシン（PC-9821Ndなど）を除き、すべてのモデルに装備されている。

さて、おすすめのPC-486NAUは、拡張性を最大限に重視した設計となっている。まず、CPUはi486SX/33MHz、Intel DX4/75MHz搭載モデルが用意されているが、CPUアップグレードモジュールを搭載することにより、Intel DX4/100MHzまでアップグレードできる。ちなみに、対抗機種にあたるPC-9821Ne2では、オーバードライブプロセッサを装着しても、i486DX2/50MHzまでだ。

また、PC-486NAUなら、液晶パネルも交換可能だ。デュアルSTNカラー液晶、TFTカラー液晶、モノクロ液晶の3種類が用意されており、購入後に液晶ディスプレイだけを交換できる。カラー液晶ディスプレイはいずれも16色しか表示できないが、オプションのPCMサウンドビデオカードを装備すれば、外部ディスプレイに1024×768ドット／256色まで表示できる。さらに、PCカードスロットもTypeIIIを1基装備しており、FAXモデムやフラッシュメモリ、SCSIカード、HDDなどを装備することができる。この他にも、数々のアップグレードが用意されているため、長期間にわたって使い続けることができるだろう。

また使い勝手の面でも、98ノートシリーズのトラックボールに対し、ファミコンのジョイパッド感覚で使えるクイックポインターIIを装備するなど、気配りがうかがえる。

具体的なおすすめ機種としては、i486SX/33MHz、デュアルSTNカラー液晶、240MBのHDDを装備したPC-486NAUX2HWだ。実売価格は27万円程度だが、予算に余裕があれば、さらに上位機種のPC-486NAUY2HWを狙うのも手だ。　（法林岳之）



各機種徹底研究❷▶PC-98シリーズ・ノート型

PC-486NAU これでキマリ



98ノートの世界

ノートパソコンはデスクトップ機と同等の環境を携帯できるというメリットを持っていながら、価格的に安いこともあり、初心者向けの入門機として注目されていた時期があった。しかし、最近では安価なデスクトップ機も数多く登場したため、ノートパソコン本来の携帯性や省スペース性を重視したマシンが増えつつある。PC-98シリーズのコンパクトマシンは、その昔、ラップトップ機などと呼ばれていたが、初代98ノート（PC-9801N）の登場により、ノートパソコンという新しいジャンルが定着し、現在に至っている。性能的には、重量が約3kg、バッテリーで約3時間程度連続運用できることがひとつの目安だ。

現在、98アーキテクチャのノートパソコンとしては、NECの98ノートシリーズと、エプソンの98互換機であるPC-486ノートシリーズがある。

NECの98ノートシリーズは、HDDの内蔵、CPUの高速化、内部増設メモリの追加などの改良が施され、最近ではデスクトップ機のPC-9821シリーズの機能を取り込んだシリーズも登場している。

98ノートシリーズで特筆すべきことは、デスクトップ機同様、いろいろな部分で旧モデルとの互換性を保っている点だ。たとえば、本体後部にある98ノート拡張コネクタの仕様もそのひとつ。ここにはSCSIインターフェースやドッキングユニットなどが装着できるのだが、初代98ノート以降、基本的に仕様を変更していない。また、内蔵HDDパックの形状も、はじめてHDDを内蔵した3代目のPC-9801NS/Eから変更していない。つまり、98ノートから98ノートへ買い換えても内蔵HDDや拡張コネクタに接続する周辺機器を買い換えなくて済むというわけだ。

ところで、98ノートシリーズには、さらにコンパクトなサブノートモデル98ノートライトシリーズもあるが、DOS/Vマシンのサブノートよりスペック的にやや見劣りするため、次期モデルの登場が望まれている。

一方のエプソンPCノートシリーズは、PC-386ノートA／ノートWの2つのラインナップを持っていたが、現在ではPC-486ノートシリーズに統合されている。PC-486ノートシリーズは、内蔵HDDパックの形状こそ違うが、拡張コネクタの仕様は98ノートと同じものを採用している。また、液晶ディスプレイの交換やCPUのアップグレードができるなど、98ノート以上に拡張性が高められているのが特長だ。

（法林岳之）

おもな機種

メーカー	機種名	CPU/クロック	メモリ	内蔵HDD	その他	標準価格
EPSON	PC-486NAU2	i486SX/33MHZ	3.6MB	なし	STNモノクロ8階調	238,000円
	PC-486NAU2HW	i486SX/33MHz	5.6MB	240MB	STNモノクロ8階調	308,000円
	PC-486NAUX2HW	i486SX/33MHz	5.6MB	240MB	DSTNカラー16色	368,000円
	PC-486NAUY2HW	Intel DX4/75MHz	5.6MB	240MB	DSTNカラー16色	458,000円
	PC-486NAUC2HW	i486SX/33MHz	5.6MB	240MB	TFTカラー16色	538,000円
	PC-486NAUD2JW	Intel DX4/75MHz	5.6MB	320MB	TFTカラー16色	658,000円
NEC	PC-9801NS/A	i486SX/33MHz	640KB+RAM DISK 1.25MB	なし	STNモノクロ8階調	248,000円
	PC-9801NS/A340	i486SX/33MHz	640KB+RAM DISK 1.25MB	340MB	STNモノクロ8階調	398,000円
	PC-9821Nd/340W	i486SX/33MHz	5.6MB	340MB	DSTNカラー256色	468,000円
	PC-9821Ne2/340W	i486SX/33MHz	5.6MB	340MB	TFTカラー256色	578,000円
	PC-9821Ns/540W	i486DX2/50MHz	5.6MB+RAM DISK 1.25MB	540MB	TFTカラー256色	780,000円
	PC-9821Np/810W	Intel DX4/75MHz	5.6MB+RAM DISK 1.25MB	810MB	TFTフルカラー	940,000円

これがおすすめ――プラス4万円でテレビも。LC630

デスクトップ型のMacでのボクのおすすめは、9月に発表されたばかりのLC630だ。

その理由は、第一に、68000系のCPUを使ったMacでも、まだ十分やっていけるという点。PowerPCの出現で、68000系のCPUはもうダメなんていう人がいるけど、現状ではPower Macのパワーを活かせるソフト(Power Application)の数が、普通の人が使う分野(ワープロ、表計算、データベース、統合ソフトなど)ではまだ少ないし、あっても劇的なスピードアップが見られないものが多い。スペックを追いかけるのも決して悪いことではないが、MacだってPC-98やAT互換機と同じパソコン(＝道具)なのだから、良くも悪くも要は「使ってナンボ」である。高い買い物をして同じ程度のことしかできないならば、安くて同じことができればそれで良いのだ。

もし将来PowerPCが必要になっても、アップグレードカードを供給する計画が用意されているので、何も心配しなくてよい。

第二は、「安さ」に注目したい。メモリ8MB、ハードディスク250MB、CD-ROMドライブという構成で実売価格は18万～20万。それにLC630と同時に発表された〝Apple マルチスキャン15ディスプレイ〟に、キーボードを組み合わせても30万以下で一式揃ってしまう(ちなみにこのモニタは、安いのに映像はシャープで見やすく、スピーカーも内蔵しているのだ)。

そして第三のポイントは、いま流行りの「テレビが見られるパソコン」ということだ。ただしテレビを見るためには、オプションの〝Apple TV/ビデオシステム〟を追加しなければならない。しかし、4万円追加しても買う価値は十分ある。こいつを追加しておけば、リモコンでテレビ／CDの制御はおろか、Mac本体の電源のオン／オフまでできてしまう。

また、付属のソフトで簡単に画面をキャプチャーしたり、キャプチャーした画面をQuickTimeムービーにすることだって御茶の子さいさいだ。他社のような、(とりあえず)テレビも見られるパソコンよりも自慢できるぞ。

というわけで、今買うならLC630がおすすめである。いま買っておけば、そのまま使い続けて1年、PowerPCへアップグレードしてさらに1年は使い続けられるはずだ。その頃になれば、きっといまよりもっとよいMacが売られていて、ちょうど買い換えの時期になっていることだろう。 (戌野速太朗)



各機種徹底研究③▶Mac・デスクトップ型

LC630でノープロブレム



Macデスクトップの世界

月日がたつのははやいもので、Macが発売されてから今年で10年になる。その10年間、Macは一貫したユーザーインターフェースと使いやすさ、そして独特のカリスマ性により、世界中の熱狂的な信者に支持され、また、その信者によって広く布教されてきた。

発売当初は、Macを買うといえば1機種しか選択肢はなかったが、現在ではシリーズが増え、予算と使い方によって自分にマッチしたMacが選べるようになった。だが、選ぶのは難しい。

Macを選ぶときに最低限チェックしておきたいのが、メモリとハードディスクの容量、そしてCD-ROMドライブの有無だ。システムソフトウェアが高機能化された今では、より大きなメモリ、ハードディスクが要求されている。また、システムソフトウェアがCD-ROMで供給されることもあり、CD-ROMドライブも必需品となっている。必要最低限と思われるメモリおよびハードディスクの容量は、それぞれ8MB、160MBである。もちろんこれよりも多いに越したことはない。

そして、購入時の機種選定で気になるのがPowerPCを搭載したMac(Power Macintosh)の存在。PowerPCに最適化されたアプリケーションを使えば、今のMacの数倍の速さで動作するというのは、非常に魅力的だ。だが、PowerPCに最適化されたアプリはまだ少ないうえ、スピードアップをあまり望めない分野もある。そして何よりも、システムソフトウェアがまだ完全にPowerPCに最適化されていない。またPowerMacintosh自体が、今後どのようなスペックとなるか不透明な部分もある。PowerMacを買う場合は、自分のやりたいことがどの程度スピードアップされたかを確認してからにしたほうがよいだろう。PowerMacにするはっきりした理由がないかぎり、現行の68030や68LC040を使ったMacがおすすめだ。なかでも68LC040を搭載したMacであれば、必要に応じてPowerPCへのアップグレードが用意されているので、本当にPowerPCのパワーが必要になっても十分対応できる。

また一部の機種(LC520、LC575など)には"Performa"という名の、インストールされたソフトと、1年間は修理のためのピックアップデリバリーがタダというユーザーサポートがくっついたシリーズもある。

選択肢が多く悩みも多いが、自分のやりたいことを見つめれば、必ず最適の1台が見つかるはずだ。頑張って悩んでくれたまえ。

(戌野速太朗)

おもな機種

メーカー	機種名	CPU/クロック	メモリ	内蔵HDD	その他	標準価格
Apple	Macintosh LC630	68LC040/33MHz	8MB	250MB	CD-ROMドライブ内蔵	258,000円
	Macintosh LC520	68030/25MHz	8MB	160MB	CD-ROMドライブ内蔵	348,000円
	Macintosh LC575	68LC040/33MHz	8MB	320MB	CD-ROMドライブ内蔵	398,000円
	Macintosh Performa 575	68LC040/33MHz	8MB	160MB	CD-ROMドライブ内蔵	オープンプライス
	PowerMacintosh 6100/60AV	PowerPC 601/60MHz	16MB	250MB	CD-ROMドライブ内蔵	448,000円
	PowerMacintosh 7100/66AV	PowerPC 601/66MHz	16MB	500MB	CD-ROMドライブ内蔵	588,000円

これがおすすめ——PowerBook Duo 280でドッキング

BlackBird(PowerBook500シリーズ)に続き、PowerBook150といった廉価版の登場でノートタイプが再び活気づいてきた。数あるPowerBookのなかから選んだボクのおすすめは、PowerBook Duo280である。なぜDuo280がよいかというと、贅肉(外部ポートやフロッピードライブ)を削ぎ落としたぶん軽く、68LC040を使っているので速く、しかも液晶が見やすくなったからだ。軽ければ持ち歩くのも楽だし、速ければそれだけストレスなく作業ができる。それにPowerBook500シリーズと同様、PowerPCへのアップグレードが約束されていることも忘れてはいけない。

ところで、Duoシリーズを使ううえでどうしても避けて通れないのが、ドッキング用製品(Dock)をどうするかということだ。フロッピードライブを使うには、Dockか、miniDock、あるいは最低でもフロッピーアダプタが必要になる。そのうえ、他のMacとSCSI接続する場合もDockが必要だ。こう書くと「Duoは面倒」というマイナスイメージを与えてしまいそうだが、逆にそこがDuoのアドバンテージであるとボクは考えている。なぜならば、人によってはモニタポートだけあればよい場合もあれば、SCSIポートだけという場合もあるように、自分の目的を満たすのに必要なポートや機能を持ったDockだけを揃えればよいからなのだ。外に出かけるとき、DockからDuo本体を外すだけで邪魔なケーブルも一緒に外れてくれるのも、スッキリしていて使いよい。ちなみに現在売られているドッキング用製品を整理すると、Duoをスロットに差し込むだけでデスクトップMacとして利用できるようにする〝Duo Dock〞、PowerBookと同等の外部ポートを提供する〝Duo miniDock〞、外付けフロッピードライブポートを提供する〝Duoフロッピーアダプタ〞、Mac用のモニタを繋げるための〝Color Micro-Dock〞、ハードディスクやCD-ROMドライブといったSCSIデバイスを繋げるための〝SCSI Dock〞などがある。とりあえずいろいろやってみたいのであればminiDockを、目的が明確ならば単機能のものを選ぶとよいだろう。とくに後者は、価格も安く形もコンパクトだ。

というわけで、どうしても本体以外にも若干出費が必要なDuoだが、携帯性を考えればDuoの右に出るMacはない。携帯性を取るか拡張性を取るかは、なかなか難しい問題だが。

(戌野速太朗)



各機種徹底研究④▶Mac・ノート型

PowerBook Duo 280でOK



Macノートの世界

NECのPC-98シリーズにノートパソコンがあるように、もちろんMacintoshにもノートパソコンはある。PowerBookがそれだ。

PowerBookは、Macの使いやすさをコンパクトなA4サイズに納めてどこにでも持って行けることで、発表以来多くのMacユーザーに支持されている。しかし、MS-DOS系のノートパソコンでThinkPad 230Csのような A5ファイル・サイズが主流となっているのを見ると、A4サイズのPowerBookはどうしても見劣りしてしまいがちだ。だがAppleは、あくまでもユーザーの使い勝手を重視している結果であって、けっして小型化する技術がないわけではない(と思いたい)。

さて、そのPowerBookだが、現在店頭で売られているものは、大きくふたつの流れに別けることができる。ひとつはデスクトップ型のMacと同等の外部ポートとフロッピードライブを本体に持つPowerBookシリーズ。そしてもうひとつは、モデム/プリンタ用の外部ポートだけを持つPowerBook Duoシリーズだ(フロッピードライブは内蔵していない)。

前者は、それ1台だけ購入すれば、それ以外に必要となるものはとくにないが、重装備なぶん、どうしても重くなってしまう。逆に後者は、モデム/プリンタ以外のポートおよびフロッピードライブが必要な場合は別売りのドッキング用製品(Dock)を買わなければならないため、どうしても高価な買い物となってしまいがちだ。だが、余分な贅肉を削ぎ落としたスリムで軽いボディは、持ち歩くにはありがたい。実際に使ってみて「こんなハズではなかった」と後悔しないためにも、自分の使い方をよく考えたうえでどちらにするか決めたほうがよい。

あと、実際に搭載されているメモリ容量と、最大メモリ容量もチェックしておきたい。なぜかというと、PowerBookではメモリを多く積んでいればそれだけ大きな容量のRAM Diskが作っておけるからだ。RAM Diskがあるのとないのとでは、使い勝手どころかバッテリーの持続時間にも大きく影響してくる。というわけで、メモリは標準で12MB、最低でも8MBはほしい。

また液晶は、カラー/モノクロの違いのほかにも、採用されている表示方式の違いで画面の見やすさがかなり違ってくる。一般に、上位機種になるほど見やすい液晶を使っているようだ。これも機種選びの参考にするとよいだろう。 (戌野速太朗)

おもな機種

メーカー	機種名	CPU/クロック	メモリ	内蔵HDD	その他	標準価格
Apple	PowerBook 150	68030/33MHz	8MB	120MB	STNモノクロ4階調	258,000円
	PowerBook 520	68LC040/25MHz	8MB	160MB	STNモノクロ16階調	318,000円
	PowerBook 520c	68LC040/25MHz	8MB	160MB	STNカラー256色	438,000円
	PowerBook 540c	68LC040/33MHz	12MB	320MB	TFTカラー256色	698,000円
	PowerBook Duo 280	68LC040/33MHz	12MB	240MB	TFTモノクロ16階調 モデム内蔵	418,000円
	PowerBook Duo 280c	68LC040/33MHz	12MB	240MB	TFTカラー32000色 モデム内蔵	548,000円

●Duo用オプション:Duo Dock 230MB HD/VRAM/FPU付き(200,000円)/Duo MiniDock(90,000円)/Duo フロッピーアダプタ(24,000円)/HDI-20フロッピーディスクドライブ(40,000円)

各機種徹底研究⑤▶AT互換機・デスクトップ型

PS/V Master バッチリ



ATデスクトップの世界

パソコンといえば98という時代は、もはや過去のこととなってしまっている。98やその互換機じゃなければ日本語環境がまともに揃わないなんてのも、すでに過去のことだ。

そこで注目したいのが、AT互換機と呼ばれるパソコンだ。AT互換機とは、IBM-PC/ATとその互換機のことで、DOS/Vと呼ばれるOSが動作する。

ちょっと前までは、DOS/Vは難しいだの、ちゃんと日本語が使えるアプリケーションが少ないから初心者には向かないだのといった理由で、AT互換機はマニア御用達のパソコンであるという風潮があったが、そんな話ももう過去のコトだ。Windowsがインストールされている AT互換機も売られているし、ちゃんと日本語が使えるアプリケーションソフトも揃っている。そしてなによりも、最先端のスペックを持つマシンが安価で売られているのが魅力だ。

98に代表される国産のパソコンでは、どうしても海外製のパソコンに一歩遅れを取ってしまいがちだが、AT互換機の生まれはパソコンのメッカ、アメリカなので、新しいCPUやテクノロジーが真っ先に採用されるというメリットを持っている。たとえば、PCIバスを搭載するパソコンや、Intel DX4やPentium搭載のパソコンも、国産パソコンよりは早く発売されている。もちろん、これらの最先端のスペックを持つマシンは、同じスペックの国産パソコンにくらべてはるかに安い価格で手にいれることができるのだ。

さらに、AT互換機はもともとが外国製パソコンで、そこにDOS/VとよばれるOSを搭載して日本語の表示を行っているため、英語と日本語の両方の環境で使うことができる。いわばバイリンパソコンというワケだ。そのため日本語のアプリケーションを使うこともできるし、海外製のソフトをそのまま使うこともできる。もちろん国産パソコンに移植されていない最先端の海外製ゲームをプレイすることもできる。ゲーマーにとってこれほど嬉しいものはない。人の持っていないゲームをやって自慢するというワザが使えるのも、AT互換機ならではのことだ。

また、最近流行りのWindows環境でも、互換機が一歩先んじている。もともとWindowsはAT互換機用に作られたOSなので、DOS/Vとは極めて相性がよい。そのため、Windows用のソフトには、AT互換機では動作が保証されるが、他のパソコンでは動作が保証されないってのもあるのだ。　　　　（広野忠敏）

おもな機種

メーカー	製品名	CPU/クロック	メモリ	内蔵HDD	その他	価格
IBM	PS/V Entry 2406-WWC	i486SX/33MHz	8MB	340MB		288,000円
	PS/V Vision 2408-NTB	IBM486SLC2/66MHz	8MB	212MB	CD-ROMドライブ、TVチューナー体型	378,000円
	PS/V Master 2411-RME	Intel DX4/100MHz	8MB	720MB	CD-ROMドライブ内蔵	553,000円
アイワ	infortainment PC-MT433	i486SX/33MHz	8MB	273MB	CD-ROMドライブ、TVチューナー体型	310,000円
エプソンダイレクト	Endeavor AT-6000	Pentium/90MHz	8MB	なし〜		298,000円〜
オリベッティ	M4-482 MODULO	Pentium/60MHz	8MB	170MB〜		470,000円〜
	M4-484S MODULO	Intel DX4/100MHz	8MB	210MB〜		375,000円〜
COMPAQ	ProLinea 4/33SCDS	i486SX/33MHz	4MB	200MB	CD-ROMドライブ内蔵	238,000円
	ProLineaMT 4/66CDS	i486DX2/66MHz	4MB	340MB	CD-ROMドライブ内蔵	378,000円〜
DELL	OptiPlex 4100/MXV	Intel DX4/100MHz	8MB	210MB		276,000円
富士通	FM V-433D2 340C	i486SX/33MHz	8MB	340MB	CD-ROMドライブ内蔵	316,000円
松下	Woody	i486SX/33MHz	8MB	340MB	CD-ROMドライブ、TVチューナー体型	398,000円



これがおすすめ――バランスと拡張性でPS/V Master

日本IBMのPS/Vシリーズには、エントリーモデルのPS/V Entryやテレビ付きのPS/V Visionなど、魅力的なモデルが多い。そのなかでもPS/V Masterは、CPUにIntel DX4/100MHzを搭載したPS/Vシリーズのハイエンドモデルだ。

DX4は、本体に供給されるクロックの3倍の速度で動作するCPUで、486シリーズではトップレベルの性能を持つものだ。実際にi486 DX2/66MHzのマシンとくらべてみても、あきらかに高速化されているのが実感できる。高速なのはCPUだけではない。標準で搭載されているグラフィックアクセラレータも、S3社の864チップを搭載したものが採用されているため、描画も高速だ。CPUは速いけどグラフィックの性能が劣るマシンや、逆にCPUの速度はいまいちだけどグラフィック描画はバカっぱや、なんてバランスの取れていないマシンも世の中にはあるが、その点PS/V Masterは、CPUの性能とグラフィック性能が、高次元でバランスが取れている。

スピードだけではなく、グラフィックの表示も完璧だ。最大1280×1024ドットまでの解像度で使うことができ、1280×1024ドットで256色、1024×768ドットで約6万5千色の表示が可能だ。

このようにPS/V Masterは、CPU速度、グラフィック性能ともにバランスが取れているため、とくにWindows環境で快適に使うことができるのだ。

パソコンを選ぶときは、パフォーマンスも大事だが、拡張性も重要なポイントだ。その点でも、PS/V Masterには及第点を与えることができる。本体には、ISAバスの他にVL(Vesa Local)バスのスロットも用意されているため、AT互換機用のカードのほとんどを利用することが可能だ。また、CD-ROMドライブやSoundBlasterを搭載しているモデルもあるため、買ったその日に遊ぶこともできる。

さらに特筆すべきは、PCIバスへのアップグレードも可能な点だ。PCIバスとは、新しい32bitローカルバスの規格で、高速なデータ転送が可能であり、かつ面倒なハードウェアの設定が不要だということで、最近にわかに脚光を浴びているバス規格だ。このPCIバスは、将来的にはMacにも採用され、ゆくゆくはパソコンのハードウェア規格がPCI一色になるのではないかと期待されている。PS/V Masterなら、近い将来PCIバス用のカードがたくさん出てきても、アップグレードさえすれば安心して使うことができる。(広野忠敏)



各機種徹底研究⑥▶AT互換機・ノート型



NT-500はとってもイカす

ATのノートの世界

現在市場に出回っているノートパソコンには、大きくわけて2種類の方向性がある。

ひとつは、ノートパソコン本来の、省スペースおよび携帯性を全面に打ち出している「サブノート」と呼ばれるパソコン。もうひとつは、ノートパソコンでありながらデスクトップ機並みの拡張性を持つパソコンだ。

そのふたつの方向性のなかでも、最近のノート型のAT互換機は、日本IBMのThinkPad 230Csや、コンパックのCONTURA AEROに代表されるように、コンパクトでいつでも気軽に持ち歩けるサブノートサイズのものが注目されている。

これらのサブノートパソコンは、ほとんどのものがA4以下のサイズで、重さも2.5kg以下、バッテリ駆動時間は3～4時間程度と、携帯するための条件を十分満たしている。

性能面でも、デスクトップ機とくらべて見劣りしないものが多く、Intel DX4/100MHzを搭載しているものや、ドッキングユニットと併用することでノートパソコンの弱点といわれる拡張性の低さをカバーできるもの、PCM音源やSCSIインターフェースなどを搭載しているものなど、魅力的なスペックのノートパソコンが多い。

どのノートパソコンも、Windowsの使用を前提としているため、マウスに代わるポインティングデバイスが標準で搭載されている。たいていのノートパソコンではトラックボールが採用されているが、IBMのトラックポイントのように少々変わったものも存在する。

また、カラー液晶を搭載している安価なパソコンが多いのも、AT互換機のノートの特徴だ。カラー液晶も、Windowsでの使用を前提として作られているものが多いため、たいていのノートパソコンでは256色の発色が可能になっている。また、外部CRTを接続することで、800×600～1024×768ドットの表示をすることができるものがほとんどだ。

AT互換機には、日本IBMやコンパック、エプソンなどのメーカー系パソコンと、ショップで独自に輸入して販売しているショップブランドのマシンがあるが、購入するときはメーカー系パソコンを選択したほうがよい。ノートパソコンは、携帯されたり、劣悪な環境下で使われることが多いため、デスクトップ機に比べてトラブルが多くなると予想される。サポートがしっかりしているメーカー系のパソコンを選択したほうがよいだろう。

（広野忠敏）

おもな機種

メーカー	製品名	CPU/クロック	メモリ	内蔵HDD	その他	価格
IBM	ThinkPad230Cs 2432-YB7	i486SX/33MHz	4MB	260MB	DSTNカラー256色	398,000円
	ThinkPad340 2610-0JC	IBM486SLC2/50MHz	4MB	125MB	STNモノクロ64階調	218,000円
エプソンダイレクト	Endeavor NT-500	i486SX/33MHZ～Intel DX4/75MHz	4MB	130MB～	STNモノクロ64階調～DSTNカラー256色	198,000円～
オリベッティ	ECHOS43C	i486SX/33MHz	4MB	170MB	DSTNカラー256色	368,000円
	PHIROS46 COLOR	i486DX2/50MHz	4MB	240MB	DSTNカラー256色	498,000円
COMPAQ	CONTURA AERO 4/33C	i486SX/33MHz	4MB	170MB	STNカラー16色	328,000円～
SOTEC	WinBook SC	i486SX/33MHz	4MB	260MB	DSTNカラー256色	328,000円
DELL	Latitude XP 4100CX	Intel DX4/100MHz	8MB	524MB	TFTカラー256色	598,000円
東芝	DynaBook EZVision	i486SX/25MHz	4MB	なし	STNモノクロ64階調	278,000円
	DynaBook SS433	i486SX/33MHz	4MB	250MB	STNカラー16色	398,000円
富士通	FMV-433N/S1 model 340	i486SX/33MHz	4MB	340MB	DSTNカラー256色	428,000円
松下電器	PRONOTE JET	i486SX/33MHz～Intel DX4/75MHz	4MB	なし～450MB	STNモノクロ64階調～TFTカラー256色	268,000円～



これがおすすめ――拡張できるノート、NT-500

デスクトップパソコンだけではなく、ノートパソコンでも快適にWindowsを使いたい。そんな要求に答えてくれるのが、エプソンダイレクトのEndeavor NT-500だ。

Endeavor NT-500は、数あるノート型のAT互換機のなかでも、性能、使いやすさともにトップレベルのマシンであると言ってよいデキだ。外見は、Macintosh PowerBookによく似たレイアウトになっている。つまり、キーボードの下中央にトラックボールとボタンが配置されているため、タイピング中でも、親指でトラックボールを使うことができる。最近のノートパソコンでは、Windowsを搭載しているモデルが多いので、トラックボールやボタンなどの「ポインティングデバイス」の使いやすさも重要な選択ポイントとなる。ポインティングデバイスは、軽視されすぎじゃないのと思えるような使いにくい位置にあるものが多いが、Endeavor NT-500ならば、それがちょうどよい位置にあるのだ。

Windowsの実行で重要なキーポイントとなるのが、CPUスペックと表示能力だ。Endeavor NT-500のラインナップには、Intel DX4/75MHzとi486SX/33MHzの2つが揃っている。また、液晶パネルは、モノクロ64階調STNと、カラー256色デュアルSTNが用意されている。液晶ディスプレイは、それぞれ9.5インチの大きさで、最大640×480ドットまで表示することができる。デュアルSTN液晶は、視認性や発色もかなりよい。とくに、Windowsをメインに使用するならば、こちらをチョイスしたい。さらに、外部CRTを接続すれば、1024×768ドット256色の表示が可能だ。

ノートパソコンは、携帯性を向上させるために、拡張性が犠牲になるというケースも多いが、Endeavor NT-500では、拡張されることも十分に考えられているので心配はいらない。本体には、PCカードTypeIIIスロットが1基装備されている。そのため、PCカードを使った拡張が可能なのだ。

さらに、別売のドッキングステーションは、ISAバス4スロット、5.25インチドライブベイを1本、3.5インチドライブベイを1本と、ステレオスピーカーを搭載している。これを併用すれば、デスクトップパソコンに劣らない拡張性を手に入れることができる。自宅ではドッキングステーションとともにマルチメディア、外では「おでかけWindows」する。そんな使いかたができるのも、Endeavor NT-500ならではのことだ。　（広野忠敏）

各機種徹底研究⑦▶FM TOWNS

Fresh・TVだ



Windowsマシンにも、ワープロOASYSにもなる

富士通のことを、私個人は「栄光なき覇者」と密かに呼んでいる。素晴らしい技術力、先を見通すチカラ、常にチャレンジする決断力。これだけの資質を備えている企業は、日本どころか世界を見渡してもなかなかないはずだ。しかし、チャレンジの結果は、つねに他社にさらわれてしまうのである。それでも富士通ファンにとっては、「パソコンは富士通」なのだ。

FM TOWNSシリーズも、富士通の大胆なチャレンジのたまものだ。「マルチメディアパソコンには、CD-ROMドライブが必須である」という意識を初めて問うたのは、富士通である。低価格&オールインワンのマルチメディアプレーヤーというコンセプトを世に送り出したのも富士通だ。この富士通が今、総力をあげて売り出し中なのが、Fresh・TVなのだ。

Fresh・TVは、マルチメディアプレーヤーの名にふさわしく、テレビとしても使えるパソコンだ。しかも、この「パソコン」というのがただものではない。Windows3.1を標準添付しているうえに、Towns独自のTownsOSも走る。もちろん、MS-DOS 6.2も走る。さらには、OASYS/Winが標準添付されているので、ワープロOASYSにも早変わりできるのだ。とことん八方美人なのである。



さて、気になるのは対応ソフトだが、心配はご無用。Windows対応のソフトなら問題ないし、さらにTownsオリジナルのソフトが900本以上リリースされている。とくに、ゲームソフトとビデオ編集ソフトには低価格で優れたものがリリースされているので、ゲーム&ビデオを楽しみたい人は、選択肢のひとつに入れておこう。また、Windowsマシンの購入を考えている人も、Townsに色目を使っていいはずだ。スペック的にもi486SX/33MHz、256色VGAモニタと十分である。

残念なのは、Townsユーザーはいまのところ少数派なので、その喜びをなかなか人と分かち合えないこと。そんなときは、Townsカラオケで『My Way』でも歌ってすごそう。

（牧野武文）

おもな機種

メーカー	製品名	CPU/クロック	メモリ	内蔵HDD	その他	価格
富士通	FM TOWNS II モデルMX 340W	i486DX2/66MHz	8MB	340MB	CD-ROMドライブ内蔵	498,000円
	FM TOWNS II モデルMA 170W	i486SX/33MHz	8MB	170MB	CD-ROMドライブ内蔵	368,000円
	FM TOWNS II モデルMF 170W	i486SX/33MHz	6MB	170MB	CD-ROMドライブ内蔵	288,000円
	FM TOWNS II モデルME 20	i486SX/25MHz	2MB	なし	CD-ROMドライブ内蔵	198,000円
	FM TOWNS II Fresh	i486SX/33MHz	6MB	170MB	CD-ROMドライブ内蔵、14インチモニタ付属	368,000円
	FM TOWNS II Fresh・TV	i486SX/33MHz	6MB	170MB	CD-ROMドライブ、TVチューナ内蔵、14インチモニタ付属	388,000円

各機種徹底研究⑧▶いろいろ

ピリリと辛い、個性派機種たち



ちっちゃいがスゴイ HP 200LX

HP200LXにかぎって、代わりになるものなど存在しない。なにせ、手のひらサイズで312gなのに、DOSやLotus 1-2-3が走ってしまうのだ。この存在を知ってしまうと、今までのノートパソコンは何だったのかと思うこと請け合いである。電池のもちにしても、関数電卓で鳴らしたHPならではの省電力性と機能凝縮の恩恵で、アルカリ単3乾電池2本で約2カ月動作する。ハイテク小物が得意なはずの日本人もビックリの動作時間だ。

もちろんDOSが走る以上、ソフトウェアによる日本語化もOKだ。FEPはWXII、エディタはVZが動作可能。フリーウェアも、LHAやFD、KTXが動くのだ。これひとつで文書作成、通信、ファイル管理までできてしまう。

前身である100LXが発売されて1年たらずで「余りの好評さゆえに」モデルチェンジされたほど支持されている200LX。定価は、2MBモデルで99,800円だ。誰もが持ち歩くようになる前に買いたい。　　　　（及川　毅）

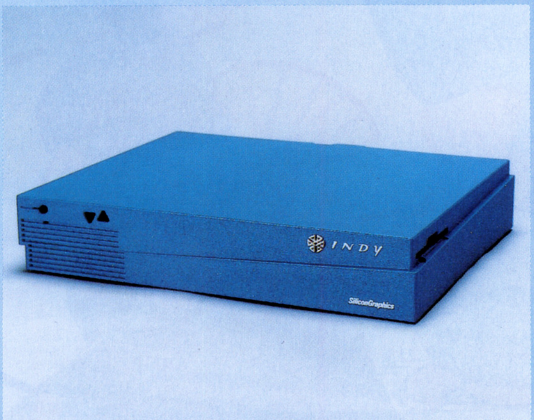


未来はあるか AMIGA

まず「未来」である。たしかに「未だ来ない」ゆえに「未来」という字義通りの意味は理解できる。また「未来」には「夢の実現」「技術の進歩」「利便性の向上」といった「近代合理主義社会における『実用』」のイメージがつきまとってきた事実は名ビデオ〝To New Horizons〟(*)で確認するまでもない。

さてAMIGAに目を転じると、ビデオへの吐き出しなどで一日の長はあるが、あくまでも80年代アーキテクチャマシンであり、販売会社の倒産などで90年代マシン化も中止されたまま。な、ものでいわゆる「未来」とはほとんど関係ない次元にあり、エミュレータを動かす、新作DEMOをみる、ハードがトラブる等、電源を入れたAMIGAは『実用』とは異なる次元の感覚増幅装置として多くの場合機能する。親しくなるには苦労が絶えず、親しくなったら裏切られる。しかし、しょうがないやとつきあえる魅力。「さて、あなたの『未来』はどこですか？」　　　（吉村信／Venezia）

AMIGA4000は、秋葉原の「コモエスタ・アミーガ！」（☎03-5295-1050）で40万円代前半で売られている。
（*）〝To New Horizons〟（VOYGERからMac用CD-ROMとしても発売）



もっとあるぞ

シャープのX68000シリーズは、国産初のGUIと最大65,536色の表示性能をひっさげて、衝撃的に登場した。今でもCGやアクションゲームを中心に、ホビーユーザーに支えられ、かの『ストII』も移植されている。黒い外装のゆえ、一部では「日本のNeXT」と呼ばれ、UNIXのX-Windowも移植されているあたり、マシンの実力を物語っている。

日本シリコングラフィックスのINDY（写真）は、グラフィック系に超強いパソコン。パソコンとはいっても、UNIXマシンなので、並のものとは育ちが違う。業務用途にも耐えられる。定価886,000円と高価だが、買ってしまえば自慢合戦では負け知らずだ。

シャープの書院パソコンという日本語ワープロ機にDOS/Vパソコンの機能を付加したものもある。富士通のOASYS48Vも同様だ。ワープロ機と思わせておきながら、DOSやWindowsをバリバリと処理するその姿は、とてもおしゃれだ。　　　　（及川　毅）

激論！どうするパソコン選び

パソコンを買いたい！　そう決意したけれど、どの機種を買おうか悩んでいる…。そんなあなたにお届けするのが、この企画。パソコンについては一言も二言もある５人の有名・無名人が、「どの機種が買いか」というテーマに沿ってホットな議論を展開する、「ユーザーオリエンテッドな」特別座談会だ！



村上俊二
マニア
「え〜、パソコンっスかぁ？　やっぱAMIGAっスよねー。Macもいいけど、ソフト高いし遅いし。PowerMacはやっぱほしいけど。あー、でもゲームならやっぱ98かなあ？」などと、ひたすら役に立たないことを言う。

ミス更衣室・南田ひかる
花のOL・2年生
「や〜ねえ、もう。パソコンっていったらMacしかないじゃないの！　OLのアタシが言うんだから間違いないわよ。いやよアタシ、98だのATだのってダサ〜いパソコン使うのは！」などと言いつつ、唯我独尊的にMacを推す。

小林稔一
現場のサラリーマン
「みなさんのおっしゃることはそのとおりだと思いますが、現場は違うんですよね。わかります？　通用しないんですよ、現場では。だいたい現場というのはですよ…」などと言いつつ、ひたむきに98を推す。

西邊　止
評論家
「あなたがたは、どのパソコンが買いかなどとおっしゃいますが、いい大人がそんなチャイルディッシュな問題で頭を悩ますこと自体が、実は大問題なんですね」などと言いつつ、国際問題とからめてAT互換機を推す。

大島　蛹
映画監督
「たしかにあなたの言うことも大切なんですが、そういう発想でいるから日本人は、いつまでたっても世界に通用しないんですよ。ダメだって言ってんだよバカヤロー！」などと、別の意味でひたすら役の立たないことを言う。

文＝市川昌浩
Text : ICHIKAWA Masahiro

激論! どうするパソコン選び▶テーマ①

98か？ Macか？ AT互換機か？



「アメリカでPCといったらATのことですよ」

司会●「朝までパソコン討論会」の時間がやってまいりました。私、司会のジェイソン後藤です。つまらない発言をなさった方は、チェーンソーの餌食になるというこの番組。まずは、PC-98シリーズ、Mac、AT互換機のどれを推すかをうかがっていきましょう。評論家の西邊止さんから、どうぞ。

西邊●そんなもん、AT互換機に決まっているじゃないですか！　世界の流れを鑑みても、パソコンといえばATですよ。アメリカでPCといったらATのこと(*1)なんですから。私のいいたいことはですね、「どのPCが買いか」ということは、つまり「どのAT互換機が買いか(*2)」ということなんですね。それを…。

司会●わかりました。要するに、パソコンはAT互換機しか認めないという頑迷な西邊さんでした。

西邊●アンタねえ、ひとの話は最後まで聞きなさいよ！

司会●もう、ちょっと黙っていてくださいよ。ギュイ〜〜〜〜ン！

西邊●ウギャ〜！

「Macは完璧だけどただ一点‥」

司会●ハアハア…。えー、次は、マニア代表の村上俊二さん。ズバリ、98、Mac、AT互換機では何が買いですか？

村上●え〜、パソコンっスかぁ？　やっぱAMIGAっスよねー。Macもいいっスけどソフト高いし遅いし、PowerMacはやっぱ欲しいけど。あー、でもゲームならやっぱ98かなあ？　エヘヘ。

司会●AT互換機はどうです？

村上●いいッスよね、ATも。Pentium速いし、安いし。やっぱ、AMIGAでモデリングとかしたものをATにデータ持ってきてガシガシ高速に処理して、そんでAMIGAに戻すってのがいいんじゃないッスか？

司会●AMIGAを抜いた場合は、そうするとATだとおっしゃる？

村上●ATの場合は、Macにしかないソフトがそろえば完璧ッスよね。QuarkXPressとDirectorが出たら、もうデザイナーやクリエイターはみんなMac捨てちゃいますよ。Macって、他はぜんぶ完璧なんだけど、ただ一点、遅いってのがネックなんッスよね、昔から。

司会●そうすると、Macはペケですか？

村上●でもなんだかんだで、Macってカンタンでいいッスよ。やっぱ普通の人にはMacじゃないかなあ。ATはパソコンが趣味の人には楽しいですよねー。98はやっぱりゲームだな。

司会●98は仕事に使えない？

村上●そんなことないッスけど、大番頭とかあの手のソフトをのぞけば、MacやWindowsのほうがいいじゃないですか。WindowsならATのほうが全然いいし。そうすると、98でなきゃならない意味って全然ないッスよねー。PC-9821だってネイティブのアプリ少ないし。

司会●なかなか示唆に富んだご意見でした。

◆解説◆

(*1)【アメリカでPCといったらATのこと】

アメリカでというより、英語圏で単に「PC」という場合は、まず間違いなく「AT」のことを指す。ようするに、それくらい普及しているということだ。

ここでいう英語圏には、日本をのぞくアジアも含まれていることを覚えておくとよいだろう。台湾は、世界のAT工場といわれるほど、互換機やパーツなどのメーカー、工場が数多く存在しているし、シンガポールなどにも、世界的に有名なPC関連の企業が存在している。マニアの間では、香港にAT関連の買い物ツアーに出かけるのが流行だし、そういう意味で、アジアの各国は日本よりもずっとアメリカに近い国なのだ。

(*2)【どのAT互換機が買いか】

AT互換機とかDOS/Vマシンとかよくいわれるが、そもそもはIBMが開発したパソコン、IBM PC/ATの登場に端を発している。これは、インテルの80286というCPUを搭載した16ビットのパソコンで、これがヒットしたため、多くのメーカーがより安価で高性能な、PC/ATのソフトが走るパソコン(互換機)を発売するようになった。これがAT互換機のはじまりだ。

そのAT互換機だが、アメリカ製のパソコンだから、当然そのままでは日本語は使えない。そこで、特別なハードを追加することなく、ソフト（OS）だけで日本語を表示する仕組みを日本のIBMが開発した。これがDOS/Vだ。DOS/Vの登場によって、AT互換機で日本語が使えるという状況が生まれた。

いわゆる互換機メーカーは、世界中にもの凄い数が存在している。名もないガレージ・メーカー（最近ではマンション・メーカーという）まで入れたら、1000はくだらないのではないだろうか？

そのなかでトップ・ブランドはCOMPAQだ。最近は、日本でもCFでお馴染みだが、COMPAQはIBMやAppleを抜いて、全米で第1位のパソコンメーカーだ。ちなみに2位はAppleで、3位はPACKARD　BELLというこれまたAT互換機メーカー。4位にやっとIBMとなっている(94年4-6月のデータ)。

また、アメリカでは通販中心の互換機メーカーもあり、DELLやGATEWAY2000などは高性能でブランドイメージの高い、優れた製品を発売している。

ひとくちにAT互換機といっても、メーカーごとにさまざまな個性があり、特色のあるマシンが多い。たとえば、IBMのマシンとGATEWAY2000のマシンを買うのとでは、かなりの違いがあるのだ。

では、その違いとは？　ハッキリいって、このテーマで特集が組めるほどなので、これはAT互換機の専門誌に譲りたいと思う。



激論! どうするパソコン選び▶テーマ①

98か？Macか？AT互換機か？

「一太郎も出るし、やっぱりMacよ」

司会●つぎは、MK商事のミス更衣室、南田ひかるさんです。ズバリ何が買いですか？

ミス●や〜ねえ、もう。パソコンっていったらMacしかないじゃない！ Macが遅いったって、68040以上のマシンなら、ふつうに使っているぶんには特に不満なんか出ないワ。Photoshopでフルカラーの画像にフィルター処理をバンバンかけるとかしない限りはネ。

司会●すると、プロの用途では速度に不満が残る(*1)ものの、一般的な用途ではMacは最高だとおっしゃる？

ミス●もちろん。アタシここでハッキリいっときたいんだけど、ATや98なんかじゃ、そもそもプロの道具になるようなソフトがないのよね。その点を無視して、速いだの遅いだのいっても仕方ないのヨ！

西邊●いいですか？ 問題は、パソコン本体はもちろん、AT用の周辺機器はMacと比べようもないほど安いということなんです。CPUだって、マザーボードだって、何でもアップグレードできる(*2)から、Macみたいにマシンが古くならないし。それに、Windows用のソフトは安いし数も豊富です。それに比べてなんですか、Macのソフトの高いこと！

司会●おっ、チェーンソーの餌食となり、失神状態にあった西邊さんが反撃に出ました。

ミス●それはいえるのよねえ。Lotusも撤退しちゃったし…。でも、ワープロソフトだって、一太郎 for Macや、Mac版の日本語Wordも出るし、大騒ぎするほどのことでもないワ！

「日本の会社は98なんです!」

司会●ところで皆さん、PC-98シリーズはどう思います？

村上●ゲーム機としては残るんじゃないかなあ？ 98でしかできないゲームって結構あるし。98のHゲームって、いまイギリスとかアメリカのマニアの間で凄い人気(*3)なんッスよね。友達がイギリスに転勤して、オタクのガイジンに98みせたら「スッゲー！」とかいって、尊敬されたっていってましたヨ。

司会●サラリーマンを代表して、小林さんどうですか？

小林●皆さんのおっしゃることは、本当にその通りだと思いますが、現場は違うんですよね。わかります？ 日本の会社は98なんです。趣味で買うならMacやATのほうが楽しいでしょうが、会社の仕事を家でやるんだったら、98しかないでしょう？

大島●たしかに小林さんのいうことも大切なんですよ。だけどね、そういう発想でいるから日本人はいつまでたっても世界に通用しないんですよ、ダメだっていってんだよバカヤロー！

司会●バカヤローは待ってましたけど、もっと具体的にお願いしますよ。

大島●そんなもんないから、バカヤローっていってんですよ。バカヤロー！

村上●でも、なんだかんだっていっても、98持っている人多いから、困ったときは一番何とかなるってとこはありますよねー。ATとかMacって、ハマっちゃうと大変(*4)じゃないですかー。地方なんかで、まわりにパソコン持ってる人がいないと、やっぱ98買っておこうかなって気になりますよねー。





小林●だから、そこなんですよ、現場で求められているのは！
ミス●そんなこといったって、あたしはMacでなきゃいやなの！
司会●えー、まったく答えが出ないようですので、このへんで。

◆解説◆

(*1)【プロの用途では速度に不満が残る】
Macの特長は、ユニークなソフトが多いことだ。とくに、PhotoshopやQuarkXPressといったプロの使用に耐える優れたソフトは、Macの独壇場だといっても過言ではない。

Photoshopはプロの写真家、Quarkはプロのデザイナーや出版社で多く使われている。写真家にとってのPhotoshopは、ズバリ電子暗室で、カラーのフィルムをスキャンし、色調などを変更して作品の幅を広げるというものだ。フィルムの大きさにもよるが、この場合に必要とされるメモリの容量は100MB以上で、それでも68K系のCPUでは１回の処理に数時間かかることもザラだとか。

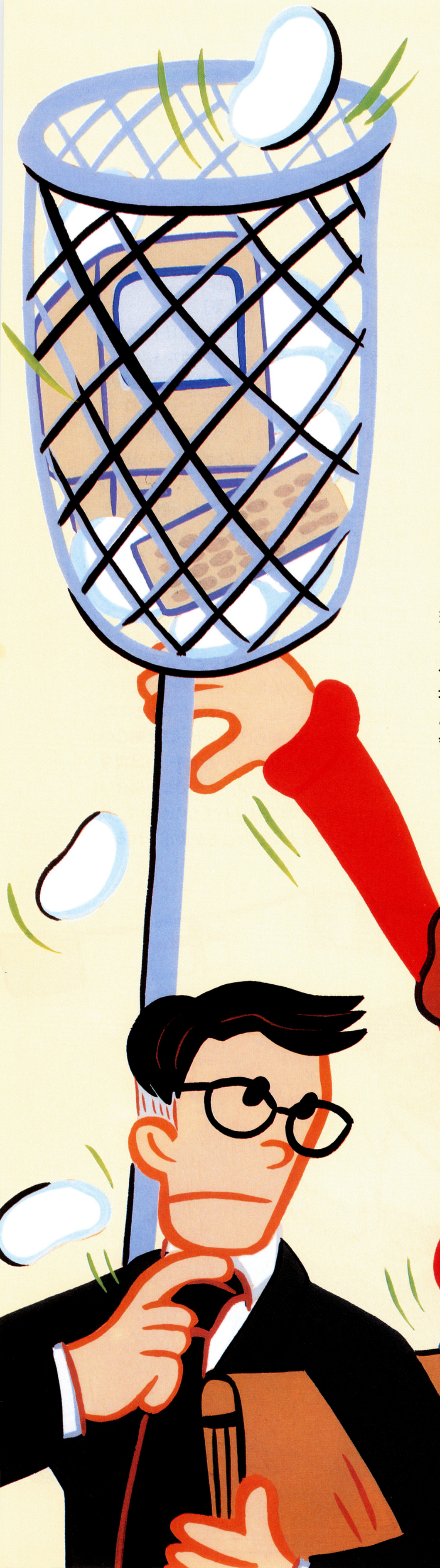
いっぽう、出版社にとってのQuarkは、他でもない、DTPによる書籍や雑誌のデザイン、および版下作成だ。この場合も、１ページに写真がいくつも入るようなデザインの場合、写真のデータをスキャンしてページ上で扱うようにすると、Quarkはすぐにメモリが不足してくる。また、そういう重たいページのレイアウトを変更すると、画面を書き換えるのに死ぬほど時間がかかったりもする。メモリは何とかなってもCPUまではどうしようもないということで、業界ではPowerPC対応のQuarkの登場が待たれている(ただし、それでも「遅くはない」という程度にしかならないんじゃないかといわれているが)。

(*2)【何でもアップグレードできる】
AT互換機はパーツ単位で売られているし、また、CPUはもちろんマザーボード自体を交換することもできてしまう。たとえば、数年前に購入した486SX/25MHzのマシンでも、PCIバスのマザーボードとPentium/90MHzを購入することで、バリバリのPentiumマシンに生まれ変わってしまうのだ。マザーボードの価格は製品によって異なるが、両方買っても15万円程度といったところ。これはMacにもできないAT互換機だけの芸当だ。

(*3)【マニアの間で凄い人気】
『アキラ』や『コブラ』といった日本のマンガ、アニメは海の向こうのサブカル・シーンでも大人気だということは皆さんもご存知だろう。ところがどうも、それだけじゃなくて、98のHゲームというのも、マニアの間では大人気なんだそうだ。日本人のマニアがAMIGAを夢のマシンとして見るがごとく、アチラのマニアは98に夢のマシンとしての憧れを寄せているとか。やっぱり、ああいう精緻な絵というのはガイジンさんには描けないしなあ。うーむ。これからは98も国際化の時代かも？

(*4)【ハマっちゃうと大変】
Macの場合、とにかくよく飛んでしまうとか、やたらと調子が悪くなるといった、個体差が激しい。この場合、いろいろやってやれば直ることもあるし、ダメな場合もあるのだが、そのへんの見極めはビギナーには難しい。まわりにMacの伝道師みたいな人がいれば親身になってくれるだろうが、そうでない場合は…。AT互換機の場合は言わずものがなで、動かないことさえも楽しむことが要求される。





激論！どうするパソコン選び▶テーマ②
デスクトップVSノート



「安くて省スペースのノート型に限る」

司会●では、つぎに「デスクトップ型 vs ノート型」について討論していきたいと思います。まず、この問題のエキスパートと自負されている小林さんからご意見をうかがいます。現場のパソコンはズバリ、デスクトップ型ですか、それともノート型ですか？
小林●そりゃあアナタ、決まってますよ。現場のパソコンはノート型。ズバリ、これしかありません！　その理由を知りたいですか？
司会●そりゃもう！
小林●つまりですね、現場には１台でも多くのパソコンが必要なんです。となると一番の問題は予算。限られた予算のなかで１台でも多くのパソコンを買おうと思ったら、安いノート型に限る(*1)わけです。しかもノート型は省スペースで場所を取らないから、狭い机の上をパソコンに占領されることもない。
司会●なるほど、説得力のある意見ですね。
小林●ATが安いMacが安いっていっても、ディスプレイまで買ったら何十万円もしますよ。それが98ノートなら20万円以下。経費で買える値段です。そうやって、１人１台を実現して、皆でガンバルのが現場なんです。
ミス●あら、値段でいえばPowerBookだって安いわよ。
西邊●そんなこといったらAT互換機だってノートは安いですよ。ただし、安いノートというのは、CPUは非力だしディスプレイはモノクロ(*2)だし、場合によってはメモリやハードディスクを買い足す必要があるということは忘れてはならないでしょう。
村上●そうッスよねー。Windowsはメモリ8MBないとキツイし、Macの漢字Talkでも同じだからなー。DOSだけで使うんだったら、安いノートでも十分なんスけど、いまそれで満足する人って、会社で使うっていう以外にはいないですよねー。

「デスクトップは拡張性」

司会●どうやらここで、DOSかWindowsかという問題(*3)が浮上してきたみたいですね。
ミス●Macは最初からGUIだから、そんな次元の低い悩みなんてないのよネ。ウフ、ほらやっぱりMacって、こういうところがいいワケよ！
小林●いいじゃないですかDOSで。一太郎とLotus1-2-3のどこに不満があるっていうんですか？　メモリもたくさん要らないし、ハードディスクだって40MBもあれば十分ですよ。
大島●さっきから黙って聞いていると何なん

だアナタ方は！　ええっ？
司会●大島さん、何かご不満でも？
大島●大ありですよ。問題はデスクトップかノートかじゃなくて、どういう用途ならデスクトップで、どういう用途ならノートかということでしょうが。それを何だバカヤロー！
村上●だったら、安いモノクロ386ノートはDOSでワープロ、表計算が使えればいいって感じの使い方ですよねー。あと、サブノートはやっぱ2台目のマシン(*4)ですよねー。
ミス●PowerBooKも携帯はできるけど、常時持ち歩こうという気にはならないわね。でも、今後はドックみたいなものが主流に(*5)なるんじゃないかと思うけど。
西邊●IBMのThinkPad 230Csのように、オフィスでもアウトドアでもどこでも使える、1台目のマシンとしてのノート(*6)も登場しているから、仕事で使うならああいうものもいい。
村上●でもやっぱ、ノートは拡張性がないから、基本はデスクトップですよ。
司会●だいたい結論が見えてきましたので、この議論はこのへんで。

◆解説◆

(*1)【安いノート型に限る】
98ノートが売れているのは、それが経費で買える98だからという理由が大きい。だから、とにかく台数を入れたいという企業にとって、安いノートは便利な存在だ。しかし、これがパーソナルユースとなると話が違ってくるのは、いうまでもない。

(*2)【CPUは非力だしディスプレイはモノクロ】
安いノートは、CPUはだいたい386だし、ディスプレイもモノクロの液晶だ。DOSのソフトを使うぶんにはこれでも問題ないが、Windowsの場合は486でないと苦しい。

(*3)【DOSかWindowsかという問題】
単純に、DOSかWindowsかということでいうなら、あえてDOSにこだわる理由は、もはや全然ない。Windowsの方がトータル環境としては優れているし、ソフトも高機能だからだ。したがって、Windowsを使いたいのならデスクトップにしたほうが最初は無難だ。

(*4)【サブノートはやっぱ2台目のマシン】
最近はA5サイズのサブノートが人気だが、小型・軽量・低価格を実現するために、いろいろと犠牲になっている部分も多い。バッテリー駆動時間が1時間ももたない機種とか、画面表示が遅くてWindowsを使うのはツライ機種などがある。

(*5)【ドックみたいなものが主流に】
AppleのDuoみたいに、オフィスではデスクトップの筐体と合体させて使えるノートも登場している（AT互換機にもある）。必要なときはマシンを携帯できるし、デスクトップの筐体の方で、ある程度の拡張性も保証されているわけだから、オフィスユースでは、こうしたドック型（デスクトップ型とノート型の融合）が普及するかも。

(*6)【1台目のマシンとしてのノート】
いわゆる〝モービルコンピューティング〟のコンセプトを追求した機種のこと。その代表が、IBMのThinkPad230Cs。カラー液晶でCPUは486、バッテリー駆動で2時間使え、大きさはA5ファイルサイズ。もちろんWindowsも快適に使えるし、1日中机の上で使っていても問題ナシ。



激論! どうするパソコン選び▶テーマ③



デザインのよい パソコンはどれだ!



「ある程度性能があれば あとはデザインよ」

司会●えー、それでは最後に皆さんがイチオシするパソコンというのをうかがっていきたいと思います。はじめに南田さん、Macでは何がイチオシですか？

ミス●そーね、最近のMacって、デザイン的にちょっとカワイクなくなってきているのが不満なんだけど、最近出たLC630(*1)なんかいいわよね。カラーのPowerBookなんかもスキよん。パソコンってある程度の性能がなければ困るけど、そこから先はデザインよ！

村上●デザインだったら、やっぱQUADERNO(*2)ッスよ。テレコ感覚で使えるサウンド機能がついているし、やっぱolivettiいいッスよー。ただCPUが386なのが残念なんスけどね。

西邉●デザインもよい、性能もピカイチという意味では、やっぱりGATEWAY2000のタワー型のヤツ(*3)でしょう。速い・安い・カッコイイの3拍子そろったパソコンはGATEWAY2000しかありません！　いまならPentium/90MHzのマシンがオススメです。コレしかないでしょう！　まあ、DX4/100MHzのマシンでもいいですが。

「ノートで重要なのは 重量配分ッスよ」

大島●そうそう、やっぱりパソコンだって物なんだから、オブジェとしての魅力がまったくないものなんてダメなんですよ。そこいくと、小林さんがどんなマシンをイチオシにするのか、私は大変興味があるんですな。

小林●ハハハ。皆さん、私の答えはもうおわかりでしょう？　ええ、そうです。私のイチオシはデザイン的にはまったく見るべきものがないパソコンです。しかしですね、パソコンで一番重要なのは毎日壊れずに動いてくれ



る。これにつきるのではないでしょうか？
司会●いくらカッコよくても、壊れたら話にならないと？
ミス●名前のあるブランドのパソコン(*4)なら、海外製品だって壊れやしないわ！
西邊●COMPAQ、DELL、AST、DECといった有名ブランドのAT互換機は、なかを見ても国産メーカーと遜色ない、非常にシッカリした作りをしています。小林さんが、このことをご存じないとは残念ですね。こういうメーカーはサポートだってシッカリしているし。むしろ、現場の方が率先して、安くて性能のよい製品を使うぐらいでなければ、日本の未来も怪しいもんです。
村上●あと、ノートで重要なのは、持ちやすさとか、重量配分(*5)ッスよねー。同じ重量でも、大きさや重量配分によって、妙に持ちにくいマシンとかがあるから。実際に、自分で持ってみたほうがいいッスよ。
司会●えー、そういうわけで最後はスンナリと議論が進みホッとしています。本日はどうもありがとうございました。

◆解説◆

(*1)【LC630】
CPUに68040/33MHzを採用し、ビデオ入出力／TVチューナーなどのマルチメディア機能に対応できるスロットを装備した低価格Mac。秋葉原ではすでに実売価格15万円を切ったとか。オプションのAppleビデオシステムを購入すればビデオのキャプチャリングが、またAppleTV／ビデオシステムを購入すれば、Macの画面上でTVが見られるようになる。なお、噂ではこのモデルと同等の製品が国内家電メーカーからも登場するらしい。手頃なMacが欲しい人にはオススメの1台だ、

(*2)【QUADERNO】
olivettiのノートパソコン。CPUはAMD386SX/20MHz、メモリは標準4MB搭載、ハードディスクには英語版Windowsと、英語版Windowsで日本語Windows用のアプリケーションソフトを走らすことが可能になるソフト、Win/Vがインストール済みになっている。DOSは英語版なので注意が必要(DOS/Vを別途購入すれば、日本語のDOS/V用アプリケーションが使える)。ハッキリいってデザインはピカイチ。これでCPUが486だったら…と誰もが思うところだが、どうも486版も出るようだとの噂アリ。

(*3)【GATEWAY2000のタワー型のヤツ】
GATEWAY2000は、マシンを構成する各種のパーツを常に最新で最高性能のもので固め、時代の先端を行く高性能マシンを作り続けてきたAT互換機メーカーだ。マザーボードをはじめとするパーツはすべて各専用メーカーの製品で、それらを組み合わせて、最高のパフォーマンスを発揮するマシンを組み立てる（このため、GATEWAY2000のようなメーカーは、アセンブル・メーカーと呼ばれる)。筐体はオリジナルで、ドイツ車の趣のある高級感漂うデザインで、マシンの性能とあいまって、マニアの憧れの1台だ。

(*4)【名前のあるブランドのパソコン】
基本的に、雑誌に広告を掲載していて、名前の知れたメーカーなら安心。また、秋葉原などのショップでは、各ショップのオリジナル・モデル（ショップ・ブランドという）が売られているが、これもキチンとしたショップのものなら安心。いろいろと見てまわって、繁盛しているショップ、品揃えのよいショップ、そしてサポートのよいショップで買えば間違いないだろう。

(*5)【重量配分】
手のひらに乗せて持ってみると、バランスのいいノートとそうでないノートの違いがわかる。また、表面があまりツルツルしているマシンも、落としやすいので注意したい。長時間使っているとバッテリー部分がやたらと熱くなるものもあったりするので、ショップでデモしているマシンを触ってみるのもいいだろう。デザインのよいマシンは、総じてバランスや熱対策などもよく考えられている。





『WORLD HEROES 2 PRO』ソニックとマリオが、ドラゴンボールの背景で戦う。そんな、メーカーの壁を破った夢が実現する、恐ろしい作品。ほかにも、ニンジャタートルやドラゴンボールの悟空など、キャラの豪華さは天下一品。ゲームの出来もよく、地下で売るのがまことにもったいない。

『SUPER BLASTERVII』数あるファミコン用スト2モドキの、最終的進化型がこれだ。選択できるキャラクターは、なんと驚異の26人！　ただし、オリジナルの登場人物と髪や服の色が若干違うだけの者が多く、根本的に異なるキャラクターは6人ほどだ。詐欺一歩手前の荒技である。

コラム番外地

文＝クーロン黒沢
Text：Kowloon Kurosawa



香港、台湾はもう古い!!
バンコク㊙買い物ガイド

「アジアの電脳事情」というと、定番になった香港や台湾などが頻繁に登場する。しかし、オススメしたい穴場はそのどちらでもない。いま最も熱い国（実際暑いけどね）、それはタイ王国。タイランドなのだ――タイの首都バンコクの買い物事情を、アジア各国を飛びまわる謎のライター、クーロン黒沢がレポートする。

Macの運び屋をする金持ち留学生

タイの首都バンコクには現在、警察に摘発されまくってビクビクしている香港や台湾のアンダーグラウンド電脳業者が続々と進出し、なかば彼らのやりたい放題になっている。もともとバンコクには中国系のタイ人が多いので、同じ中国人意識で気が合うのかもしれない。しかし同業者同士の仲は悪く、警察の元締めにワイロを払いまくっての潰し合いなども頻繁に展開されているようだ。

バンコクきってのパソコン街は、中心部のインドネシア大使館隣にある大型ショッピングセンター「パンティープ・プラザ」。なかのテナントは、電脳関係がほとんどを占めている。その半分はIBM互換機を売るお店で、値段は香港と同じくらい。台湾で買うよりは少しだけ安い。種類も豊富で、香港・台湾で手にはいる商品はバンコクでも問題なく買える。

ソフトも最近オリジナルを扱う店が増えてきたが、海賊版を扱う店も減ってはいない。たまにアメリカからの圧力で摘発があるのだが、事前にぜーんぶ筒抜けの茶番劇となっている。そして、たとえ海賊版屋といっても、香港みたいに汚い店構えのところは一軒もない。どこもショールーム並みの豪華な店ばかりで、用もないのにたくさんのケバい女性店



『Mycom』Mac専門誌。タイの文字と英文のミックスが、不思議な雰囲気をかもし出す。

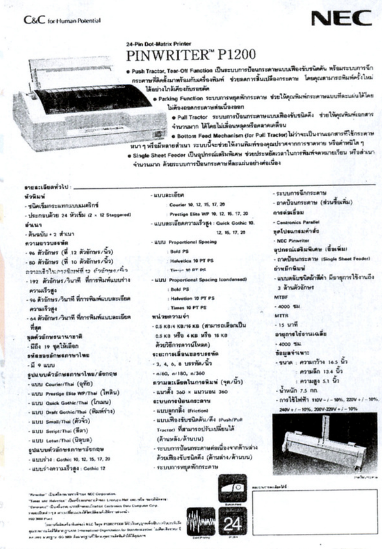


『SOMARI』現在、アジアの地下ファミコン市場で最も話題の、スーパー著作権違反ソフト。ソニックをファミコンに完全移植しただけでは飽きたらずに、なんと主人公をマリオにしてしまったというもの。つまり、(SONIC)＋(MARIO) で (SOMARI) なのですね。BGMまで忠実に再現されている。



(右上) これが噂のパンティープ・プラザ。電脳関連店がひしめく大型ショッピングセンターだ。
(右中) 売れなかったゲームが投げ売りされる風景は、どこの国も同じ。
(右下) 新入荷ゲーム一覧。「クレヨンしんちゃん」「くにおのおでん」といったひらがなも、なかなかうまく書かれてある。「YUYU HAKUSHO 2」とあるが、漢字を書くのは難しかったのか。

このチラシのプリンタは、ホンモノのようだ。







員がたくさん雇われている。景気はいいみたいね。また、ここいらでは香港や台湾で入手困難な、写真製版の美しいマニュアル付き海賊版ソフトも手に入る。これなんかは並べてあっても本物みたいで相当にカッコいい。悪質だけど。

タイのMac事情はどうだろう。タイではMacの専門誌も発行されていて、弱小ながら頑張っている。しかしマシンは、税金のため日本よりも高い。タイでのMac総代理はサハビリヤという巨大企業なのだが、ここから来るマシンはかなり割高。仕方ないので、小売店も平行輸入マシンを同時に扱っている。もちろん大っぴらにはやってないが、この平行輸入マシンというのが違法スレスレの方法で運ばれてくる。なにしろ関税をパスするため、日本へ行く留学生にコネをつけて彼等がタイに里帰りする時にMacを買わせ、「個人使用するため」という名目でタイまで手で運んでもらい、リベート込みの値段で買い取るという裏技を使っている。だから、タイで売られているMacには日本バージョンのモノが多く、値段も当然のごとく、すこし高い。

運び屋をする学生は、いちどポケットマネーでMacを買わなければならないため、金持ちの息子などが多い。彼らは生活には困っていないが遊ぶ金には困っているため、こういうことを平気でやってのける。もしあなたがタイでMac屋を開きたいなら、タイからの留学生にはやさしくしたほうがいいかもね。

シリアルナンバーがみんな同じ! の海賊版

パソコン系のブツならパンティープ・プラザですべて揃ってしまうけど、ゲーム関係のモノを買うつもりなら、マーブンクロンデパート(通称MBK)へ行こう。デパートといっても、なかは無秩序な屋台街といった感じで、タイらしくなんでもアリ。点在するスーファミ屋では、最近日本でも普及してきた(?)スーファミ用のディスクコピーマシンが並び、店員が一生懸命にコピーしまくっている。ただしMBKは観光名所になっているため、白人などがカネをばらまき値段はガンガンつり上がっている。

ボラれたくないという人は、そのままトゥクトゥクに乗ってチャイナタウン(ヤワラー)へ行ってみよう。チャイナタウンのはずれにある汚い運河の上には、タイ最大のゲーム市場がある。通称「サパーレック」。プンプン臭うオンアーン運河の上に、鉄板を渡して商店街を作ってしまったという恐怖の市場なのだが、ここにはアジアの各国から怪しいゲームグッズが流れてくるため、電脳マニアなら必見の穴場になっている。日中は35度を超える場所なので、行くのなら4時ぐらいがベストである。しかし、どの店も5時には店を閉めてしまうので注意。

タイのゲーム市場は、現在スーファミとネオジオへ完全に移行してしまったのだが、ここサパーレックと場末のデパートでのみ、昔のファミコン用アジアオリジナルソフトを入手できる。ここで紹介した『SOMARI』などは2千円程度で買えるが、場末のデパートなどでは客を見て値段がコロコロ変わるので、買うのならやはりサパーレックがオススメ。

これらのファミコン用ソフトは台湾で作られているらしいのだが、売られているのはおもに韓国とタイ、マレーシアなど。香港や台湾では売っても売れないのであまり流れない。しかし最近は、タイでもあまり見かけなくなってきたので、興味のある人は発見次第すぐに買ってしまうコトをオススメする。

サパーレックではスーファミ用のディスクシステム、さらにコピーディスクも入手できる。1ゲーム80円から200円程度(場所によって値段が違う)払い、好きなゲームをディスクに落としてもらえる。もちろん専用のディスクシステムが必要だが、それも2万円ちょっとだ。最新のゲームや入手が困難なヨーロッパのスーファミソフトなどもコピーしてもらえるので、ダークなマニアには天国のような場所である。もしあなたがディスクシステムを持っていない場合でも安心。普通のカセットも売っている。値段は日本の半額程度という安さ。なぜこんなに安いのかと言うと、モチロンすべて海賊版カセットなのだ。パッケージやラベルは色あせて、まるで壊れたカラーコピー機みたいな毒々しい発色！ そしてシリアルナンバーも全部同じ。

タイは凄い。今なら往復5万円だ。いかが？

世界一の電脳タウンをディープに解剖

秋葉原のホントの顔、知ってます？

世界一の電脳タウン「アキハバラ」で買物を成功させたければ、それ相応の下準備が必要だ。ならば、生まれて初めて訪れた人が思わずデジャブ状態に陥いってしまうくらいディープに、アキバの街を徹底解剖してみせよう。さぁ読め！













①イケショップ　マックプラザ
☎03-3251-7555

②イケショップ　システムハウス
☎03-3251-4722

③イケショップ　秋葉原店
☎03-3251-4735

④石丸電気　マイコンセンター
☎03-3251-0011

⑤サトー無線　本店
☎03-3253-5879

⑥シスペック　メディアポリス2
☎03-3257-6385

⑦情報館インコム　秋葉原店
☎03-3255-6201

⑧ステップ
☎03-5950-7745※

⑨ソフマップ1号店　Chicago
☎03-3253-9190

⑩ソフマップ2号店
☎03-5256-0485

⑪ソフマップ4号店
☎03-3253-3155

⑫ソフマップ12号店
☎03-3253-0631

⑬ソフマップハード買取センター
☎03-3253-0828

⑭第一家電　C&Q秋葉原
☎03-3253-7948

⑮ツクモパソコン　本店
☎03-3253-5599

⑯ツクモパソコン　本店II
☎03-3253-4199

⑰ツクモ　DOS/Vパソコン館
☎03-3254-3999

⑱T・ZONE
☎03-3257-2770

⑲ナカウラ　あんこうパソコンセンター
☎03-3257-2515

⑳ナカウラ5号店　パソコン館
☎03-3257-2535

㉑日野電気　パソコンセンター
☎03-3257-0015

㉒フリージア5号店
☎03-3251-4315

㉓マイコンセンター　オノデン
☎03-3253-3911

㉔マルゼンムセンECCS　本店
☎03-3255-4911

㉕マルゼンムセンECCS　ラジカン館
☎03-3255-4386

㉖ヤマギワ　テクニカ店
☎03-3253-0121

㉗ヤマギワ　OAサポートセンター
☎03-3253-2111

㉘ラオックス　ザ・コンピュータ館
☎03-5256-3111

㉙ラオックス　ザ・コンピュータ館II
☎03-3251-6241

㉚ラオックス　コンピュータアウトレット
☎03-3255-4004

㉛リッツコンピュート1号店
☎03-5256-4433

㉜リッツコピュート2号店
☎03-3256-5010

㉝ロケット本店
☎03-3257-0606

㉞ロケット6号店
☎03-3257-0006

㉟コモエスタ　アミーガ！
☎03-5295-1050

※価格情報サービス（ステップ全店共通）



あさひ銀行
住友銀行
蔵前通り
昌平橋通り
中央通り
がんこラーメン
三和銀行
芳林公園
小諸そば
アキバ食堂
日本通運
三菱銀行
駅前広場
JR秋葉原
宅配ポスト
神田川
地下飲食店街
公衆トイレ
中央線
山手
生ジュース屋
T.R.F. KIT
In Plastic Cabinet
T.h 1994

これぞ新常識!?

秋葉原ショッピング術 6つのウラ鉄則

秋葉原に買い物に行くなら、忘れてならない鉄則がある、といわれるが、これ本当？　もう一度考えよう「アキバの鉄則」

文＝十万馬力　イラスト＝ヒロ杉山
Text:100,000ps　Illustration:Hiro SUGIYAMA

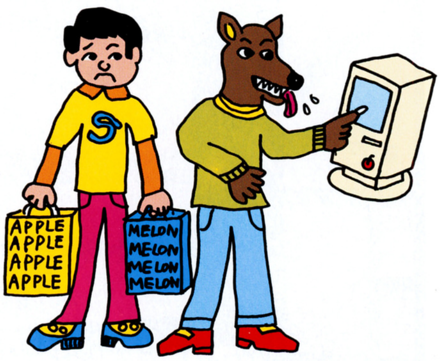
鉄則1 購入前に身近なアドバイザーに相談すべし？

これからパソコンを購入しようというあなた。しかし、残念ながら知識も情報も不足している。当然、知人の内の誰か、それもパソコンや秋葉原に詳しい人間に頼りたくなる気持ちはよ〜く分かる。だが、あなたに何が必要か一番知っているのはあなた自身なのだ。アドバイザーはそりゃあ親切に相談に乗ってくれて、システムも考えてくれるかもしれない。しかし、その行為が、アドバイザー自身のためではないと言い切れるだろうか？

あなた自身が、パソコンの用途をワープロとゲームぐらいしか考えていないのに「ウン、やっぱりこれからはカラープリンタの時代だよ。実際に値段も下がってるしさ、買うなら今だね。いくら今は使う予定がないっていっったって、後で後悔するよ」なんていいながら、あなたにカラープリンタを買わせておいて、本人はモノクロプリンタしか持ってなくて、あげくプリントアウトの度にあなたの家に通ってくることだって十分に考えられるのだ。

最後に頼れるのは所詮自分だけだ。どうしてもアドバイザーに頼るというなら、その人間性を十分に見極めてからにしたい。

1　購入前に身近なアドバイザーに頼るな！



鉄則2 事前の調査の上、十分に絞り込んで選ぶべし？



……秋葉原に行ってからオタオタしないように十分に事前の調査の上、買いたいものはある程度決めておくこと……

「ふうん、そりゃそうだよな」なんて単純に信じてはいけない。秋葉原は宝の山だ。どんな掘り出し物がどこに眠っているか分からない。たとえば、買うのは13インチモニタと頭から決めつけていたばっかりに、2万円ほどしか違わない17インチモニタを見逃してしまうことだってあり得る。486マシンしか見ていなかったときに限って、Pentiumが信じられないような値段であったりするのだ。

もっとも、最初から目的のものしか見ずに、宝の山がすぐそばにそびえていたことさえ気づかず帰ってきてしまえば、それはそれなりに幸せといえるのかもしれないが、それではあまりにもオマヌケ状態といえないだろうか。

必要なのは十分な情報と大まかな予算、そしてフレキシブルに対応できるあなたの判断力なのだ。何も全くの白紙状態で秋葉原に行けといっているのではない。ターゲットにこだわりすぎると、泣きを見るのはあなた自身なのだ。

2　購入ターゲットは事前に決めるな！

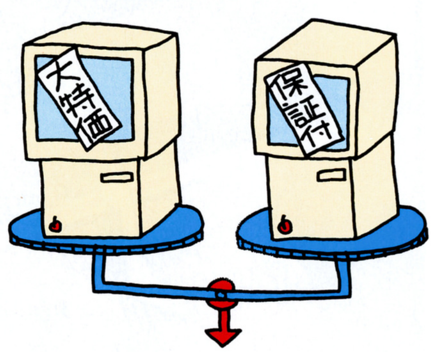
鉄則3 安く買うかアフターケアにこだわるかを決めよう？

……秋葉原は今や大小合わせて数百店舗というパソコンショップがところ狭しと軒を並べている電脳街。パソコンを安く買うことに徹するならば、それなりの店があるし、アフターケアにこだわるならやっぱり定評のある大手や老舗を中心にまわるのが、もっとも効率的な買い物というものだ……

ここでも、何も知らなければ思わず納得してしまいそうである。が、我々のスタンスは常に「？」。はたして、本当にその通りなのだろうか？　秋葉原名物の倉庫ショップは今も健在だ。少し裏に入ると、そこかしこで目に付く。アフターケアは正直期待できない。

もちろん、初心者にはアフターケアがしっかりしていた方が安心かもしれない。だが、大切なのは、今まさに買おうとしているその商品が不十分なアフターケアを補ってあまりあるほど安いか、あるいは、多少高めの価格はともかく、とてつもなく魅力的なアフターケアがついているか。その判断をあなたが「現場」で行うことなのだ。そんなことにこだわらず、１軒でも多くの店を覗いてみよう。

3　安く買うことに徹するか、アフターケアにこだわるか、すべては成りゆき次第だ！



鉄則4 秋葉原の買い物は金曜日の午前中に出かけるべし？



……秋葉原は週末が勝負。ウィークエンドの始まりには、その後の商戦を意識して商品も十分にそろっている。日曜の午後にノコノコ出かけていったって、ほとんどが品切れで欲しいものなど残ってはいない……

全くの正論とも思える。しかし、ここでまたまた考えてみよう。金曜、土曜の午前中に客を待ち受ける店員側から見れば、われわれはまさにカモネギ状態だ。しかも、彼らはこの週末の商戦で勝利を収めんと、メいっぱい意気込んでいるのだ。

そんなところに秋葉原初心者のあなたがふらふらと飛び込んでいく姿は、想像しただけでも寒気がする。気がつけば、必要でもない周辺機器の、しかも高級品を山ほど買い込み、おうちに帰ってこの世のものとも思えないほどの後悔に苛まれるのは見え見えである。

混んではいても、土曜の午後か日曜の午前中に、店員からは目立たないように店をまわるのがもっとも正しいアキバショッピングだ。混んでいたらまともに買い物ができないって？　どんなに混んでいたって相手は商売だ。買う気で声をかければ必ず応じてくれる。

4　秋葉原の買い物は金曜日の午前は避けよ

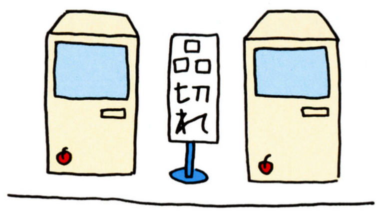
鉄則5 いきなり飛び込んだ店であわてて買うべからず？

……いきなり飛び込んだ店で、目に付いた商品を買うと、その後まわった店でもっと安かったときに後悔する。だからひと通りショップをまわり終えるまで、実際の買い物は控えるべし……　と、ここまで来れば、もうあなたにも理論の穴が見えてくるだろう。え、納得できる文章だって？　困ったなぁ。ひと回りした後に、その目玉商品がまだ残っている保証などどこにもない。そんなときの後悔は、ちょっとばかり高い買い物をしたときの後悔とは比較にならないのに。

ここでも要するに判断力の問題である。秋葉原に買い物に行こうというのなら、事前に雑誌広告やカタログで実勢価格を調べておくのは常識として、目玉商品がそれに比べてどれだけ安いかを見極めるところから戦いは始まる。そんな事前の調査にも関わらず、信じられないような価格で「目玉商品」が出ていれば、たとえ朝一番で最初に飛び込んだ店だったとしても、これは迷わず「買い」だ。

大切なのは、どこまでいってもあなた自身のしっかりとした判断力なのだよ。

5　いきなり飛び込んだ店でも、目に付くものがあったらすぐに「買い」だ！



鉄則6 購入は現金で行うべし？



……秋葉原での買い物は、カードを使ったら損。せっかく安くなった価格がカード手数料で無駄になるし、カードの使えない安売り店も結構ある。だから、できる限りたくさんの現金を持っていくのが正しいアキバショッピングだ……

全くその通りである、とはいわない（笑）。まず第一に現金を持っていくということは、よほどの金持ちでもない限り予算を限定することになる。現金にこだわるあまり、予定外の目玉商品をあきらめたり、ちょっとでも予定価格よりも高くなってしまったとたんに購入品目のレベルを下げていいものだろうか。

カード手数料といっても基本的には3～5%だ。近所で買えば130万円かかるものが、秋葉原では100万円だったとしよう。それがわずか3万円跳ね上がったからといって、手持ちの現金予算にこだわるのはあまりにも愚かでしょ？　もちろん、現金があるのならそれを持っていくにこしたことはない。だが、いざ購入の段になったら、カードの使える店、使えない店をしっかりと区別して利用することを強くお勧めする。

帰りがけに見つけた超目玉商品が、カードが使えなかったりなんて、泣くぞ～！

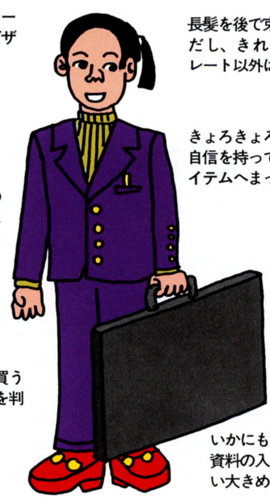
6　購入に現金を持って行くな！

これなら店員に絶対ナメられない!!
アキバSHOPPING見栄講座

秋葉原では、店員にナメられたら最後だ。彼らはあなたの質問にもまともに取り合ってくれなくなるし、下手をすると、何も買えなくなってしまう可能性すらある。もちろん、「すいませ～ん、僕って全くのどシロートなもんで、な～んにも分からないんです。いろいろ教えてくださ～い」とひたすら下手に出る手はある。しかし、それでは巧い買い物は望むべくもない。相手の言い値で、相手のいう商品を買わされてしまうのが関の山だ。

そこで、ここはひとつ、どうやれば「ん！ コイツ、できるゾッ！」と思わせることができるか、あまたの店員から聞き出したアキバ直伝の秘術をお教えしよう（ただし結論だけね。理由はあくまでナイショなのだ）。

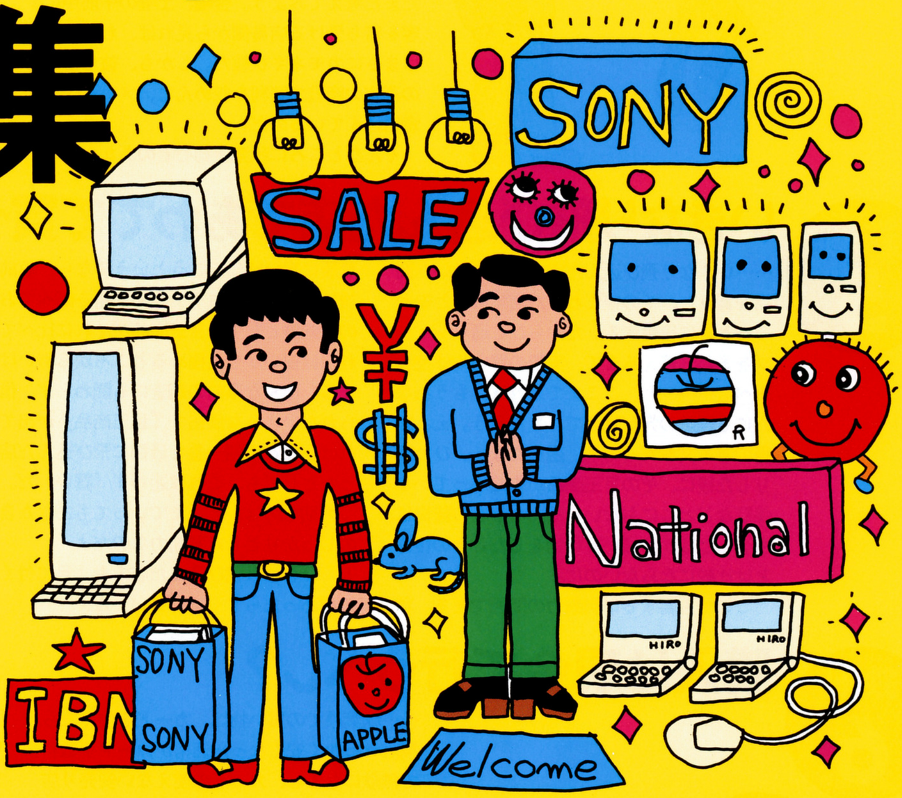
店員から見て、「できるな」と思わせる風体は、何よりも一見デザイナー風というヤツ。「会社で教わった通りやってます」的なビジネスマンよりも、そういうヤツの方が、独自にいろいろ研究もしてそうで、手強そうに見られている。さりげなくセンスの良さが見えながら、決して派手ではない。腰までのストレートの長髪を束ねたりしてれば、少なくとも容姿だけはもう完璧。



役立ちそうで役に立たない(笑)

アキバ雑学コラム集

必ず知っておきたい情報はもちろん、知ってても何の役に立つのか不明な情報まで、ありとあらゆる秋葉原ネタのラッシュ。これでキミもアキバの雑学帝王だ！



文＝十万馬力　イラスト＝ヒロ杉山
Text:100,000ps　Illustration:Hiro SUGIYAMA



万世橋のたもとでは、牛が笑っているだけではないのだ

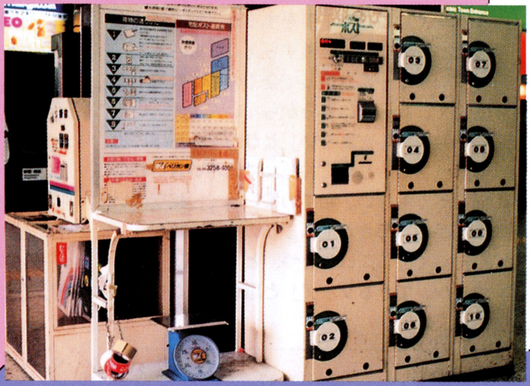
アキバにおける突然の便意への対処法は？

それは突然やってくる。しかも必ずやってくる。……てなわけで秋葉原のトイレスポットの話である。もよおす度に喫茶店に入るのがバカバカしいと考えるのなら、しっかりと聞いてもらいたい。まずは公衆トイレの情報から。あのいかつい構えの万世橋のたもとには、街灯とともに立派なトイレが設置されている。ここは男女別で、洗面所はナント鏡つき(笑)。またチト見栄えは悪いが、芳林公園の中にもトイレがある。ただどちらのトイレも電気街の中心部から遠く、浮浪者が毎朝の洗面に使っているとの情報もある。より快適にコトを済ませたいというのなら、やはり、「石丸電気」「ラオックス」「アキハバラデパート」あたりのトイレをイケシャーシャーと拝借する手だ。いずれにしろ、１日で秋葉原の隅から隅まで回る意気込みを持っているのなら、あらかじめ秋葉原駅構内のトイレで済ませておくのが常識。気持ちも身体も軽く、電脳タウンへ出発できるはずだ。

“通”ほど宅配スポットをうまく使いこなす

商品の配送は、購入店でももちろんしてくれる。でももし、本体、モニタ、プリンタをそれぞれ別の店で購入したとしたら？　配達日、配達時間がまちまちになってしまい、いらぬ手間がかかるだろう。それに、小出しで商品が届くより、一挙にドンッと届いたほうが、喜びも大きいはず。そんなときに重宝するのが宅配スポットだ。あなたは知っているだろうか、秋葉原に「日本通運本社」があることを。ちょうど中央通りのど真ん中に位置している。正面の“お客様相談センター”から入ると、アキバではなかなか見かけないイカした女の子が、親切に案内してくれる。どうもテレ屋で困るという人には、秋葉原駅に宅配ロッカーがある。料金を自分で計算し、荷物を入れておくだけでＯＫ。北と南には「コンビニエンス新鮮組」(5294−0787)、「日用百貨・電化製品ミヤザキ」(3253−8771)があり、こちらにも宅配システムがある。交渉しだいではなにかと融通がきくだろう。

テレ屋の味方、秋葉原駅の宅配ロッカー。料金を自分で計算するところが泣かせる。これなら着払い料金無用だ



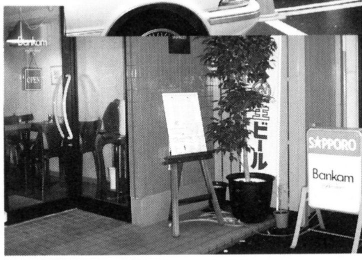
知られざるアキバの一服スポット

　中央線のガードを南に抜けてしばらく行った辺りに、店頭にベンチを備えたお店がある。ベンチのわきにはご丁寧に灰皿も。ここ「(有)木倉食品」(3251-3418)は、アキバ散策で棒のようになった足を休めるには、もってこいの休憩スポット。『対話のある自動販売機店』というキャッチコピーを持つ、不思議なお店なのだ。店構えはふつうの駄菓子屋だが、店内には田舎の大衆食堂によくあるようなテーブルとイスが数脚置いてある。なにか店の商品を購入すれば、一服してもOKという仕組みらしい。店のオバサンは「日曜日はもっと店頭のベンチを増やすの。このイスにいったん腰掛けると、初対面の人たち同士でもみるみるうちに仲良くなってしまうのよ。ホホホ」と語ってくれた。世界一の電脳街にも、まだこうした人情味あふれるスポットが残されていたのだ。捨てたもんじゃないぞ、秋葉原！ さぼり魔のアキバ店員の隠れた休憩スポットとしても機能しているという。

　雑踏の極みコンピュータ通りにいても、扉ひとつでタイムトリップできるのは、「COFFEEえびはら」(3251-5341)。大正ロマンを彷彿とさせる女性の肖像画3点と、白髪の老婦人が読書している風情は鑑賞する価値が十分あるはずだ。それでもやはり、若い女の子がいいのなら、アキバ北側蔵前通り方面にある「Coffee東キャナル」(3251-2696)にいってみよう。食器やディスプレイにもこだわりがあり、東洋の香りを漂わせた女性（？）が、おしぼりを手元まで差しのべてくれる。素敵な男性に出会いたいという女性には、マスターがお店の外観と同じようにスマートな「Bankam coffee bar」(3256-8860)もある。異性のことなんかどうでもいいんだよ、ワタシャただただゆったりと休みたいの、なんて人なら「ルノアール」(3255-2773)だ。ラオックス　ザ・コンピュータ館B1にある「COFFEE WOOD」(3255-8881)もくつろげるぞ。



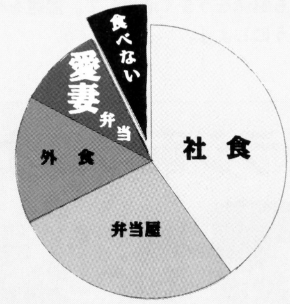
咳をしてもひとりってそういうテーマじゃないだろ



だれでもたどりつける Bankam coffee bar

特報！ アキバ店員昼食の実態

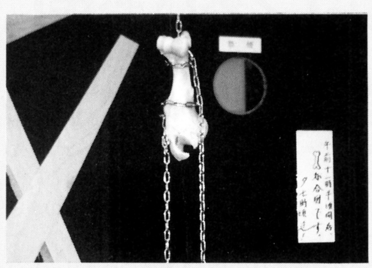
　フト生まれた、この素朴な疑問。「ねぇ、ねぇ、アキバのショップ店員は、昼食をどこでとっているの？」。考えてみれば、年中あれだけの人でごったがえしている割りに、食事スポットが少ない秋葉原。店員の方々は毎日の昼食に苦労しているのではないだろうか。はてさて彼らはどこでその胃袋を満たしているのか？　そこで編集部はいきあたりばったりで店員たちにアンケートをとってみた。その数30。結果は右の円グラフである。意外にも外食はたったの15%。というのも、秋葉原の主要な家電チェーン店には、社員食堂がちゃんと備えられていたのだ。また中小のショップで多いのは弁当派。大手ショップなら交替制で食事時間が取れるが、少人数のショップともなると、それもままならない。だからお店の隅でコソコソっと弁当を食すしかないらしい。どうりでお弁当屋、お惣菜屋が充実しているわけだ。出入りしているお弁当業者から買うケースも多いようだ。



電気街といえど、探せばおいしい店はある

　真っ黒のたたずまいに、チェーンで吊るされた骨がぶら下がっている。あれは何かと近所の人に聞いてみたところ、9月15日にオープンしたラーメン屋だという。その名も「八代目がんこラーメン」(3253-1766)。キャッチフレーズも飛ばしてる。『きょうもまた、咲くか咲かぬか我がスープ。咲かせて見せよう、がんこ花』。オヤジは気性の激しい性格らしく、スープの出来が気に入ったときだけしか営業しないらしい。その合図が、くだんの骨なのだ。メニューはコッテリとアッサリの2種類のラーメンのみ。料金は700円。玉子を入れるとプラス100円。今やアキバ名物とも言えるあの「九州じゃんがららあめん」(3251-4059)や、駅前の「ラーメンいすゞ」(3251-2890)にどこまで対抗できるのか、なかなか興味深いところだ。また、中央通りにある「信濃追分小諸そば」(3251-9970)も、安い、早い、旨い、と評判高いし、さっそうとデビューを飾った「八代目がんこラーメン」に、この先ライバルは多そうだ。頑張ってほしい。

　定食屋では創業40年の「かんだ食堂」(3253-6255)が、アキバを良く知る人のなかでポイントが高い。しかも昼と夕方とではメニューがすっかりすり替わる。近頃では、どこで噂を聞きつけたのか、以前よりも若い女性客が増えた、とオヤジがニンマリしていた。またそのすぐそばには「かみさん亭仲とう」(3255-8510)。こちらはゾクゾクと男性客がのれんの向こうに消えていく。アキバの南側にある万世橋共同ビルB1〜10Fは、和牛の万世直営の飲食店がいっぱい詰まっている。予想より安く買い物が出来たのなら、その分しゃぶしゃぶやステーキでちょっとだけ贅沢な夕食を楽しむっていうのもオツなものだ。この他、万世橋の地下飲食店街にある屋台のような雰囲気がウリの「大入」(3251-8912)、電気街北側にあるイタリア料理「ラ・ステラ」(3833-9321)も、おいしいと評判。


ふつうに考えるとちょっとこわい骨 でもこれがなきゃ始まらない



昔のたたずまいもわずかに残すかんだ食堂

マボロシの あきば食堂を追え！

　黙っていてもオヤジが勝手に客の顔色を伺って定食を出してくれる“あきば食堂”なるお店がある……こんな情報を入手した編集部員は、ただちに電気街に繰り出した。方々で聞き込みを行ったところ、返事は「知らねぇよ」の一辺倒。けっこう昔の話らしいし、ツブれたのかも、と途方にくれて立ち止まった自動販売機の前。ふと見上げると「あきば食堂」(3253-8041)のノレンが！

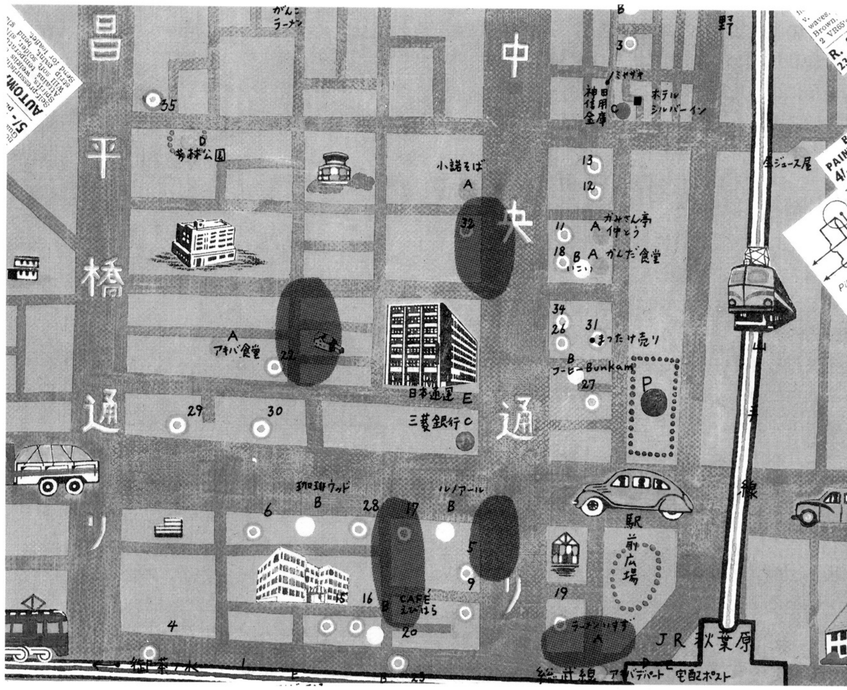
　店のオヤジさんによると、ウワサは半分だけ本当。好みを把握しているのは常連さんだけで、初めて来店した客には、ちゃんと注文をとるそうだ。ちなみに料理の値段は300円〜500円と安め。お味のほうもなかなかいけました。



知ってりゃ得する。アキバ混雑情報

人混みを歩くということは、時間的な問題はもちろん、精神的にも肉体的にもかなりの負担を強いられることになる。で、押さえておきたいのがアキバの混雑ポイントだ。

なんと言っても人通りが多いのは中央通り。とくに休日は最悪状態である。家電を買いにきたファミリー、ゲームソフトに群がる小僧たち、8ミリビデオ片手の外国人……とゴッタ煮状態だ。中央通り沿いに目的地がある場合でも、まずは西側の駐車場に沿って歩き、たくさんある路地からアクセスすべき。東側に行きたい場合でも、この駐車場沿いの道をうまく活用すれば、わざわざ中央通りを通る必要はない。右のマップを参考にして、目的地までの最短距離を見つけてほしい。また、中央通り東側ではコンピュータ通りと呼ばれているあたりも混雑が著しい。一見すると応援団らしき団体が、なにやら音頭をとって叫んでいたりもするし。果して彼らはどこの組の者なのか……。君子危うきに近寄らずだ。ここも脇道をうまく活用して、混雑をパスするようにしよう。



チラシ配りのオジサンの生態学入門

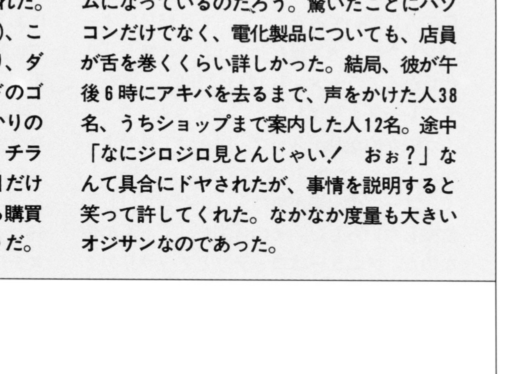

人びとは何を求めて秋葉原を彷徨うのであろうか

「何探してんの？」　中央通りを歩けばチラシを片手に持ったオジサンたちに声をかけられる。彼らはいったい何物なのか？　これはオジサンたちの中の一人をターゲットにし、一日の行動を追ってみたレポートである。

彼はアキバに10時30分キッカリに現れた。チラシ配りのオジサンにしては(失礼！)、こざっぱりとしたファッションをしており、ダブルのスーツのそで口からは、ゴールドのゴツイ時計がのぞいていた。彼は通りがかりの人に、やたらめったら声はかけないし、チラシもバラまかないタイプらしい。が、目だけはギョロギョロと動いている。どうやら購買意欲を持った客だけを物色しているようだ。目ぼしい客を見つけると話を持ちかけてチラシを渡し、ときによっては客を店まで案内したりする（いくつかの店と契約しているようで、連れていく店はさまざま）。たぶん店に客を案内するとリベートがいくらか入るシステムになっているのだろう。驚いたことにパソコンだけでなく、電化製品についても、店員が舌を巻くくらい詳しかった。結局、彼が午後6時にアキバを去るまで、声をかけた人38名、うちショップまで案内した人12名。途中「なにジロジロ見とんじゃい！　おぉ？」なんて具合にドヤされたが、事情を説明すると笑って許してくれた。なかなか度量も大きいオジサンなのであった。

発見、まったくアキバらしくないお店！

その昔、秋葉原は電気と青果の街だった。ところが今や青果市場は駐車場に変わり果ててしまい、混雑している電気街を避け西側の通りを歩いてみても、その面影はどこにもない…　と思いきや、あった！　あった！　八百屋があった。な、なんと松茸が破格の値段で並んでいる。当然お店の名前を紹介したいところだが、残念ながらネオンサインで彩られた派手な看板もなければ、店名すらない。さらに、その道なりには「日用百貨・電化製品ミヤザキ」（3253-8771)がある。ここは電化製品も売ってる日用雑貨のディスカウント店。カップラーメンからフトンまで、メチャ安で並んでる。赤マムシドリンクも大特価。買物途中のスタミナ補給にもってこいだ。グビグビッと飲み干せば、パワフルにアキバショッピングを楽しむことができるだろう。とはいえ、ここは1日でまわりきれるほど、ヤワな街じゃない。午前中に目ぼしいものをチェックし、午後からを買い出しに当てる、というのがアキバにおける買物のセオリーだが、これがなかなかうまくいかない。とくに地方から出てきた人には、この街独特の雰囲気に圧倒されてしまい、気がつくと、目当ての商品を何も買えなかった、なんてことがよくある。そこで紹介したいのが、「ホテルシルバー・イン」（3251-2791）。一晩泊まって頭を冷やせば、より失敗のない買物ができるはずだ。


時間を超えたところにもまた秋葉原が見える

実録! LC630 購入記

文=砧佐敦夫
Text:CHOSA Atsuo



我々取材班は、実際に秋葉原で買い物をしてみることにした。といっても、たまたま近くにパソコンを買う人間がいたので便乗しただけのことだが……。ともあれ、購入実戦ルポはスタートした。「パソコンはこう買うのが正しい!」のかなぁ?(文中価格には消費税、カード手数料等は含まれていません)

おいおい、最初から間違ってるぞ〜っ!

たまたま網にかかった購入希望者は、フリー編集者のH氏と妙齢のS嬢のお2人。発売されたばかりのアップルのマッキントッシュLC630(68LC040/33MHz搭載)が希望である。もちろん、編集予算でも何でもない、自腹を切るのだから2人とも真剣そのもので、ヤラセはまったくナシである。

集合は午後1時、秋葉原電波会館内の喫茶店「古炉奈」と決定した。メンバーはH氏、S嬢、そしてH氏の共同購入者の弟氏。プラス購入アドバイス担当のC氏と取材担当のYの総勢5人。予想通り、購入実戦はスタートから思いっきりコケた。ただでさえ、「秋葉原ショッピングはウィークエンドの午前中」という鉄則があるのに、集合はメンバーの怠惰な生活ぶりを反映して午後1時になってしまった。いったいこれのどこが「正しい購入法」なんだろ。

購入品目を確認して買い物のスタート!

2人とも初めてのパソコン購入で、S嬢の方は「なんかよくわかんなーい」状態だが、H氏は事務所ですでに半年ほどマッキントッシュをいじっていて、事前の研究も十分。表1のような組み合わせでの購入を計画している。そんなに現金を用意しているのかと聞いてみると、「ほとんどはカードを使う」という答え。「秋葉原ショッピングは現金がベスト」の鉄則を覆す新常識の実践者がすでにここにいたとは……。

C氏は、早くも先頭に立ってスタスタと進んでいく。最初に覗いたのは秋葉原でも激安で有名なステップ。ここで最初に最安値を確認して、後の店をまわれば、高いか安いかの判断もしやすい。ステップから、ソフマップ、イケショップ、リッツコンピュート、T-ZONE、フリージアとマッキントッシュ専門店を次々まわって価格を確認していく。

集合から1時間半、いよいよ購入だ

一通りまわったところで、いよいよ方針決定だ。2人とも現金はそう多くは持ってきていないので、カードの使えない店での購入は難しい。LC630本体に関しては、一番安いステップとその他のショップとの差が5,000円程度の上、ステップでは増設RAMの取り付けサービスを行っていなかったために(アップルでは個人が本体を開けると、保証が効かなくなる)、2人とも増設RAMと本体をあわせてカードで買うことに決定。アフターケアにも定評があり、すいてて落ちついて交渉できたリッツへ向かった。S嬢はここで倍速CD-ROMのTAXAN TS-CD200M(特価23,800円)も購入した。S嬢のリッツでの買い物価格はしめて238,000円。H氏は本体と増設RAMで215,000円となった。

そして、H氏が目を付けたのが、T-ZONEの目玉商品のCD-ROMだ。緑電子のCXA450(3倍速)が32,800円。キャディ・タイプではないが、3倍速でこの値段なら大正解。めでたく、店頭で「最後の1台」というのを購入することができた(本当はS嬢も欲しそうだったが、H氏は他人のことなどお構いなし)。LC630のCD-ROMのついていないタイプと内蔵タイプとの実売価格差は3万円ジャスト。2人とも、それなら3万円以下の外付けを買うか、3倍速、4倍速を買った方がトクと判断したのである。

実はこの時点で、2人ともプリンタの購入を断念している。特に予算は決めてはいなかったものの、まわっているうちに、かかる金額の現実感が出てきたのだろう。キーボードはファンクションキー付きのアップル純正拡張キーボードを、秋葉原価格がおおむね19,800円のところ、2人とも「これぐらいはキャッシュで」と、ステップ(17,600円)で購入した。

モニタに関しては、S嬢は17インチモニタにすることだけは決めていたものの、店頭にずらりと並んださまざまな機種を見るうちに、「私、高いのも安いのも違いがわからないから、安いヤツでいい」といい始めた。相談に乗っていたC氏も最後にはついに諦め、ソフマップの店頭で店員に禁じ手の「ここで一番安い17インチモニタは?」攻撃に出た。その結果、S嬢が購入したのが、サスティーンの17インチ(69,800円)。

良い子のみんなは決してこんなことやっちゃダメだよ。

いっぽう、最初から「ナナオ、ナナオ」とうわごとのようにつぶやいていたH氏、ステップの109,800円という価格が頭に焼き付いて離れない。結局弟と現金を出し合っての購入を一大決心した。こうしてH氏は無事憧れのナナオを購入、5人揃って、秋葉原を後にしたのである。

取材担当者として最後に一言いわせてもらおう。「こんなの、ちっとも正しいパソコンの買い方じゃない」

表1(H氏の購入リスト/予定)

本体=LC630(RAM 8MB/HDD 250MB、CD-ROMなし)
→定価21万円、実売約14万円
増設RAM=16MB
→実売6〜7万円
モニタ=ナナオ53T(17インチ)
→定価19万円、実売12〜13万円
外付CD-ROM=4倍速のトレー式があれば
→実売57,000〜58,000円
キーボード=アップル拡張キーボードII
→定価3万円、実売2万円弱
プリンタ=エプソンMJ-700V2C
→定価99,800円、実売77,000〜78,000円

表2(H氏の購入リスト/最終)

本体=LC630(RAM 8MB/HDD 250MB、CD-ROMなし)+増設RAM=16MB
→215,000円
モニタ=ナナオ53T(17インチ)
→109,800円
外付CD-ROM=緑電子CXA-450(3倍速)
→32,800円
キーボード=アップル拡張キーボードII
→17,600円
●合計=375,200円

表3(S嬢の購入リスト/最終)

本体=LC630(RAM 8MB/HDD 250MB、CD-ROMなし)+増設RAM=16MB+外付CD-ROM=TAXAN TS-CD 200M
→238,000円
モニタ=サスティーン(17インチ)
→69,800円
キーボード=アップル拡張キーボードII
→17,600円
●合計=325,400円

大阪・日本橋はこうなってまっせ



秋葉原がパソコン街の東の横綱なら、西の横綱は、大阪・日本橋。通称「でんでんタウン」を中心に、250もの電気店が並んでいる。この日本橋は、秋葉原とはかなり違った性格を持っている。いったいどこが？　どうしてそうなったの？

東京に生まれながらも大阪に移り住んではや10年という、大阪をこよなく愛するライターによる、超私的コラムのはじまりはじまり。食べ物の話とか、大阪の見どころの話とかになったりする、多少の脱線は許してね。





「にっぽんばし」でっせ

大阪で電気製品を買うなら「日本橋」。これは大阪の常識である。日本橋３丁目の交差点から恵比須町まで、堺筋の両側に家電・パソコン・AVなどの店舗がぎっしりと並ぶ。そう、ここが有名な「でんでんタウン」だ。

郊外型のディスカウントショップが増えていくなか、お客の流れが気になるところだが、なんのなんの、日本橋は超元気だ。いつ行っても人・人・人である。

現在、関西空港がオープンしたということもあり、「WELCOME」などの旗があちこちで見受けられる。ここ一帯が「世界に一番近い街」というスローガンのもと、一大キャンペーンを繰り広げているのに便乗した形であろうか。

日本橋界隈をぶらぶらと歩いていると、なんとも不思議議な感覚が味わえる。メインストリートである堺筋は両側にビルが立ち並ぶ都市のイメージであるが、一歩メインストリートからずれると平屋建ての文化住宅があったりする。日本橋は「なにわ」らしさをもっとも味わえる場所なのである。

現在でんでんタウンには、250もの店が並んでいる。このあたりは、昔は古本屋街だったそうだが、戦後の家電ブームの波に乗って電気街に変わっていったのだ。

でんでんタウンのなかで、パソコンショップの最大激戦地区は、日本橋５丁目界隈。そこに複数以上の店舗を出店しているのは、ソフマップ・Ｊ＆Ｐ・ニノックスだ。ソフマップは秋葉原にも店舗を構えているので、東京近郊に住んでいる人にもおなじみだと思う。Ｊ＆Ｐとニノックスは、それぞれ関西では有名な家電チェーンのパソコンショップである。この３つを説明していこう。

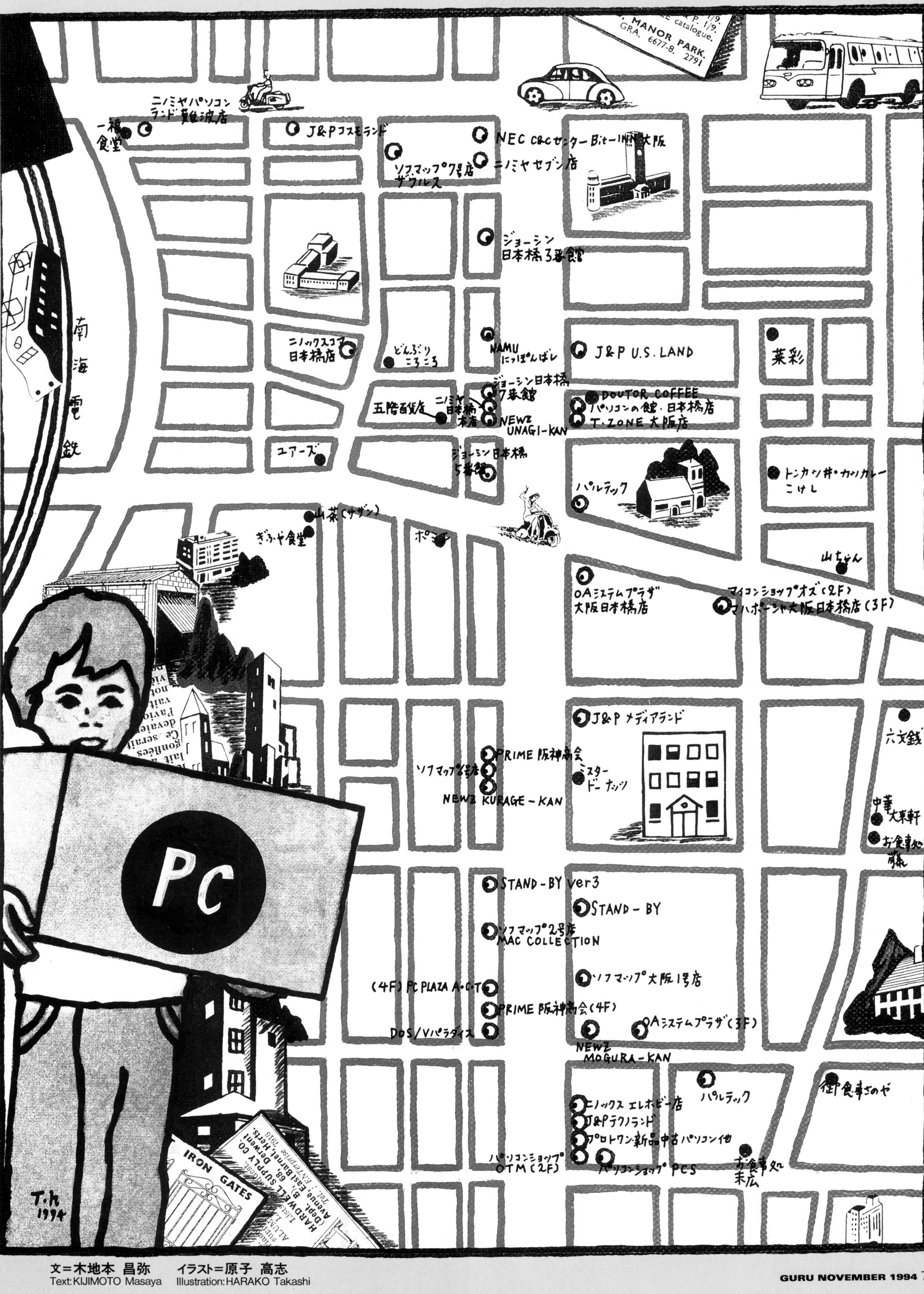
まず、ソフマップ。現在、でんでんタウンには７店舗を出店している。ここは、１日に何度か価格を変えることもある。この夏オープンした７号店「SAURUS（ザウルス）」は、パソコンの専門店というよりも「パソコンの百貨店」というイメージの大型店である。場所は、激戦地区の５丁目ではなく、難波駅の近く。関西空港がオープンしてから難波駅付近は観光客の通り道となっているので、その流れをつかもうと考えているようだ。

Ｊ＆Ｐは、上新電機が出店するパソコンの専門店。でんでんタウンには、テクノランド・メディアランド・コスモランド・USランドの４店舗をもつ。テクノランドは、売場総面積が1000坪を超える世界最大級のパソコンショップだ。メディアランドは、場所がら若いお客が多いため、彼らに合うように商品のジャンルを絞っている。また、コスモランドは難波駅に近いのが売りで、USランドはMacの専門店である。

ニノックスは、家電店のニノミヤの系列のパソコンショップである。でんでんタウンにはエレホビー店、ニノックスコア日本橋店、パソコンランド難波店の３店舗がある。対象は個人ユーザーで、メインの商品はNECである。AT互換機とMacに関しては、これから力を入れていくそうだ。お客が棚から自分で商品をとる「サプライ品のセルフ化」にともなって、価格交渉をしなくて済むような「ワンプライス化」を目指している。

でんでんタウンには、このような大手ショップだけでなく、小さなショップも数多くある。価格はそれぞれの店でまちまちだが、交渉には気軽に応じてくれるところが多い。

とにかく、でんでんタウンは歩いてみること。いろいろなものに出会えるはずだ。時間を作って、ゆっくり楽しんでみよう。



文＝木地本 昌弥　イラスト＝原子 高志
Text: KIJIMOTO Masaya　Illustration: HARAKO Takashi

表示価格どおり買わへんってほんま？

大阪・日本橋を東京の秋葉原と較べた場合、もっとも大きな違いとなるのは、「パソコンを買うときに、値切ることができる」ということだ。ふだん秋葉原でパソコンまわりのものを買う人は、ちょっとびっくりするかもしれない。

しかし、このことを「関西人はケチだから」などといって、簡単にかたづけてもらっては困る。日本橋で値切るということには、実は、とても大きな意味が隠されているのだ。それをこれから説明していこう。

そもそも関西人は、値切るのが好きである。これは性分と言ってもいい。「表示価格で買うのはアホや！」と言い切る人もいる。値切るだけ値切って交渉が成立したあとにも、「消費税は切っといて」という会話が聞かれる。これは、商談成立後には必ず言わなくてはいけない法則のようだ。

しかし、客が値切るのは、たんに「価格を下げたいだけ」というのではない。どうも関西人は、交渉を楽しんでいるようなのだ。価格は安いが店員との交渉を禁止している店などは、東京では人気があるようだが、ここ日本橋ではいまひとつだ。

パソコンショップの店員さんも、「お客さんが値切るのは当然」と受け取っている。しかし「値切るだけ値切って、結局買わへんと帰る客もおる。そういうお客はんには二度と来てほしくないわな」とのこと。

つまり、商談もひとつの人間関係なのである。店員さんに気に入ってもらえなければ、思うように値引きをしてもらえないケースもある。しかし、お客さんによって販売価格が違うのは、店員さんが「差別している」ということではなく、そのお客さんがうまいか下手かというだけのことだ。

商談はテクニックだ。相手の店員さんも百戦錬磨のプロである。そのプロを相手にいかに交渉するか、それはあなたの腕次第だ。日本橋に行ったら、そんなプロを相手に自分の腕を試してみよう。



ソフマップ7号店 SAURUS



J&P テクノランド

うまいとこ、ぎょうさんありまっせ！

大阪は食い倒れの町。おいしいものがたくさん食べられる。高くておいしいのは当たり前、いかに安く、そしておいしく食べられるかが問題なのだ。

日本橋を歩いてみて、いろいろなショップの店員さんに、毎日どこで食事をしているかを聞いてみた。

誰もが最初に言うのが、「トンカツ丼・カツカレー　こけし」だ。私もここはよく利用させていただいている。私は3食ともカレーでいいほどカレー好きであるが、ここでは必ずトンカツ丼を注文する（カレーがまずいというわけではない）。昼食時には行列のできる店である。つぎに名前がよく出たのが「山ちゃん」。定食屋さんで魚がおいしいのだそうだ。得した気分になれるのが「菜彩」。ここは日本食（一品物）のバイキングだ。煮っ転がしやおひたしなど家庭料理の一品物だ。外食に飽きた人にはいいかもしれない。値段も800円で食べ放題。これで食後の珈琲もつくのだ。「一福食堂」は難波駅の近く。ここは注文してからが早いのがうれしい。急ぎの人にはお薦めである。量を食べたい人にお薦めなのは「ユアーズ」「ポミエ」。とくに「ユアーズ」のピラフは大盛りを頼むと、食べるのがしんどいほど量が多い。ほかに、おいしいと評判なのが「お食事処　藤」「お食事 さのや」。メニューが豊富なのが「中華 大来軒」。安いと評判なのが「お食事処　末広」である。あとは、「mister Dounut」の飲茶、「DOUTOR COFFEE」のサンドイッチ類が手軽でいいという話だ。

しかし、店員の皆さんはさすがに毎日のこと、よほどおいしくてもいい加減に飽きが来るようだ。

まだまだおいしい店はいくつもあると思う。日本橋に買い物に行った際に参考にしてもらえれば幸いだ。



日本橋は家電店が元気やでぇ。

秋葉原は、家電店中心からパソコンショップ中心に変わりつつあるそうだが、大阪・日本橋では、まだまだ家電店が元気だ。

パソコンショップは、日本橋のなかでも5丁目に集まっているなどして、パソコン関係の店と家電店がうまく住み分けをしていることも理由のひとつだろう。

また、関東では、郊外型のディスカウントショップが増えていて、秋葉原まで買いに行かなくても同じような値段で購入ができるというが、関西では、そのような店舗は少ない。関東では、環状線状に繁華街が広がっていて、駅ごとにディスカウントショップがあるのに対し、大阪はキタとミナミしか大きな繁華街がない。だから家電店も日本橋にかたまったままなのだそうだ。

ほかに、買いに来る人のタイプの違いもあるようだ。日本橋は家族連れが多い。休日にレジャーをかねて散策に来るのだ。朝一番から夕方まで、この界隈を何度も何度もまわって、それぞれの店で値段を確認したり、店員と交渉したりして夕方ぐらいにいちばん得な店で購入している。1日に3回ぐらい来るお客さんも多いという。ようは、「買う」という目的も当然あるのだろうが、「交渉する」ということを楽しんでいる人が多いということだろうか。

しかし、「家電」が最近では「個電」に、すなわち個人で電気製品を購入するようになって、購入方法も変わってきているという。郊外型の店舗が増えたりして、秋葉原的になっていくのは時間の問題で、それは自然の流れだろう、という話も聞くことができた。

おもろいとこ、見てかな損でっせ!

せっかく日本橋「でんでんタウン」に来たのなら、まわりの探索もしてみよう。

メインのストリートを離れると、まったく違った風景に出会うことができる。平屋建ての文化住宅が並び、そこから見る「でんでんタウン」のビル群。一種異様な雰囲気が味わえる。また、裏手にあるのがこの周辺では有名な五階百貨店。平屋建てなのに五階百貨店である。デパートでないのに百貨店である。ひとつの建物のなかに何件もの店が連ねていて、それぞれの店が天井まで、ものをビッシリと積み上げていて、通路はやっと人が通れるぐらいである。店は中古家電店や古着、工具、道具類などの店だ。スリッパの片方など、エッというようなものも並んでいる。とにかくこの辺では有名、いつもにぎわっている。アッというものが見つかるかも。

「でんでんタウン」を南に歩き、抜けて少し行くと新世界にぶつかる。大阪のシンボル通天閣を中心とした街だ。

「でんでんタウン」の北東にあるのが黒門市場だ。ここは「なにわの台所」と呼ばれている。全長300メートルを超えるアーケードで、両側に八百屋、魚屋、肉屋、乾物屋などの商店が並ぶ。ここもいつもにぎわっている。これからのシーズンはフグだ。大阪の冬の味覚のトップである。魚屋さんには活きのいいトラフグが並ぶ。値段も手頃だ。「でんでんタウン」帰りには是非お薦めの場所である。

大阪ミナミで有名なのが、道頓堀界隈。「でんでんタウン」からは歩いて15分ぐらいである。カニやエビなどの動く巨大看板が世界的に有名だ。グリコの看板やくいだおれ人形なども有名である。映画『ブラックレイン』でも紹介されていたのを覚えている人も多いだろう。この看板パワーが最近「でんでんタウン」周辺にも見ることができる。「でんでんタウン」が看板ラッシュになるのも時間の問題なのだろうか?

とにかく今は、ミナミ(心斎橋、難波周辺)が面白い。9月4日に関西空港がオープンして、ここは「世界に一番近い街」をスローガンに、街全体をアピールしている。日本橋に来た人は時間をとってこの界隈を楽しんでほしいものである。



ニノックスコア 日本橋店

DOS/Vショップが少ないんとちゃう?

日本橋には、秋葉原には多くあるDOS/Vのパーツのみのショップがほとんどない。DOS/Vマシンは売られているが、ほとんどが組み立ててあるものである。

そこで、いろいろな店で話を聞いてみた。どこも口を揃えて言うのが「ハードディスクやメモリなどの周辺機器をのぞいては、ほとんどセットものが売れている」ということだ。しかも、IBMやコンパックやGATEWAYなどの有名ブランドがほとんどだという。

日本橋でのDOS/Vマシンは歴史が浅いので、このようなショップが育っていないのであろうか。「秋葉原と日本橋の規模の違い」という人もいる。または「関西人は値切り交渉は上手やけど、マシンの使いこなしは下手な人が多いようやね」とか、「関西はブランド志向が強く、高い定価の有名ブランドの商品をいかに値切って買ったかという、モノに対する満足を志向する人が多いので、わざわざ組み立ててまで作ろうとする人が少ないのちゃうかな」というような考察を立てる人もいる。

DOS/Vの専門店が、これからは増えていくだろうと言う人もいる、このまま増えないという人もいる。何にしろ、私もDOS/Vマシンを使っている以上、もっとショップが増えてほしいのだが、ここはもう少し様子を見るしかないようだ。

うちの店はここが売りだ! **◆ニノックスエレホビー店**/掘り出し物が見つかると思いますので、ぜひ覗いてください **◆T-ZONE**/関西一の品揃えを自負。よそにないものを置いています **◆パソコンの館**/福岡店、金沢店もオープン **◆パルテック**/明るく、親しみやすいスタッフが安い価格で応対します **◆阪神商会**/マルチメディアに興味のある方はぜひお越し下さい **◆OAシステムプラザ大阪日本橋店**/札幌から鹿児島まで23店舗、引っ越してもそれぞれの場所にてアフターサービスに努めます **◆OAシステムプラザ(3F)**/見つからないものが見つかります。ジャンク品なども揃えてます



渡邉高士
日大芸術学部写真学科を中退。その後、東京の麻布スタジオで、アシスタントとして修行する。独立後は、独特のアングルで撮影した車の写真を中心に活動。現在は、広告一般、雑誌などで活躍中である。彼のノートパソコンはコンベショナルメモリをカリカリにチューンアップしてあることで有名だ。

Photo: SEKIYAMA Kazuya (P74〜77)

パソコン選びの超人→①

青色申告はやっぱり98で、秋葉原は平日のお昼に

渡邉高士（カメラマン）

「青色申告ができるPC-98マシン、一応、Windowsも触ってみたい」渡邉氏の目的ははっきりしていた。現在、会計業務に使われるパソコンはPC-98だけであり、個人会計用のソフトも実際98用のDOSソフトしか存在していないのだ。

「初心者なんで、１番メジャーで、解説本が多く、疑問を人に聞くことのできるパソコンを買いたかった」

解説書を読んで、細かな設定が自分の持っているパソコンやソフトウェアと微妙に違っているため、とうとう使い方がわからず投げ出してしまった経験を、パソコンユーザーは一度は持っているはずである。渡邉氏は、友人、知人から慎重に情報を集めパソコン購入の知識をまとめ上げた。いわば、パソコン購入の王道、マニュアル通りのパソコンシステムの構築である。

そして、今年の４月秋葉原へと買い物に彼は出かけた。開店の11時、平日の午前中だけあって人通りが少なく、たっぷりと店員に説明してもらえる。ハードに強い店員がソフトにも強いというわけでなく、彼は大型店を中心に何軒かの店をまわるつもりだった。

「石丸電気で２時間ぐらい説明を聞いたかな。本体は、自宅に置くところもないしノートタイプにしました。Windowsも触ってみたいと言って、最終的にPC-9821Neという機種を推薦されて。カラー画面なら、ノート用の設定もいらないらしいし。とにかく、標準的なものという要求にあってましたから」

次にまわったのが、ラオックス・ザ・コンピュータ館。やはり、とびきりの大型店舗だ。渡邉氏は、こうして、数日をかけて何件かの店を廻り、結局一番親切に長時間つきあってくれた石丸電気ですべての購入を終えた。

最終的に購入したのは、PC-9821Neに、弥生会計３、ワープロのワード、表計算ソフトのエクセル、データベースソフトのパラドックスという定番の数々だった。

すべてを車に積んだ渡邉氏が次に目指すのはGURUの編集部である。パソコンは、最初につまづく人が多いことからも、彼のように周囲のパソコンに詳しい友人の立ち会いのもとで初期作業を終えるのは非常に有効である。こうして無事、Windowsをふくむソフトウェアのインストールを終え、彼のパソコンは順調な第１歩を歩みだした。

そして、この10月。

「家にある解説本の高さが、買った機材やソフトのマニュアルと同じ高さになった」という渡邉氏。疑問が出るたびに本の高さは高くなっていったそうだが、ともかく、経理はすべて弥生に移り、カメラ機材も表計算ソフトに打ち込まれ、打ち合わせのFAXや請求書もフォームファイルを開いて短時間で作れるようになった。

パソコン上級者への道に王道（お金は少しかかるが）は意外とあるのかもしれないと、GURUはいま考えている。



笹　和紀
1965年生まれ。金沢大学文学部で仏文学を学んだ後、某コンピュータ系出版社に勤務。退社後、雑誌の仕事を始める。〝語り〟を活字にインタビューという仕事が好きである。同じ理由でパソコン通信もおもしろい。散歩は朝夕2回。一日は明け方と夕暮のためにあるのではないだろうか。

パソコン選びの超人→②

中古で失敗しても、返品できればコワくない

笹　和紀（文章家兼家事手伝い）

パソコンを買うとなれば大抵の人は慎重に選んで購入に踏みきるものだ。買った後のトラブルは絶対に避けたいと思う。しかし彼女は何度もトラブルに見舞われ、しかも全然めげない特異な体質を持つ。

通信さえできればいいということで、最初に買ったのは中古で16〜17万円のエプソンのノート、NRだった。

「ソファに寝ころんで通信を楽しんでいたんですが、２週間後、だんだん液晶画面がうすくなってきて、ついには見えなくなっちゃった、ある日スーって幽霊みたいに（笑）」

中古品を買う場合、消耗品である液晶画面などは入念にチェックすべき個所なのだ。彼女はしていない（笑）。

それを返品後、今度はIBM機が欲しくなった。しかし、正規価格で約60万円とかなり高く、手が出ない。それで、店員の勧めた台湾製の互換機〝MINTA〟（モニタ込みで23万円）をローンを組んで購入したが……。

「お店では確かに立ち上がるのに部屋では立ち上がらなくて。２週間ねばって策をつくしてみたんだけれど、やっぱりダメで。３週間後に諦めて、返品してローンも解約しました」

店員さんも理由はわからずじまいで、これも返品。そして結局、MacII siの中古をモニタ込みの33万円ほどで購入。今度こそトラブルはなかったが、５カ月後の去年４月に、NIFTY-Serveの売ります／買いますの「掲示板」で20万円の価格をつけて売りに出してしまった。

「理由はお小遣いが欲しかったから（笑）。５〜６件あったアクセスの中で、一番近所の人に売りました。実はその少し前にPC-9801UVを知人からいただいて、Macをあまり使わなくなったというのもあります。今、考えるといい時期に売りましたね、今じゃ４〜５万の値しかつかないし」

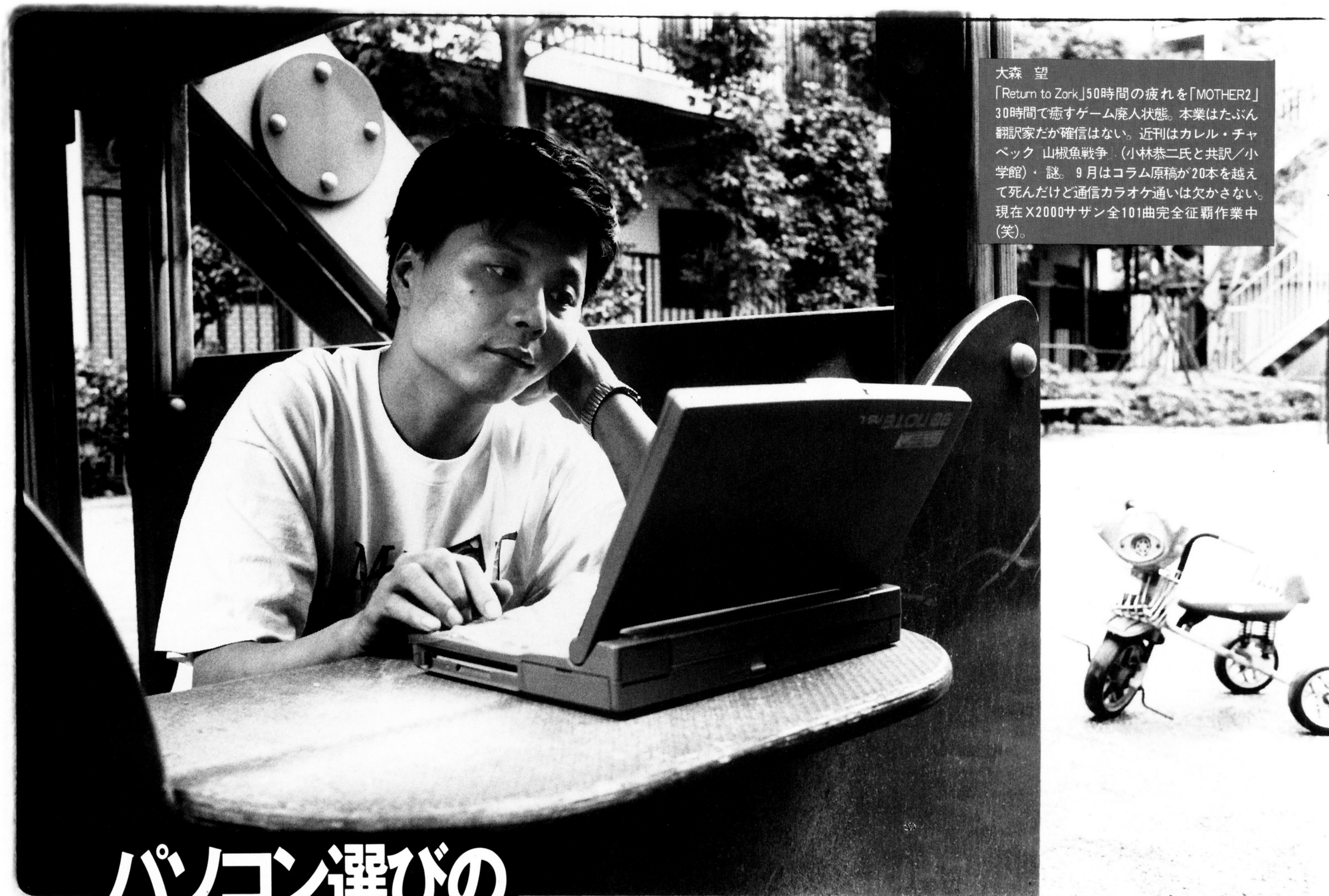
そのPC-9801UVはプリンタ、HDD、モニタにラックが付いて５万円の価格で譲り受け、今に至るまで愛用している。

彼女は「掲示板」も頻繁に利用している。つい先日も、MacII ciを買ったばかりだ。本体６万6,000円、モニタは13インチで３万円、キーボード5,000円とバラで揃えた。

「〝買いたい〟とアップしておくと２〜３日で声が届きます。参照数が多い週末にアップするのがコツ」

お店などの中間業者なしで、直接売買できる「掲示板」は、売る人は高く、買う人は安くできる点が最大の魅力だ。しかし、保証はないので事前の情報交換は慎重に行ないたい。

「予定は狂いましたが、私のようなパソコン遍歴もあっていいんじゃないでしょうか。ダメだったら即返品、売却ということで一応買って遊んでみる……性格が表れますね（笑）。買うときは実際にマシンを前にして詳しい話を聞きたいので店員さんがしっかりしていて、返品可能な店にします。それにしても、もしもMINTAが返品不可能だったら……今の私はなかったかもしれません（笑）」



大森　望
「Return to Zork」50時間の疲れを「MOTHER2」30時間で癒すゲーム廃人状態。本業はたぶん翻訳家だが確信はない。近刊はカレル・チャペック『山椒魚戦争』(小林恭二氏と共訳／小学館)・謎。9月はコラム原稿が20本を越えて死んだけど通信カラオケ通いは欠かさない。現在X2000サザン全101曲完全征覇作業中(笑)。

パソコン選びの超人→③

喫茶店を仕事場にしつつ、えっちCD-ROMまでも

大森　望(翻訳家)

秋葉原は物欲の街である。物欲の街は物欲の人を吸引し、気がつけば夢遊病者のごとく果てなき買物遠征をつづけるアキバゾンビ状態。15分歩いて駅の向こうのスーパーに23円安い大根を買いにいく主婦を嗤うのはたやすいが、100円安い『ヴァーチャル未亡人』を求めて秋葉原じゅうのショップを見て歩く三十男のほうがはるかにあさましいと思う。

とはいえ、わたしとて昔からこんな廃人だったわけじゃない。最初に買ったパソコンはPC-9801NS/Lだから、つい昨日みたいなもの。なにしろ喫茶店を仕事場にしている関係上、メインマシンは携帯性と信頼性が最重要。だからそれまでずっと文豪キャリーワード(A4ジャストサイズ重量2キロ)を入力専用機に使用していたのだが(軽く2万枚はこれで書いた)、同サイズ同重量でHDとRAMカードが内蔵できるNS/Lが登場したため、とうとうDOSの人になってしまったわけである。

しかし、モノクロ液晶国産DOSマシンの人はまだ傷が浅い。ゲームは無理だし単体ではCD-ROMも外部HDも接続不能。しかもNS/Lはついに後継機が登場しなかった一代変種だから、内蔵HDを含めて98NOTE汎用の周辺機器はほとんど接続不能。せいぜいFAXモデムをつなぎ、フリーウェアのユーティリティで遊ぶくらい。いまにして思うが、拡張性の低いマシンはさいわいである。秋葉原を何時間歩こうが、あれもこれも「うちの子には関係ないわ」と心の平和を維持することができた。

そんなわたしの人生最大の誤ちは、えっちCD-ROMの誘惑に目がくらんだことだ。直接の引き金は昨年のMac価格大暴落。68040のMacがなんと12万(購入時実売価格)。かつては新車一台分ともマンション一戸分ともF16一機分ともいわれた高嶺の花、ださださリンゴマーク(©青木光恵)つき純正Macが10万ちょいだぜ。先月まで総額7万の吉原高級ソープにいた現役AV女優が西川口のピンサロに流れ4000円ポッキリで本番してくれるようなものではないか。これで買わなきゃ男じゃない。

ってことでLC475を買ったのがすべてのまちがい。13インチモニタとプリンタとCD-ROMドライブをつけメモリを足しVRAMを足しモデムをいっちょんちょんに換え540メガの外付けHDをつなぎ大量のCD-ROMを購入……とあとはただ物欲の坂を転がり落ちるばかり。「840AVなんか去年から20万も値下がりしてるんだから、まだ2万しか下がらないLC475を買っといて正解だよ、18万も儲かっちゃったぜ」と謎の理屈をつけてLC630/CDを169,800円で公式発売日前日に購入、475に17インチのマルチスキャン(飯山電機HELLO2買価85,000円)載せて、2,800円×2のフォンネットで家庭内LANを張り、ビデオ／TVシステムの発売を心待ちにするあさましい人間になろうとは。しかしまあ2年前にMac買ってまだローン払ってる人間のこと思えば50万は得してるんだから、MOとスキャナ買ってもお釣がくるな。よおし、これから秋葉原だっ。



パソコン選びの超人→④

アップグレードを利用する"Macわらしべ長者"たち

山口君と竹田君(仮名)

Macintoshには、他のメーカーでは見られないアップグレードサービスがいろいろと用意されている。言ってみれば、AT互換機ユーザーがパワーアップのために、自分でマザーボードを入れ換えてしまうのと同じようなことをメーカーがやってくれるというわけである。このサービスをうまく使えば、買い換えよりも安く新機種を手に入れることができてしまう。

ボクの知人で、アップグレードをうまく利用しておいしい思いをした奴がいるので紹介しよう。彼らの方法を参考にして、うまみのあるアップグレードをしてほしい。

最初に紹介するのは山口君（仮名）だ。彼はII ciをQuadra700にするときにこんな方法を使った。

まずパソコン通信の個人売買で自分のII ciを〝II cx+差額〟で物々交換したいというメッセージを掲示した。なぜわざわざII cxと交換したかというと、II cxからでもII ciからでもアップグレードにかかる費用に差がないからだ。II ciをQuadra700にするよりも手間はかかるが、〝II cx+差額〟にすれば差額分だけアップグレード代が安くすむのである。

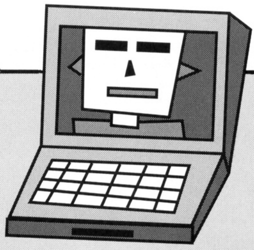
もうひとりの竹田君（仮名）の場合は、Quadra840AVを売り払い、もう一度Quadra840AVを購入した。

かれはQuadra840AVを発表と同時に買って使っていた。もちろんPower Macへのアップグレードもするつもりでいたのだが、アップグレードの価格とパワーアップルキャンペーンの価格を見て目が点になってしまった。このままPowerMac 8100にすると30数万かかるのに、キャンペーン対象品だとたった6万円しかかからない。そこで彼は、今まで使っていた840AVをパソコン通信の個人売買で高く売り、パワーアップルキャンペーン対象品の840AVを新たに買ってアップグレードしたのだ。そのおかげでPowerMac 8100を、今買うよりも安い値段で手に入れることができた。

竹田君の方法はこちら側の意志だけではいかんともしがたいメーカー側のキャンペーン期間を利用しており、いつでも使えるというものではない。しかし、山口君の方法は今でも十分流用することが可能だ。II viやII vx、CentrisからPowerMac 7100へのアップグレードなんかは、山口君のとった方法で、おいしい思いができるかもしれないし。ほかにも探せばおいしいアップグレードは転がっているはずだ。

手持ちのMacを交換してよりいい思いをする……これを聞いて、何か思い付かないだろうか。そう、一本の藁を交換したことがきっかけで、最後は庄屋のむこ養子になったという昔話の「わらしべ長者」によく似ているのだ。似ているどころかわらしべ長者の藁がMacに置き変わっただけだ。よし、交換していい思いをしたMacユーザーのことを、これからは「Macわらしべ長者」と呼ぶことにしよう。

コラム番外地



文＝松田勇治
Text : MATSUDA Yuji

極論！ ノートは386で充分だ!!

新聞社系のダッセー入門誌

え〜と、いやちょっと待ってよ。その質問に答える前に僕の方からちょっと質問させてもらっていいかな？ あのさ、オレず〜っと昔から不思議なんだけど、いったい“パソコンを使いこなす”ってどういうことだと思う？

そう。もうボチボチ、そんなセールストークの無意味さが世間様にもバレてきちゃったんじゃないの？ だいたい、“使いこなす”ったってさ、新聞社系のダッセー入門誌……って言葉自体がもう人をバカにしてるようで大嫌いなんだけどさオレ……なんかだと、相変わらず“到達すべき目標”みたいな感じで乱発してるけど、じゃ、その定義は何かと思って読んでると、結局明確な指針はどこにも書いてないでしょ。まあ、どうせ雑誌作ってる連中自身がパソコンを使いこなしてなんかいないし、たぶんそうなる気もないんだろうからしょうがないけどさ。

その昔、キャプテン・クランチあたりの時代だと、パソコンを使うってえことはすなわち「自分がパソコンにやらせたい処理を実現するためにプログラムを書く」ことで、それがパソコンと付き合う普通のカタチというか姿だったわけでしょ。だけどさ、今そんなことやってる奴、いる？ いや、もちろんいるんだけどさ、いまやマジョリティユーザーは完全にアプリメインでしょ。アセンブル速度がどうしたとか言われても困るのよ。個人的に言語はTPで挫折したんだけど、だからっつっていまさらVBやらVCやろうとも思わないし。

え？ “マルチメディア”？ 正直なところ「はぁ？」としか思わないんだよねオレ。だって別にパソコンでゲームなんかしないし、えっち画像は裏本とか裏ビデオで見ればいいだけの話だし、動画に限らず画像処理なんかしないし、それ以外にマルチメディアのメリットって何かある？ WindowsなんかやるぐらいだったらBTRONだよ、これからは(笑)。

出ないかなあ “MS-DOS Ver.7”

知ってのとおり、僕は雑文書きを生業にするケチな書生だから、パソコンを使う目的は時間比で作文が7割、通信が2割、それとデータベース作成やら文書コンバートが1割、ってな感じなんだよね。ああ、あとは年に1回の確定申告か。でさ、そのために使ってるアプリは全部MS-DOS用だし、もっと言っちゃえば今使ってるノートは“VZ Editor”って名前の高機能ワープロだと思ってるよ。それでなぁ〜んの不都合もないし、大体たかだかワープロと通信やるためになんでわざわざWindowsなんか使わにゃならんのよ？ たしかにWindowが使えれば便利なことも多いけど、それはMS-Windowsみたいな大げさな構造にしなくてもDOSSHELLをもう少しキチンと作ってくれれば解決する話だと思う。だから、そのへんを改善したMS-DOS Ver.7の登場を心待ちにしてるんだけど、出ないかなあやっぱ。

そうそう、言い忘れてたけどオレたぶん、“世界で初めて手持ちのパソコンをグレードダウンした男”だと思うんだ(笑)。ここ数年はずっと98のノートを使ってるんだけど、2台目のNS/Eを使ってるうちにCyrixとか出てきたのね。ちょうどある種の処理にはちょっと重さを感じてた頃だったし、生来の改造マニアの血も騒いで「世界最速ノート化計画」を立てて改造したんだけど、あっけなく失敗しちゃったのよ。

で、しょうがないからおとなしく出たばっかのNAに代替えしたんだけど、メインで使ってるアプリがあまりマシンパワーを必要としない奴ばっかりだから、ムダに速いばっかりで全然代替えした意味がなかったの。そりゃもちろん起動だってスクロールだって速いに越したことはないけど、所詮ノートのGDC周りとか、ディスプレイの反応速度なんてタカが知れてるでしょ。それと、ヨ太郎さんと違って、松もVZも386マシンで充分速く走るじゃない。印刷の待ち時間だってプリンタスプーラ入れれば関係ないし、変換速度が超高速だからって作文するのが速くなるわけじゃないし、検索置換がいくら速くたって意味ないんだもん。大体、処理性能が上がればいい原稿書けるんなら誰も苦労しないよ(笑)。

ああ、パソコン系ライターの人は別よ。ああいう人たちは常に最新の環境をひとつ手元に置いておかないとWindowsアプリのテスト記事とかが書けなくてメシの食い上げだろうけど、僕の場合はその手の仕事はほとんどやらないし、ハードのテストはそれ用に作ったモードがあるから別に困らないし。

私のパソコン “グレートダウン”法

で話を戻すけど、NS/T使ってた同業者がヤメロっつってんのにヨ太郎を5にバージョンアップしたのよ。当然、まともに走らんわねそんなもん。起動に1分30秒とか、変換するのに20秒とかかかっちゃって、まともに原稿書いてらんない、なんとかしてくれって泣き付いてきたのよ。で、そんならまあいいかと思って追金×万円でNAと交換してあげたの。もちろん起動なんかは多少遅くなったけど、実質上なぁ〜んの問題もないね。

環境？ うん、そりゃもちろん少しでも快適に使えるように多少は気ィ使ってるよ。とにかく可能な限りオンメモリで処理できるように配慮したつもり。具体的にはメモリを目いっぱいの6MB内部増設して、そのうち2MBをキャッシュディスク、720KBを辞書用RAMドライブ、2MBをLOGファイル等の一時置き場兼ワークパスにしてる。残りの500KBくらいがEMSで使う分ね。XMS関係でちょいとトリッキーなことしてるから、最初のうちは多少トラブルも出たけど、最近はもう枯れたもんでチョー安定してるよ。

変な例えになるけどさ、どんなにいい女と付き合っててもいつかは必ず飽きるでしょ。よく冗談で言うんだ、「常盤貴子だって300回もヤレば飽きる」って。個人的には高岡早紀なら500回はOKだけど。だからって、次々に新しい女に乗り換えてもいつかは飽きる。パソコンも一緒でさ、常に最新スペックを追い求めたって限界はあるし、それってたいがいは単なる“余剰”を求めてるだけでしょ？ 趣味性としては否定しないけど、なんだか“処女殺し”みたいなもんで空しいじゃない。それよりも、自分の生活の中でパソコンがなぜ、どういうことをやるために必要なのか、プライオリティをしっかり見極めて身の丈にあったスペックのマシンを環境の範囲できちんとチューニングして、じっくり付き合っていくことを考えてもいいんじゃないかな。そのほうがパソコンと自分との関係に“味わい”とか“愛”なんてものが出てくるかもしれないしね。

●ちなみに主な使用アプリケーション：松Ver.6／松茸 Ver.3.7／VZ Editor Ver.1.6／WTERM／GF Ver.1.3／View Ver.1.2／光の辞典／リッチ・テキスト・コンバータ／STARFAX／アシストカルクPRO／桐Ver.5／KI-SHELL、NOTE.COMを代表とする数多くの優秀なフリー＆シェアウエア群●拡張：テンキーパッド一体型トラックボール、FAXモデム(9600/2400)、BJプリンタ●というような環境で私は今、充分にシアワセです。

これを持っていればイバれる! 周辺機器選びのキーワード

ハードディスク、プリンタ、モニタ、モデム…。パソコンの周辺機器を買うときは、ホント苦労する。新製品が続々と出てきて、いったいどれを選んだらよいかわからない。そんなときは、「いま持っていると人にイバれる」ものを選んでみてはどうだろう。それを見つけるには、まず「キーワード」をチェック！　ここに出ているキーワードが入っている周辺機器を持っていれば、明日から人にイバれることウケアイだ。

「ギガ」ハードディスク



ハードディスクの容量はいくらあっても困らないというのは常識。とにかく大きければ大きいほどいいのである。はっきりいってしまおう。これからは1000メガ、つまりギガの時代だ。500メガバイトなんてケチなことはいっていられないのである。

もともとWindowsやMacといったGUI環境は、大容量のハードディスクがあることを前提にしている。アプリケーションにしても、ひとつインストールすれば10メガバイト単位なんてことは珍しくない。そのうえ、巨大なグラフィックデータやサウンドデータがあたりまえのように飛び交っているのだ。ギガバイトクラスも、単なるミエではなく必需品になりつつあるのだ。

いまでは、１ギガバイトのハードディスクでも、ほとんどの機種が定価ベースで20万円以下。ちょっと高いようにも思えるが、実はかなりお得なのである。ためしに１メガバイトあたりの値段を計算してみるといい。20万円だとしても、わずか200円だ。コンビニで買うフロッピーディスクより安いのである。

MS-DOSやWindowsでは、まるごと１ドライブとして使うとスペース効率が悪くなりすぎる。ふつうはいくつかのパーティションに分けて使うことになるだろう。基本的には２ドライブに分け、片方を起動ドライブとして実行ファイルを、もう片方にはデータファイルを置いておくといいのではないだろうか。片方を圧縮ドライブにするという手もある。

恐ろしいのはディスククラッシュだ。いくら信頼性が高まっているとはいえ、やっぱりイチマツの不安はある。もし壊れたら膨大なデータが一瞬にして失われてしまうのだ。これはタダゴトではない。しかし、フロッピーディスクにバックアップをとろうなんて、無謀もいいところ。できれば大容量のバックアップ用メディアを用意したい。テープドライブとかMOドライブなんかをとりそろえておけば、イバれること間違いなしだ。（斉藤重喜）

周辺機器でイバるにあたって

べつにイバらなくてもいいのだが、トツゼン、イバらせていただく。なぜなら、「イバってもいい周辺機器」をワタシが使っているので、イバりなさいという話らしい。

当然のことなのだが「イバってもいい周辺機器」には、イバっていい時期があるということは意識しておきたい。つまり「旬」のようなものだ。どんなに新しい周辺機器であっても、過去になる時期がくる。つまり「イバれるときにイバっておく」のが「旬」の周辺機器のタメである。日本人的な慎み深さなどといったものはこのさいであるから一時的に忘れよう。ほんの一時のことである。いつまでもイバれるわけではない。すぐに当たり前になる。諸行無常と言うなかれ。花火のドドンパ一発、一瞬のきらめきのごとく精根込めてイバろうではないか。

では、イバることにしよう。たとえば、ハードディスクである。これはギガバイト単位なければお話にならない。1メガバイトの1000倍である。たとえばQTムービーやフルカラーのファイルをマックで扱えば、ハードディスクの容量は気持ちよいほどドンドン消費される。そのうえギガバイトクラスのハードディスクはSCSI２対応のものが多いので、アクセススピードも速い。Windowsな環境になっているAT互換機の世界も、同じようなものだ。でかくて速い＝「ギガ」なハードディスクは、パソコンをバシバシ使っている証としても、いまならイバれる。２年後ぐらいにはテラバイトかもしれない(苦笑)。

そのほか、イバるための「キーワード」を持つ周辺機器には「4倍速」や「6連装」のCD-ROMドライブやら、「昇華型」や「600dpi」なプリンタなどがある。どうだ。だが、今イバれるだけである。「230MB」のMOドライブもあったな。どうだ。しかし、これも今だからである。

さて、今後も何がイバれるのかについて五感を研ぎ澄ます必要があるが、とりあえず旬の周辺機器について見てみよう。では、どうだぁ。

（吉村　信／Venezia）

イラスト=藤本康生
Illustration: FUJIMOTO Yasuo

「600dpi」

プリンタのカタログとかハードウェアレビューには、必ずといっていいほどdpiという数字が出てくる。dpiはDots Per Inchの頭文字をとった解像度の単位だ。

プリンタの場合、1インチ(2.54cm)幅のスペースにいくつドット(点)を並べて打てるかをあらわしている。600dpiなら、1インチの間に600個のドットが打てるというわけだ。

当然、この数字が大きくなれば大きくなるほど解像度はよくなり、小さな文字もつぶれない、キメの細かい印刷ができるということになる。dpiは、そのプリンタの印字品質を表示したものだと考えていい。プリンタのトータルな性能には印字速度とかランニングコストも関わってくるわけだが、いちばん重要なのはやっぱりこの解像度だろう。できあがった印刷物のクォリティは印字品質で決まってしまうからだ。

以前にくらべると、最近のプリンタは印字品質が格段によくなっている。現在主流のバブルジェット方式なら、ローコストな機種でも300dpiから360dpiの解像度は確保されているのだ。普通の用途には十分な性能である。しかし、ほんとうにきれいな文書を印刷したいのなら、1クラス上、600dpiがターゲットだ。

600dpiといえば、これはもうページプリンタの世界である。電子写真式といわれるコピー機と同じ方式なら印刷速度は速いし、ランニングコストもそれほど高くない。カラー印刷ができないというデメリットはあるものの、文書印刷には理想的だ。

最近の600dpiクラスのページプリンタは、スムージングとか解像度強化といった機能を搭載している機種が多い。こういう機能があれば、印刷する文字や絵の輪郭をスムーズにしたり、縦方向と横方向のコントロール方法を変えたりすることで、解像度を上げるのと同じ効果が得られるらしい。カタログスペックによれば、600dpiのプリンタでも1200dpi相当までいけるようである。



プリンタ

持っていればイバれる!
予算18万

「昇華型」

いま、いちばん気になるカラープリンタが昇華型である。あまり聞かない方式だが、新しいというわけではない。特殊な用途にしか使われていなかったため、知名度がイマイチだったのである。それがここにきて10万円台というリーズナブルな機種がリリースされるようになり、注目度が上がっているというわけだ。

昇華型は、ほかの方式のプリンタとはまったく方向性が違う。最大の特徴は、なんといってもカラー画像がキレイに打ち出せること。さすがにローコストなタイプでは写真なみとまではいかないが、それでも普通の方式のプリンタとはくらべものにならないくらい自然な画像が印刷できるのである。

原理的にいえば、昇華型は、熱転写方式のバリエーションのひとつだ。熱転写プリンタはインクリボンを熱で融かして紙にうつしとっている。昇華型でも熱を加えるところまでは同じ。ただし融かすなんて生易しいレベルではなく、高温で瞬間的に気化させて紙に吹きつけるのだ。いままでの一般的なプリンタではインクの量を調整できなかったため、色の濃淡はドットの密度で表現するしかなかった。ところが昇華型なら、気化させるときの温度を変えてやることでインクの量そのものをコントロールできるのだ。

インクの量をコントロールできるということは、微妙なグラデーションはもちろん、色の三原色それぞれの濃度を調整して、あらゆる色を表現できるということになる。昇華型プリンタが美しいカラー画像を印刷できるのはこのためなのだ。

はっきりいって印刷速度は遅い。パフォーマンスをフルに引き出すためには、専用の用紙を使わなければならないこともあるから、ランニングコストも安いとはいえない。しかし、フルカラーのグラフィックデータやPhoto CDからの画像データを簡単にプリントアウトできるのは大きな魅力だ。　（斉藤重喜）

「トリニトロン」

コンピュータ用のディスプレイやTVモニタの話になると、かならず話題にのぼるのがトリニトロンである。聞いたことはあるんだけど、なんのことだかわからないというひとも多いんじゃないだろうか。トリニトロンは、かのソニーが独自に開発したカラーブラウン管の方式なのである。

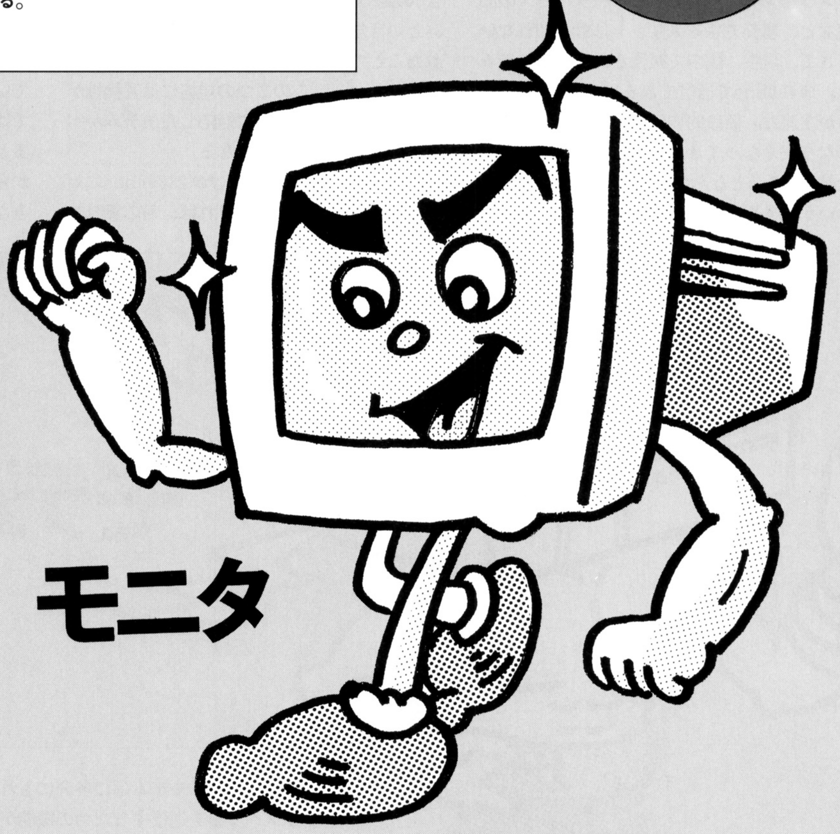
もちろん最初は、TVモニタというか、カラーテレビに採用されていた。最初のトリニトロンカラーテレビが発売されたのは25年近くも前の話だが、当時のソニーが社運をかけていたというだけあって、画期的な製品だったようである。25年の間にさまざまな改良が加えられて、今ではブランドのようなイメージを持つまでになっているというわけだ。

トリニトロンブラウン管は画面にうっすらとタテ縞模様が見える。構造上の特徴は、普通なら3本ある電子銃が1本しかない、電子銃が1本だから大口径の電子レンズが使える、アパーチャーグリルという独特の色選別機構を採用している、といったあたりがおもなところ。簡単にいってしまえば、色ズレがおこりにくくピントがシャープで、しかも明るいブラウン管ということなのである。

さらに角が四角くて、画面がフラット。ドットピッチが小さいため、文字のにじみが少ない。グラフィックも1ドット1ドットがシャープに表示されるのである。コンピューター用のディスプレイとしては理想に近いというわけだ。

もちろんトリニトロンだからといって、必ずしもいいディスプレイだとはかぎらない。ほかの方式もどんどん改良されているから、実用上の違いはほとんどないといってもいいくらいになっている。中にはタテ縞模様が嫌いだというユーザーだっているだろう。しかし、トリニトロンのシャープな映像は一度使ってしまうとクセになってしまうのも確かなのである。





モニタ

「21インチ」

WindowsやMacintoshのようなGUI環境は、ディスプレイの画面が大きいほど使い勝手がいい。つまり、画面がデカいほどイバれるということになるのだ。21インチは、今のところ普通のコンピュータにつながるディスプレイのなかではいちばん大きなサイズ。ちなみに、ブラウン管のサイズは画面の対角線の長さで表示されている。21インチを換算すると53cmあまりだ。

21インチモニタのメリットをあげてみよう。まず、あたりまえの話だが感動的ともいえるほど画面が広い。どれくらいの大きさかというと、身近な例をあげれば、A4サイズの本が見開きで表示できてしまうくらいはあるのではないだろうか。もちろん実寸でだ。この広さなら、DTPだろうがなんだろうがこわくはない。

それに見た目のインパクト。テーブルの上に置いた21インチディスプレイは、四畳半に置いた30インチクラスのTVモニタ以上に迫力がある。それをすぐ近くで見るわけだから、とんでもないシステムを使っている気になってしまっても不思議じゃない。

さて、メリットのつぎはデメリットだ。まず、値段がバカ高い。ブラウン管は大きくなればなるほど作るのがむずかしくなるし、21インチともなれば量産してコストを落とすといってもタカが知れているはずだ。その分が値段に跳ね返ってきているのである。

それに大きさ。画面がデカいのはあたりまえだが、たいていの機種は奥行きが70cmくらいある。重さだって冷蔵庫とサシで勝負できるくらいはあるから、なるべくデキのいい頑丈な台やテーブルを用意してやらなければならないのだ。

こうしてみると、メリットよりデメリットのほうが大きいようにも思える。でも、逆にいえば、こういう問題を克服できる人だけが21インチモニタを使えるわけで、だからこそ本当にイバれるステータスシンボルなのである。

（斉藤重喜）

「28,800bps」

パソコンと電話を使って他人とコミュニケーションをするパソコン通信。このパソコン通信を楽しむためには、パソコンと電話回線を接続する「モデム」という周辺機器が必要であることはご存じのとおり。パソコン通信ができれば、電子メールで連絡を取ったり、オンラインソフトの入手、データベースの閲覧など、享受できるメリットは計り知れない。

さて、現在、国内で販売されているモデムは、14400bpsで通信できるV.32bis対応モデムが主流だ。値段的には約2～3万円前後とかなり安くなってきた。でも、これじゃあ、全然イバることなんかできない。この14400bpsという通信速度の2倍に相当する28800bpsに対応したモデムが昨年から登場している。

28800bpsという通信速度は、アメリカのRockwell社などが提唱したV.FCという規格で実現されたもので、これに準拠したモデムが全世界で数百万台出荷されている。このV.FCをさらに改良し、ITU-T(国際電気通信連合)の定める国際規格として勧告されたのがV.34という規格だ。国際的な規格として認知されたことで、今後はこのV.34が主流になるわけだ。しかし、この2つの規格には互換性がないため、両方の規格に対応したモデムがベストの選択ということになる。

しかし、自分のモデムだけが28800bpsに対応しても接続する先がなければ、何の意味もない。ところが、すでにアスキーネットが前述のV.FCに対応した回線を実験サービスとして開始し、商用インターネット接続サービスを行なうプロバイダなどでも28800bpsに対応した回線を用意している。草の根BBSなどでも28800bpsに対応した回線を持つところが少しずつ増えている。

こうした高速通信が注目される背景には、Windowsなどで扱われるファイルが巨大化している点が挙げられる。最も状態のいい環境では1MBのファイルをわずか5分で転送できるという28800bps対応モデムの魅力は、これからのパソコンの環境を考えれば、かなり大きなメリットを持っているというわけだ。



さて、最近のモデムはご多分にもれず、ファクスへ文書を送信するための機能が搭載されている。そのため、単に「モデム」ではなく「FAXモデム」とも呼ばれている。従来のモデムにない機能があれば、当然のことながらイバリが効くというわけだ。

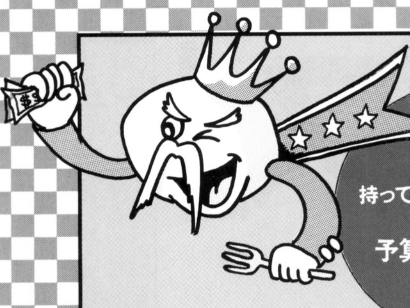
モデムに搭載されているファクス機能を使うには、FAXソフトが必要になるが、日本語版のFAXソフトも充実してきており、本格的にFAXモデムを活用できる環境が整ってきた。なかにはFAX情報サービスを受信するためのダイアラー機能を装備したFAXソフトもあり、パソコンとFAXモデムを使ったペーパーレスな環境を構築できるようになっている。また、パソコンでファクスを受信するにはパソコン側でFAXソフトを起動しておく必要があるが、パソコンの電源をOFFにした状態でもFAXモデム上のメモリに受信したファクスデータを蓄積しておくことができる商品も登場している。

FAX機能に続いて、最近、注目を集めているのがボイス機能だ。ボイスモデムは受信した音声データをデジタルデータに変換できる機能を追加したもので、パソコンと組み合わせれば、留守番電話として使うこともできる。受信した相手の声は、パソコン上のハードディスクに音声データとして蓄えられる。しかし、ボイス機能はまだ商品化されたばかりで、ソフトウェアの完成度や自由度が低いという指摘もある。

この他に面白い付加機能としては、モデムのファームウェアをパソコン側からアップグレードする機能がある。操作できる機種はAT互換機に限られるが、常に最新のファームウェアを使うことができる。

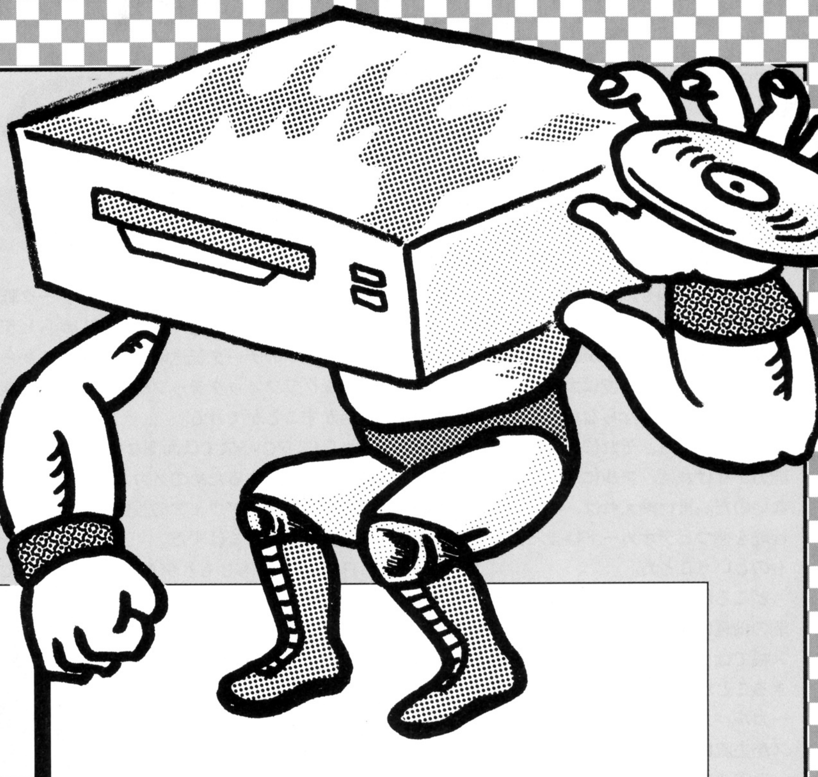
FAXモデムのU.S.Robotics Courier Dual-Standard V.34（シーアンドピー／価格未定）は、V.FCとV.34の2つの規格に対応したもの。まもなく国内版が登場する予定なので、ここで紹介しよう。（法林岳之）

「付加機能」



持っていればイバれる！

予算10万



CD-ROMドライブ

「4倍速」

マルチメディアマシンになくてはならないのがCD-ROMドライブ。いまでは、あってあたりまえという状況になっている。マルチメディアタイトルの再生だけではなく、辞書とか年鑑のたぐいもどんどんCD-ROM化されているから、いわゆる電子出版物を利用するにも不可欠。アプリケーションのインストールだってフロッピーディスクを何十枚も入れ替える必要はなくなる。考えようによってはフロッピーディスクドライブよりプライオリティは高いともいえそうだ。

4倍速ドライブの4倍速とはデータ転送速度のこと。つまりCD-ROMからデータを読み出してコンピュータに送り出すスピードが4倍なのである。4倍速CD-ROMドライブのデータ転送速度は1秒あたり600キロバイト前後だから、1秒間に150キロバイト程度の転送速度が基準になっているわけだ。

しかし、さすがに1倍速では使い物にならない。最低でも2倍速以上。理想はやっぱり4倍速なのである。いくらコンピュータの性能がよくても、CD-ROMからデータを読み出す速度が表示や再生に追いつかなければ、アニメーションはガクガク、サウンドはブチブチなんてことになってしまうのだ。

CD-ROMドライブには、フタがパカっと開いて上からCD-ROMをセットするタイプのほかに、トレイ式とキャディー式とがある。トレイ式はフロントローディングタイプのCDプレーヤーと同じ。受け皿が飛び出してくるタイプだ。キャディー式はCD-ROMをキャディーという専用のコンテナーにいれてからドライブにセットするタイプである。どちらがいいかは、はっきりいって好みの問題。ただ、オーディオっぽくないキャディー式のほうがコンピュータには似合うという意見もあるようだ。ちょっとお金はかかるが、CD-ROM 1枚につきキャディーをひとつ用意しておけば、カセット感覚で扱えるようになる。キャディーに入ったCD-ROMをずらーっと並べておくのも、なかなか気分がいいものである。

「6連装」

CD-ROMドライブには、6連装というタイプがある。CD-ROMを6枚、専用のキャディーにまとめて入れておき、それをまるごとセットできるドライブだ。カーオーディオのCDオートチェンジャーと同じようなメカニズムといえばわかりやすいだろう。

CD-ROMを実際に使ってみると、けっこう頻繁に入れ替えなければならないことに気づくはずだ。まあ、マルチメディアタイトルやゲームのたぐいはしかたがないとして、国語辞典とか英語の辞書といった似たような用途のCD-ROMをいちいちセットしなおすのは実に面倒なのである。そのたびに作業を中断しなければならないからだ。

その点、6連装ドライブならCD-ROMを6枚ごとにジャンル分けして、ほとんどひとカタマリに扱える。容量だけを考えれば4ギガバイト近いデータが自由に使えるようになるという計算だ。さきほどの辞書、辞典はもちろん、フリーソフト、シェアウェアソフト集やアプリケーションのインストール用ディスクをカテゴリー別にまとめておいてもいい。

6連装でもCD-ROM 1枚につき1ドライブとして扱われるから、ドライブが一気に6台も増えてしまうことになる。これはなかなか強力だ。そのわりに価格はシングルドライブのせいぜい倍どまり。見た目はエラそうだがコストパフォーマンスは高いのだ。ちなみに6連装とはいっても、SCSI IDはひとつしか使わない。考えてみればあたりまえの話ではあるが、ちょっとトクした気分にもなれるのも6連装のいいところかもしれない。

ゼイタクをいってしまうと、6連装CD-ROMドライブのほかに、もう1台シングルCD-ROMドライブがあるといい。6連装のほうには辞書などのよく使うCD-ROMをセットしておいて、いつでも読めるようにしておく。シングルのほうはマルチメディアタイトルやゲーム、アプリケーションのインストールといった用途に使うわけだ。ここまでやれば、完璧なマルチメディアマシンである。

（斉藤重喜）

「PCIバス」

PCIバスは、32bit幅を持つバスの規格のことだ。

バスとは、CPUと周辺装置とのハードウェア的なやりとりをする「道筋」のことで、バス幅が広ければ広いほど、CPUと周辺機器との間で大量のデータを短時間で受け渡しできる。CPUとビデオカードとの間でデータが受け渡しされるのも、このバスを通してだ。

従来は16bitや20bitのバス（98バスやISAバスなど）が主流だったが、ビデオカードなどの周辺機器では、一度に大量のデータの受け渡しをしなければならない。いくらビデオカードが高速でも、それに見合ったデータ転送能力がなければ、フルに活用することはできないのだ。言い換えれば、バスの能力以上の性能を持つビデオカードはまったく無意味なものということだ。

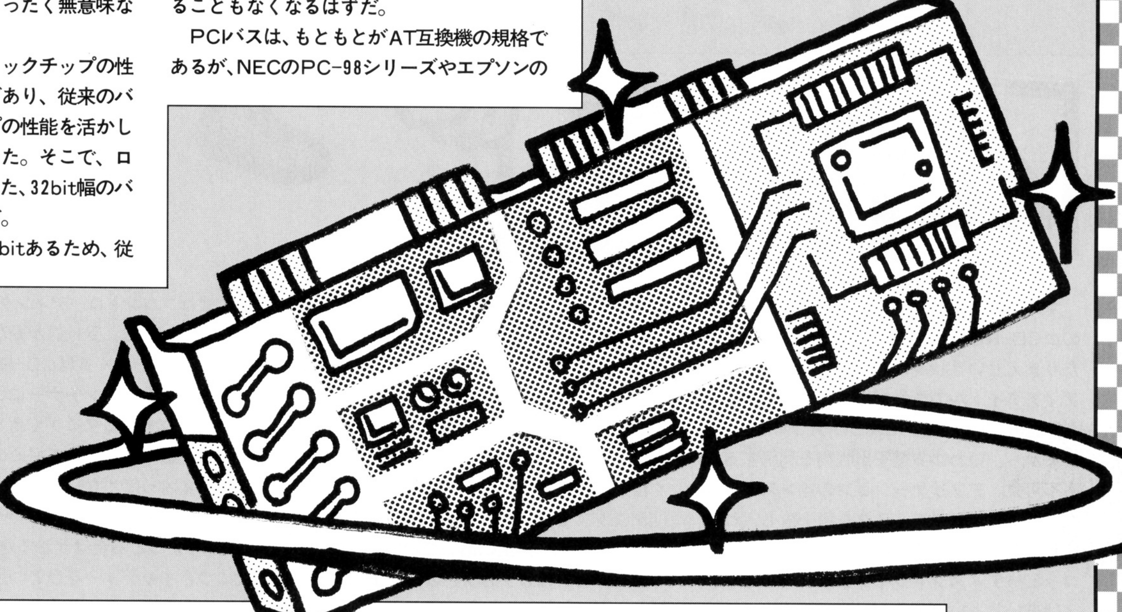
ところが、近年のグラフィックチップの性能の飛躍はめざましいものがあり、従来のバス幅ではグラフィックチップの性能を活かしきることができなくなってきた。そこで、ローカルバスやPCIバスといった、32bit幅のバスが主流になりつつあるのだ。

PCIバスでは、バス幅が32bitあるため、従来のバスに比べて単位時間あたりのデータ転送量が多くなる。したがって、CPUからビデオカードへのデータ転送能力も向上するから、高速なグラフィックチップが十分にその性能を活かすことができる。

さらに、PCIバスでは面倒なハードウェアの設定を自動化するためのメカニズムを持っているため、ハードウェアの設定で四苦八苦することもなくなるはずだ。

PCIバスは、もともとがAT互換機の規格であるが、NECのPC-98シリーズやエプソンのPCシリーズに採用され、さらにはMacでも採用される予定だ。

さすがにPCIに対応したカードが異機種間で完全に動作することはないが、規格が統一されることで、確実に異機種間の垣根が低くなるだろう。



「VRAM4メガ」

ビデオカード

ビデオカードには、グラフィック表示のためのメモリが搭載されている。このメモリは、ビデオカードで表示できる解像度と色数に密接に関係し、一般にビデオカードに搭載しているメモリが多ければ多いほど、高解像度でたくさんの色数の表示が可能になる。

一般に、表示可能な色数が256色のときは1ピクセルあたり8bit、6万5千色のときは16bit、24bitフルカラー表示のときは24bitが必要になる。1024×768ドットの解像度では、画面に表示することができるピクセル数は約78万ピクセルなので、色数が256色のときは約1MB、6万5千色のときは約2MB、24bitフルカラー表示では約3MBのメモリが必要になってくる。

実際はこのような計算で単純に決まるのではなく、搭載されているメモリの種類やグラフィックチップのデータ転送能力、さらにはビデオカードでパックドピクセル転送をしているかどうかによっても違ってくる。

ビデオカードに搭載されているメモリには、デュアルポートVRAMと安価なDRAMの2種類がある。

VRAMは読み書きを同時にできるが、DRAMでは交互に読み書きをしなければならない。そのためDRAMはVRAMに比べてアクセススピードが遅く、DRAM搭載のビデオカードは、解像度や色数の点でVRAM搭載のものに比べて若干劣る。たとえばVRAMベースのビデオカードでは、4MBのメモリを搭載していると1024x768ドットで24bitフルカラー表示が可能だが、DRAM搭載のビデオカードでは24bitフルカラーの表示が可能なのは800x600ドットまでになる。これはメモリ容量の問題ではなく、メモリのアクセス方法が異なるために起きる現象だ。

高解像度でフルカラー表示をするのなら、64bitビデオカードでデュアルポートVRAMを4MB搭載しているものをチョイスすべきだ。

（広野忠敏）



「230MB」



登場するやいなや、あっという間にリムーバブルメディアの代表選手になってしまったのがMO、つまり光磁気ディスクだ。外見は3.5インチのフロッピーディスクにそっくり。そのくせ容量はふたケタも違うのだから、便利なことこの上ない。コンピュータユーザーにアンケートをとってみると、つぎにほしい周辺機器の筆頭にあがるのが、MOドライブだそうだ。

今のところ、MOには128MBと230MBの2種類がある。10万円を切って話題を呼んだ廉価版のMOドライブは、128MB専用。230MB対応のドライブならどちらでも使えるが、まだ手軽というほど安くなってはいない。どちらを選ぶかは予算にもよるわけだが、お勧めはやっぱり230MBのほうである。

理由は簡単。容量が大きい上に、速度がかなり違うからだ。128MB専用のMOドライブは、コストを抑えるために回転数を半分くらいに落としたドライブユニットを採用している場合が多いのである。ハードディスクでもそうだが、ふつうディスクメディアは回転が速いほど全体のスピードも速くなる。MOの構造は回転数の影響を受けやすいため、倍程度の違いでも大きな差がでてしまうのである。使い勝手まで含めたコストパフォーマンスは、128MBも230MBも、ほとんど同じくらいだといっていいのではないだろうか。

MOの用途として考えられるのは、まずバックアップ。230MBもあれば、たいていのシステムはまるごと書き込める。それぞれインターフェースを用意すれば、WindowsとMac両方で使えるタイプもあるので、グラフィックやサウンドなどの巨大なデータをやりとりするのにも便利だ。書き込みが遅いため、ハードディスクがわりというわけにはいかないが、ランダムアクセスでも実用には困らないくらいの速度は出る。たまに使う程度のアプリケーションを入れておいてもいいのではないだろうか。　（斉藤重喜）

MOドライブ



トドメのキーワードは「家庭内LAN」

最後に、とびっきりの見栄グッズを紹介しよう。これを見せれば、たとえあなたの友人がどんなオタクであっても「スゲー」の一言が聞けるはずである。直径1cmほどのケーブルを部屋に走らせパソコンとパソコンを直結してしまう、ネットワークを意識した最新流行アイテム。そう、これがこの冬の隠れたヒット商品「家庭内LAN」である。

ただし、このシステムにも弱点はある。当然のことながら、パソコンが最低2台なければシステムが組めないことだ。しかし、それだけにインパクトもあるのであって、会社の机の上にたった1台98ノートが鎮座しているだけの方にはマネのできない芸当なのだ。

自宅にノート1台とPC-98デスクトップがあれば、まずはOKだ。AT互換機ならLANシステムも多数商品があり、MacならAppleTalkで簡単にLANできる。しかし、98を結ぶのはハイレベルのユーザーほどその難しさを認識していて、それだけに98LANを組むことができれば自慢のしがいがある。

ちょうどメルコからお手頃のシステムが発売されたばかり。用意するものは、デスクトップ用LANボード「LGY-98E-T」(14,800円)に、ノート用のアダプター「LGY-98E-NT」(19,800円)、それにクロスケーブルが10m分。ケーブルは、すぐにさし込めるように加工済みのものを購入しよう。どちらにせよ、ケーブル代は3,000円ほどだ。

ボードを差し込み、ケーブルをつなぎ、付属のソフトをインストール。作業時間は、30分ほどである。さあ、2台のマシンを立ち上げよう。デスクトップは、机の上に置いたまま、ノートはケーブルをひきずって、そのままコタツに直行しよう。

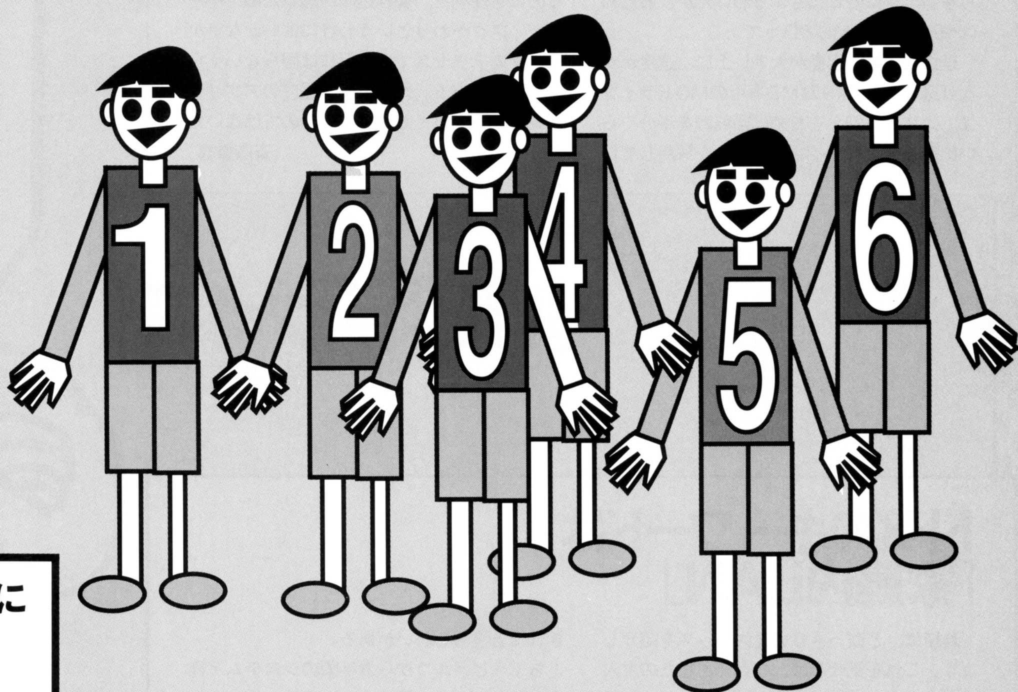
今年の冬は、寒くて厳しいらしい。コタツの中で、ノートから机の上のパソコンとモデムを動かす。パソ通にどっぷり浸かり、コタツの中からチャットしてます、なんて、いい冬になりそうな気がしてくるではないか。

コラム番外地

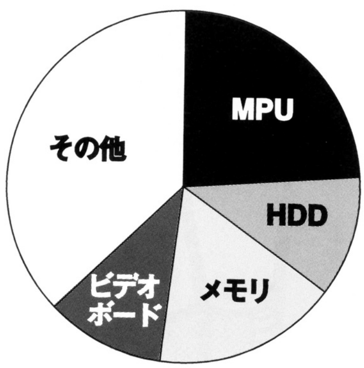
文＝柴田浩一
Text : SHIBATA Koichi

GURUがこの秋Pentiumをススメル深〜い理由

パソコン買い物ガイドによくある「まず自分が何をしたいかを決めよう」のアドバイス。しかし、はじめから明確な目的をもって買う人は多くない。そんな人たちにGURUはこう言いたい。「そのときの一番いいものを買おう」だから今はPentiumマシンが買いなのだ



パソコン価格のなかに占めるMPUの割合



価格のなかでMPUが占める割合を試算してみた。想定したモデルは、Pentium90MHz、HDD 540MB、メモリ16MB、ビデオカード、CD-ROMドライブ、といった構成。MPUが最も高い比率を占めることがわかる

高い買い物それだけに良い物を

Windows95、さらにマルチメディアと、パソコンには続々と新しい技術が登場する。値段は安いがそこそこの性能というマシンでは、そのような新しい技術に対応できなくなる可能性が高い。安くなったとはいっても、まだまだパソコンは高い買い物。それだけに長い間使うことのできる高性能のものを選んだ方が、長い目で見てメリットは大きい。現在のところ、Windowsが使える高性能パソコンというと、CPUにPentiumやIntel DX4を使用したものとなるが、Pentiumマシンがお勧めである。その理由を説明してみよう。

この数年でずいぶんと安くなったPentiumマシン

お勧めの理由の第1は、Pentiumマシンの値段が手の届く範囲になったということだ。パソコンはここ数年で急速に価格が下がっているが、Pentiumマシンもこの例外ではない。パソコンの価格を引き下げている大きな原因は、パソコンの心臓部であるマイクロプロセッサ（MPU）の値下がりだ。図に示したようにパソコンの価格の20%程度をMPUが占めていて、その値下がりがシステム全体の価格を引き下げることを可能にした。

Pentiumは現在のところ動作周波数により60/66/90/100MHzの4種類に分けられる。



i486DX2/66MHzと比べると、66MHz版で約2倍、100MHz版では3倍近い性能を持つという。ただ、高性能なだけに価格も高く、個人ユーザーには高嶺の花といった感があった。しかし、インテルの積極的な値下げ戦略により手の届く範囲となってきている。

MPUの値下がりとともに、Pentiumマシンの価格も大幅に低下してきた。66MHz版の搭載システムをみると、486DX4マシンとほぼ同じ、1年前の486DX2マシンとも同水準である。90MHz版についても、DELL、エプソン・ダイレクトといったAT互換機メーカーから30万円を切るシステムも発表されるなど、パーソナルユーザーにも手が届く範囲に入ってきた。コストパフォーマンスを考えるなら、特に90MHz搭載マシンが買いと言えるだろう。

最新技術を使うならPentiumが必須だ

Pentiumマシンを勧める第2の理由は、新しいハードウェア環境、Windows95など新しいソフトウェアさらにマルチメディアに対応できる能力があることだ。これまでの486DXクラスのCPUではそのうち対応が難しくなる。Pentiumならばある程度は安心である。

現在、パソコンはより高性能で、より使いやすいものになるために、技術的に大きな転換点を迎えている。なかでも注目度の高いのは、PCIバスとプラグ＆プレイだ。PCIバスはMPUとグラフィックスやハードディスク(HDD)などとをつなぐバスの新方式で、ウィンドウ・アクセラレータの性能向上や、HDDやCD-ROMの高速化に対応することができる。プラグ＆プレイでは、各種の拡張カードやHDDといったハードウェアの設定が自動的に行われるようになる。そのためconfig.sysを書き換える手間もなくなり、簡単にシステムの拡張が行えるようになる。このような新しい技術はPentiumマシンのほとんどがサポートしていることから、それが使いたければPentiumが望ましいということになる。

ソフトウェアの点では、新しいOSのWindows95では高性能になった分、重くなっている。それを快適に動かすには高性能のCPUが望まれる。また、グラフィックソフトなども、CPUの高性能化がもっとも必要とされる分野だ。さらに、ビデオの処理も必要となるマルチメディアの分野では、Pentium以上の性能が必要になってくるだろう。

逆に現在、ソフトウェアで問題となっているのは、Pentiumの力をフルに活かせるように最適化したソフトが少ないという点である。いくら高性能でもそれを発揮できるソフトがなければ宝の持ち腐れ。しかし、この点は今後Pentiumマシンが普及するにつれて自然に解決される問題といえる。

PentiumではなくDX4ではだめなのか?

ソフトウェアの最適化が進んでいない状況では、DX4もPentiumの60/66MHzも同じくらいの性能である。価格もほぼ同じ。ただ、将来性を考えるとDX4は分が悪い。DX4マシンもODP（OverDrive Processor）によりPentiumマシンへアップグレードすることはできる。しかし、CPUなどのLSIを搭載したマザーボードの設計自体が486CPUの性能を基本にしているため、Pentiumの性能を十分に発揮させることは難しい。これに対して、Pentiumの60/66MHzであれば、将来インテルから発表される予定のODPにアップグレードしてもCPU自体の性能をそれほど損なわないですむ。このようにDX4とPentiumの60/66MHzと比較すれば、Pentiumを勧めておきたい。

さらに予算が許すのであれば、Pentiumでも90/100MHzを購入するほうがいいだろう。このレベルの製品が95年以降のCPUの中心になっていくし、次世代CPUであるP6が普及するまでの数年間はその位置をキープすることが期待できるためである。

このようにPentiumを勧めるのには深い理由がある。価格も手の届く範囲に入ってきた今、次世代の技術を先取りする意味からもPentiumマシンも購入リストに入れておきたい。ただ、それも現時点でのこと。より高性能なCPUが出てくれば状況は変わっていく。ただ、いつでもいえることは、「買おうと思ったときには一番いいものを買う」ということだ。それが一番失敗しない方法なのだ。

将来性を考えるならPentiumマシンです



インテルジャパン マーケティング本部 平野浩介氏

Pentiumについて、インテルジャパン・平野浩介氏はこう語る。

ーPentiumの価格がずいぶん安くなっているようですが。

「66MHz版Pentiumプロセッサも、搭載システムレベルでみると大容量HDDやビデオカードを搭載したフルシステムでも20万円以下のシステムが出始めています。これからもPentium66MHzがどの程度安くなっているかはわかっていただけると思います。Pentiumプロセッサ全体でみれば、出荷も94年第4四半期で全体の25%に達しています」

ーこれからはPentiumが主流ということ？

「95年にパソコンは大きく変化します。まずWindows95という本格的な32ビットOSが登場し、プラグ＆プレイの普及などにより使いやすいものとなります。また、ビデオ処理、ネットワーク対応などのマルチメディア機能が充実していくと思われます。これらの機能はPentiumの使用を前提としていることを考えると、これからのパソコンは将来性も考えてPentiumマシンにすべきでしょう」

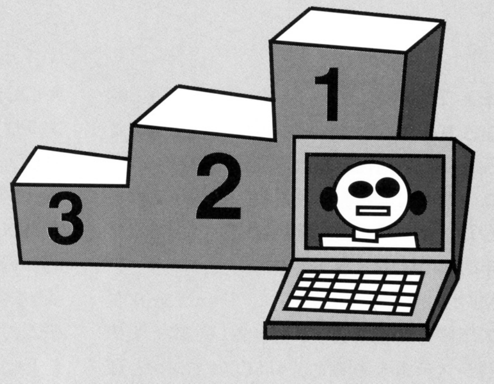
ーPentiumのこれからは？

「ノートパソコン用として75MHz品を発表しました。90/100MHzが中心となっていくと思います。60/66MHzはエントリーレベルのシステムで使用されることになるでしょう。新製品としては、来年以降周波数100MHz以上のものが出ます。さらにPentiumを越える性能を持つP6も95年中には発表する予定です」

コラム役立編

Macのアップグレードサービスの現在

文＝戌野速太朗
Text：INUNO Hayataro



Macについて説明するときに、マウスを使って簡単に操作できるだとか一貫した操作方法だとか、とかく目につくところばかりが強調されているが、もうひとつ忘れちゃいけないのが、アップグレードサービスだ。

アップグレードサービスとは、旧機種のロジックボードを新機種のものと交換してしまうサービスで、今まで同一の筐体を使った機種ではほとんど行なわれてきているものだ（もちろん例外もある）。その他にも一部のパーツをより高性能なものに交換するアップグレードサービスも実施されている。現在行なわれているアップグレードサービスは、現行のMacをPowerMacintoshへアップグレードするものを中心に、数種類用意されている。

そもそもアップグレードの歴史は古く、10年前に実施された初代Macのロジックボードを、512KBのメモリを搭載したMacのロジックボードに交換するところまで遡ることができる。

今まで実施された主なものとしては

○初代Mac→ 512KB Mac(通称 FatMac) → Mac Plus
○Mac SE→ Mac SE FDHDモデル → Mac SE/30
○Mac II→ （Mac IIx：国内未発表機種） → Mac IIfx
○Mac IIcx→ Mac IIci→ Quadra700

がある。面白いことに、どれも3世代のアップグレードで途絶えてしまっており、このことから一部では「アップグレード3世代の法則」などとマーフィーの法則化してしまっている。これは良い意味でも悪い意味でも使用している機種の余命を知る手がかりともなっているようで、自分の使っている機種(筐体)のアップグレードが3世代目になると、そろそろ生産中止になるサインだと思ってまず間違いないようだ。

あとアップグレードサービスで気をつけなければいけないのが、実施期間が設けられているものがあるということだ。期間を逃すと在庫を持っている販売店を探さなくてはならない。とくにPerforma 520からPerforma 575へのアップグレードは、95年2月28日に終了となるので、アップグレードを計画しているなら速やかに実行しよう。

また、時期によっては、アップグレードよりも買い換えなり買い足した方が安上がりになる可能性もある。アップグレードした結果の機種の、店頭での値段はかならず確認するように。

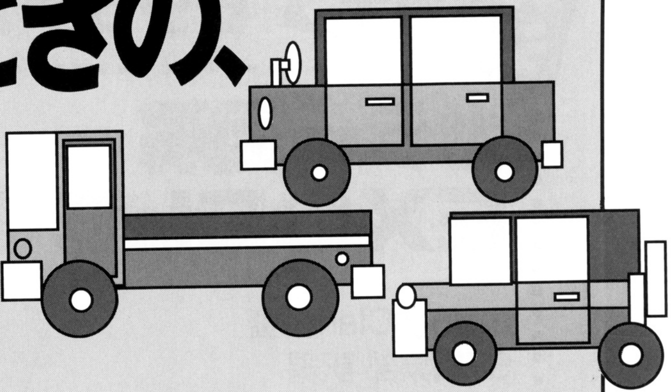
アップグレードサービスとは異なるのだが、アメリカの業者に当たってみると、アップグレードキットが見つかることもある。この手の業者はアメリカで発行されているMac雑誌に広告を出しているのですぐ見つかるはずだ。なかにはMac Plusへのアップグレードキットから最近のものまで、全種類揃えている業者もあるくらいだ。

Macのおもなアップグレードサービス（94年11月8日現在）

製品名	希望小売価格	アップグレードサービスの内容
Macintosh Performa 575 アップグレード	128,000円	Performa 520→Performa 575（期間限定、95年2月28日まで）『キッドピクス』と『おばあちゃんとぼく』『ピーターと狼』『バッハ以前』のCD-ROM 3本が付属
PowerMacintosh 6100/60AV ロジックボードアップグレード	198,000円	Centris 610、660AV、Quadra 610→PowerMacintosh 6100/60AV 8MB RAM、2MB VRAM、PowerMacintosh専用漢字Talk7付属
PowerMacintosh 7100/66AV ロジックボードアップグレード	268,000円	IIvi、IIvx、Centris 650、Quadra 650→PowerMacintosh 7100/66AV 8MB RAM、2MB VRAM、PowerMacintosh専用漢字Talk7付属
PowerMacintosh 8100/80 ロジックボードアップグレード	328,000円	Quadra 800、840AV→PowerMacintosh 8100/80/VC 8MB RAM、2MB VRAM、PowerMacintosh専用漢字Talk7付属
PowerMacintosh 8100/80AV ロジックボードアップグレード	348,000円	Quadra 800、840AV→PowerMacintosh 8100/80AV 8MB RAM、2MB VRAM、PowerMacintosh専用漢字Talk7付属
PowerMacintosh アップグレードカード	118,000円	Centris 610、650、Quadra 610、650、700、800、900、950のPDSスロットに装着するPowerPC601搭載カード 1MB 2次キャッシュメモリ、PowerMacintosh専用漢字Talk7付属
PowerBook Duo Dock トップカバーアップグレードキット	13,000円	旧タイプのDuo Dockを PowerBook Duo 270c、280cに対応させるための交換用トップカバー（Duo Dock 230 HD/VRAM/FPU付きには実装済み）

コラム番外地

パソコン選びは、クルマ選びに学べ パソコンを買うときの、最も危険な部分



文＝松田勇治
Text：MATSUDA Yuji

パソコンとクルマの共通する部分

パソコンとクルマは商品として似ている部分が多い。その要件を整理してみると、

1)機能商品であると同時に趣味商品としての側面も色濃く持つ。しかし趣味性を完全に切り放し、単なる道具として使っている人も存外に多い。

2)どんどんどんどん新型マシンが出るが、多くの場合は単に高付加価値化しているだけで、工業製品としての本質部分が革命的によくなることは滅多にない。とはいっても型落ちになっちゃうとなんだか切ない。

3)習熟するまでにはある程度の時間がかかるが、“操作”することで自分の肉体的能力を遥かに超えた結果が導ける。反面、間違った操作をするとたいへん悲惨な結果を招きかねない。

4)個人の所有物としてはかなり高価な部類に入る。まあパソコンは最近そんなにムチャクチャ高いってこともなくなりつつあるけど、クルマは生涯に所有する可能性のあるものとしては持家に次ぐ高額商品だろう。

5)個人が所有する耐久消費財として見た場合、支払った対価に対してどれだけ“償却”できたかの判断が難しい。最終的な基準は、ユーザーがそのマシンと過ごした時間がどれだけ“幸せ”だったか、ということでしかないかもしれない。

6)改造もしくは調整することで、より自分に望ましいスペックや使用環境を実現できる可能性がある。

7)使用目的や使い手の技能によらず、新しいモノや高価なモノ、ハイスペックなモノを所有するだけで、なんとなくイバれるような気がする。

なんてあたりになるだろうか。ほかにも、定価で買う奴はほとんどいないとか、ユーザーのほとんどがなんの根拠もなく自分の技能は人並み以上だと思っているとか、細かい符合点はいっぱいあるけどね。

操作すること自体が快感になる危険性

で、とりあえずここで注目してみたいのは、1)と5)と7)だ。このへんの事柄が関係してくるがゆえに、その人にとってのベストバイが判断しにくくなっていることは確実だろう。まず、パソコンやクルマは決して“結果”だけを求めて所有するものではなく、その過程をも楽しめる類のモノであることが話をややこしくする。たとえば、ナイフという道具は何かを切ったり削るために操作するモノだ。操作に習熟し、より効率よく思い通りに切り、削れるようになれば“上達の喜び”も得られる。鋭い切れ味は「よくできたモノ」と接し、所有する喜びにつながる。しかし、それが昂じて“切る”という行為自体に喜びを感じてくるのは一般的に危険な兆候と判断される。

クルマもパソコンも所詮は“道具”だ。操作に習熟していくにつれ自らの肉体の延長として扱えることに喜びを感じるかもしれない。そこまではいいとして、問題は往々にして操作すること自体が快感になってしまう点だ。なんの目的もなく首都高速をグルグル走り回るアンチャンがいたり、作業効率もクオリティも悪化することが分かり切っているのにMacを使わせないなら仕事しないなどと言い出すグラフィックデザイナーが出てきたりと、逆転というか逸脱というか、いつしかそれを使うこと自体が目的化してしまう。ナイフの例で言えば危険な領域に突入してしまったことになるわけだ。

欲しい機種もないのに買い替えたりしちゃダメ

ただし、商品（製品ではない）としての完成度と、それを取り巻く社会環境の成熟度が向上すれば、その手の喜びは薄れていく宿命にある。つまり、パソコンやクルマが最終的に冷蔵庫のようなモノになってしまうとすれば、使うこと自体を楽しめるのもせいぜいあと何十年、ヘタすりゃ数年かもしれない。ならば、せめて今のうちに思いっ切りハマれるような機種を手に入れてドップリ浸かり、孫に自慢話できるようなネタのひとつでも仕込んでおくのもひとつの見識だろう。たとえば、故障ばかりでまともに走らないイタ車と付き合っていくことと、果てしなく増設できる可能性を（と、それがゆえにトラブル発生の可能性を併せて）持つAT互換機の世界にハマっていくことには、個人的にどうしても近いニオイを感じてしまうのだが、趣味とは天国と地獄、アメとムチがあってこそ盛り上がる泥沼と考えれば趣味性としては非常に正しい。覚悟さえできれば、それもまたひとつの“幸せ”の形だろう。また、「ペンティアム／90MHzでフライトシミュレータやっててどーするの？」とか「あんたの腕で280psが使い切れるの？」と言ってしまえばオシマイだけど、無駄遣いは快感であり、反面、よくできた道具とは接しているだけで幸せになれることも事実だと思う。

そんなようなことのために大切なのは、クルマでもパソコンでも、欲しい機種もないのに、また本当に代替えする必要もないのに買い替えたりしちゃダメだ、ってこと。メーカーサイドの都合で適当にデッチ上げたような“新製品”にでも嬉しがってすぐ飛び付く奴が多いと、開発サイドもだんだん真剣にモノを作らなくなる。数年前までの98シリーズなんかいい例で、わずかなクロックアップや機能追加だけで型番まで変えて“新製品”と銘打ってたでしょ。そんな姿勢にアタマきてた人たちが、DOS/Vの出現でAT互換機やらマックに走ったもんで、日電もあわてでまともなコストパフォーマンスを追究したMATEとかFELLOWを出さざるをえなくなったわけだ。パソコンでもクルマでも、いち消費者として本当にいいモノが欲しいなら、下らないモノは買わない、という形で意思表示する以外に方法はない。その決意を強くもつことこそが、クルマやパソコンが趣味商品として成立していられる期間を少しでも永らえさせる、唯一の手段なのだから。

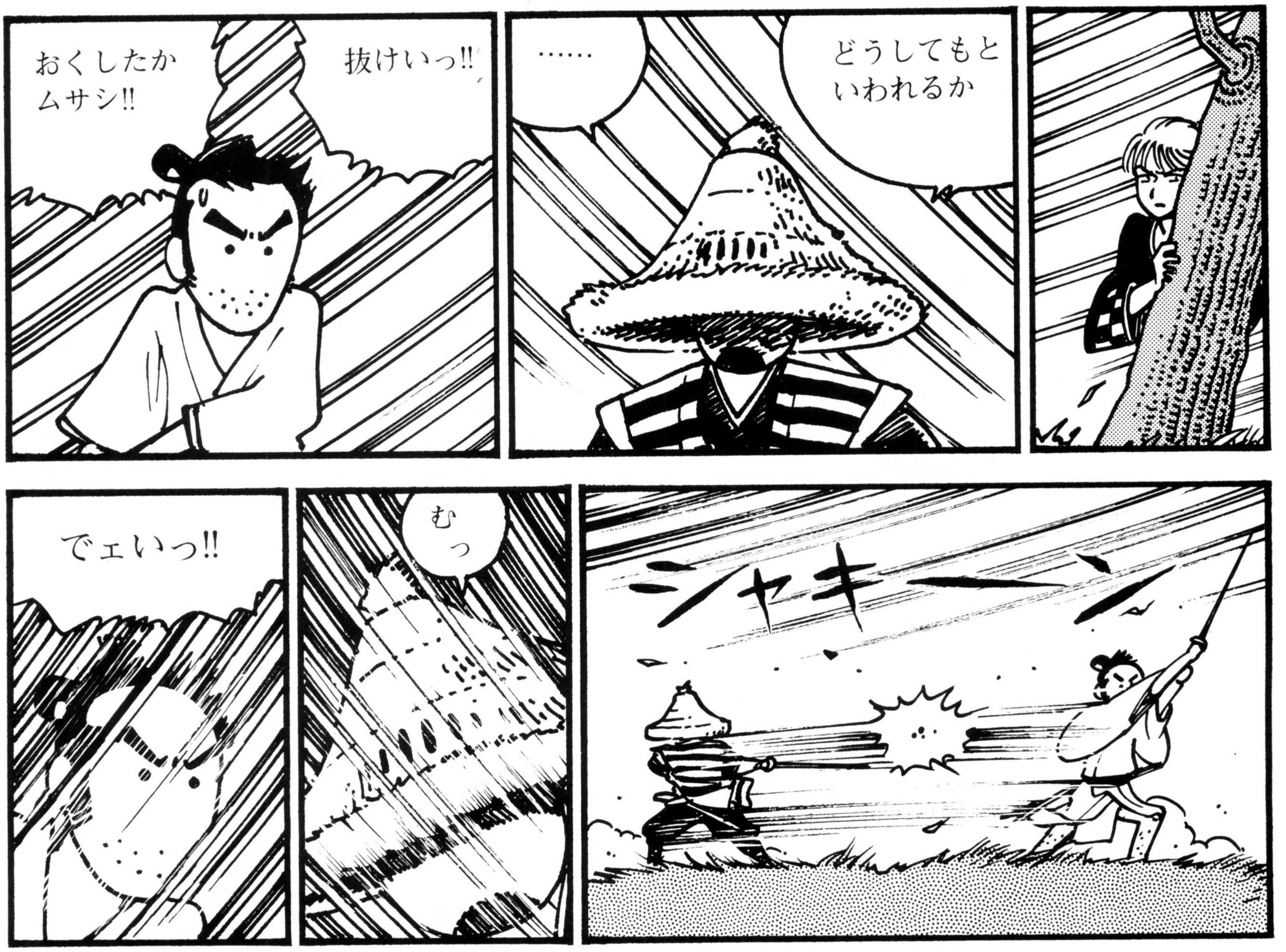
とり・みきの

大星雲ショー
THE MEGA-NEBULA SHOW



地球の長い午後

作:とり・みき





ドサッ
ぶしゃー
あっ⁉
見ろあれがムサシだ
どんな時にもあのアミガサをとらないというわさじゃ
こわっぱ
小童!
はっ⁉
この3日わしのあとを尾けまわしておったな
きづかぬと思ったら大まちがいじゃ


わしがなぜ
いつもアミガサを
つけておるのか
知りたいの
じゃろう
よかろう
こっちへ来い
下からのぞいて
みるがよい
あっ
わかったか
これはアミガサ
ではなく
アミガサタケという
不思議な生き物
なのじゃ
とりつかれた時は
おどろいたが
いまやこやつと
わしは一心同体
相手の次の動きを
察知し瞬時に
わしに伝えてくれる
百に及ぶ勝負で
一度も遅れをとらな
かったのもこやつの
あかげよ
さて
秘密を知った
からには…
小童
うぬも生かして
おくわけには
ゆかぬ!!
!!
スチャッ
まいる!!


ば馬鹿な…!?
見るがいい
ムサシ
バッ
私にも頭ではなく
ほらここに!!
ずどーん
しまった
ありがちな展開
なのに思い
いたらなかった!?
む無念
ぱた
ふふふ
見事だ
お若いの
誰だ!?
ふふふ
あっ
笠地蔵!?
突如現われた笠地蔵は敵か味方か!?
川へ身を投げた鉢かつぎ姫の運命は!?
ヨーグルトキノコはほんとうに体にいいのか!?
マツタケとカキシメジ（毒）の見分け方は!?
次回　地球の長い午後
「猿に腰かけた女」
に御期待ください!!

宮沢科学研究所DX

MIYAZAWA SCIENCE LABORATORY DELUXE

宮沢章夫（みやざわあきお）劇作家・演出家・劇団遊園地再生事業団主宰。主な作品に「遊園地再生事業」「ヒネミ」（岸田戯曲賞）、著作に「彼岸からの言葉」、近著「牛への道」などがある。

私はそれを聞いたとき、愕然とした思いになった。電話の向こうで私の質問に答えてくれたその男は、どこといって躊躇するふうもなく、なんの気なしにその言葉を口にしたのである。

「プラプラですよ、プラプラ」

躊躇するばかりか、よりによって、彼は二度くり返した。「ププラ」である。考えようによっては、「プラ」を四度、立て続けに言ったことになって、これは少し、まずいのではないかと私は思った。しかし、私が愕然とした思いになったのは、そんなことではない。

来年の一月の後半に新宿の紀伊國屋ホールで、芝居を打つことになり、二年ほど前に公演した、『ヒネミ』という作品を再演することになった。少し本を書き直すことになるのだが、たいてい、芝居の世界では、そうしたものは、タイトルのあとに「改訂版」と付ける。どうもそれが気にいらなかったのだ。以前は、「REMIX」と付けたこともあったが、いまどきこれもちょっとないんじゃないかと思い、今度は、「＋＋」でゆくことにした。

そう、「C＋＋」の、「＋＋」だ。

なにかの本で、「ひとつ加える」という意味の演算子だと読んだ記憶があり、だったら、「改訂版」の意味にも通じるのではないかと思って、『ヒネミ＋＋』のタイトルが決まった。ところが、そうタイトルを決めておきながら、私には、「＋＋」の読みかたがわからない。おそらく「プラスプラス」だと思うがはっきりしなかった。それで、そういったことに詳しいだろう知人に質問したのだ。彼は言った。繰り返すが、彼は電話の向こうで言ったのである。

「プラプラですよ、プラプラ」

誰に聞いても答えは同じだ。皆、口を揃えてプラプラプラプラ言うのだった。考えてもみて欲しい。「プラ」である。しかもそれが二度繰り返されるのだ。『ヒネミ』のあとにそれをくっつけたらどういうことになるというのだ。声に出して読んでみていただきたい。

『ヒネミプラプラ』

どんな芝居なんだそれは。何かがプラプラしているような気がする。「プラプラ」という言葉の響きから受けるのは、なんだかあきれた感じであり、あきれた感じだけならまだいいが、どこかふざけているようにも考えられる。こんなタイトルじゃ、さぞかし稽古のとき、力が入らないだろう。それもまあ、もしかしたらいいかもしれないと思ったが、もっとべつの懸念もわいてきた。タイトルを付けた私でさえ、わからなかったくらいだから、さぞや一般的に、「＋＋」の馴染みは薄いに違いなく、ほかにもとんでもない読みをされる恐れは充分にある。たとえば、こんなふうに読まれたらどうだ。

『ヒネミタスタス』

メキシコ料理かこれは。さらに、こんな読みかたはまずしないだろうとは思うが、もしかするとあるかもしれないのがこれだ。

『ヒネミジュージュー』

これでは、鉄板焼き屋である。

なんにしろ、問題なのは、「プラプラ」でいかと私は思うが、それが、コンピューターの業界でまかり通っている事実は見過ごすことが出来ない。プログラマーやコンピューター関係者が、この言葉の問題点に気が付かず、平気な顔で、プラプラプラプラ口にしているらしい。たとえば、『TURBO C＋＋』とかを出してるボーランドという会社では、次のような会話がまかり通っているのかもしれないのだ。

「きみ、例のプラプラだけど」

「プラプラがどうかしました？」

「いやあ、ちょっと、どうも、プラプラがさ」

「プラプラが？」

「うん、ちょっと、プラプラ、あれなんじゃないか？」

「部長、プラプラがなんだって言うんです？」

何を話しているんだ、この連中は。しかも、「プラップラ」と言葉にする者が出てくる可能性もあり、これを由々しき事態と言わずに、何をそう表現したらいいのだ。ちょっと、落ち着いて考えてみろと私は言いたい。

「だってそうだろ、プラプラだぞ。恥ずかしくないのか。俺なんかいま、こうして口にしながら、顔から火が出る思いだ。だいたい大人が口にしていい言葉だと思うのか？」

すると、彼らの大半が、顔色を変えて叫ぶだろう。

「あ、そうか、そうだったのか。ちきしょう、なんてことだよ。お、俺は、俺はいったい、いままで、なんて言葉を口にしていたんだ。俺って存在は、この宇宙のなかでいったいどんな意味があるんだ」

と、いきなりものすごい方向に話は飛び、気がついた誰もが劇的になってしまうのである。まあ、そんなことはともかく、「プラプラ」を問題にしているうちに、新たな問題が浮上してきたことも報告しなければならない。実は、このことをはっきりさせようと思って、ボーランドに質問したのである。正式には、『C＋＋』をどう読めばいいのか。答えはいたって簡単だった。

「Cプラスプラスですよ」

さらに、外国人にもアンケートをとったところ、マサチューセッツ工科大学の卒業生をはじめ、どいつもこいつもが、「プラスプラス」だと答えた。これはどうしたことだ。じゃあ、あの「プラプラ」は何だったのだ。

つまり、このことからわかるのは、どこかの日本人が、「プラプラ」と言いはじめた事実があるということだ。誰だそいつは。石田晴久だろうか。西和彦だろうか。誰でもいいが、それがこの国のコンピューター産業にもたらしたものは何だろう。

しかし、「プラプラ」である。

なんだかよくわからないが、すべてはプラプラしているのだ。

Everything is All Right

文＝市川昌浩
Text : ICHIKAWA Masahiro
Illustration : GOTO Emiko



コードネームはOEM

市川昌浩（いちかわ まさひろ）
博多に仕事で行って、ラーメン屋に入り「ミソひとつネ」と注文したら、お店の人にハリ倒されました(笑)

いまや現実そのものがバーチャル!だ!?

パソコン本体やOSなどの開発プロジェクトは、一般に開発コード名なるもので呼ばれる。もちろん、こうしたコード名はその存在すらユーザーには知らされず、したがって製品が大ヒットした後日、どこぞのビジネス誌の「技術者の開発根性秘話」などというチンケな企画の中で、「ワタシらはアレを、タメゴローと呼んでたんですワ。これが出たら世間がアッと驚くぞってね」などという、最悪のコメント付きで知るのがオチだった。

ところがだ。

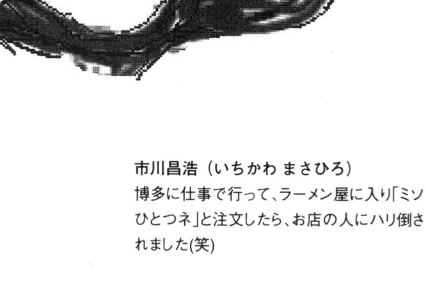
いつ頃からか、我々ユーザーは、製品発表のかなり前から、各社の目玉製品の開発状況を知るようになった。開発コード名はもちろんのこと、バグがとれないだの、パフォーマンスが出ないだの、日本語化に苦労しているだのといった、本来ならどうでもいいような情報を、製品が出る半年、1年前から知らされるようになったのだ。

その結果、我々はとんでもない耳年増となり、アップルの役員はタコだの、MSKKは技術力がないだのといった能書きをこくだけの、しょうもない穀潰しへと堕落してしまったのである。

この背景には、新製品の存在を事前にアピールしておくことで、ユーザーがライバル製品に走らないよう釘をさしておく、というマーケティング上の戦略があることは間違いない。製品を出荷する半年前から、凄い製品が出るぞ、出るぞ！　と煽っておけば、新し物好きのユーザーが飛びつかないはずはないからだ。

どこかの会社のアタマのいいヤツが、最初にこういうことを考えた。そして実行した。それは驚くべき成果をあげた。ライバルたちは「ちくしょー、やられた！」ってんで右へ習えをした。

我々は、出てもいない製品を、あたかもそれについては誰よりも知っているというような、馬鹿丸出しの顔で「シカゴやガーシュインより、やっぱメッカだよなー」などというヴァーチャルな会話を平気でしながら毎日を過ごすようになってしまった。きっと、シカゴやガーシュインやメッカが出たときには、「やっぱ本命はカイロの次のケープタウンでしょ？」などといってるに違いない。欲求不満の無限ループ……。



実録!?　電脳すったもんだがありました

かくして、開発コード名の考案は、実際の製品開発に優るとも劣らぬ重要な業務となった。恐らく今日も、世界のどこかの、入口をガードマンで固めた分厚い扉の奥で、こんな会議が行われているに違いない。

「えー、それでは我が社の次世代OSの開発コード名は、“ドルフィン”ということで決定させていただきます」

「ちょっと待った！　開発コード名を海洋生物で統一するのなら、ここはやはり“ドルフィン”ではなく“オヒョイ”ではないのかね？」

「お言葉ですが、“オヒョイ”では藤村俊二と勘違いされてしまいます。明らかにイメージダウンです」

「いやいや、人気の点からいったら“ラッコ”しかないだろう！」

「女子高生じゃないんだから、ラッコはないでしょう？」

「諸君、魚の王者といったら、石鯛に決まっているだろうが！　何なら、ワタシが去年奄美で釣り上げた大物の魚拓を広告に使ってだな」

「ウチの会社は魚河岸ではありませーん！」

「誰か、いいアイデアはないのかね？」

「やっぱりここは植物でしょう。蘭とか松とか桐とか」

「それじゃ管理工学研だ！」

「人名がいい！　太郎に花子。わかりやすいし愛着もわくぞ」

「そりゃ、ジャストシステムだあ！」

「マイクロソフトみたいに、都市の名前はどうかね？　ネクストだって最近は“メッカ”とかつけてるじゃないか」

「それだと、我が社の独自性というものがね」

「だったら日本の都市に絞ればいい！」

「東京とか、横浜とか、金沢なんかもいいな」

「京都、大阪、神戸の3本パックで3都物語ってのはどうですか？」

「そりゃ、JR西日本だあ！」

「やはり、北から攻めて行くのが常道だろう。最初は稚内、これだよ君！」

「それをいうなら、最初は満州だろうが。あそこは昔、日本だったんだ！」

「あのねえ！」

「北方領土はどうする？　この辺でビシッとロシアにいっといた方がいいんじゃないかね？」

「何をビシッというんですか？　ウチは右翼でも外務省でもないんですから」

「もう少し南に下りたところからスタートしましょうよ。札幌とか、釧路とか」

「釧路ってのは、カイロみたいでいいかもしれないな」

「またそれだ。すぐに他を真似たがる！」

「何だとお！」

「北海道なら牧場、牧場といえばサラブレッド！　諸君、馬の名前で行こう」

「それはいい！　いまは空前の競馬ブームだしな」

「よーし、じゃあ最初はハイセイコーか？」

「いまの若者は知りませんよ、ハイセイコーなんて」

「やっぱりここは、オグリキャップしかないでしょう？」

「いや、ビワハヤヒデを忘れてもらっては困るな。実力的には、次にホクトベガだろう」

「競馬ファンしか知らない名前じゃ困りますよ！」

「それならいっそ、相撲取りの名前ではどうかね？　大鵬に柏戸だ」

「……」

「歴代の将軍がいいんじゃないかね。これなら中年でもOKだし、最近はゲームでも人気だそうじゃないか。信長の野望とか」

「家康に、謙信か？　それ行こう！」

「しかし、それだと家康以外は全部滅びてしまうぞ！　我が社の製品が落ちぶれるなんて、断じて許さん」

「いいじゃないですか、いまだってシェアなんて全然ないんだから」

「き、貴様、裏切る気か？」

「事実をいったまでですよ、ワタシは」

「あー、どうしたらいいんだ？」

「そうだ、こうしましょう！　いっそのこと、開発コード名をOEMしてもらうってのはどうですか？」

「おおっ、そいつはアイデアだな！」

「君、至急、マイクロソフトとアップルとネクストに連絡をとってくれたまえ！　それから、来週の日曜で、那須のゴルフ場の予約を頼むよ」

「おっ、本部長、那須ですか？　いいですなあ」

「君も来るかね？　実は新しいアイアンを買ったんだがね。これが……」

もちろん、こんな風に決まったコード名をつけた製品が大ヒットするようなワケはないので安心していただきたい。

COLUMN

そういうワケで事前リークのお話です

マジな話、この戦略は慢性的なネタ不足に悩むパソコン雑誌にとっても非常に魅力的なものなんですね。何しろ、コネだのその筋だのに頼らなくても、黙っていれば向こうの方から情報をリークしてくれるのだから楽なもんです。

それだけではありません。「ウチの雑誌でも大々的にキャンペーンを張りますよ！」ってな感じで調子のいいことをいって、「これだけ載せるんですから、広告の方もひとつよろしく」ってんで、めでたくタイアップが成立。雑誌は売れるし、広告収入は増える。こんなにオイシイ話はありません。

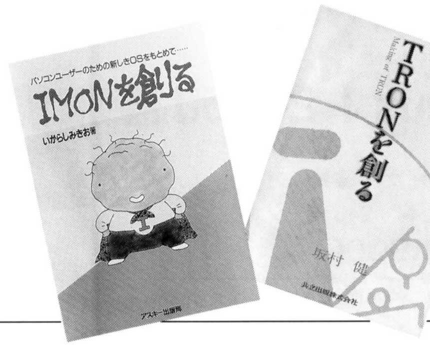
そういうわけで、出てもいない製品の記事がバンバン出る雑誌は、ちょっとオカシイと思った方がいいッスよ。

もっとも、ただ単に、出るぞ出るぞと騒いでおけばOKというわけではありません。要は、騒ぎに乗じて、キチンと物が出せるかということで、どういう理由かは知りませんが、それを見事に外したのがTRONでした。

何しろ、物が出るはるか以前から、本は出るわ、TVで紹介されるわと、マイクロソフトも真っ青の大キャンペーンが展開されたわけですよ。しかし、そこまでやった結果が……ですからね。世の中、なかなか思うようにならないものです。『アスキー』の「TRONを探せ」ってコーナーも、ありゃほとんどギャグだもんなあ……。

ちなみに、最近の坂村さんはやたらとマイクロソフトの批判めいたことをいったりしてますが、自分だってマスコミ操作みたいなことやったんだから、成功した人を悪人にするのは筋が通ってないよね。そう思いません？

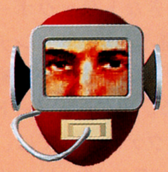
まあ、何でもいいんですけど、今回はいつになく内容のある話になっちゃったなー。ちょっと反省してます(笑)。



いまを去ること7年前に刊行された、坂村健先生のTRON宣言とも言うべき『TRONを創る』(共立出版)。それにインスパイアされて(?)、マンガ界の鬼才いがらしみきおが世に問うた『IMONを創る』(アスキー)。どちらが本質的な問題提起になっているかというと、それはもちろん……

新製品ぐるぐるレビュー

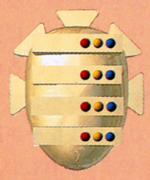




パソコンボディ



周辺機器



ソフトウエア



ガジェット



CD-ROM

icon design: TANIDA Ichiro

COMPAQ CONTURA 400シリーズ

機能的にもデザイン的にもバランスがとれたノートパソコンの新定番

●問合せ　コンパック・カスタマーセンター　0120-101589

パソコンもやっぱり所有するヨロコビが感じられないとね。無駄のないシンプルなデザインと大型トラックボールが決め手。ほんとに個人用に買ってしまおうかと迷ってます。

モデル●CONTURA 400●400C●400CX
価格●268,000円●348,000円●438,000円
CPU●i486DX2/40MHz
メモリ●4MB（最大20MBまで拡張可能）
ハードディスク●250MB
フロッピーディスク●3.5"×1（720KB/1.2MB/1.4MB 3モード対応）
ディスプレイ●9.5"STNモノクロ液晶●9.5"DSTNカラー液晶●8.4"TFTカラー液晶
解像度●640×480ドット
表示色●262,000色中256色
PCMCIAスロット●Type III×1またはType II×2
バッテリ駆動時間●4.0〜6.0時間●3.5〜5.5時間●3.5〜5.5時間
重量●約2.54Kg●2.68Kg●2.68Kg
添付ソフト●MS-DOS/6.2V、MS-Windows3.1、Lotus Organizer、Tab Works

ノートパソコンが欲しいわが住宅事情

ノート型パソコンの人気があいかわらず高い。別にみんなノートを片手に街へくりだして、ISDNの公衆電話からネットにアクセス……などと考えているわけではないはずだが、それでもノート型の人気が高いというのは、まずもって場所をとらずに使えるという理由が大きいのだと思う。わが貧しい住宅事情を鑑みても、現在デスクトップ型パソコン１台によって机が占領されているが、正直なところ邪魔だという思いはぬぐいきれない。好きなときに好きな場所で使えて、手元に置いていても邪魔な感じがしないマシンがあったら……そんなことを考える今日この頃だったりする。そんな筆者の思いをくすぐるノート型パソコンが発売になった。コンパックのCONTURA 400シリーズである。

今回発売になったモデルは、TFT/DSTNカラー、STNモノクロ液晶ディスプレイの３タイプ。CPUはi486DX2/40MHz、ローカルバスグラフィックス・アクセラレータを装備、PCMCIAスロット内蔵（Type III×１またはType II×２）、内蔵ハードディスク250MBと、ハードウェアの性能は現状での標準的ともいえるスペックだ。標準搭載のメモリ4MBは8MB程度まで拡張しておきたいところだが、その点をクリアすればWindowsが快適に使えるスペックと言える。これで価格がDSTNカラー液晶タイプで348,000円なのだから、相当お買い得な設定だと思う。

ポインティングデバイスの使い勝手がポイントだ

だが、筆者がこのCONTURA 400にひかれた理由はそうした価格やスペックだけにあるのではない。デザインの美しさと、大型のトラックボールがその最大の理由なのだ。

はじめてCONTURA 400の実物を目にしたときに感じたことが、このデザインだったら持っていて悪くない、ということだった。無駄のないひきしまったデザインは、所有する欲望を喚起するに十分な魅力に満ちている。

さらに直径19mmと大きなトラックボール。ノート型パソコンを選ぶとき、ポインティングデバイスの使い勝手のよしあしが、絶対に重要なポイントになる。現在あるノートパソコンのポインティングデバイスでは、IBM ThinkPad付属のTrackPointか、MacのPowerBook付属のトラックボールがベストだと筆者は考えているが、CONTURA 400のトラックボールはPowerBook系列のタイプ。手のひらをのせるパームレスト部分を確保している点でも同じで、実際に操作してみると、このパームレストと大きなトラックボールの組み合わせはしっくりくる。キーは薄型のものだが、作りがしっかりしているので、ハードキーヒッターの筆者でも不安はなかった。細かいことだが、カーソルキーが逆T字型配置なのも、操作がしやすくうれしい。

本体重量は2.54〜2.68Kgと、持って歩くには微妙なところ。バッテリ駆動時間は、カタログ値でモノクロモデルが４〜６時間、カラーモデルが3.5〜5.5時間と、このくらい持ってくれれば実用に十分という数値だ。

レビューで試用してからこのかた、はっきり言って個人的に買おうかどうか迷っている。ただ、買おうと考えている最大の理由が、どこでも仕事ができるからというのは、情けないかぎりではあるのだが。　（安藤聡）

多くの機能をコンパクトにまとめた機械はそれだけで美しいのだ



ポータブルMDデータドライブ MDH-10

MD（ミニディスク）がコンピュータに付く。大容量記憶装置の革新

●問合せ　ソニー　03-3447-5973

MDとMOを持って歩いている奇特な方、これからMDを買おうと思っている方、個人でMOを買ってデータを家の外に持っていきたい方、MOを買うお金のない方にお勧めします。

価格●64,800円（税別）
記憶容量●140MB（MMD-140使用時）
平均シークタイム●500ms以下
連続データ転送速度●150KB/s
インターフェース●SCSI、PCMCIA TYPE III（別売りインターフェイスキットが必要　29,800円）
対応機種●AT互換機／Macintosh
寸法・重量●W86×D131×H30（mm）・340g
付属品●ファイルシステム＋デバイスドライバ（Windows用／Macintosh用）、記録用MDデータMMD-140 1枚、リモコン付ヘッドホン、リチウムイオン充電地　他
別売品●SCSIケーブル（10,000円）、記録用MDデータ（140MB/2,500円）



サイズも重量もレコーディングMDウォークマン並み。おまけにメディアも安上がりで、「とりあえず」1台欲しいところ

光磁気ディスクより半額近く安い

現在主流の大容量メディアで持ち運び可能なものというと日本では、光磁気ディスクである。とくに3.5インチの普及がのびているようだが、まだまだ付いていないマシンの方が多い。

マルチメディア時代といわれながらも写真1枚が10MBほどのデータになると、受け渡しが大変になる。ましてや、「Director」などのソフトを使い出したりすると、WindowsからMacへのデータ渡しが頻繁に行われるようになるだろう。

ドライブごと携帯できて、しかも大容量というといかにも便利そうな記憶装置が、この「MDH-10」である。すでに発売されているオーディオ用のMDを再生できるだけでなく、140MBの記憶装置としても使用可能。重さは340g。リチウムイオン電池充電＋アルカリ乾電池で4.5時間の連続使用。SCSI対応でAT互換機でも、Macでも接続できる。しかも、今までの光磁気ディスクより半額近く安いのだから、絶対注目したいマシンである。

もちろんMDとしての音楽再生機能も現在の市販品と同じだし、付属のヘッドホンから再生やスキップの指令もだせる、と、あげていけばきりがないほど「特長」が多い。

知っておきたい問題点ディスクが違っていた

ただし、いいことばかりじゃなくて、知っておきたい問題点ももちろんある。音楽用と、コンピュータ用のディスクがまず違っている。外観はほぼ同じだが、チェックが働いて音楽用をつぶしてデータを入れるなんてことができない。それに、MDとしての録音機能もない。たぶん、デジタルで音楽用のMDがコピーされるのを防ぐためなんだろうが、やはり残念である。

それと、友達の家にいってすぐに差し込んでデータを交換というわけにもいかない。

AT互換機ならCONFIG.SYSへの登録が必要だし、Macでも機能拡張フォルダへの登録が必要だ。コンベンショナルメモリをどのくらい必要とするのか、イニシャルファイルの中に入れたとき他のデバイスとの相性はどうなのかなど、気になることもたくさんあるのだが、10月初旬の段階では、まだインストールソフトの最終バージョンはできあがっていないということだった。

なにぶん発売前なので不安点はあって当たり前だろう。オーディオ用MDとしても使え、WindowsでもMacでも使え、しかも3.5インチ光ディスクが実売でも4,000円の現時点で、ほぼ同じ容量で定価が2,500円のディスクで済むというのだから、個人用としてはこれ以上の大容量メディアは当面期待できないのではないだろうか。　（藤井政登）

Pentium/90MHz OptiPlex X590

2つのIDEに4つのデバイスがついたPCIマシン

●問合せ　デルコンピュータ　0120-1984-86

現在のハイスペックを詰め込んだ最高級マシン。Windows95搭載予定の新規格Plug&Playにもフラッシュバイオスで対応している。

モデル●OptiPlex XL590●OptiPlex XM590●OptiPlex XMT590（メモリ、HDD、FDDは別売り）
価格●264,000円（拡張スロット3）●284,000円（拡張スロット6）●274,000円（拡張スロット5）（税別）
CPU●Pentium/90MHz
メモリ●最大128MB
ハードディスク●210MB～1GB
フロッピーディスク●3.5"（3モード）ドライブ

DX4が好調な売り上げを見せていたデルが、早くもPentium/90MHzにPCIバスのついた新型機を投入した。こうした素早い対応は、部品レベルまで含めて35日分しかストックを持たないデルならではのマーケティング戦略であり、動きの早いAT互換機の市場に、また話題を投げかけそうである。

スペックとしては、ミニタワー、拡張ベイが5つと3つのデスクトップの計3種類のシャーシが用意され、いずれもPentium/90MHzのCPU、2つのIDEに4つのデバイスがついたPCIマシンである。ビデオ用チップには、S3社のVision864を採用している。しかも、故障やトラブル時にサービスマンが訪問修理する「オンサイトサービス」が1年間無料でついている。



B5カラーノート 日立 FLORA 500MA

ダイレクト通販なら9万円も安かった

●問合せ　日立ダイレクト　0120-7000-91

注文後1週間で届くそうだが、12月5日以降のお届けだそうで、もう少しまとう。もちろん、ローンも組めるし、8日以内なら返品も可能だ。

モデル●FLORA 500MA
価格●268,000円（税別）
CPU●486SX 33Hz
メモリ●4MB（最大20MB）
ハードディスク●200MB
フロッピーディスク●3.5"（3モード）ドライブ
内蔵ディスプレイ●8"STNカラー
重量●2Kg

日立製作所が、個人向けにパソコンの発売を決定した。新聞発表されたのは、「FLORA1010MA」という機種だが、ちょっとしたマジックがあって、これと同じボディに同じスペックをのせたマシンが電話でも注文できる。しかも、こちらの方が9万円ほど安くなっているのである。取り扱いの会社も「日立ダイレクト」と変わり、型番も「FLORA500MA」変わって12月5日から開始される。

もちろん、「FLORA1010MA」が店頭で売られるときには定価で販売されることはないだろうが、それにしても9万である。通販は不安、店頭で買いたいというのもいいだろうが、ある程度の上級ユーザーなら、ダイレクト通販も考える時期にきているということだろう。



マルチメディアノートPC PHIROS46/48

DSPパワーで差をつける、ヨーロッパ発のスーパーノート

●問合せ　日本オリベッティ　0120-045-393

FAX、電話機、テープレコーダー。報道陣必須の機能を内蔵したこのPHIROSを持ち歩けば業界人と間違えられる、てなこたないか。

モデル●PHIROS46 COLOR●48 COLOR PLUS
価格●498,000円●898,000円（税別）
CPU●i486DX2/50MHz●Intel DX4/75MHz
メモリ●4MB／16MB（最大32MB）
ハードディスク●240MB●510MB
フロッピーディスク●3.5"（3モード）ドライブ
内蔵ディスプレイ●8.5"DSTNカラー●9.4"TFTカラー
重量●2.8Kg

オリベッティのノートパソコン、PHIROSの最大の特徴は、内蔵されているDSP (Digital Signal Processor) というIC。DSPは、それを利用するためのソフトウェア次第で、様々な用途を実現してくれる、「第2のCPU」とでも言うべきチップなのである。

たとえば、Windowsのサウンド機能や、最大14400bpsのFAXモデム、電話機、ボイスレコーディングといったPHIROSの内蔵機能。これらがすべてDSPの力によるもの、といえばその威力がおわかりいただけよう。最新技術満載のノートパソコン界の中でも、DSP内蔵モデルを発売しているのはオリベッティだけ。その事実こそ、PHIROSの唯一無二の個性だ。イタリアの隠れハイテク企業の底力を見せつけるこのマシン、誰かが目をつける前にチェックする価値大、の製品だ。



VOICE&FAXモデム PV-PFV144



データもFAXも音声も扱える留守電いらずモデム

●問合せ　アイワ情報機器事業部　03-3827-2510

FAXサービスやポケベル呼出機能を、「業務用」と考えるともったいない。むしろ、素人でも情報発信源になれるツールと考えたい。

モデル●PV-PFV144HN（98用）●HI（AT用）
価格●28,800円（税別）
コマンド●ATコマンド
データ転送プロトコル●ITU-T V.42/V.42bis、MNP4/5/10
速度●最大14400bps、G3高速モード対応
VOICE●ADPCM圧縮(2/4bit)、サンプリングレート7.2kHz、DTMF送出／検出
電源●DC6V（単３乾電池×４またはACアダプター使用）
寸法・重量●W120×D94×25H（mm）・145g

14400bpsのモデムが普及して久しいが、PV-PFV144のように音声も扱えるモデムというのは通信速度を問わず珍しい。このモデムのVOICE機能と付属ソフトは、パソコンを留守番電話にしてしまうのだ。

もっとも、パソコンにそんな機能が必要か？　という疑問もあろう。だが、FAXによる情報サービスや、電話が来ると自動的にポケットベルを鳴らすとか、受けたメッセージを種類別に自動で分けて保存できるといった諸機能が、パソコン＋モデム＋付属ソフトだけでできるとなると、興味を引かないこともないのでは？　今までのモデムは情報を受ける事が中心だったが、情報を送ることに対応できる、ということを重要視して開発されたこの製品から、個人の情報サービスが増えると通信も面白くなるかな。

指先マウス グライドポイント



ポストマウスになるかもしれない、ポインティング・デバイス

●問合せ　アルプス電気　03-5499-8141

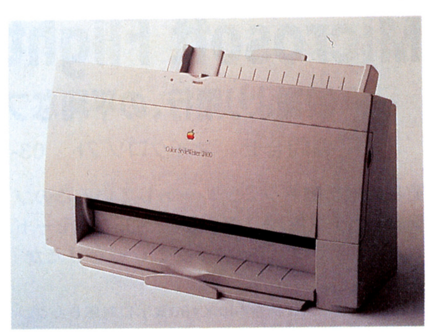
ちょっとしたコツのようなものがあるようで、なれるまで少し時間がかかりそう。ノートパソコンにつくと絶対便利。

価格●9,800円（税別）
対応機種●AT互換機
インターフェース●PS/2（12月発売）、シリアル（1月発売）
ポート●miniDIN6

76mm×69mmというサイズが大きいのか小さいのかという、相対的な話題で片づけるにはちょっと惜しい商品である。展示会場でほんの１、２分使っただけなのだが、思ったよりも使いやすかった。

狭い机の上ではマウスパットは異様に巨大だし、ノートパソコンについているトラックボールは決して使いやすいとはいえない。これは、指を１回トンとつくとクリック、２回やるとダブルクリックと、直感的に操作できるし、机上スペースの占有も小さい。弱点としては、あまりにも小さく、軽く作りすぎたため、安定感がないことか。たぶんこれは、慣れの問題なのだろう。なにより、オフィスの女性たちが爪を伸ばせるという利点、アルプス電気の方々はお気づきだろうか。

Color StyleWriter 2400



本格的フルカラー印刷が身近に

●問合せ　アップルコンピュータ　03-5562-5600

何が引き金になったのか低価格フルカラープリンタが目白押しで登場。今回はお待たせアップルのColorStyleWriterの新機種だ。

モデル●ColorStyleWriter2400
価格●75,000円（税別）
方式・解像度●カラーQuickDrawバブルジェット・360×360dpi
印字速度・用紙種類●３ページ／分（モノクロ）／1/3ページ／分（カラー）・A4～B5/OHP
対応機種●Macintosh
インターフェース●RS-422（ハイ・スピード・シリアル）
寸法・重量●W365×D215×H211(mm)・4.3Kg

勘の良い人なら予想していただろうけど、キヤノンのBJC-400Jに続く格好で、アップルからもパーソナル向けカラープリンタが発売される。

写真からおわかりのように、基本はキヤノンのモデル。フルカラー、インクジェット、360×360dpiなど、性能もこれに準じたものに仕上がっている。その他、カラー印刷用の専用紙としてStyleWriterProと同じものが使用できたり、LocalTalkに接続できたり、QuickDrawGXに対応予定と、アップルならではの機能も追加された。

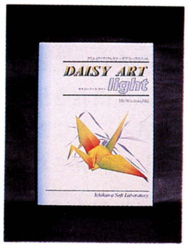
Performaと一緒に買ってカラーグラフィックで遊んだり、QuickTake100と組み合わせて写真データをカラー印刷したりという用途には最適。モノクロも十分なクオリティで性能に無駄がない。

レタッチ&ローダー DAISY ART light

懐かしのMAG形式も読み込めるペイントソフト

●問合せ　市川ソフトラボラトリー　043-246-5700

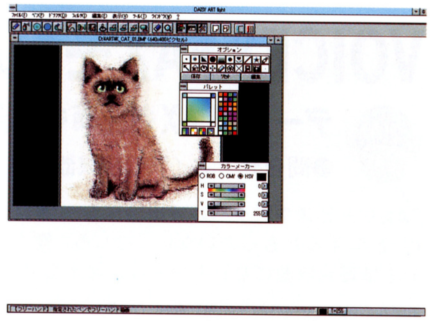
レタッチ用のフィルターの数がすごい。全部を試すだけでも数時間は必要だろう。安いソフトだしレタッチに興味のある人は買ってみよう。



Windows版
9,800円（税別）

「マグローダー」とか「ウミローダー」といっても、別に正義の味方ではない。PC-98を使ってDOS時代からパソコン通信をやっていたという方にはお馴染みの画像表示ソフトである。Windows全盛になって忘れさられてしまったか、最近発売のペイントソフトではお目にかかれない形式になり、当時のデータだけは今も捨てられず持っているという人も多いのでは。と、いったところでなんとMAG形式対応のWindowsソフトの発売である。

このソフト、水彩や油絵、アクリル絵の具などのタッチをかなりの雰囲気で描画できるし、パレットにある色に筆の色を混入していくといった水彩画の手法も得意としている。



写真のレタッチ機能も、色温度の変換まで対応してくれてできないことを探す方がむずかしい。おまけにこの価格なら、１本買っておいても決して損のないソフトだろう。

メディアミックスマガジン トムソーヤ

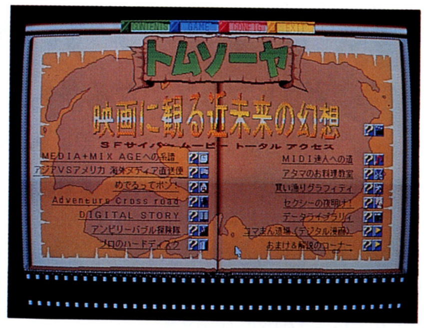
関西テイストで独自のノリのフロッピーマガジン

●問合せ　近未来探検社　06-436-0023

作っている側が楽しんで作っているものは、読む方も楽しいものです。たぶん、この「雑誌」の編集者は楽しんでるだろう、と思う。

PC-98シリーズ（VX以降）版
3.5インチ用
発売中
2,060円（税込）

いわゆるフロッピーマガジンという体裁のメディア。これがCD-ROMだと、「次世代のマルチメディアがなんたら」という展開になりがちだが、フロッピーという媒体の手軽さに合わせてか、SF映画特集やザ・グレート・サスケのインタビュー、「ツチノコ探検隊」、弁髪、「貴方のハードディスクの中身拝見」、チラリフェチ…とにかくジャンルを問わず、「これって面白れえかも」と思ったことからどんどん放り込んでいったんだろうな、と思える猥雑さが、週刊誌っぽい雰囲気を演出している。



内容と関係なく画面の下をテロップ風に流れ続けるニュースも、「噂の真相」の１行情報に見えなくもない。

HDDに入れっぱなしにしておいて、思い出したときにまさしく雑誌の様にパラパラながめるのが向いているソフト。

Microsoft Flight Simulator Ver.5.0

戦闘より飛行、の平和なフライトシミュレーター

●問合せ　マイクロソフト　03-5454-2300

実在の飛行機をシミュレートしているこのソフト、ゲイツ社製リアジェット35Aのモードもある。さてはビル・ゲイツとひっかけたか。

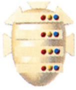
PC-9821,9801シリーズ版
（9801シリーズは別途640×480表示に対応したグラフィックボードが必要）
発売中
12,800円（税込）

自家用飛行機の普及機数が世界一のU.S.Aで、売上げNO.1のフライトシミュレータソフトが、Microsoft Flight Simulator。このたび98向けに、サウンドとグラフィックを強化したVer.5.0が移植された。

飛行機物のソフトには、戦闘機同士が戦うというものが多い。そんな中、ひたすら「飛ぶ」ことだけに目的を絞ったこのソフト、派手さはないが、計器盤の様子やエンジン音、航法無線、警告音のリアリティは抜群だ。離陸はフルスロットルで操縦幹を引くだけなので、誰でも「ジェットストリーム・こんばんは城達也です」状態が味わえるが、実機と同様、着陸は練習なしではとうてい成功しないので、横着な人はまず自動着陸モードえ感触を確かめられたし。



マウスが音楽になった Figure Mobile



ビデオドラッグを自分の音楽で作ってしまおう

●問合せ　日本コロムビア　03-3584-8227

わかりづらいが、この黄色や赤の図形をマウスで動かして音楽を作る。図形もバックも変更可能で、サイケな画面はLove&Peaceな音がする。

Macintosh版
CD-ROM、フロッピー（3枚組）両方発売
各19,800円（税別）
11月21日発売予定

一口で言えば、楽譜ではなく、グラフィックを操作することで音を出すMIDIソフトだ。画面上にあらわれるオブジェクトが音譜の代わり、画面の座標が五線符の代わりになっている。音色、音域、音量、オクターブフィルターなどの音に関するパラメータや、背景、オブジェクト、色などグラフィックに関するパラメータはかなり細かく設定することができ、本格的な音楽ツールとして使うことも可能な作りになっている。

しかしここでお勧めしたいのは、メインウィンドウのグラフィック。背景、オブジェクトが200種以上もあり、ポリゴンにすることもできる。さらには好みのデータをPICTで組み込むこともできてしまうのだ。とりあえずゲーム感覚でいじってみるのが正解。



電話回線自動切替機マルチセーバー



1本の電話回線を自動切り替え

●問合せ　トライアード　045-531-9553

手動切り替え式のFAXを使っていたりすると、なにかと面倒だったりトラブルも多い。そこで、要らぬトラブルを回避する妙案だ。

49,800円（税別）
2線式電話回線、ファクシミリ網対応
端子数3（TEL、FAX、AUX）
モジュラコネクタ接続
PB信号、CNG信号自動選択
寸法・重量●W170×D250×H50（mm）・1.1kg

FAXにモデム、当然電話もと、1本の電話回線を酷使している読者は少なくないだろう。そういった読者にご紹介しておきたいのがこのマルチセーバーEX3、製造は（株）ダイコーテクノロジーだ。マルチセーバーを使うと、1本の電話回線に電話機とFAX、およびモデムなど計3つの機器を接続でき、FAXと電話の自動切り替え、留守中のFAXへの自動着信ができるようになる。また、モデムへの自動着信機能もあり、パソコン側で電源さえ入れておけば、外部からデータを送信してもらって直接受信させてしまうことも可能になるのだ。

一方、こちらからの送信はマルチセーバー接続前と同様、まったく普通に行える。この点は見過ごされがちだが、大切なことだ。



最新のバージョンでは黒いボディになる予定だ

韓国からきた3D-MAX



これを付ければすべての3Dが本格的な立体画像に

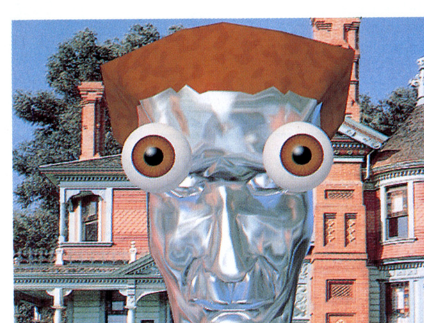
●問合せ　スコイアINC.　03-3298-8890

フリッカー除去機能付きハイテク3Dメガネ。見せてくれる映像もなかなかの迫力だが、ゴーグルをかけた姿もちょっとこわいぞ。



DOS/V用
16,800円（税込）
12月上旬発売予定
Macintosh用、98用近日発売予定

韓国のKASAN ELECTRONICSが開発した3D-MAXは、3D信号を内部信号に変換するシステムで、付属のゴーグルを着用することで本格的な立体画像が得られるというものだ。専用ボードをシステムに差し込めばすべての3D画像に対応する。ゴーグルにはフリッカー除去回路がついているので、今までの赤緑セロファンメガネのように、使っていると目が疲れるというようなこともない。パッケージにはボード、ゴーグルのほか、専用のゲーム『3D CLAY』『Star Field』も入っている。シューティングの『Star Field』では迫ってくる大隕石にびっくりして思わずよけてしまったほどだ。複数の人で楽しみたいなら別売りゴーグル（5,000円）もあり。この3D-MAXをさらに発展させ、CD-ROMなどでも3D立体画像が得られるI-MAXも発売が予定されている。

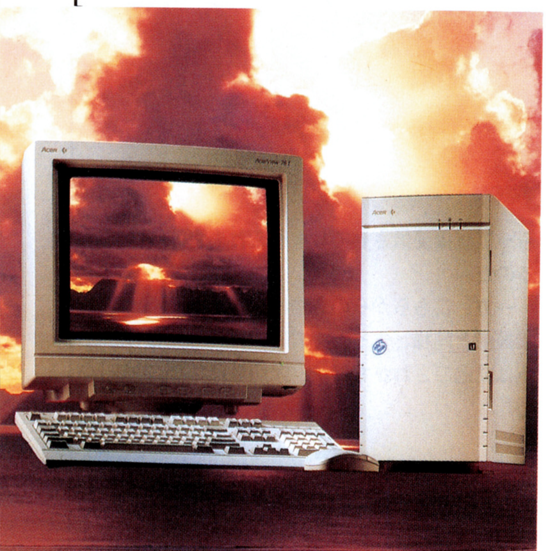


Acer サブノート&ミニタワー

(DOS/V機　日本エイサー　03-3463-3223)

CPUをi486SX/33MHzからi486DX2/50MHzにアップグレード可能なサブノートパソコンAcer300C-BNJは、B5ファイルサイズ・1.9Kgのボディに、RAM4MB、HDD260MB、7.7"STN液晶ディスプレイ、PCMCIA TypeIIIスロット、シリアル赤外線ポートなどを搭載したモデル。バッテリーにはNiMHを採用し、最大3.5時間の駆動が可能になっている。価格は298,000円。

ミニタワーモデルのAcerPower/M FTシリーズは、CPUがi486DX2/66MHzからPentium/90MHzまで全部で6モデルのラインナップ。全モデル共通のスペックとして、540MB HDD、ATI Mach64 PCI64ビットグラフィックアクセラレータ、5.25"ベイ×3、3.5"ベイ×2(内1つは内蔵)、PCIバス×2など。CD-ROM搭載モデルにはサウンドカードもついてくる。価格は338,000円～568,000円。



一太郎Ver.5搭載ノートパソコン

(PC-98互換機　セイコーエプソン　0424-99-7122)

セイコーエプソンはアップグレードマルチノートPC-486NOTE AUに、一太郎Ver.5.0をプレインストールした限定モデル「エプソン UG NOTE 一太郎」を発売する。CPUにi486SX/25MHzを搭載、IntelDX4/100MHzまでのアップグレードも可能。240MBHDD搭載で価格は248,000円。



IDEK　モニタとPCのセット

(DOS/V機　飯山電機　03-3231-8401)

IDEXON&IDEK Helloブランドのモニタメーカー飯山電機が、17インチモニタMF-8617とi486DX2/66MHz(RAM8MB/HDD340MB/VLバス×1/ISAバス×4)搭載のミニタワー型DOS/VパソコンHello T66VLのセットを発売する。

セット価格は263,000円。MS-DOS6.2/VおよびWindows3.1もインストール済み。

同時にHelloシリーズのラインナップも一新され、15インチのMF-8615B Helloが49,800円、17インチのMF-8617B Hello IIが89,800円などに価格改定。

パームトップPC HP200LX(PC/XT)互換機

(YHPカストマ・サポート・センタ　03-3335-8333)

日本語環境も整備されたアメリカ製超小型携帯端末HP200LX。W160×D86.4×H25.4(mm)・312g、アルカリ単3乾電池2本で駆動するDOS/Vパソコンだ。

DOSとLotus1-2-3をはじめ、エディタやスケジュール管理など、十数種類のアプリケーションがROM化されている。内蔵RAM2MBのモデルで99,800円。日本語化は、オカヤ・システムウェア製「HP200LX日本語化キット」基本セット9,800円またはフルセット(WX2、VZエディタ付属)15,800円を利用。こちらの問合せは03-3795-7601。



フラッシュメモリカード

LP200LX用　エプソンインフォメーションセンター　0424-99-7122)

HP200LXの日本語環境をプリインストールしたフラッシュメモリカードFLASH-PACKER SDP5HPシリーズはセイコーエプソンから発売。価格は、5.2MBモデルのSDP550HPが55,800円など。PCMCIA Rel2.0規格準拠で、HP200LX日本語化キット(オカヤ・システムウェア)、WXII+、MIFES-miniなどがあらかじめインストールされている。

PCIバス対応 グラフィックアクセラレータ

(DOS/V対応 アイ・オー・データ機器 0762-60-3353)

PCIバス対応、VRAM 2 MB搭載のDOS/V互換機対応グラフィックアクセラレータが24,800円で登場。モデル名はGA-DPCⅡ、1600×1024ドット(256色)、1677万色(800×600ドット時)表示が可能で、高速グラフィックアクセラレータとして知られるViperPCIに匹敵する性能を有する。

4倍速CD-ROMドライブ

(PC-98対応　Macintosh対応　アイシーエム　06-350-5701)

54,800円と低価格な4倍速CD-ROMドライブ。データ転送速度614KB/s、ランダムアクセスタイム160msのスペックを持ち、98対応モデルには辞書検索ユーティリティLightCard for Window、Macintosh対応モデルにはターミネータも添付されている。

CD-ROMドライブ+リムーバブルHDD

(DOS/V対応　ティアック　0422-52-5046)

4倍速CD-ROMドライブと250/360/540MBのリムーバブルHDドライブを一体化し、DOS/V機の5.25"ベイに内蔵できるという便利で珍しい装置が発売された。グラフィックやミュージックデータの蓄積などに最適。製品名はTEAC-STOR COMBOドライブキット。

価格は次の通り。

CH-503AK (250MB)	99,800円
CH-504AK (360MB)	115,000円
CH-505AK (540MB)	136,000円

I/O DATA PC-98用CPUアクセラレータ

（PC-9801DA,RA,RL対応　アイ・オー・データ機器　0762-60-1024）

IBM BLUE LIGHTNINGを使用し、80386搭載のPC9801の旧モデルを3倍から最大4倍に高速化するCPUアクセラレータ。最大60MHzのモデルPK-A486BL60が54,800円、最大75MHzのPK-A486BL75が64,800円で発売される。両モデルとも、Config.sysの設定変更や、パソコン本体のケースを開けなくても設定を変更可。MEMORY SERVERIIが添付される。

メルコ PC-98用CPUアクセラレータ

（PC-9801DA,RA対応　メルコ　052-619-1827）

80386搭載のPC-9801の旧モデルを、MATE（PC-9821Ap）並みの高速モデルにできるCPUアクセラレータHDA-C20Tが、コプロセッサ、16KBキャッシュメモリ搭載、仮想86ドライブを添付して53,000円で発売。

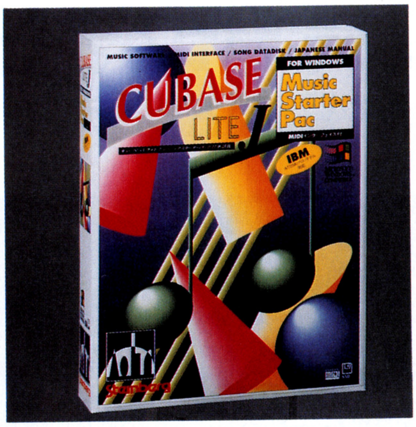
Fax&Dataモデムカード TO-706C

（DOS/V機対応　松下電器応用機器株式会社　0726-82-5071）

定評のあるポケットタイプと同等なノートパソコン用カードタイプモデムとしてTO-706CDVWが発売された。

PCMCIA2.0/JEIDA4.1準拠で、主な性能として、通信速度DATA：300～14400bps／FAX：2400～14400bps（G3）、エラー訂正にV.42、MNPクラス4、データ圧縮がV.42bis、MNPクラス5、移動体通信機能のMNPクラス10などとなっている。シェアウェアのエムタームとFAXソフトがついて49,800円。





Windows用DTM入門ソフト

Windows版　カメオインタラクティブ　03-3371-6591/052-243-0611/06-764-1191）

アレンジ、楽譜印刷などが簡単な操作でできるDTM入門者向けソフトに、MIDIインターフェース＆MIDIファイルプレイバックソフト、ソングデータ集をセットしたCUBASE LITE Jミュージックスターターパックが、19,800円で発売されている。

低価格フォトレタッチソフト PhotoLeaf

（Macintosh版　ニコン　03-3216-1034）

Mac用フルカラーフォトレタッチソフトが29,800円という低価格で発売される。カラーイメージのライブラリが用意され、ライブラリからのドラッグ＆ドロップによる画像の貼り込みが可能。その他Photoshopプラグイン、テキストレイアウトの簡易化などが図られている。同製品はニコンのフルカラープリンタCOOLPRINT for Macにも価格据え置きでバンドルされる。

ファイルメーカーPro2.1

（Macintosh版　クラリス　FAX03-5210-9022）

データベースソフトとして定評のあるファイルメーカーProが2.1にバージョンアップ。Apple Scriptへの対応のほか、縦書き印刷やブラウズモードの強化、テンプレートの充実などが図られている。価格は58,000円。先着1万本には年賀状テンプレートや毛筆TrueTypeフォントなどが無料添付される。また同社は統合ソフトクラリスワークス2.0のPower Macintosh版も発売する。あわせて旧価格58,000円を38,000円に改訂した。

クラリスワークス2.0 Power Macintosh版はスマートインストール方式を採用し、MC68系のMacintoshにも自動的にインストールできる。

Windows壁紙ソフトシリーズ第8弾

（Windows版　ハイテックラボジャパン　03-3461-9800）

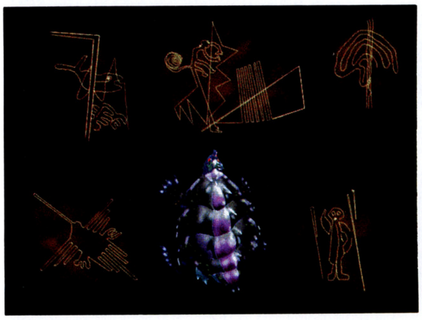
世界各地の風景をアレンジした壁紙ソフト「ヨーロッパ観光シリーズ」に「ドイツの城とライン河」が追加された。256色640×480ドット17点、320×480ドット2点のBMPファイルに、従来同様テキストファイルによる解説付き。2HD/2HCフロッピー3枚で4,800円。



サカナカナ　スクリーンセーバー

（Windows版　インターオフィス　03-5974-4330）

海に棲む10種類の生き物たちがモジュールになったスクリーンセーバー。256色のCGと、WAVEファイルのオリジナルテーマ音楽で構成される。パッケージにはMIDI形式データおよび壁紙ファイルも含まれており、価格は6,800円。いまなら体験版がパソコン通信などから入手できる。NIFTY-ServeならFTRIAL/LIB#5かFWINAP/LIB#6、PC-VANならSIG WINDOWS、PeopleならWINSOFT/LIB#17など。



工藤ちゃんがここにも帰ってきた！『探偵物語』



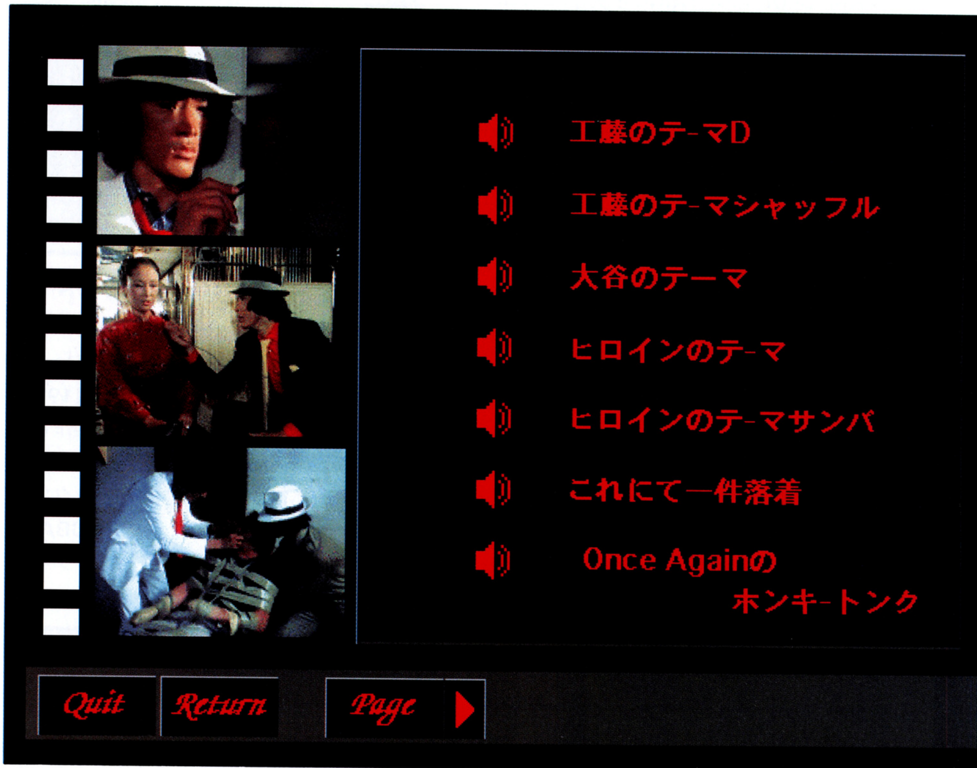
故・松田優作のコミカルで哀しい名作ドラマがCD-ROMに

●問合せ　東映ビデオ　03-3545-4519

『探偵物語』主演当時は30歳だった松田優作は、1989年39歳でこの世を去ってしまった。このCD-ROMはその『探偵物語』の全27話を収めて、彼の５度目の命日にあたる11月６日に発売にされた。



Macintosh版
9,800円（税別）

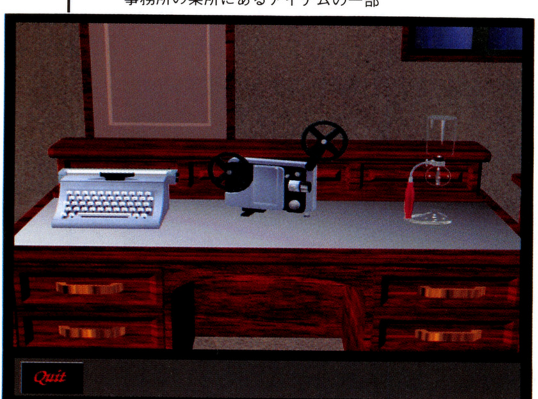


ベスパをさっそうと乗り回していた私立探偵・工藤ちゃん。モニタで見てもやっぱりシブイ

工藤探偵事務所を探索して名場面を引き出す

『探偵物語』は1979年に放送された後も、何回も再放送され、ビデオ、レーザーアクティブ版でも発売になったりと10年以上たってもファンを持つTVドラマだ。今回発売されたCD-ROM『探偵物語』ではこのメディアならではの方法でこのドラマを楽しむことができる。つまり、ユーザー自身がモニタ上に表れる工藤探偵事務所でアイテムを探し、ドラマの各シーンを引き出すのだ。

事務所の某所にあるアイテムの一部



大きなアイテムのひとつ「日記」は、通常のドラマCD-ROMではメインモードになるシナリオコーナーで、あらすじモードとシナリオと放送を比較するモードの２つがある。比較のモードではアドリブが現場でどのように挿入されていったのかがわかるように、右ページと左ページが分かれている。「工藤の手帳」には仲間と仕事で関わった人物の個人データが記されているという設定で、それぞれ役者のプロフィール、インタビューなどが収録されている。ゲストとして古尾谷雅人、倍賞美津子、風間杜夫なども出演していたことを考えれば、かなり豪華なメンバーが集まっている（に違いない。ライトワンス版のため確認できず）。

ドラマで使用されたサウンドトラックは「ラジカセ」に、全27話予告編QuickTimeムービーと制作者の座談会は「映写機」に入っているが、ほかにも、「マイク」「コーヒー」「ジェニーちゃん（たまに工藤がひざに抱えて一緒にタイプライターを打っていたぬいぐるみ）」「工藤ちゃんライター」「ベスパ」などがあり、そのアイテムと関係のあるシーンの解説、スチール、QuickTimeムービーなどが見られる検索モードになっている。

工藤のコーヒーブレンド比率までわかる

だけど、このあたりの内容はかなりマニアック。たとえば、工藤が愛飲していたコーヒーの豆のブレンド比率はキリマンジャロ２、モカ１、ブルーマウンテン３だとか、何話のタイプライターは普段と形状が違うなどといった具合だ。純粋にドラマを見たい人はビデオのほうがいいのだから、第４のメディアとして「工藤俊作の謎」風にマニア心理をくすぐる構成になるのも納得がいく。

ただ欲を言えば、もう少しQuickTime画面を大きくして欲しかった。４インチの液晶携帯テレビみたいな画面じゃ、暗いシーンの多いこのドラマでははっきり言って何をやっているのかよく見えない。静止画も小さいし。それが非常に残念だ。　（臼井かおる）

競馬ファン待望の『中央競馬完全ガイド'94』

秋のG1を勝ち取るには赤エンピツとこれが必須か？

●問合せ　NECホームエレクトロニクス　044-844-8988

この秋こそ大穴とったるで〜と意気込んでいる人にはいたれりつくせりのデータベースだが、そうでない人には「ダービースタリオン特別版」がお勧め。98の人しかゲームができないのが残念。



Windows版
12,800円（税別）

パソコン好きは元来競馬好きなのか

統計をとったワケじゃないけれど、パソコン使いに競馬ファンって結構多いような気がする。データ遊びが好きだから競馬ファンなのか、競馬のデータをこねくりまわしてヨロコんでいるうちにパソコンにまでハマったのか、はたまた１年後に笑って使えるかどうかも分からないパソコンに生活費まで注ぎ込むような輩は元来ギャンブル好きなのか？　まあ、いずれにしてもパソコンと競馬は、すこぶる相性の良い組み合わせではある。

そこで。出るべくして出たともいえるこの『中央競馬完全ガイド'94』は、1994年の春のG1と、そこまでのステップとなる全49レースをメインにしたデータベース。全体は「1994春 G1 ROAD」「PROFILE」「INFORMATION」「ダービースタリオン特別版」の４要素で構成されている。

「1994春 G1 ROAD」では、ステップチャートと、出馬表から出走馬、騎手、調教師の各データを検索、さらに成績結果にレース映像、過去10年間の勝ち馬データまでを収録。レースを見た人も見られなかった人も、勝った人も買ったダケの人も楽しめるハズだ。

「PROFILE」で検索できる登録馬は、オープン〜準オープンクラスの、ジツに452頭の三代血統、５走および通算の成績に、連対



場外馬券売場に持ち込んでみるのも一興

率、誕生日に至るまでのデータを収録。もちろん写真入り。登録騎手194人、調教師214人のデータと、これだけ揃えられると何だか「もらった！」って気分になるでしょ？

このデータベースでたてた予想は果たして当たったか

が、なんと言っても今一番アツいのは「INFORMATION」の「秋 G1 へのステップ」。これを書いているのは10月10日。「天皇賞」の前哨戦、「毎日王冠」が開催されるのだ〜！　ってコトで、サッソク'93年から遡ること10年、'84年までのデータをチェック。ちなみに'84年の勝ち馬はカツラギエース、騎手は西浦でした。もろもろの検討の結果、今日の本命はネーハイシーザーに決まり。でも、７番ってここ５年、来てないなあ…（さて結果は、みなさん思い出してくださいね）。

予想の参考以外にも、たとえば、若いおねえちゃん達の支持を得てヌイグルミにまでなったオグリキャップがこの毎日王冠を２年連続制覇して人気沸騰させたのは有馬記念までさらった'88年〜89年もう５年前のコトであるなあ、などという感慨に更けるのもまたよろし。その翌年の'90年に、武豊騎手の鞍上でなんと再び有馬記念で１着に返り咲いたオグリ自身は引退しても、武騎手はロンシャン競馬場でも勝ち星をあげて絶好調。98WINユーザーに限り、競争馬のイノチの短さをつくづく思い知るゲーム「ダービースタリオン特別版」が付いてお買い得なこの１枚。本家98版ゲームで育てた馬の移植も可能。

データ競馬をするのなら、持っていても損はない、とはいえ何年も使えないぞ。今後毎春秋のシーズン後、速やかなアップデートを熱望！ってのは贅沢かしら。　　（吉田 恵）



『YELLOWS MEN Tokyo 1994』

Music CDのシングル盤と同じ3.5インチのCD-ROM

●問合せ　デジタローグ　03-3408-2494



年齢、身長、血液型などで検索できるのは従来どおり

『CREA』では局部をうまく隠していたけれど、ここでは単にモザイク処理（笑）。ま、隠さないわけにはいかないもんね。



Macintosh版
6,800円（税別）

日本人、アメリカ人と続いた『YELLOWS』の今度のモデルは“男性”。女性誌『CREA』94年6月号のポルノ特集に袋とじで登場し、話題をさらった『YELLOWS男性版』がCD-ROMになった。再編集にあたってこちらではオートサジェスチョン方式のカラームービー集がついているので、あの裸をカラーで見たかったという人には朗報かも知れない……でもそういう人は少ないか。前作までは毎回約100人の写真が収録されていたが、協力者が少ないのか、『YELLOWS MEN』の収録数は26人だ。それに合わせてCD-ROMのサイズも3.5インチ（アダプターは添付されている）とコンパクトなものになっている。ついでに言うと『CREA』では27人登場していたはずなのだが……誰がいなくなったのかは自分でお確かめくださいね。

同情するなら金をくれ！『家なき子』

安達祐実主演の高視聴率ドラマ、ついにCD-ROMに

●問合せ　NECホームエレクトロニクス　044-844-8988


これだけ不幸な子どもがどんな大人になるのか……

シナリオ部分はエキスパンド・ブック形式ではなくオリジナル。シナリオ画面がもう少し大きいと読みやすい。



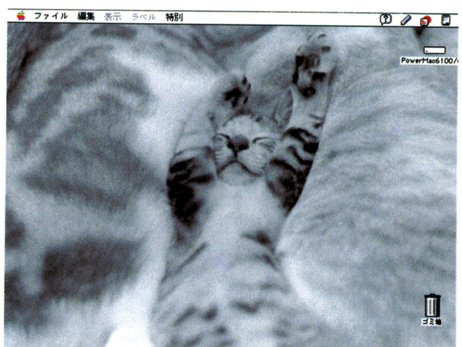
Windows版（2枚組）
7,800円（税別）

TBSの『高校教師』『誰にも言えない』に続いて日本テレビ系のドラマもCD-ROMになった。安達祐実が主演し、「同情するなら金をくれ」という流行語まで『家なき子』だ。シナリオ、名場面ダイジェスト、キャストインタビュー、ロケ地詳細などは先行のものと大差はないが、オモシロイのは最終回12話のシナリオ部分。画面にやおら折れ線グラフが出ている。なにかと思ってクリックしてみると……、そうこのドラマの最高視聴率（35.6％）のシーンが出てくるのだ。そんなにうれしいか日テレ。新しいのは、NGシーンや「耐えるすず」「泣くすず」といった一覧など。特に後者の企画はバカバカしくもついつい見てしまい、テレビ放送の各シーンを思い出してしまう。次はフジテレビ系のドラマが見たい。

『ねこめくり』／『いぬめくり』

毎日かわいい、大ヒットカレンダーがパソコン画面に進出

●問合せ　インクリメントP　03-3495-6463



うちのほうがもっとかわいい、とはどの飼い主も思うこと

モノクロ写真オンリーなので作業のじゃまにはならないし、日替わりというのがなにより楽しみ。私は断然猫贔屓です。



11月21日発売予定
Macintosh／Windows両対応
4,800円（税別）

年末になるとバラエティーショップやコンビニで目にする猫の日めくりカレンダー。なんと過去10万部もの数を売り上げた大ヒット作らしい。この「ねこめくり」の93年〜来年95年の3年分の中から365枚を厳選して、モニタの壁紙にしてしまったのがこのCD-ROMだ。インストールした日から飽きるまで一生使うことができる万年カレンダー付き壁紙として使えて、カレンダーの位置、フォントなどは好みでカスタマイズできるようになっている。さらに写真の順番を入れ替えたり、自分の撮った愛猫の写真を追加することも可能。マシンを立ちあげるたびに日替わりで猫たちの愛らしい姿が見られるなんて幸せ。

同時発売で『いぬめくり』もあるので、犬好きの方はそちらをどうぞ。

スーパーVOWゲーム

（Macintosh／Windows両対応　宝島社　2,200円　発売中）

累積販売部数400万部をほこる宝島社の『VOW』を題材にしたCD-ROM。過去のシリーズの中から選りすぐったネタだけを集めたVOWカードが数100点以上収録されている。CD-ROMならではの企画として「ヴァーチャル投稿ページ」を追加。VOWの街を探検し、発見したネタを投稿してポイントを稼ぐというゲームだ。ネタにつけるコメントのセンスで評価ががらりと変わるらしい。

World's Diving Spots

（Macintosh版　バンダイ　7,800円　発売中）

モルディブ、モーリシャスなど世界各地のダイビングスポットを部屋にいながら鑑賞できるCD-ROM。ダイビングツアーモードにすればBGMも好みの設定ができ、映像がクイックタイムムービーで自動再生されるので、熱帯魚が飼えない人はこれで雰囲気だけでも。

るじろむ

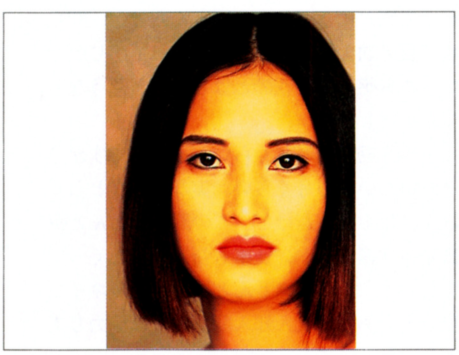
（Macintosh版　ボイジャージャパン　4,000円　発売中）

パソコン雑誌で活躍中のイラストレーター"るじるし"の絵本CD-ROM。ゲーム、アニメーション、ユーティリティなどのインタラクティブ作品が収められている。

YELLOWS 3.0 1994 CHINESE

（Macintosh版　デジタローグ　8,800円）

またまた出ました、イエローズ。第３弾は日本、アメリカに続いて中国ロケを敢行。100人のチャイニーズが勢揃い。次はフランスか？　フィリピンか？





Full of Cats～猫

（Macintosh／Windows両対応　Colors, Inc.　7,800円　発売中）

アメリカンショートヘア、チンチラ、オシキャット、ロシアンブルーなどペットショップ御用達の猫たちをはじめ、街角の猫、子猫など猫の写真ばかり120カットを収録した著作権フリーの画像データ集。付録として「子猫の鳴き声」サウンドデータがついている。

第76回高校野球・全記録

（Macintosh版　朝日新聞社　2,500円　発売中）

今年の夏の高校野球の全試合ダイジェスト版。ABC朝日放送撮影の映像から約100カット、朝日新聞社撮影の写真350枚以上と、新聞の文字情報にして約1500画面にものぼる大容量のデータが収められている。もちろんチーム紹介や県別過去10年間の代表校一覧などもあり。このCD-ROMは市販ルートには流れないので希望の方は代金引換郵便（ハガキで申込み）もしくは現金書留で、〒104-11朝日新聞ニューメディア本部「高校野球CD-ROM」係まで（送料不要）

バーチャル・ヴァレリィ（ディレクターズカット）

（Macintosh版／Windows版　メディア・カイト　各9,800円　11月10日発売予定）

『スペースシップ・ワーロック』などで知られるマイク・セインツが手掛けたCD-ROM。その内容の過激さから、輸入版は発売と同時に発売禁止になったといういわく付きのタイトルだ。Windows版は世界で初めての登場だ。



VINCENT HERRING

（Macintosh版　メイズボックス　4,800円　11月23日発売予定）

音楽CDにCD-ROMデータがつくという新しい試みが登場する。音楽だけでいい人には通常のCD（3,000円）がレコードショップなどで販売され、CD-ROMも見たい人にはCD-ROMデータ付きのものがパソコンショップなどで発売されるという２段方式。内容はジャズのサックス奏者ビンセント・ハーディングの新作アルバムで、CD-ROMデータとして、インタビュー、特撮のプロモーション・ビデオなどが多数用意されている。



くるみ割り人形

（Macintosh版　Windows版　オラシオン　価格未定　12月２日同時発売予定）

Macintosh Perfomaシリーズにバンドルされていて、つい最近Windows版も発売になった『Music ISLAND ピーターと狼』に第２弾が登場。題材に選ばれたのはチャイコフスキーの『くるみ割り人形』。音楽とアニメーションで楽しむエデュティメントソフトになっており基本的には前作と同じ形式を踏襲している。第３弾の『動物の謝肉祭』は来年２月に発売予定。

WRATH OF THE GODS ～神々の怒り～（仮称）

（Macintosh版　Windows版　ギャガ・コミュニケーション　価格未定　12月中旬発売予定）

ギリシャ神話をモチーフに、主人公プルートが繰り広げるコミカルなアドベンチャー・ゲーム。日本語版ならではの工夫が凝らされ、オリジナル版よりもさらにパワーアップしているそうだ。

『POP UP COMPUTER』リリース

おみくじもレコード・プレイヤーもついてくるおトクな一枚です

松本弦人 Interview

子どものころによく遊んだ昔懐かしの飛び出す絵本が、今は制作の都合で出版することが不可能になっている。ならCD-ROMでやってしまおうか。それがこの『POP UP COMPUTER』だ。しかもゲーム、音楽、小説と盛りだくさんのお楽しみイベントもついてるぞ。



プリントデータ付きで自分で組み立てられるペーパーキットも手にはいる！



MATSUMOTO GENTO グラフィックアーティスト 1961年東京生まれ。ADC、国際フェスティバル等で各賞を受賞。立花ハジメと「BAMBI」「ZIP FM」ポスターなどを共同製作。Floppy+Paper「APE」「MOP」アートディレクションなどをてがける。1990年株式会社サルブルネイ設立。

『APE』『MOP』に続く松本弦人第3弾

Macを使っているデザイナーの間ではその名を知らない人はいないというグラフィック・デザイナーの松本弦人氏が、満を持して発表するCD-ROMがこの『Pop Up Computer』だ。これは一言でいうと飛び出す絵本で、中にはAからZまでのアルファベット26文字のページがあり、それを開くたびにそれぞれゲーム、音楽、小説などが楽しめるようになっている。ファンならよくご存じとは思うが彼は、フロッピーマガジンを発表したり(『APE』、『MOP』など)、原宿のデジタローグでMacintosh0展やフロッケ展（フロッピーマーケットのこと）とかデジタル・メディアを媒介にしていろいろなおもしろいこともやったりしている、とっても活動範囲の広いグラフィック・デザイナーである。

この作品には本人主宰のサルブルネイ以外にも、シナリオ／サマタマサト、池松江美、テキスト／サマタマサト、池松江美、尾崎靖、西内あおい、イラストレーション／トキワヒビキ、東京工作クラブ、池松江美、鈴木剛、音楽／サマタマサト、Buffalo Daughter、立花ハジメ、竹村信哉、鈴木剛という面々が参加していて、スタッフロールもかなりにぎやかだ。

これを作っている最中はほかの仕事も全部断った

──まず今回の『Pop Up Computer』を作った理由っていうか、経緯を聞かせてください。

「単純に今回はCD-ROMを作る話が来たからですね。最初はノンインタラクティブ・ムービーみたいな内容にしようって企画してたんだけど、現段階ではいろんな意味でその企画のものをつくるのはちょっと無理そうで。それじゃ今、CD-ROMというメディアの中でできる範囲のもので何が作れるか、ということになって。できたのがコレ」

──作る時に特に意識したこととかありますか？

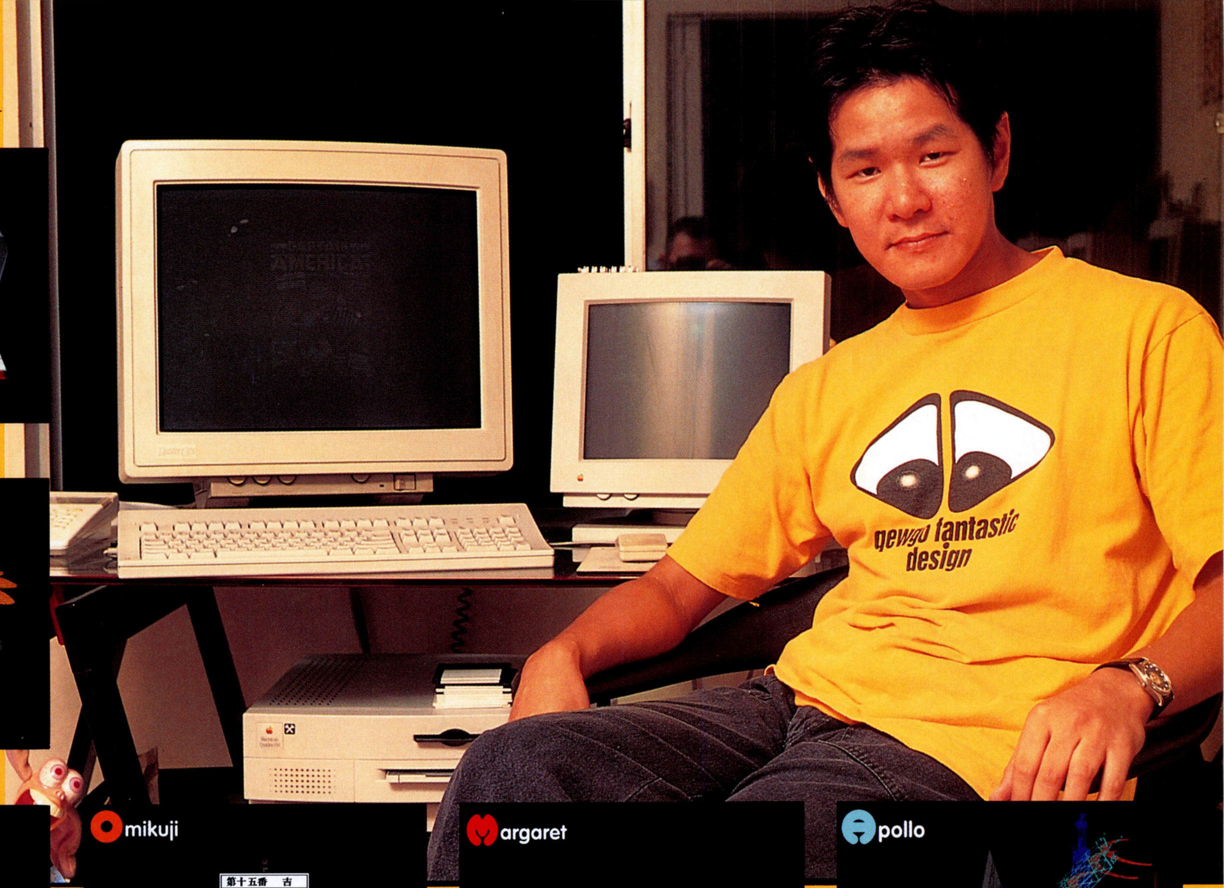
「所有感みたいなものかな。いい写真集でもレコードでも、毎日見たり聴いたりはしないけど持っているだけで何かうれしかったりするじゃない。このCD-ROMも、そういうものにしたかった。『俺、アレ持ってるんだ』っていうコレクターのうれしさみたいなものを感じられるようなものを目指したんですよ。

もうひとつには、モニタの中での所有感(存在感）っていうものを表現したかったってこと。たとえば〝Record〟のページなら、4面あるレコードとプレイヤーを本当に手に入れた気にさせたかったし、〝Omikuji〟だったら、実際におみくじがプリントアウトされて手元にあらわれたり。CD-ROM 1枚なんだけど、そのなかに入っているすべてのものを実際に手にしているような、そういうところをすごい大事にしてみたんだけど。なぜかというと、自分がCD-ROMを作るにあたって、いろんなタイトルを見てみたから。『MYST』とかって確かにきれいだと思うんだけど、明らかに目の前で起きている絵空事って感じがして、所有感っていうのとはちょっと違うなって思ったしね」

──制作期間はどれくらいだったんですか？

「だいたい5カ月くらい、実際の作業としては3カ月ぐらいだけど、この間はほとんど毎日徹夜状態でほかの仕事も断っていたくらいでしたね。作業のほとんどはサルブルネイで作って、あとは友人知人関係の人に協力してもらったりして」

Photo:UGAJIN Yoshiyuki

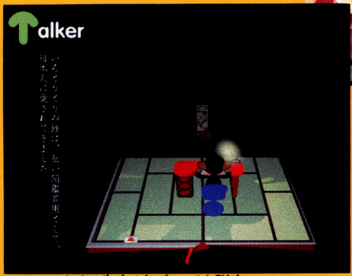




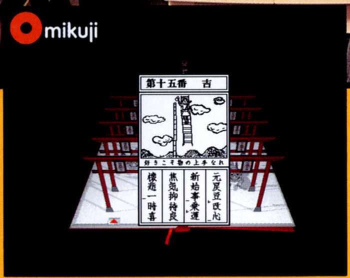
White;スノーモービル・ゲームでジャンプ



Jungle Dust;クリックして顔を出すのは……



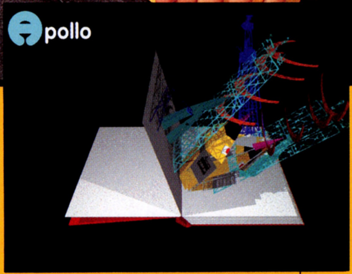
Talker;おさる先生がこもって小説を……



Omikuji;結果は強制的にプリントアウトされる



Margaret;まさに飛び出すコミック(笑)



Apollo;オープニングにふさわしく発射!?

「売れた」でたった2万枚じゃ CD-ROMに未来はない

――『APE』とか『MOP』みたいな今まで松本さんが作ってきたものとの関係性はどうなんですか。なんか今までの発展形のものって気がしますけど。

「もちろん、そうだよね。『APE』はフロッピーが1枚、『MOP』は2枚組、そして今回のがCD-ROMという流れになってるしね。でも今回の作り方として前2作と違うところは、かなり自我を殺して監督業をしながら作ってること(笑)。監督業っていうと変だけど、つまり自分をコントロールしながら」

――それはどうして？

「単純に、売りたかったから(笑)。CD-ROMの世界で現段階で大事なことって数を売ることだと思うんですよ。『YELLOWS』がすごい売れてるっていっても、2万枚とか3万枚しか売れていない状況でしょ。それじゃCD-ROMの世界が、メディアとしてまだまだお話にならないわけだし。CD-ROMをやるからには数を意識して作らないといけないかなというのがあったし」

――今後もCD-ROMを作っていこうという予定があったら教えてください。

「今回やったんで、次に作るときはもう少し賢く作れると思うし、実際すでにオーダーは来ていてやらなきゃいけないことになっているんで。グラフィックとCD-ROMの仕事がうまくバランス取れててできればいいかなと」

――最初に言っていた今回断念した企画のものは、どんな感じだったんですか？

「構造的には違うんだけれど、漠然とした雰囲気は『MOTHER2』に近いかもしれないな。でも、これはもう少し時間がたたないと多分作れないと思ってる」

――最後に松本さん自身が気に入っているページを教えてください。

「〝Guitar Genius〞のページとかは、初めに作ったところだから結構気に入ってます」

＊

個人的には、〝CharacterMaker〞(福笑い＋モンタージュのようなもので60万通りの顔が出てくる)とか〝White〞(スノーボードでジャンプするゲーム、これが結構難しい)のページが面白かった。本人自ら自信作というだけあって、何が飛び出すかわからない仕掛けがいっぱいのCD-ROMだ。飛び出す絵本というアイデアもイイし、ヴィジュアルの完成度は、さすがグラフィック・デザイナーというだけあって文句なしのできばえ。インタビューを終えて、彼みたいな人が(別にグラフィック・デザイナーということじゃなくて、アーティストでもミュージシャンでもいいけど、面白いものが作れる人って意味で)これからどんどんCD-ROMを作ったりすると、ホントーの意味でマルチメディアっていうものが、面白いものになったり拡がっていくのになぁと、偉そうに余計なことまで考えちゃったりなんかしてしまいました。

(インタビュー・筍 鉄也／モンキー王国)



Macintosh版 POP UPペーパークラフトキット付き
11月11日発売予定／8,800円(税別)
問合せ アスク講談社 03-3267-7341



マルチメディアのNEC
NEC
98 CD-ROM COLLECTION
地獄の工場からキャットを救え！
危機一髪！彼女の命は、君の的確な判断と素早い行動力にかかっている！
臨場感あふれるフルカラー表示※と動画で迫りくる恐怖を超リアル体験！
※ご使用のシステム構成により異なります。
CRITICAL PATH
今秋発売予定
クリティカル・パス
Windows版 価格10,800円(税別)
話題の新作、続々登場！
ワールドカップサッカーの歴史を集大成！伝説のプレーが動画映像でリアルに甦る！
NEW
STORY OF THE WORLD CUP 1930-1994
Windows版 価格8,800円(税別)
競馬のすべてを詰め込んだ！大人気ゲームダビスタ特別版も収録！(98対応)
NEW
中央競馬完全ガイド'94
Windows版 価格12,800円(税別)
※Windowsは米国マイクロソフト社の商標です。※その他の製品および社名は各社の商標または登録商標です。
あなたもロムってますか！
NEC ロムる キャンペーン
○キャンペーン期間中、NECホームエレクトロニクスのCD-ROMソフトを2枚以上お買上げのお客様に抽選で体験版CD-ROMソフト集＋CD-ROM型'95カレンダーをプレゼント。
○また、ご来店のお客様全員にCD-ROMがよーくわかるコミック型の小冊子をプレゼント。
○さらに、小冊子に同封されたアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で100名様に新作CD-ROMソフトをプレゼント。
○詳しくはキャンペーン参加店にてお尋ねください。
キャンペーン期間：11/19(土)〜12/31(土)
NECホームエレクトロニクス お問い合わせは、光メディア事業部へ 〒213 神奈川県川崎市高津区久本3-14-1 ☎044(844)8988

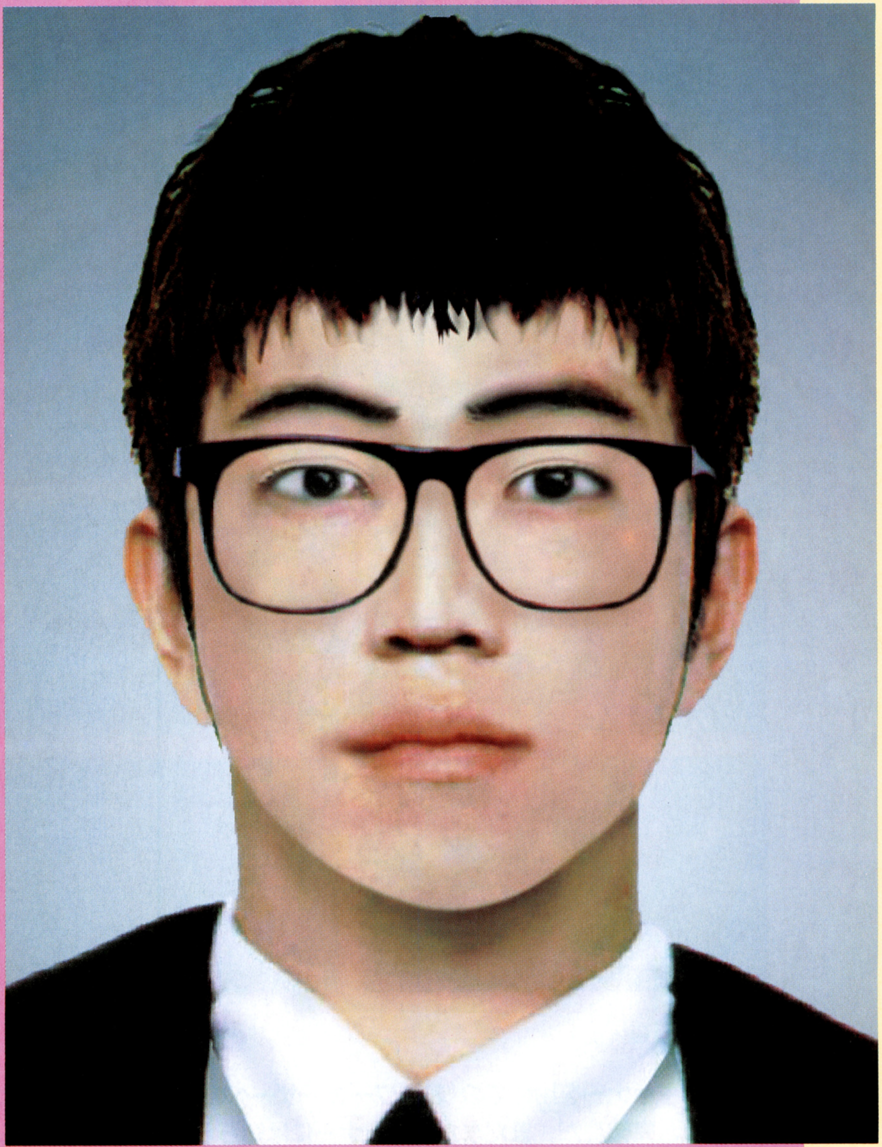
〈資料請求番号114〉

GURU美容形成外科

院長・南伸坊







片田直久さん●26歳。柔道初段の腕を持つゴツい男だが、ご自身は「木村拓哉のような顔になりたい」と言う。関係者一同「木村拓哉」なるものの顔を知らなかったが、「お茶の間の人気者」だという推測のもと、このような顔にしてみました。

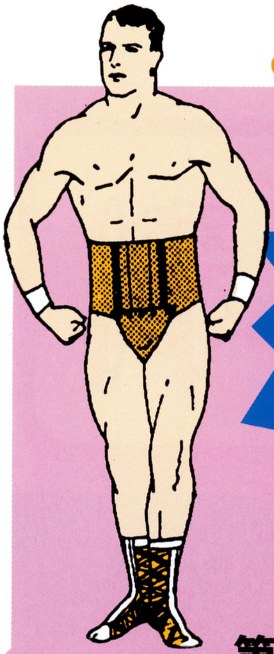
担当:能美 勉

〈お写真大募集〉

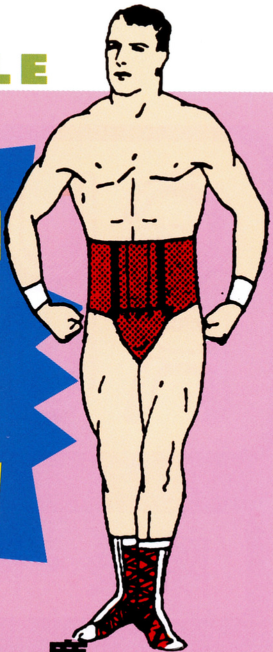
貴方のお顔を拝見させてください。そして、理想とするお姿があれば、お書き添えください。当院の誇る優秀な担当者が、貴方のお望みをきっとかなえることでしょう。

●

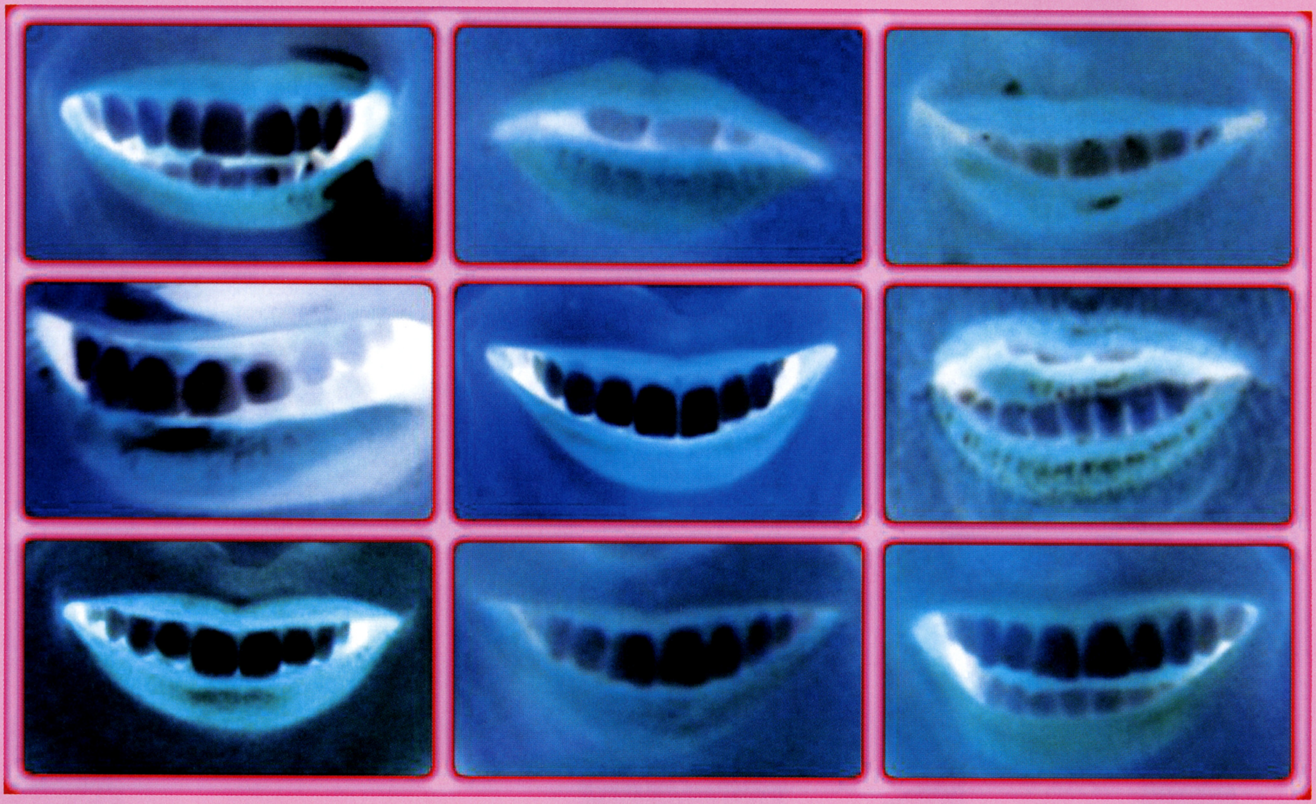
港区北青山3-10-18 北青山本田ビル(〒107)
株式会社翔泳社『GURU』編集部
"GURU美容形成外科"係
TEL.03-5467-3777 FAX.03-5467-0187 NIFTY-Serve LDB00443



超パワーユーザーへの道



第3回　スキャナー・完結篇　あの素晴らしい貧血をもう一度



図版−1　歯の階調反転曼陀羅。

スキャナーを用いての『超パワーユーザーへの道』も3回目。いよいよ、完結篇だ。まだまだスキャナーには知られざる可能性があると思われるが、それにもかかわらず、なぜ完結篇を迎えるのか？そして、今回のテーマである“貧血”という現象を電子メディア時代にはどのように認知することが可能なのか？
とにかく読まなければわからない！

文+ビジュアル=太田孝幸
Text&Visual : OTA Takayuki

【今回使用した主要機材】
◆パソコン(Macintosh Quadra950)
◆スキャナー(SHARP JX-325M)
【今回使用した主要ソフト】
◆Adobe Photoshop 2.5J
【今回使用した主な素材】
◆スキャナー取扱説明書
◆スキャナー修理・出張作業報告書
◆その他

スキャナーの故障にあたって

いやぁ、まいりました。この原稿の〆切直前になってスキャナーが故障してしまいました。前回、前々回の記事を書くためにいろいろと変わった使い方をしたのが原因なのでしょうか。取扱説明書に書かれている悪い例に該当するようなこと［図版-2］は、していないつもりなんですけど、やはり前々回に納豆をスキャニングしたのが糸を引いた…、いや、尾を引いたのでしょうか。

でも、すぐに修理をしてもらえたので事なきを得ました。［図版-3］を見てください。ね、嘘じゃないでしょ。私はいま使っているシャープのJX-325Mというスキャナーをかなり気に入っています。透過原稿も結構きれいに読み取れるし、サポートの対応も良い。この前、JX-330Mという後継機種が出たのはちょっと悔しいですけど、まだまだ現役で使おうと思っています。

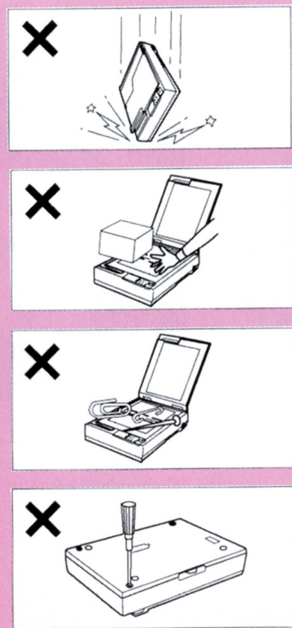
なので、もうスキャナーに無理はさせたくないのです。で、この連載のスキャナー篇はこれにておしまいとします。本当は最後くらいド派手にスキャナーを使いたいところなんですけど、なんといっても“病み上がり”ですからね。今回は無難なところで、スキャニング以降のPhotoshop上での処理に焦点を絞ります。さらに使う機能は「階調の反転」だけに限定して進めることにします。

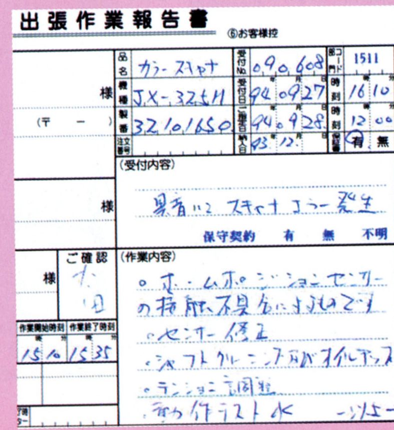
貧血による究極の光景

“病み上がり”で思い出すのが“貧血”です。私は小学校時代に何度か重い貧血になったことがありますが、それはきまって病み上がりのときのことで、真夏の朝礼（もしくは合同体育）の時に長時間立たされていたのが原因でした。私以外にも貧血になってバタンと倒れたり、保健室に連れて行かれる生徒がいましたが、私はそういうのは格好悪いと思って、いつも最後まで我慢していました。

早く終れ、早く終れと祈りながら「○○ちゃんが見ている前で倒れるわけにはいかない」などと自分に活を入れて我慢していたわけです。そして「ああ、まだ風紀委員からのお知らせが続いているのかよ…。えっ、続いて校長先生の話だって!?」なんて思ったりして貧血状態をずーっと我慢していると、耳がツーンと鳴りだして目の前がぼーっとしてきて、まわりの光景からだんだん色味が消えていくんですね。それで最後は写真のネガみたいな光景が広がってくるんです。

大人になってからは、貧血を我慢している状況というのに出会わなくなりましたから、ネガの光景は見られなくなってしまいました。





図版-3　スキャナーを修理した時の出張作業報告書より。購入後1年未満のため、無償修理だったのが不幸中の幸いであった。

図版-2　スキャナーの取扱説明書に記載されている悪い使用例より抜粋。納豆とかナマモノについての注意事項は載っていない。



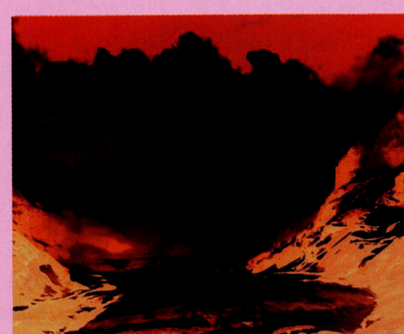
図版-4　噴火の風景。



図版-5　［図版-4］に「階調の反転」を施したもの。南極の波濤という感じだ。



図版-6　氷原の風景。



図版-7　［図版-6］に「階調の反転」を施したもの。ほとんど火砕流の世界。



図版-8　イエメン共和国の国旗。



図版-9　エストニア共和国の国旗。

この両国の国旗は、ほぼネガとポジの関係にある。ちなみに、イエメン共和国の言語はアラビア語と英語で、宗教はイスラム教。エストニア共和国の言語はエストニア語とロシア語で、宗教はプロテスタント、カトリック、ロシア正教。このあたりもなんとなくネガ・ポジの関係っぽい。



図版-10　1974年のミス・ワールド。70年代だけに、足元がパンタロンじゃないかと思えるが、美人であることは間違いない。



図版-11　[図版-10] に「階調の反転」を施したもの。最も違和感があるのは、やっぱり歯の部分である。



図版-12　[図版-10] の歯の部分だけに「階調の反転」を施したもの。御歯黒のシミュレーション写真といえる。ミス・ワールドであろうと、御歯黒をしていたら萎えてしまいそうだ。



図版-13　[図版-10]の歯を除いた部分に「階調の反転」を施したもの。全体が反転している [図版-11] よりもこの方が違和感がない。そう思ってしまう“人間の感覚”って、ちょっと不思議である。

気分さえ悪くなければ、あの光景ってとても面白いんですけど、残念です。もし私が『600万ドルの男』みたいにサイボーグになったら、視覚回路にネガ・ポジ反転機能を加えてほしいとドクター・ルディにお願いしよう、などと思い続けていました。ところがそんな欲望をちょっとだけ満たしてくれるものを見つけたのです。

貧血シミュレーターとしてのパソコン

私はMacintoshを使う少し前に、シャープのX-1 TurboZ IIIというパソコンを使っていました。これは8bit機でしたが、当時は日本を代表するAVパソコンだったのです。X-1シリーズは、モニタがテレビにもなるという、いま流行りのマルチメディア・パソコンのハシリでもありました。で、私はX-1のオプションユニットの機能を活かしてテレビ放送をネガ・ポジ反転して見ていたのです。

それがあの貧血の光景にとてもよく似ているのです。面白いのでしょっちゅうネガ・ポジ反転でテレビを見ていると、いろんな発見がありました。それは、火山の噴火と氷山の風景がネガ・ポジの関係である [図版-4、5、6、7] というようなたぐいの発見です。灼熱の地と極寒の地という地球上における対極の光景は、実は光学的にも対極に位置していたのです。

Macintoshでスキャナーを使うようになってからは、いろんな写真をスキャニングするたびにPhotoshopで「階調の反転」を施すというのが私の習慣になっています。なにはともあれ[command＋I]（Photoshopの「階調の反転」のショートカット）です。「階調の反転」という機能は、早い話がネガ・ポジ反転であって、私にとっては貧血のシミュレーション機能なのです。「階調の反転」を使うと [図版-8、9]のように世界情勢を読み解く鍵が見つかることもありますから、こういった遊びは侮れません。

口元の緩みについての考察

ネガ・ポジ反転による一番の発見は美人の変貌です。ネガの光景っていうのは基本的に不気味ですが、不気味には不気味さを醸し出すポイントというものがあります。そのポイントが人間の顔の場合は“歯”なんですね。昔の日本女性はおしとやかなのが美徳でしたから、モノクロ映画時代の女優の写真などを見ても歯はほとんど写っていません。それが最近のアイドル時代になると、宮沢りえちゃんに代表されるような健康的な白い歯美人がウケるようになって、グラビアなどは白い歯の花盛りとなっています。

ネガ・ポジ反転でテレビを見ていて、アイドル達が一番不気味に見えるのは歯を見せている時です。目や鼻や髪の毛なんかは、反転してもそれほど違和感がなく、口も閉じていればいいんですが、歯はよろしくない。“健康的な白い歯”はネガの世界では“不気味な黒い歯”になるのです。

[図版-10] は、1974年のミス・ワールド。世界が保障した美人といえますが、ネガの世界では保障の限りではないという感じです [図版-11]。試しに[図版-12] [図版-13]のようなパターンも用意しましたので、不気味さのポイントを観察してみてください。

昔の日本には、御歯黒という風習がありました。あの感覚って現代人の私には理解しにくいのですが、こうして見ていくとそのヒントがネガ・ポジ反転にあるのでは、という気がしてきます。御歯黒が登場した平安時代には、写真もコンピュータもなかったとされていますが、だとすると「当時の日本人には貧血が多かった」という仮説が容易に導きだされるのです。

昨今の白い歯美人の台頭が、日本人の西洋かぶれによるものかどうかはともかくとして、日本女性の口元の緩みは日本全体の気の緩みではないかと思ったりもするわけですが、こういうことを話すとオジサンって言われてしまうので、女性の口元にしては、湿っぽい感情を失わぬよう心がけている次第です。



図版-14　[図版-1] に「階調の反転」を施したもの。こうして見ると、ごく普通の口元写真の集合である。



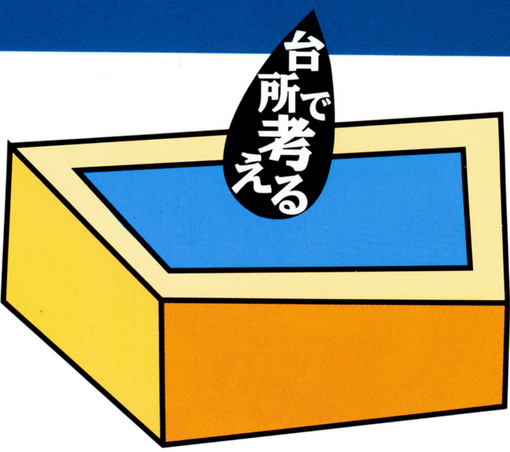
未体験の3Dシーンへようこそ。
本格的な立体映像で、
興奮のバーチャルリアリティ
3Dイメージをお楽しみ下さい。
レーザースナイパー
3Dクレイ射撃 READY GO!! レーザー銃の破壊力と大音響 照準を定めてパーフェクトを狙え！！
宇宙船に迫る大隕石群 3D立体イメージで未知との遭遇 STAR FIELD
3D SFシューティングゲーム
3D JURIAN(リリース予定)
サイパンロケ撮りおろしアダルトCD-ROM
マリンスポーツやランドクルーザーで
トップレス美人にアタック
(キューピッドカレンダー付き)
3D SCIEAN
(リリース予定)
女子大生や、コスプレダンシングギャルの
PHOTO&MOVIE
サウンドもユーロビートやシンセテク
3Dの迫力でお楽しみいただけます
リリースソフト
販売店のご案内
アレックス本店 大田区蒲田 2-17-1 03-5703-3254
アレックス夫婦坂店 大田区馬込 1-1-1 夫婦坂ビル1F 03-3776-5193
最新デザインの軽いゴーグルを使用
全国有名パソコンショップにて
12月より一斉発売
Mac用&98用
近日発売
DOS/V版
3D-MAX
¥16,800 税込価格
3D-MAX ¥16,800
ゴーグル４端子 ¥3,000
ゴーグル ¥5,000
I-MAX ¥49,800
I-MAXはビデオ・レーザーディスク・CD-ROM等の3D立体映像がお楽しみいただけます
3D-MAX・ゴーグル２端子・１ゴーグル・日本語マニュアル付き
(3.5” フロッピー１２枚セット)
for i386以上搭載機種・ISAバス対応版
3D-MAX I-MAXは韓国KASAN ELECTRONICSの登録商標です
発売元3D-VISION スコイアInc. 〒143大田区大森西 4-4-15-1F
営業マン・プログラマー募集中！ Tel 03-3298-8890 Fax 03-3298-8859



My Wish, Your Happiness.
CD-ROM for Macintosh & Windows
今年の冬は、寒くない。
11.25 ON SALE ¥9,800
税込価格
税抜価格 ¥9,515
IL-027(Win)
IL-028(Mac)
王様だーーった！
JAMBOREE vol.2
王様ゲーム・ナース編
王様ゲームは、こんなところにまで広まってしまったのか！
某大学病院に赴任したエリート医師、北山晋平は、赴任早々王様ゲームの洗礼を浴びることになる。
王様ゲーム女子校生編に続く第２弾。
今、知的になって、エッチになって再登場。
IL-029(Win)
IL-030(Mac)
東京グルメツアー vol.2
女体味くらべ銀座編
ワンランク上の街、銀座。今日も銀座に女体をむさぼる男どもがやってきた。渋谷はまだまだガキ臭いぜと言い切ったあなたに送る大人の味。
東京グルメツアー銀座編。今宵もゆるりとご堪能くださいませ。
推奨システム
Macintosh
System漢字Talk7以上
/5M以上の空RAM
/13インチモニター以上
/16bit以上のビデオカード
/倍速CD-ROMドライブ
Windows
MS-Windows3.1以上
/MS-DOS5.0以上
/倍速CD-ROMドライブ
Macintosh,QuickTime,漢字Talk7はアップルコンピュータ社の、Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。
IL-031(Win)
IL-032(Mac)
AV CREATOR vol.2
温泉旅情・栗ちゃんは行く
万年セカンドADの栗田八郎。そんな栗ちゃんも冬の撮影は、女優さんになにかと気を使い事が多い。今回は、温泉街での撮影だ。またもこんな田舎町でクリスマスを過ごさなくてはいけないのか？ でも、栗ちゃんも少しはアバンチュールな息抜きが必要ですな。監督、ヨロシク！！
IL-033(Win)
IL-034(Mac)
ジグソーワイフ
ワイフはご機嫌斜め
ボクのワイフは、とっても美人であっちの方もサービス満点。でも一つだけ困ったことがある。それは大のジグソーパズル狂なコト。ボクは彼女の大事にしてたパズルをバラバラにしてしまい、すっかり怒ってしまった彼女に『一生エッチさせてあげない』って言われてしまった。早く直して彼女とエッチしたいよ〜！！
IL-035(Win)
IL-036(Mac)
サンタクロースバージン
今夜もサンタがやりにくる
12月24日イブ、小雪のちらつき始めここの街に、今年もサンタさんがやってきた。ちょっとエッチなサンタさんは子ども達には沢山のおもちゃをプレゼント。そして若い女性にも沢山のオモチャをプレゼント！！
さあ、さあ、オモチャが欲しいのは一体どこのコかな〜〜？
通信販売のご案内 ご希望の方は、お名前、ご住所、商品番号を明記し、税込価格を現金書留にて、下記の宛先までご送付ください。
このソフトは成人向けです。
18才未満の方への販売を禁じます。
企画・制作
スコイア INC.
発売元
IMAGE LAND
© SEQUOIA INC.
IMAGE LAND
販売店ご案内
アレックス本店 大田区蒲田 2-17-1 Tel 03-5703-3254
アレックス夫婦坂店 大田区馬込 1-1-1 夫婦坂ビル 1F Tel 03-3776-5193
プログラマー、営業マン募集中。
〒143
東京都大田区大森西 4-4-15-1F
Tel 03-3298-8828 Fax 03-3298-8859



女のコのヒ・ミ・ツひとりじめ!!
CDランド by SEQUOIA
11/25 RELEACE!!
▶マッキントッシュ×ウインドウズ両対応版◀
女のコの寝室
NOZOKI魔専科
IL-006
だれにも内緒でコレしてイマス。
女の子たちのエッチを覗き見体験！
どれがお好き？
ザ・バイブマン
IL-007
好みのバイブにマッチングすれば
エッチ娘嬉し恥かしイクイク天国！
在宅テレクラ
電話の鉄人
IL-008
☎の向うに女の子軍団が君を待つ。ベットインも誘い方次第！
定価(各)
¥11,800(税込)
スカートを
MEKURI魔専科
IL-009
カワイコちゃんたちの秘密の園、
スカートの中に潜入突撃体験！
都会の誘惑
呼びMAN
IL-010
パターン攻略ごとに、生撮り映像のエッチ度アップの風俗街体験！
■推奨システム / ハイブリッド・マッキントッシュ×ウィンドウズ両対応版
(Macintosh)System漢字Talk7以上/5MB以上の空RAM
13インチモニター以上/16bit以上のビデオカード/倍速CD-ROMドライブ
(Windows)MS-Windows3.1以上/MS-DOS5.0以上/RAM8MB以上/倍速ドライブ
Macintosh、Quick Time、漢字Talkはアップルコンピュータ社の、Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。
♥ 通信販売のご案内 ♥
●ご希望の方は、お名前、ご住所商品No.を明記した紙を同封の上、税込価格を現金書留にてスコイアまでお送り下さい。
〈送料無料〉
企画・製作／
SEQUOIA Inc.[スコイア]
〒144 東京都大田区大森西４－４－15
TEL 03－3298－8890
FAX 03－3298－8859



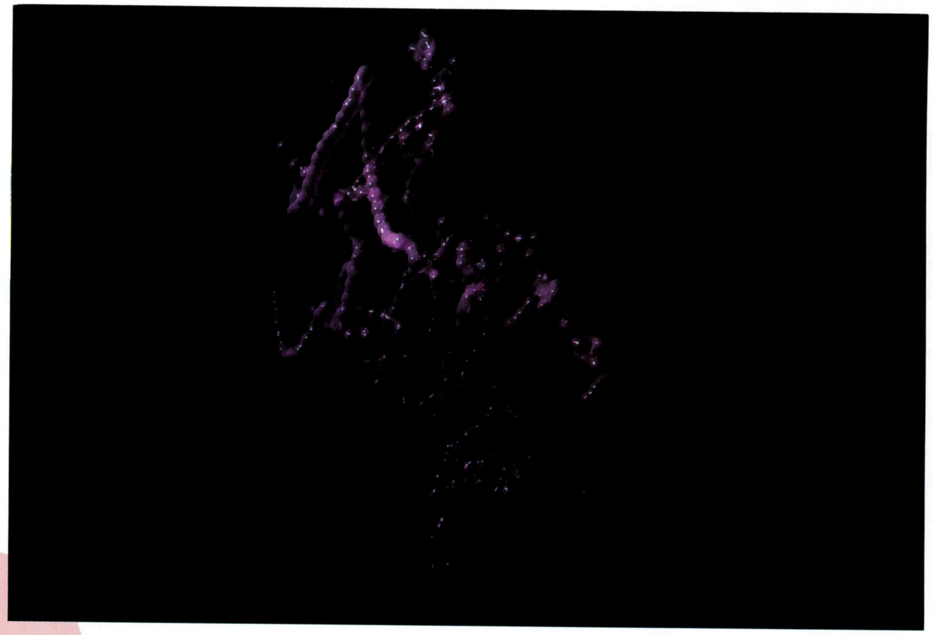
Kitchen Amiga Think

Text:Helene de Calderoni
Photo:Paul ANDREW
Model:Jody NAKAJIMA
Hair Make:KUMANO Kensuke
Stylist:Joanna KWOK

文:ヘレン・デ・カルデローニ

AMIGAを浅漬けにしても食べにくいようです。

（32歳主婦、子供ふたり）



オテホンズ008 牛の声：1.09秒 ©1994 迎山和司

美しいです。しかし、これは説明が必要かもしれません。この作品はタイトルの通り1.09秒間の牛の声を8ビットでサンプリングし、これを3次元データ化しライトウエイブでレンダリングしたというもの。京都でグラフィック、映像関係の活動している迎山氏には今後とも新しい試みを期待したいところ。次の作品にも期待したいところです。

寒くなってきましたか？

そういえば、先月のマキ・ニッカネン氏から伝言なんです。

あ、その前に今回はイタリアのヴェローナからお送りしてます。こんにちわ。わたし、ヘレンです。

では、伝言です。

「先月紹介した、日本から購入したベンチレータなのですが、正式名称がインターネットメールで届きました。その名は『アルティメイティド・ベンチレータ・ブラック』というのだそうです。値段は日本円で定価32,800円。ブラックのスリットが入った立体成型で、A4000やA2000などで使用するとAMIGAがビシッと締まります。レンダリングもパーソナル・アニメーション・レコーダもみんな元気になってます。やはりファンは必須ですね。自分で作ってもいいですけど、作れないならお薦めですよ」

なのだそうです。わたし、現物を見ていないのでよくわかりませんが、そうなんでしょうね。

日本ではコモエスタ・アミーガという店で扱っているらしいですが、あまり日本の事情に詳しくないわたしにはよくわかりません。

みなさんの方が詳しいでしょうね。

なんだか近い将来に暗雲がたれ込めたように感じられるAMIGAですが、ヤキモキさせますね。インターネットでもAMIGAの書き込みは減っていて、中には「Good Bye Amiga」なんて書いている人もいたりして。先月のニッカネンさんは、少しずつ出荷がはじまったと言っているけど、GURUを読んでいるみなさんのNTSC圏では、まだAMIGAは品不足ぎみのようですね。

『DP V』登場のようですけど？

そんな、こんなのなかで、もうAMIGAのソフトも出なくなってしまうのでしょうか？。

いや、もうご存じかと思いますが「デラックスペイント5」が出るみたいですね。

つい先日雑誌の付録Diskにデモ版がついていたので知っている方は多いかと思います。

それによれば、ArexxのMacro対応。24ビットトルゥーカラーサポート。アニメーションでマルチプルなパレットを持てる。アニメーションのフレームレート変換。テクスチャーの導入。バックグラウンドのスクローリングやズーミングが可能などといった点でアップグレードされるようですね。

なんといっても24ビットトゥルーカラー対応ですものね。それにテクスチャーというのは、なんだか3Dソフトみたい。カメラなんていうメニューも増えたりしてるし。

あるゲーム機の開発に使われている開発用マシンのソフトがほとんど24ビットモードのデラックスペイントだ、というのがあるらしいんだけど、それと似ているのかしら。わかんないけど。

あとは、そうですよねぇ、一番気にかかるのはv4.5の時の重さがどこまで解消されているのかしら、ってところかなぁ。だって、パワーユーザーの人ってデラックスペイントは3があればいい。なんて人もいたりするのよね。とにかく「重くて耐えられない」ってことみたい。「24ビットだったらブリリアンスでいいよ」ってこと。

とにかくデラックスペイント5でフィーチャーされたいろいろな機能を見ていくと、「ブリリアンスに対抗するのだ」というかんじ。わたし、まだ製品版は手に入れてないけど、この号が発売になる頃にはもう使ってみた人もいるんじゃないかしら。

そういえばブリリアンスもv2.0になって、あのドングルが消えてくれたおかげで、本当に使いやすくなったです。ただし、PICASO

IIで使えないというのが、ちょっと悲しかったりです。なにかグラフィックボードに対応してくれるといいんだけど、ダメかしらん。

デラックスペイント5とブリリアンス。AMIGAにはいいソフトがあるんだけど、とにかく、いまは早くAMIGA本体が安定供給されることを願っているの。

OS3.1などの行方

NTSC圏AMIGAが品薄であるといいつつも、なぜか突然現れましたねえ、OS3.1。

先月「グラフィックボードの確認を」、とニッカネンさんが書いていたけど、どうやらWorkbench上でPICASSO IIのグラフィックモードを使えるということなんですって。わたし、PICASSO持っていないから、OS3.1買おうかどうしようか、悩んでます。ROMふたつにソフトと解説書がついて、150ドルくらいみたいだけど。うーん。みなさんはどうしますか？

あ、そうそう、なんだかとってつけたような感じだけど、CD-ROMドライブに対応しましたっていうのも一応売りみたいですけど、どうなんでしょうか？

で、PICASSO IIは非AGAマシン系のユーザーに一番支持されているグラフィックボードになったようですが、先月も書いてあったけど、まだ他にもでるようね。

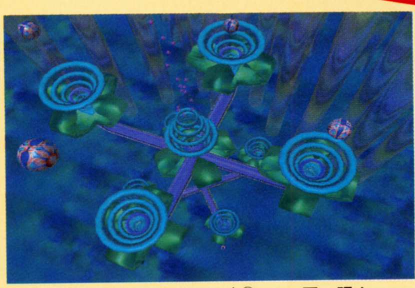
DKB社のTALONもそうですし、Utilities Unlimited社(あのEMPLANTの会社ですね)から出るというEDGEなども注目株かしら。32BITモード640×480、30フレームでQTを動かすといってるらしいですけど、本当かしら？一方のTALONの値段も一応出たようで、399ドル。4MRAMつきが499ドルとか。予想よりは高い値段になってしまったようですが、問題はコストパフォー-マンスですもんね。

それと、なんなのこれ、また突然というのが、A4000CD発売という噂。なんでもA4000にCD-ROMドライブ載せたものらしいんですが、当然のことのようにA4000+CD32っていうかんじになっているんじゃないかなあ？マシンそのものを見た人いますか？　わたし、まだみてないです。でも、もちろんA4000の匡体のまんまなんでしょうけど。

さて、ここまで書いたところでオテホンズが届きました。日本は京都の迎山さんの作品です。これはなんとも美しい。音のレンダリング。日本の人もがんばっているわね。わたしもがんばります。

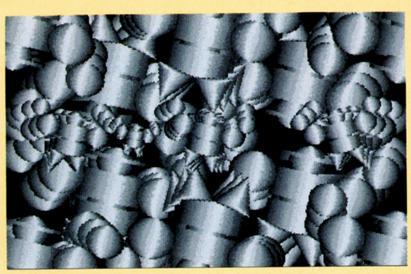
あ、そうそう、GVPとかいくつかのサードパーティーがAMIGAから離れかけてるみたい。残念だけどしょうがないかも。でも、だからこそ大事にAMIGA使いたいわ。それじゃ。

今月の投稿



T-CITY-I (TECHNO-CITY-I)Ⓒ1994 原　陽亮

もう常連となってきた原さんのシリーズものですね。ちょっとクセのあるカリガリ24を使ってよくやっているなあ、と編集部方面で話がありました。レンダリング3Dの場合カメラポジションが重要というのがわかりますね。



CLOCK BEAT Ⓒ1994 長江正生

こちらも常連となりつつある長江さん。がんばってますね。なかなか面白いアニメーションCGでした。動きがないとわかりにくいと思いますので、登録されたらダウンロードしてみてください。



107.FS.STOCK CAR USA Ⓒ1994 山川務

会社から戻られてからこつこつ作られたという山川さん。まだまだ途中とのことですが、最終的に完成した暁には再び見せていただきたいものです。丁寧な作りが魅力ですね。モデリングは集中ですから頑張ってください。



Flying head(飛ぶ五感) Ⓒ1994 田代努

この顔はリヒャルト・ゾルゲをイメージしたらこんなになったということですが、いい雰囲気です。100フレームを超えるアニメーションでやるな、というカンジ。環境が貧弱とのことですが、逆にカッコイイとも言えますね。

投稿その他お問い合わせは以下のところまで 〒107 東京都港区北青山3-10-18北青山本田ビル 翔泳社　GURU編集部「キッチン・アミーガ・シンク」または「K・A・T」係 NIFTY-Serve:LDB00443

今月のお勝手口

AMIGA用日本語FONT集発売予定

なんでも、AMIGA用の日本語フォントが二書体発売されるらしい。

特筆すべきは大語界のビデオトースター版を使えばそのままトースターCGで使用可能ということ。これでビデオのスクロールタイトルやスーパーインポーズなどがとても楽になる。とりあえず48ドットぐらいになりそうとのこと。日系メキシコ人2世とテキサスのAMIGAユーザーが中心になって作っているようで、近々日本にもやってくるでしょう。

詳しくわかったらまた紹介します。

Kitchen Think CD

What's Sound Vol.2
Sound Factory SFCD 007

久々にKitchen Think CDの登場。今回は香港のインディーズレーベルSound Factoryから発売されているサンプラーCD『What's Sound』のVol.2。

Tats Lauの「Screaming Hong Kong」からはじまり全18曲、14アーティストの作品が納められている。

このSound Factoryレーベルはインダストリアル、ノイズ、ノンジャンル系が中心で、香港はもちろん、日本からは大友良英、Ground-Zeroも作品を提供。大友はSound Factoryからアルバムも出している。

アジアポップスが多くの人の耳を楽しませている昨今の日本。アジアシーンのひとつのサンプルとしてもこのようなCDはうれしい限り。エイジャンネットワークはインディペンデント系でも確実に広がっている。

ところで、今まで紹介したアルバムをどこで手に入れられるのかというお便りがいくつか届いたのですが、あまり日本には入ってきていません。大きな輸入盤店などでちらほら目にしますが確実なのは直接連絡してしまうことでしょう。連絡先を書いておきますので、ほしい人は注文なされぱよいでしょう。



SoundFactory
G.P.O. Box13500
Hong Kong. Fax:
+852-571-0801。
英語で大丈夫です。

ヘレン・デ・カルデローニ

生粋のミラネーゼ。現在はヴェネト州の古都ヴェローナで活動中。Real 3D、PersonalPaint、OctaMEDなどを使いビデオ作品を発表し続ける。

キッド
ピクスで
描いて
みよう!

世界迷画劇場

第三回 ミロの巻



〔夜の人々〕

現代抽象画の巨匠

ジョアン・ミロ(1893-1983)

抽象画って苦手なんだよなーという人は「まずはミロの絵をよくミロ」です。くだらないダジャレを言っているつもりはないんですが、まあ、ホントよ～っく見てみてください。わけのわからない形が古代人の壁画のようにウネウネしていますが、これはミロ特有の「記号」のようなものです。具体的な絵を長い間描いているうちに余分な要素が捨てられて、逆に古代美術や子どもの絵のようにシンプルになった結果です。「シンプル・イズ・ベスト」ってよく言うでしょう。単純な色と形の絵画は、見かたによっては純粋で素朴で力強い表現ってわけです。じゃ、この絵の中にはどんな記号が隠されているのでしょうか？　だれでも最初に気がつくのは「目」のはず。ぬいぐるみのクマちゃんのようにカワイイ黒い瞳になんだかハートがくすぐられちゃったら、あなたはもうこの絵を体や心で理解したも同然です。ミロは「目はものを見るという非常に客観的なもの。私の作品では、キャンバスが観客を見つめているのです」と言いました。だとしたらキミはこの作品と見つめ合っていることになる。それは恋人同士のような関係？　ぼくらにとってはモニタとユーザーもそんな関係なんだよ、きっと。

(解説＝Dr. BeasTy)

いやいや正直言ってキッドピクスでこんなにいろいろなタッチが再生できるとは思いませんでした。アシュラ先生はいまやキッドピクスの応用に関して向かうところ敵なし状態(!)。毎回でき上がりを見るのが楽しみなこの企画、ついには背景に気を配る段階にまで発展しました。

美術指導＝伊藤アシュラ
Lecture: ITO Ashura

天才の苦悩をモニタに再現してみよう

さて今回からこの連載は2ページ枠になりました。しかし今までと同様、内容は濃いですから安心してください。縮小したのはこの本文だけですから。能書きたれるより絵を見せろ、ってことでしょうか。

今回はミロです。これも油絵です。抽象画なので、解釈はともかく線は単純です。この絵のなかにどんな難解なメッセージがこめられていたとしても表面的にマネするのなら簡単でありましょう。とりあえずは〝らしく〟なります。

問題はキャンバスです。油絵をやる人々はバックの色を何度も塗り直して時間をかけて作り上げていくのです。そこに天才の苦悩が隠されているのかも知れません。天才が時間をかけて作り上げたそのニュアンスを、私たちがクリックひとつで塗ってしまおうというほうが愚かってものでしょう。このニュアンスをキッドピクスで表現するにはそれなりに時間と頭を使わなくてはいけません。

そこでわれらがアシュラ先生が考案した〝キャンバスのカスレ具合を表現するワザ〟が活躍するわけです。今回使うのは「重ね塗り」「エアブラシ」「スタンプ」の機能です。これらをさりげなく組み合わせて人間味あふれるタッチをキッドピクスで作り上げていきましょう。

ミロをセルアニメにしないためには

「とりあえずバックにも時間をかけてテクニックを駆使してみた」「線もそれなりにマネできた」、「でもなぜか〝らしく〟ならない」という人はもう一度アシュラ先生の絵とご自分の絵を比べてみてください。何かが違うハズです。それはきっと線の強弱でしょう。

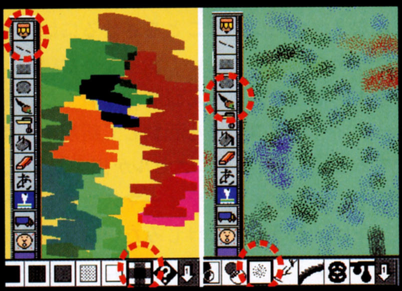
これは前回までの2枚の絵のときも注意していた点ですが、線が均一の幅だとどうしてもマウスで描いたってカンジが全体に漂ってしまうのです。セルアニメのようにチープなカンジになってしまうのはこのせいだったのです。残念ながらキッドピクスには『MAC書道』のような筆圧感知機能がついていないので、自力で筆圧を作らなくてはならないわけです。「消しゴム」を使って微にいり細にわたってスミの線の太さを修正していってください。結局はこのあたりの基本が絵のできを決定づけてしまうわけでした。

迷画テレカを作ろう

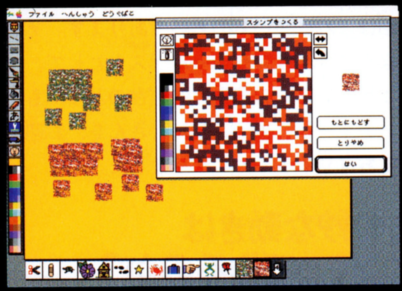
「私たち結婚しました」なんてもらった人が困っちゃうようなオリジナル・テレフォンカードはよく見かけるが、あれはどういう神経で作られているのだろうか？カノジョと電話でケンカ別れして、ピーピー脳天気な音とともに出てきた「私たち結婚しました」を財布にしまわなきゃならない人の状況を想定しないのだろうか。それにくらべれば迷画テレカは喜ばれるぞ。でも無理して人にあげなくてもいいか。自分で楽しめれば十分だ。



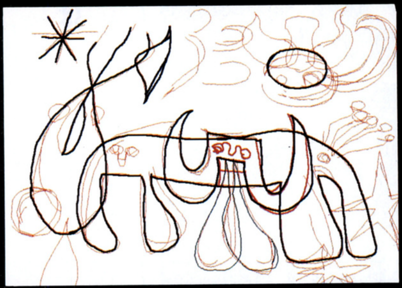
テレカの印刷を請け負う印刷屋さんはいろいろあるが1枚単位では断わられることが多い。東急ハンズ横浜店(045-320-0109)ならコピー印刷で1枚900円(50度数)でOK。ハンズ渋谷店は30枚69,000円。



(図1)今回使用する「重ね塗り」(左)と「エアブラシ」(右)。重ね塗りは「エンピツツール」の、エアブラシは「ブラシツール」のオプション。重ね塗りはセロファンを重ねたようにオーバーペイントされる機能で、組み合わせによってはできない色もある。エアブラシはゆっくり横に動かしていくと横の方向性が強調され、キャンバスっぽい雰囲気が出せる



(図2)もう一つは「カスタムスタンプ」。メニューの「どうぐばこ」から「スタンプを作る」を選ぶと図のようなウィンドウが現われる。同系色を3〜4色使って適当に塗っていけばミロ版オリジナルスタンプの出来上がり。色を選ぶときにOptionキーを押して同系色を作るのがコツ(前回参照)。オレンジ系とグリーン系の2つのスタンプを作って使用した



(図3)左ページのアシュラ先生の作品を見ながら、下絵を描いていこう。キャンバスの地色にする茶色で下絵を描いてスミで線を決めていく。ただし、境界線がすべてスミで描かれているわけではないので(特に赤の部分)、左ページをよく見て下絵を完成させるべし。抽象画なので、デッサンに関しては多少狂っていてもそれらしく見えるハズだ



(図4)それぞれのパーツに色を塗っていったところ。「重ね塗り」ならスミの上には色が重さならないので、塗り残して白くなっている部分はこのテクニックを使うとラクチンだ。ただ、あまり豪快にやると赤やグリーンの部分には色が重なってしまうので注意が必要。このあと残った下絵の線を丁寧に消していくとほぼ完成となる



(図5)キャンバスのカスレをつけていく。これがあるとないとでは「ミロらしさ」に大きな差がでる。グリーンや茶色を使って塗り重ねたり、「スタンプ」をキャンバス上に押したりしていく。いかにも「スタンプです」というふうにしないように「エアブラシ」を合わせて使うこともコツのひとつ。ちなみにキャンバスの色は一段明るい色に変更している



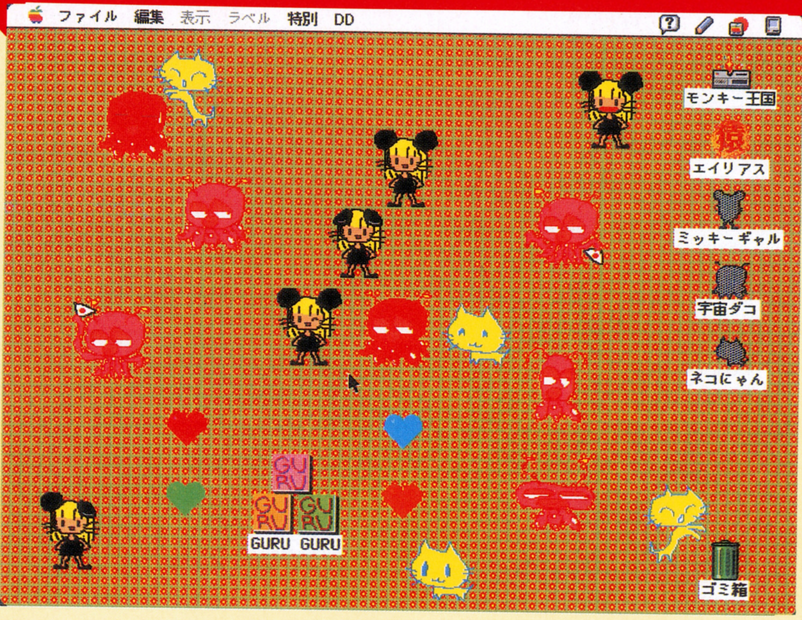
(図6)カスレ具合の拡大図。どこに「スタンプ」が使ってあるか一見しただけではわからないようにしてあるのがよくわかる。「重ね塗り」で使う色はくすんだ色が好ましいので色の明度をOptionキーで変えて使う。キャンバス以外の部分(たとえば白の部分)にも筆目を出すように「エアブラシ」を使ったり色を微妙に変えたりするのも忘れてはいけない

林檎之湯大人百圓猿無料

by モンキー王国

第三回

デスクトップでちょこまかしている
あの物体はなんだろうと思ったサルは
急遽追及を始めたのであった



お待たせ!の キューティーマスコット

とりあえずなんとか三回目を迎えたこのコーナー、今回のお題目は〝キューティーマスコット!〞。キューティーマスコットというのは、デスクトップ上に自分で作ったキューティーなマスコットを置いといて、他の作業をしながらも楽しむことができるアプリケーションソフトである。通信とかでは結構出回っていて、知ってる人は知っている面白ソフト。今回はこれについてのお話であります。そしてなんと今回はスペシャルゲストとして、マリオペインターの草分け的存在のとってもキューティーな〝福岡ぷりん〞さんを、お迎えしてお送りすることになりました。

あの妙な動きは どうやって作るのか?

さてさて、このキューティーマスコットは第一回目で説明した〝DIRECTOR〞となーんとなく似ている感じのするもので、やっぱりアニメーションの作り方っぽい作業をしていくのである(一つずつセル画を描いていき、完成させるわけだったりする。セルの数は全部で200枚、つまり極端なことを言えば200の動作ができる)。

もちろんキューティーマスコットはデスクトップ上をチョコチョコと動いて、そして音が出たり、喋ったり、おまけにマンガみたいにふきだしも出る。それからユーザーがマウスをクリックしたりキー入力したり、なにかしらチョッカイを出すとおかしな反応をするようにも作れたりして、とてもおもしろいのである(ランダムな設定にしておくと、作った本人でさえどんな反応をするかわからないので、これがまた困ったことに、愛着が湧いてしまうのである)。その他にも、いろいろなことができるけれど、とりあえずはこんなところかな? いろいろなことをさせるには、やっぱりテクニックを磨いてからじゃないとね。

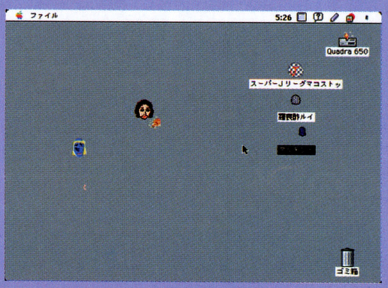
基本的な作り方も一応説明しておくと、キューティーマスコットを起動して新規オープンすると、真っ白なアニメセルが出てくる(どうでもいいけどキューティーマスコットのアイコンは、どうしてこけしみたいな女の子なんだろうか?)。このアニメセルに一つずつ絵を描いていけば良いのである。

アニメセルをクリックすると、キャンバスウインドウというのがオープンする。ここが、お絵描きをする所である。ここでの操作の仕方は、一般的なMacのペイントソフトとだいたい同じようなものだから、まあ誰にでも使えるようになっている。そして絵が完成したら、音を入れたり、喋らせたりしてみる(マイクを使って喋ったものを取り込んだり、Mac'nTalk Voices というものを使って喋らせた

●FLOPPY REVIEW 003

名前 SUPER J LEAGUE MASCOT 300YEN
開発 高井 康生(ALTOKI STUDIO)
販売 高円寺マニュアル・オブ・エラーズ
価格 300円







●福岡ぷりん（フクオカ プリン）
1968年、東京生まれ。マリオペインター。本業はスタイリスト。武蔵野美術短大グラフィックデザイン科卒業。マリオペイント歴1年とちょっと。よりすばらしい作品がかけるよう修行中。

りしてもイイかも？）。

ここまでできたら、ほとんど完成に近くなってくる。最後に、作っているマスコットの動作を確認したり、どのように動かすかの設定をすれば、でき上がりである（ここがやっぱりちょっと面倒くさいかもしれないけれど、しかしせっかくここまで来たのならば、あともう少しと自分を励ましてがんばりましょう）。と、説明は一応こんなところにしておきましょう。

ぷりんと作ったマスコット

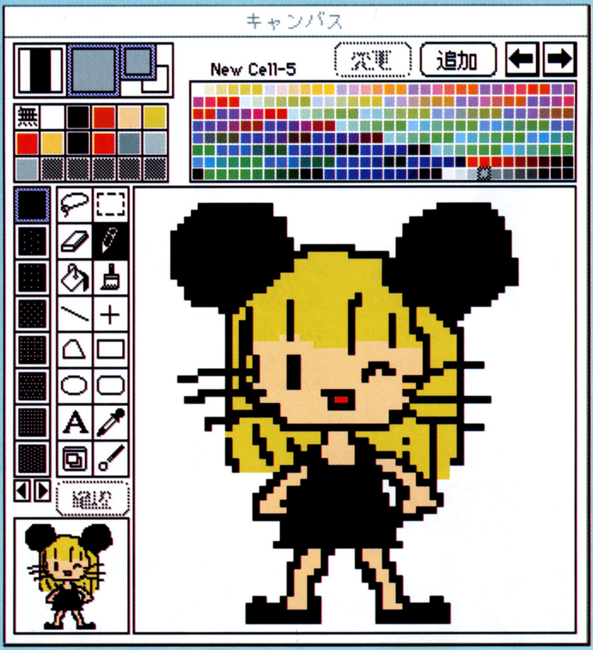
そんな感じで今回は、イラストをぷりん嬢にお願いして描いてもらい、それをつなげてマスコットを作ってみました。全部で三つのマスコットを作ったのですが、これがナカナカ可愛いものができて、さすがにマリオペインター、「機械変われどマウス変わらず」って感じですねぇー。

「◯ッキーギャルマスコット」（個人的にはこれが一番気に入ってる）、「宇宙ダコマスコット」（なんでもぷりん嬢のお得意のキャラクターらしい）、「ネコにゃんマスコット」と、三つのマスコットを共同で作ってみての感想は、役割分担がしっかりできていればスムーズに作業ができるし、やっぱり一人で作るよりも楽しいなっていうのが素直な気持ち。もっと時間があれば……まだまだ作り足りない？　なんて思っているのは、私だけなのでしょうか？

とまあこんな感じで今回もお送りしましたがいかがだったでしょうか。みんなも機会があれば、友達と一緒に制作してみるのも、いろいろ発見、発展があっておもしろいんじゃないかな？　ってな感じで来月もよろしくね。

筍 鉄也

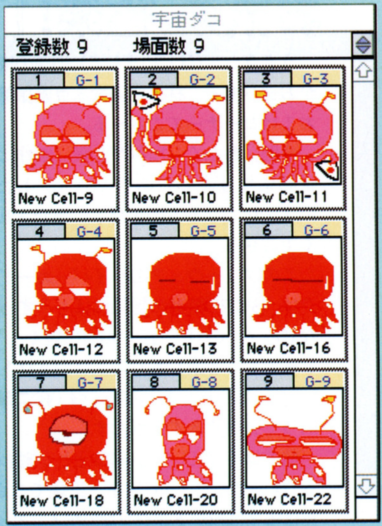
キューティーマスコットのカンタンテクニック!!



●左が絵を描くためのキャンバスウインドウ、この中で一つずつセルを描いていきましょう。使い方は一般的なMacのペイントソフトと同じようなものだから、誰にでも使えるかな？（セルのサイズは64ドット×64ドット）



●◯ッキーギャルマスコット
地団太を踏んだり、ウインクしたり、怒ったりする可愛いマスコット。これはかなり簡単に作れる（初心者向き）もので、パラパラ漫画の要領でセル画をただつなげているだけ。でも、効果音もちゃんと入っているぞ！音があるのとないのでは、結構見え方が違うからね

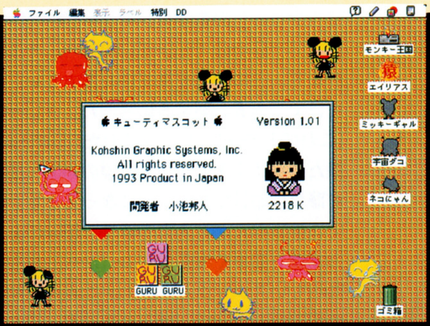


●宇宙ダコマスコット
これは、福岡ぷりんお馴染みのキャラクターをマスコットにしたもの。変な顔をした宇宙ダコが、伸びたり縮んだりしながらランダムに動き回る、ちょっと中級者レベルのテクが必要（Mac'nTalk Voicesを使って変な宇宙語を喋らせたりしている）

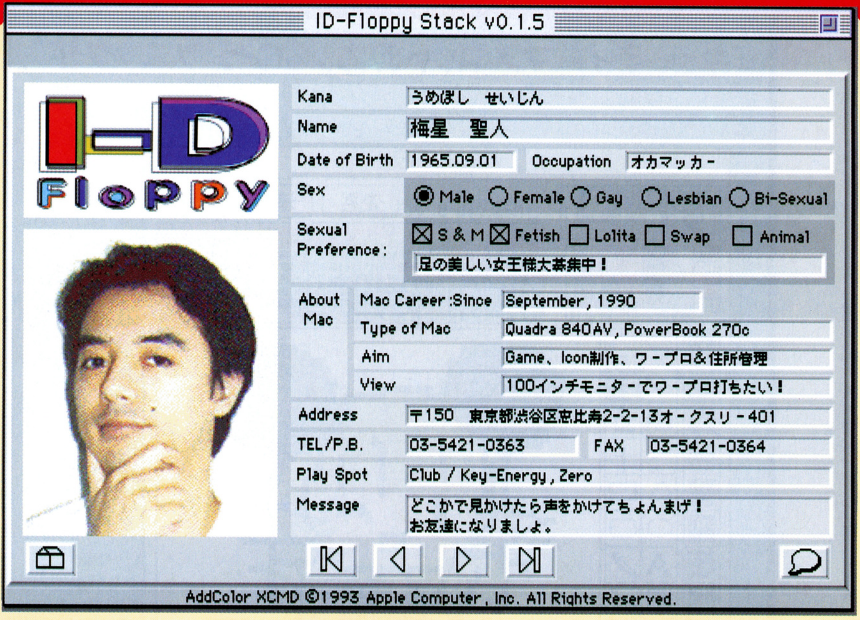
●今月の用意するもの

【材料】
1：Macintosh　1台■もういい加減当り前。これがなきゃお話になりません。持ってない人は今すぐ買いましょう！／2：キューティーマスコット■パッケージ販売の他に通信でも売っているので、わざわざ買いに行かなくても良いのが便利（しかも通信で買うとちょっと安いからお得かもね）／3：マスコット用キャラクター■自分で描くもよし、人に頼むのもよし、はたまたQTムービーを取り込むのも一興である。今回のように作業を分担して友達と作ると楽しいよ／4：おしゃべり■Mac'nTalk Voicesを使って喋らせてもおもしろい（かならず◯◯◯◯とか喋らせるヤツがいるんだよね）／5：フロッピー■これも例によって恒例行事でしょう。作ったものをフロッピーに入れてみんなに配りましょう

【スパイス】
マスコットの玉手箱（技術評論社）2450円／モンキー王国ご愛読のとってもためになるキューティーマスコットのマニュアル本。これ1冊でキューティーマスコット完璧マスター間違いなし



林檎之湯大人百圓猿無料




そもそもそれが目的なんだからいいじゃない梅星聖人 atクラブ状態。ざんす


お忙しいところ出張っていただいて恐縮ですテトラ先生ってウソ。恵比寿の駅前で偶然会いました

モンキー王国の
フロッピーでこんにちは!
お気楽、極楽!『フロッピーごっこ』

うききぃ〜(はじめまして)。梅猿の梅星聖人がお送りする『林檎之湯大人百圓猿無料』のおまけコーナーでござ〜る。

今回、わたくし梅星が企画(制作は大変お世話になりましたの秀二さん)した『I-D FLOPPY』なるものを勝手に紹介させていただくでござる。

このフリーウェアのハイパーカードスタックは、GURU読者の皆様にはもうすっかりおなじみ? の『FLOPPAL』に続く、〝フロッピーでもっと楽しもうよプロジェクト〞通称『フロッピーごっこ』の第三弾(第二弾はワケあって公表できず)ざんす。

巷ではくりえいてぃぶ集団とか言われている(誰が言った?)モンキー王国でござるが、実は梅星は絵が下手クソなのだ! エッヘン!! でもね、アイデアと制作できるお友達がいれば簡単(制作者は大変だろうけど)にフロッピー作品は作れちゃうのさ。まあ、作品とまでいかないのが梅星のフロッピー企画ではありますが、この際、クオリティは気にしないこと。作って強引に流通させることが『フロッピーごっこ』の基本コンセプト(笑)だ。

さて、肝心の『I-D FLOPPY』でござるがまず、上の画面を見ていただきたい。これだけでござる。要するに名刺だ。まいった? (これで1ページも割いてくれたGURUは太っ腹だ!) よくみる住所録管理の画面に顔写真が簡単に貼付できるようになってます。ついでに性癖なんかも入力できて、趣味のあったお友達を素早く獲得できる(かもしれない)素晴しいスタックだ。おまけにMacに関する情報項目もあって、マックユーザーのお友達が増える(かもしれない)ぞ。

う〜む、気に入ったでござる! という読者は右記の入手方法を参考にGETしよう。

ではここで配布方法の極意を伝授するでござる。自分のパーソナルデータが入力してあるので、配布・交換には細心の注意が必要だ。【初級者】はすでにお友達のマックユーザーに配ろう。お友達だからといって性癖までは知るまい。新しい発見が待っているハズだ。【中級者】は自分が遊ぶエリアで配るべし。例えば、マックユーザーが比較的多く出没するテクノ系のクラブなんて最高だ。暗いし、会話も満足にできないことが多いが、これさえあればもう大丈V。たとえ、気が合って話がはずんだ男の子or女の子の瞳孔が全開だったとしても確実に連絡がとれるハズ。クラブ外で会うのは邪道だ! というクラバーは参加しないこと。【上級者】はとにかく、性別、年齢、職業、国籍、宗教を問わずに目があった人々に片っ端からあげちゃおう。普段なら知り合えない様なジャンルのお友達ができるハズだ。

『もう少しディープな出会いを期待している』そんなあなたには、電話ボックス、公園の公衆トイレや歌舞伎町をはじめとする風俗街に置いてみることをお勧めする。ドラマチックな出会いがあなたを待っているハズだ。ここまでやったあなたは免許皆伝! どうなっても知りませんが、責任はとれないとここに断言します。ちなみに梅星は絶対にやらない。

以上がI-D FLOPPYです。フロッピーってもらうと嬉しいよね。つまんなかったら別のデータ入れられちゃうし。秋葉原に行けば50円位のフロッピーだってあったりするし、安いもんだ。自分のデータを配布・交換してみたいと思ってくれた人は、良心に恥じないよう有効に活用してね。くれぐれも悪用はダメでござる。

さあ、このスタックを手に入れてあちこちでフロッピー交換しよう。素敵なお友達ができたら梅星に教えてね。そういう人はGURUで紹介しちゃいます(上野さんいいっすよね!?)。それでは続きは次号で(ってこれは一発物ざんす)。 《おしまい》

Special Thanx
Shuji. K
Atsushi Nakagawa/happy graphics

【入手方法】

1:フォーマット済みのフロッピー1枚とあなたの住所を書いた返信用封筒(190円分の切手を貼付)を同封の上、GURU編集部『お猿のI-D FLOPPY欲しい!』の係まで送る。データを入れて返送します。
2:10月31日発売のCD-ROM MAGAZINE『INTRO』Vol.1の付属CD-ROMにデータが入っているはず。そこからどんどこコピーしましょう。お問い合わせ/03-5684-6656 会社名
3:すでにこのスタックを持っているお友達を探すか、どこかで見かけたらためらわずコピーする。



【梅星聖人プロフィール】

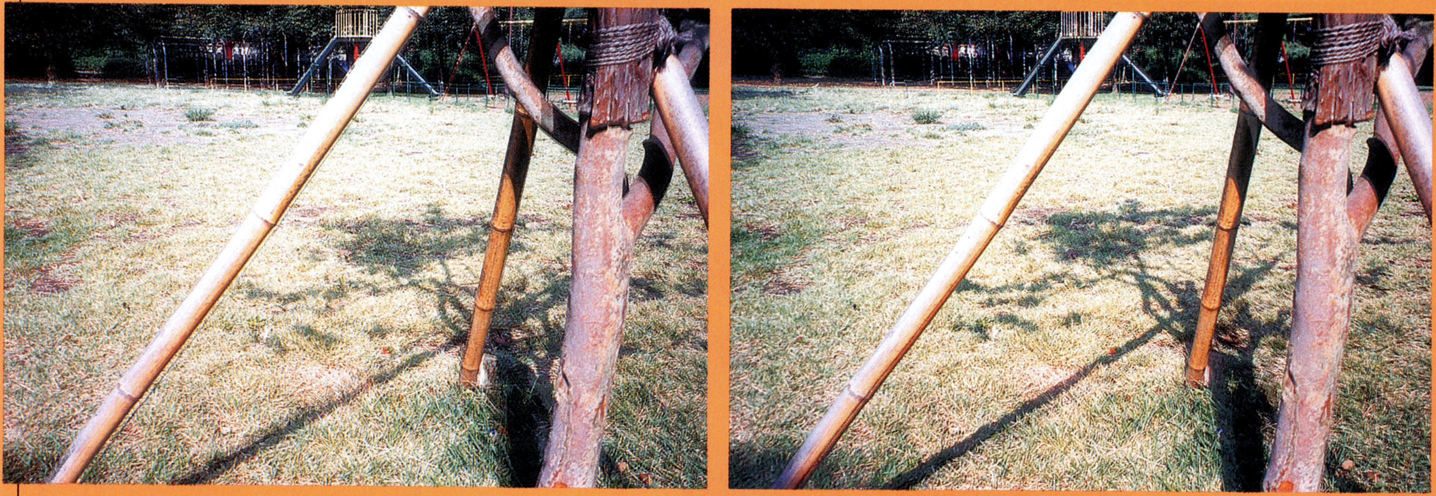
1965年生まれのオカマッカー。
大学卒業後、観光旅行にでかけたイギリスに2年ほど滞在する。そこでマツノキと出会ってしまい、'93年、筍鉄也と3人でモンキー王国設立。
『MacWorld Expo Tokyo '94』、『フロッケ展』参加以来、フロッピーの魅力に取りつかれ、『FLOPPAL』に続き今回、『I-D FLOPPY』を発表。フロッピープロジェクトとインターネットプロジェクトが同時進行中のモンキー王国。好きなソフトはアイコン7とEGWord。

縁の下のWindows

牧野武文
Takefumi Makino

第3話・失われゆく時間を緊縛する

**時間というものは、手の指からもれる砂のように、流れ去っていく
とりかえそうとしてもとりかえせない、過ぎ去った時間の堆積
だからこそ、CD-ROMに焼きつけよう。ステレオ写真と時間の甘い関係**



時間をコンバートする

前号GURUの特集で、画像ファイルのコンバートに関する記事を書いた。実を言えば、「コンバート」というものが楽しくてしかたない。ファイルのコンバート、言語のコンバート（つまり翻訳）、数量単位の換算計算、円ドルの為替レートによる換算。コンバートであればなんでも多幸感を味わってしまう癖がある。一見まったく別次元のものの間を自由に行き来できるのがこのうえなく楽しいのだ。

ファイルフォーマットや言語などをコンバートすることは誰にでもすぐに思いつくことだが、世の中にはときどき突拍子もないものを結びつけようとする人がいる。たとえば、アインシュタインは、質量とエネルギーのコンバート方法を開発した。物質の質量に光速度の2乗をかけると、エネルギーになると言い張るのである。物の重さがエネルギーに転換できるというのは、考えてみれば不思議な話である。ちょっと計算してみると、体重60kgの私のすべてをエネルギーに換算すると、水素爆弾1億2000万発分になる。これは地球を3000万回ほど破壊できるだけのエネルギーだ。私とはなんと危険な男だったのだろう。

さて、連載の中心である「己れCD-ROM」に話を戻そう。己れCD-ROMの最終目標は「己れの生きてきた時間をCD-ROMに刻み込む」ことである。しかし、CD-ROMは1と0というビットデータしか受けつけてくれない。しかも「時間」という魔物をデータ化できた前例はないのだ。時間は直接目で見ることも触れることもできない。よって、時間をいったん別のものさしにコンバートせねばならない。

時間をCD-ROMに馴染むデータにコンバートするには、ムービーを作ってしまうのがもっとも安直だ。しかし、ムービーを突き詰めていくと、あなたが生きてきた時間と同じ長さのムービーが必要になってしまう。制作不可能とは言わないが、誰が鑑賞する？　そこでクローズアップされてくるのが静止画、写真である。写真は本来流れている時間の一瞬を切り取ったものだ。写真の芸術性は、その切り取り方によって流れ行く時間をいかよう



図1　吉村信・細馬宏通編著、ペヨトル工房刊の怪書。ただし在庫している書店は限定されるかもしれないので念のため



図2　Kodak Photo CDは、現在随一のPhoto CD再生ソフトだ。CD-ROMドライブなどのおまけについていることもある

にも表現することができるところにある。もっとも、ここで写真芸術について考えるのは無意味だろう。本誌は芸術新潮ではなく、GURUなのだ。もっとテクニカルに時間をコンバートする方法を考えてみよう。

ステレオ写真と時間コンバート

いちばん分かりやすいのは、時間差のある組写真を使うことである。たとえば、エステのパンフレットに出ている使用前、使用後の組写真はこの典型だ。しかし、これでは時間をコンバートしたことにはならない。２枚の写真の間にどのような時間が流れたかはまったく不明だからだ。それどころか使用前の写真と使用後の写真が入れ替わっていることすら考えられなくはない。

時間をコンバートするには組写真ではなく、ステレオ写真を使ってみよう。ステレオ写真は本来、視差を奥行きにコンバートする技法だが、時間をおいて撮影した写真を、ステレオ視してもなかなか面白い映像が得られる。

そのひとつが冒頭の「地球の自転を立体視した写真」(35mm、F3.9、1/360s、ISO100)である。これは一見、木立を撮影した２葉の写真に過ぎない。ところがこれをステレオ視していただきたい。木立の影が生々しく立体化されてくるはずだ。また、単純に同じアングルで時間をおいた写真を立体視しても面白い効果が得られる。撮影の間に変化した物はすべて虚ろにしか目に映らない。

たとえば、あなたの部屋にカメラと三脚を設置して、１時間ほど時間をおいた写真を撮っていただきたい。ステレオ視すると、壁や家具などは目にしっかりと映るものの、デスクの上のメモや書籍など、撮影の間に動かした物はまったく虚ろにしか目に映らないのだ。

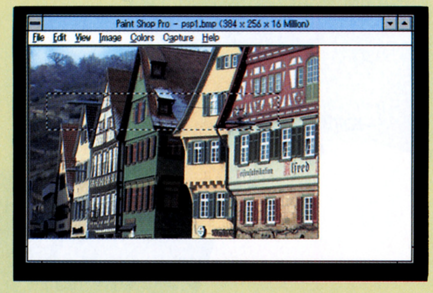


図３　シェアウェアのPaintShopProは、必要にして十分な機能を持ったレタッチソフトである（日本語の解説付き）

この時間の流れに飲み込まれてしまったものを虚ろに映し出すステレオ技法は、もっと応用されていいはずだ。このようなステレオ写真の技法は『感覚のメディア史　ステレオ』(図１)に詳しい。CD-ROMを作る前に、ぜひ一読していただきたい。

Photo CD拝観に必要な三種の神器

撮影した写真は、前回お話ししたようにPhoto CDに焼くのがコンピュータにはいちばん馴染むはずだ。Photo CDについて詳しくは、前回を読み直していただくとして、今回はPhoto CDを見る環境について説明しておこう。まず、Photo CDはCD-ROMの一種なので、CD-ROMドライブが必須になる。しかも、どの機種でもいいというわけではない。「マルチセッション対応」と銘打たれたCD-ROMドライブでなければ、Photo CDを見ることはできない。最近販売されているCD-ROMドライブはほとんどがマルチセッション対応なので安心できるが、古いドライブでは対応していないものもあるので注意が必要だ。

もうひとつ。再生ソフトが必要になる。これは現在のところ、Kodak社が発売しているKodak Photo CDが随一と言えよう(図２)。この中には、Photo CDドライバ、ビューワ、サンプル写真などが入って4000円程度で販売されている。パソコンショップや通販などで入手できるので、ぜひ手に入れておこう。

もうひとつ。これは必須ではないが、レタッチソフトを手元に置いておくと便利だ。取り込んだ写真の仕上がりに不満があれば、コントラストや明るさなどを簡単に修正することができる。テクニックさえ駆使すれば、幻想的な写真やハイパーリアルな写真に仕立て上げることも可能だ。レタッチソフトとしては、AdobePhotoshopが定番だが、価格が高くPoorMan向きではない。私としては、シェアウェアのPaintShopPro（登録料2000円）をお勧めする（図３）。PaintShopProは、NIFTYのFWINFなどで入手できる。

CD-ROMドライブ、Kodak Photo CD、PaintShopPro、この３つはもはやPhoto CDの三種の神器と言ってもいいだろう。ステレオ技法とPhoto CDを駆使して、あなたの精神世界をCD-ROMの円盤に焼き込んでいただきたい。さて次号では、写真レタッチで少し遊んでみたい。年末のボーナスが出た人はPhotoshopを、リストラの波に流されてしまった人はPaintShopProを用意しておこう。

キーワード

Kodak Photo CD

Photo CDを提案したKodak社が発売しているPhoto CD再生ソフト。おまけのサンプル写真も24枚入っていてお買い得。これがあれば、Photo CD画像を馴染みのあるBMP画像などにもコンバートできる。ただし、徐々に直接Photo CDを読み込めるアプリケーションも登場している。

マルチセッション

いったん焼いた後でもデータを書き込める追記型のCD-ROMがマルチセッションCD-ROM。このタイプのCD-ROMに対応したドライブがいわゆるマルチセッション対応だ。Photo CDは基本的にマルチセッション対応のドライブでなければ読むことはできない。

シングルセッション

いったん焼いたらそれで終わり、追記できないタイプのCD-ROM。シングルセッションしか対応していないCD-ROMドライブでは、Photo CDを楽しむのは苦しい。追加して焼き込んだ映像を読むことができないからだ。

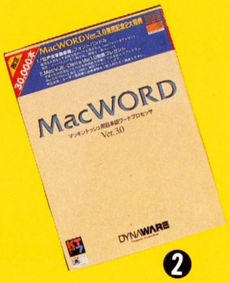
ステレオ写真

２枚の写真を同時に見ることで、立体感が感じられる写真のこと。ドットをばらまいたランダムドットステレオグラム（RDS）がブームになったのは記憶に新しい。一時期は、子供用の下敷きなどにもRDSが使われた。しかし、起源は古く、写真の発明とともにステレオ写真史が始まったと言っても過言ではない。最近では、ステレオ視を越えた新たな実験的技法が生まれている。

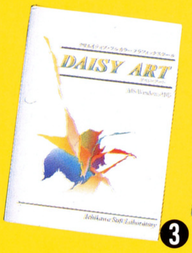
Presents

一体型プレサリオをプレゼント

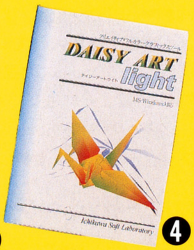
GURU8号読者プレゼント



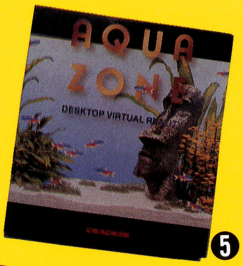
2



3



4



5



6



7



1



8



9



10



11


13



14



15



12

1 COMPAQ PRESARIO433/コンパック▶1名
2 ワープロソフト「MacWORD」/ダイナウエア▶1名
3 グラフィックソフト「デイジーアート」/市川ソフトラボラトリー▶1名
4 グラフィックソフト「デイジーアートライト」/市川ソフトラボラトリー▶1名
5 熱帯魚が飼える「AQUAZONE」forMac/リッツコンピュート▶3名
6 トム・ソーヤ(PC-9800用メディアミックスマガジン)/runup▶5名
7 「プレスト・スタジオ」オリジナルTシャツ/F2▶2名
8 デジタル・オナペット(Mac・Windows両用)/KUKI▶1名
9 風俗無法地帯(Mac・Windows両用)/KUKI▶1名
10 LEZMIX3(Mac・Windows両用)/KUKI▶1名
11 企画マニア ブルセラ(Mac・Windows両用)/KUKI▶1名
12 Pentiumキーホルダ/intel▶2名
13 ペントレイ/intel▶2名
14 ひみつの福神漬 久保鏡子ソロ作品集(Mac用)/MSA▶1名
15 PC-VAN ウエルカムキット/PC-VAN▶200名

【応募要項】
アンケートハガキ、あるいは官製ハガキに「GURUに対するご意見・ご希望」、ご希望商品のプレゼント番号(第1・第2希望)を明記し、下記あて先までご応募下さい。締め切りは94年12月1日(当日消印有効)。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

【あて先】
〒107 東京都港区北青山3-10-18 北青山本田ビル (株)翔泳社 出版事業部 PC-PAGE GURU プレゼント8号

PC-PAGE GURU READER'S CARDご記入のお願い

本誌をお買いお上げいただき誠にありがとうございます。お手数ですが、今後の誌面づくりの参考にさせていただきたいと存じますので、各欄にご記入の上、ご返送下さいますようお願いいたします。

料金受取人払

赤坂局承認

2061

差出有効期間
平成8年10月
31日まで

切手不要

107-00

東京都港区北青山3-10-18
北青山本田ビル
株式会社 翔泳社
PC-PAGE GURU
編集部行

PC-PAGE GURU Vol.8 READER'S CARD

このカードの有効期限は1995年2月8日までです.

（ふりがな）
お名前　　性別 □1.男　□2.女　　年齢　　歳

ご希望の資料請求送付先に○印をつけてください
1）ご自宅　2）会社

ご住所
〒　　電話　-　-

会社（学校）名　　所属部署（学部）名

職種
□1.ソフトウェア技術者　□2.ハードウェア技術者　□3.事務系会社員　□4.営業・販売系会社員
□5.その他技術系会社員　□6.経営管理職　□7.出版・デザイン　□8.自営業　□9.学生　□10.その他

ご希望プレゼント番号
[第1希望　　][第2希望　　]

Q1.　パソコンをどのように使用していますか(いくつでも)
(1)個人で使用　(2)会社で使用　(3)使っていない

Q2.　パソコン使用歴をお選びください
(1)未使用　(2)　～半年　(3)　～1年　(4)　～3年　(5)　～5年　(6)　～10年　(7)10年以上

Q3.　現在使用しているハードウェアをお選びください(いくつでも)
(1)98[MS-DOS上]　(2)98[Windows上]　(3)Macintosh　(4)DOS/V[PC/AT]
(5)TOWNS　(6)Amiga　(7)その他
具体的機種名をお書き下さい [　　]

Q4.　パソコンの使用用途をお書きください(いくつでも)
[　　]

Q5.　現在使用しているソフトウェアの製品名をお書きください
[　　]

Q6.　現在所有しているCD-ROMのタイトルをお知らせください
[　　]

Q7.　アクセスしているパソコン通信をお選びください(いくつでも)
(1)PC-VAN　(2)NIFTY-Serve　(3)日経MIX　(4)Asahiネット(5)アスキーネット
(6)People　(7)その他

Q8.　今までにGURUを購入したことはありますか.購入したことがあるVol.ナンバーを選び下さい.
(1)今回が初めて　(2)Vol.(1･2･3･4･5･6･7)を買ったことがある

GURU独占買い得直前レポート用引換券

この券を持ってP156～P158に掲載されている
パソコンショップに行こう！！
券と引き替えにすてきなプレゼントがもらえます.

Q9.　今月号で面白かったものとつまらなかったものを3つずつあげてください
a)面白かったもの　（　　　）（　　　）（　　　）
b)つまらなかったもの（　　　）（　　　）（　　　）

(1)表紙　(2)ぐるぐるインターナショナル　(3)テレビパソコンの時代がやってきた
(4)新製品ぐるぐるレビュー　(5)CD-ROMぐるぐるレビュー　(6)Products Release Info
▼大特集　とびっきりのパソコンが欲しい！
(7)パソコン選び7つのヒケツ　(8)パソコン買い物Q&A　(9)とびっきりのパソコンを探せ！　(10)激論！どうするパソコン選び　(11)バンコク秘買い物ガイド！　(12)秋葉原のホント！の顔、知ってます？
(13)大阪・日本橋はこうなってまっせ！　(14)パソコン選びの超人たち！　(15)ノートは386で充分だ！
(16)周辺機器選びのキーワード　(17)GURUがこの秋Pentiumをススメる深〜い理由！
(18)Macのアップグレードの現在！　(19)パソコンを買うときの、もっとも危険な部分！
▼連載
(20)GURU美容形成外科　(21)超パワーユーザーへの道　(22)キッチン・アミーガ・シンク　(23)世界迷画劇場　(24)林檎之湯大人百圓猿無料　(25)縁の下のWindows　(26)とり・みきの大星雲ショー
(27)宮沢科学研究所DELUXE　(28)Everything is All Right　(29)GAMIN'ON　(30)愛の園
(31)脳に効くソフト　(32)電脳探偵局　(33)手相改造入門　(34)パソコン本メッタ斬り　(35)ぐるぐるショッピング　(36)ぐるぐるコミュニケーション　(37)雑誌対抗サッカーゲーム合戦　(38)GURU独占買い得直前レポート

Q10.　併読しているパソコン雑誌をお選びください（いくつでも）
(1) 月刊アスキー　(2) EYE-COM　(3) ASAHIパソコン　(4) 日経パソコン　(5) Oh! PC
(6) PC-fan　(7) ぱそ　(8) 日経クリック　(9) ハローPC!　(10) MAC LIFE　(11) Mac Power
(12) Mac fan　(13) その他マック専門誌　(14) CD-ROM Fan　(15) CD-ROM Magazine
(16) Media Direct CD-ROM Magazine　(17) その他CD-ROM専門誌　(18) DOS/V Magazine
(19) その他DOS/V専門誌　(20) THE WINDOWS　(21) Windows Magazine　(22) その他

Q11.　併読している一般誌をお書きください
[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

Q12.　あなたがパソコンでやりたいことのアイデア、今後取り上げてほしい特集、今あなたがいちばん気になる社会現象、GURUに対するご希望など、何でもけっこうですのでご意見をお聞かせください。
[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

■掲載される広告の製品、サービスに関する資料請求を希望される場合は□に×印を付けてください

資料請求番号		会社名
A-01 □	156	アサヒシステム ショールーム
A-02 □	114	NECホーム エレクトロニクス
A-03 □	026	エフティ技研
A-04 □	006	コダック
A-05 □	016	サンクエスト
A-06 □	119	スコイア
A-07 □	159	ディスクユニオン
A-08 □	157	DOS/Vアイランド
A-09 □	C04	日本オリベッティ
A-10 □	C02	日本ディジタル イクイップメント
A-11 □	158	フリップフラップ
A-12 □	C03	富士写真フイルム
A-13 □	162	マイクロソフトウエア アソシエイツ

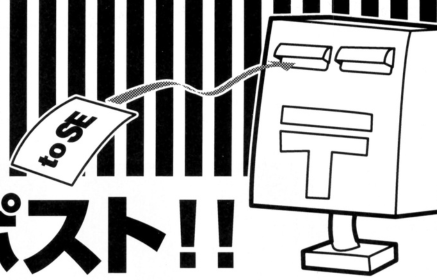
資料請求番号		会社名
▼Products Release Info		
A-14 □	R02	アサヒシステム
A-15 □	R08	アンテナハウス
A-16 □	R09	ヴァル研究所
A-17 □	R16	NSS
A-18 □	R10	エクセルソフト
A-19 □	R12	KUKI
A-20 □	R13	CCIC　JAPAN
A-21 □	R03	セイコー電子工業
A-22 □	R07	テイチク
A-23 □	R14	テイチク
A-24 □	R01	日本エイサー
A-25 □	R06	日本マイコン販売
A-26 □	R05	まつもと
A-27 □	R11	メッツ
A-28 □	R15	矢野船装
A-29 □	R04	ロジテックパシフィック

156
アサヒシステム ショールーム
GURU Vol.8
引換券

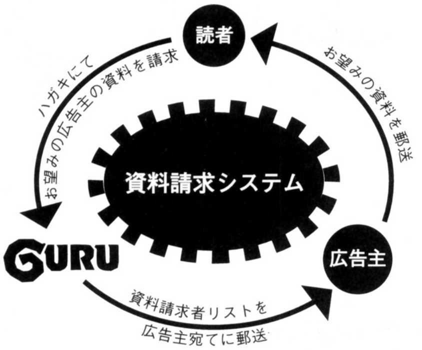
157
DOS/Vアイランド
GURU Vol.8
引換券

158
フリップフラップ
GURU Vol.8
引換券

広告資料請求システムをご利用下さい。
広告に紹介されている商品について、より詳しい情報を入手するためには本誌の資料請求システムをご利用ください。



興味を持ったら今すぐポスト!!



広告資料請求システムをご利用下さい.

広告に紹介されている商品について，より詳しい情報を入手するためには本誌の資料請求システムをご利用ください．本誌綴じ込みのPC-PAGE GURU READER'S CARDに必要事項をご記入のうえ，ご請求ください．広告主からパンフレットなどの情報が提供されます．

●掲載される広告の製品サービスに関する資料請求を希望される広告主の□に×印をつけて下さい.
●氏名のフリガナ，電話番号，ご住所の番地まで正確にご記入ください.

PC-PAGE GURU READER'S CARD 記入例

表

料金受取人払
赤坂局承認
2061
差出有効期間
平成8年10月
31日まで
切手不要

107-00

東京都港区北青山3-10-18
北青山本田ビル
株式会社 翔泳社
PC-PAGE GURU
編集部行

PC-PAGE GURU Vol.8 READER'S CARD

このカードの有効期限は1995年2月8日までです.

(ふりがな) ショウ エイ タロウ
お名前 翔泳太郎　性別 ✓1.男 □2.女　年齢 28 歳

ご希望の資料請求送付先に○印をつけてください
1) ご自宅 (2) 会社

ご住所 〒107 港区北青山3-10-18　電話 03-5467-3459

会社（学校）名 ㈱翔泳社　所属部署（学部）名 出版部

職種
□1.ソフトウェア技術者 □2.ハードウェア技術者 ✓3.事務系会社員 □4.営業・販売系会社員
□5.その他技術系会社員 □6.経営管理職 □7.出版・デザイン □8.自営業 □9.学生 □10.その他

ご希望プレゼント番号
[第1希望 2][第2希望 7]

Q1. パソコンをどのように使用していますか(いくつでも)
(1)個人で使用 (2)会社で使用 (3)使っていない

Q2. パソコン使用歴をお選びください
(1)未使用 (2) ～半年 (3) ～1年 (4) ～3年 (5) ～5年 (6) ～10年 (7)10年以上

Q3. 現在使用しているハードウェアをお選びください(いくつでも)
(1)98[MS-DOS上] (2)98[Windows上] (3)Macintosh (4)DOS/V[PC/AT]
(5)TOWNS (6)Amiga (7)その他
具体的機種名をお書き下さい [LC520]

Q4. パソコンの使用用途をお書きください(いくつでも)
[ワープロ・ゲーム]

Q5. 現在使用しているソフトウェアの製品名をお書きください
[クラリスワークス]

Q6. 現在所有しているCD-ROMのタイトルをお知らせください
[ガジェット]

Q7. アクセスしているパソコン通信をお選びください(いくつでも)
(1)PC-VAN (2)NIFTY-Serve (3)日経MIX (4)Asahiネット(5)アスキーネット
(6)People (7)その他

Q8. 今までにGURUを購入したことはありますか.購入したことがあるVol.ナンバーを選び下さい.
(1)今回が初めて (2)Vol.(1･2･3･4･5･6･7)を買ったことがある

裏

Q9. 今月号で面白かったものとつまらなかったものを3つずつあげてください
a)面白かったもの (2) (5) (9)
b)つまらなかったもの (6) (26) (33)

(1)表紙 (2)ぐるぐるインターナショナル (3)テレビパソコンの時代がやってきた
(4)新製品ぐるぐるレビュー (5)CD-ROMぐるぐるレビュー (6)Products Release Info
▼大特集 とびっきりのパソコンが欲しい！
(7)パソコン選び7つのヒケツ (8)パソコン買い物Q&A (9)とびっきりのパソコンを探せ！ (10)激論！どうするパソコン選び (11)バンコク秘買い物ガイド！ (12)秋葉原のホント！の顔、知ってます？
(13)大阪・日本橋はこうなってまっせ！ (14)パソコン選びの超人たち！ (15)ノートは386で充分だ！
(16)周辺機器選びのキーワード (17)GURUがこの秋Pentiumをススメる深～い理由！
(18)Macのアップグレードの現在！ (19)パソコンを買うときの、もっとも危険な部分！
▼連載
(20)GURU美容形成外科 (21)超パワーユーザーへの道 (22)キッチン・アミーガ・シンク (23)世界迷画劇場 (24)林檎之湯大人百圓猿無料 (25)縁の下のWindows (26)とり・みきの大星雲ショー
(27)宮沢科学研究所DELUXE (28)Everything is All Right (29)GAMIN'ON (30)愛の園
(31)脳に効くソフト (32)電脳探偵局 (33)手相改造入門 (34)パソコン本メッタ斬り (35)ぐるぐるショッピング (36)ぐるぐるコミュニケーション (37)雑誌対抗サッカーゲーム合戦 (38)GURU独占買い得直前レポート

Q10. 併読しているパソコン雑誌をお選びください（いくつでも）
(1) 月刊アスキー (2) EYE-COM (3) ASAHIパソコン (4) 日経パソコン (5) Oh! PC
(6) PC-fan (7) ぱそ (8) 日経クリック (9) ハローPC! (10) MAC LIFE (11) Mac Power
(12) Mac fan (13) その他マック専門誌 (14) CD-ROM Fan (15) CD-ROM Magazine
(16) Media Direct CD-ROM Magazine (17) その他CD-ROM専門誌 (18) DOS/V Magazine
(19) その他DOS/V専門誌 (20) THE WINDOWS (21) Windows Magazine (22) その他

Q11. 併読している一般誌をお書きください
[SPA、DIME]

Q12. あなたがパソコンでやりたいことのアイデア、今後取り上げてほしい特集、今あなたがいちばん気になる社会現象、GURUに対するご希望など、何でもけっこうですのでご意見をお聞かせください。
[次も期待しています!!]

■掲載される広告の製品、サービスに関する資料請求を希望される場合は□に×印を付けてください

資料請求番号	会社名	資料請求番号	会社名
		▼Products Release Info	
A-01 □ 156	アサヒシステム ショールーム	A-14 × R02	アサヒシステム
A-02 × 114	NECホーム エレクトロニクス	A-15 × R08	アンテナハウス
A-03 □ 026	エフティ技研	A-16 □ R09	ヴァル研究所
A-04 □ 006	コダック	A-17 □ R16	NSS
A-05 × 016	サンクエスト	A-18 □ R10	エクセルソフト
A-06 □ 119	スコイア	A-19 × R12	KUKI
A-07 × 159	ディスクユニオン	A-20 □ R13	CCIC JAPAN
A-08 □ 157	DOS/Vアイランド	A-21 × R03	セイコー電子工業
A-09 □ C04	日本オリベッティ	A-22 □ R07	テイチク
A-10 × C02	日本ディジタル イクイップメント	A-23 □ R14	テイチク
A-11 □ 158	フリップフラップ	A-24 × R01	日本エイサー
A-12 □ C03	富士写真フイルム	A-25 × R06	日本マイコン販売
A-13 × 162	マイクロソフトウエア アソシエイツ	A-26 □ R05	まつもと
		A-27 □ R11	メッツ
		A-28 □ R15	矢野船装
		A-29 × R04	ロジテックパシフィック

お問い合わせ先

株式会社翔泳社　出版局広告課
〒107　東京都港区北青山3-10-18　北青山本田ビル　TEL:03-5467-3459

GAMIN'ON

VOL. 3

文＝佐藤 大
Text:SATO Dai

はたしてゲームはファッションとなりえるか？

ソニックがイギリスの雑誌『ID』で表紙になり、ゲームは90年代のストリートカルチャーなのだと宣言してから２年。その後、イギリスではソニック小説が出版（しかもアダルト向けペーパーバック）され、アメリカでもマリオの失敗にもこりずに、ストIIの実写版映画が上映されている。そんな他メディアからゲームへの文化的フィードバックが本国を無視して進むなか、渋谷で今までとちょっと違ったゲームのファッション化が始まったようだ

他メディア（ファッション）からのフィードバックがカギ！

さぁ３回目である。今まで「ゲームに評論が成立するか？」「奥様たちにとってマルチメディアとは？」と、ゲームの世界へチューン・オンする前（した後）にちょっと考えておきたいことを追ってきたこの連載。今回はゲーム自体のハードとソフトの面からは少し外れて考えてみたい。「はたしてゲームはファッションとなりえるか？」。この一見どうでもいい話に見えるゲームとファッションの関係だが、ゲームを文化（またはメディア）として考えると案外ここがポイントになってくるのではないか、と僕は常々考えている。それは、メディアがある程度のレベルまで成熟した後、さらに文化として成立していく過程には、ファッションが媒体（メディア）として機能していると思えるからだ。

この連載の１回目でゲームを音楽に置き換えて、評論の成り立ちを考えたワケだが、ここでもう一度同じ置き換えをしてみるとそれがよく見えてくる。ロックとファッションの関係は特に密接だ。パンクやグランジなどはミュージシャンのスタイルから発生し、そのままモードに変化して、最終的には音楽自体が文化として評価されるまでに昇華している。この様な他メディアからのフィードバックが、文化として成熟しつつあるゲームにも必要な時が近づいているのではないだろうか。

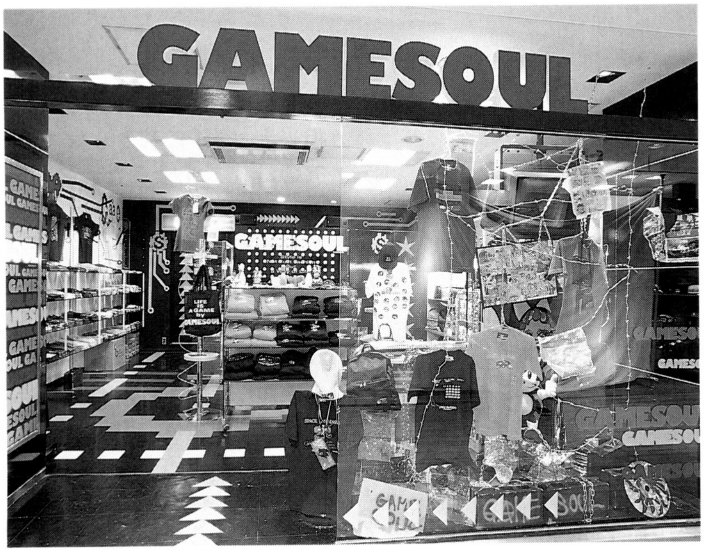
そして、最近の次世代ゲームが、俗に言う“現在の若者文化を象徴している”（なんかイヤだけど）ならば、すでにどこかでファッションからのフィードバックが始まっているハズなのだ。

脱・デジタルのゲーム魂（ソウル）はどこに宿るのか？

ファッションからのフィードバックを考える前に触れておきたいのが、ゲームとファッションの関係として誤解されやすいキャラクター・ビジネスである。たとえば今までも、ファンシーグッズとしてソニックがサンリオから一時期発売になっていたり、マリオがUFOキャッチャーに入ってたり、ドラクエのスライムが巨大クッションになっていたりするが、それはあくまでキャラクター・ビジネスに過ぎない。もちろんゲームがファッションと関係を持つ上で、ポイントになるのはやはりそのキャラクターだが、これはここでいう「ファッションになりえるか？」という疑問とは直接関係ない。ただキャラクターがＴシャツにプリントされただけで、ファッションになったなんて言う気はまったくない。

さて、他メディア（ファッション）からゲームへのフィードバックを語る上で、最適なショップがある。あの渋谷パルコ・パート３の中にこの夏オープンした《ゲームソウル》がそれだ。このショップ、最大の特徴はゲームソフトを一切販売しないところである。では、どこに《ゲーム魂》（笑）が宿っているのか。それは、シャツ、文具、時計などモノ自体のジャンルではなく、すべてのデザインにゲームテイスト（ここがポイント）が施されている商品にあるといっていいだろう。なかには、去年一部のストリート・ファッション系で話題になった輸入物のソニックの商品もある。しかしなんといっても《ゲームソウル》の売りは、オリジナル・デザインによる《ソニック（セガ）》《ヴァーチャ・ファイター（セガ）》《ストII（カプコム）》《パックマン（ナムコ）》《インベーダー（タイトー）》などのシャツにつきる。

こうして並べてみると驚くべきことが解る。このオリジナル商品のキャラクター群は所属するソフト会社がすべて違うのだ！今までこの手の企画で一番のネックとされてきたのはキャラクターに対するソフト会社の強いコントロールなのだが、ここの商品はそのコントロールをまったく排除したようなデザインが施されて商品展開されていてここらへんにもソウルが感じられる。



【GAMESOUL渋谷店】

渋谷パルコ・パート３の２Ｆにあるこのショップのデザインは、あのヒスグラやオゾン関係のショップデザインを担当している《トンキン・スィート・パラダイス》。オリジナルの商品のデザインにも音楽系の若手グラフィックデザイナーが多数参加して、ゲームソフト以外でゲーム魂の宿る商品を多数揃えている。ほかに大阪店もあり。





【ソニークリエイティブ】

ソニー・クリエイティブ・プロダクツ
企画制作　竹村日出昭さん／横関悦子さん
《ゲームソウル》の仕掛け人はなんとソニーグループ。「これからもちろんプレイステーションのキャラクターたちにも注目する」とのことだが、キャラクターの雰囲気がショップの雰囲気に合わなければ商品化はしないと強気。

ソニー（PS-X）VSセガ（サターン）の裏にあった意外な関係

店頭にはソニックとヴァーチャがクローズアップされているためか、一瞬セガの直営店に見えるが、この仕掛け人たちに取材してみると、そこはなんとあの“プレイステーションまっしぐら”のソニー・グループ内の《ソニー・クリエイティヴ》にあった。

「もともと私を含めた数名のグループが、プレイステーション用ゲームソフトを企画するセクションになったんです。そうした中で、海外でのマリオやソニックのキャラクターの売れ方や評価をリサーチしていたワケなんですけど。日本とはまったく違う形のモノが見えてきて、しかもその売れ方や評価は日本でポッカリと抜けている部分だと解ったんです。当時から一部先端的なストリートファッションを取り扱うショップでは注目されていたそれらの商品のようなパターンで、日本でもゲームのキャラクターをカッコいいモノにしたい（笑）と単純に思ったんです。で、そうしたことが結果として、うちのプレイステーションにあうキャラクターのリサーチにもなるという発想が最初にあったんですね」（ソニー・クリエイティヴ／横関悦子さん）

ソニーのなかでもソニー・クリエイティヴという会社は、《ピングー》や《うちのタマ》、《Ｊリーグのマスコット》といったキャラクターたちや《ダリ》や《ロドニー》といった新旧アーティストの作品を、マーチャンダイジングするセクションである。キャラクター・ビジネスのプロフェショナルである彼らだからこそ、ゲーム会社の壁を超えることが可能だったのだろう。彼らが、仕事の過程でゲームのキャラクターに注目したのは、自然の流れだ。しかし、これまでのように１つのキャラクターを集中的に商品化するのでなく、何故ストリート・カルチャーに近い形で雑多なキャラクターたちをメジャー展開するという流れなのか。

「キャラクターがデジタル世界から外に出てきているということが魅力的だったんです。だから通常の、キャラクターをそのままグッズにするやり方ではなく、デジタル世界の雰囲気をもそのままファッション化したかったんです」（同／プロデューサー・竹村日出昭氏）

そう、例えばマリオやソニックがアニメや映画から生まれてゲームになったとしたら、これほどの影響力はなかったハズだ。竹内氏が続ける。「ゲームのキャラクターたちは、その雰囲気を大切にするのがポイントだということを考慮に入れて、例えば《東京ゲーマーズ・ナイト・グルーヴ》であったり、吉祥寺の《ショップ33》といったインディーズ・カルチャーを参考にしつつ、私たちなりにメジャー展開してみようと思ったんです。ただまだ実験の段階です。この空間でどんなモノが受けるか、どんな人がゲームをファッションとして捉らえているのか。この《ゲームソウル》という空間自体が次世代ゲームのための実験の場なんです」

そして、ゲームはファッションとなるのか？

キャラクターだけにとらわれずデジタルな雰囲気自体をファッション化したいと彼らはいう。取材してみて、ソニーやパルコといった大きな会社がゲームを文化（ファッション）になりえると認め始めていた事実には驚く。

ただ、ゲーム好きの一部の若者たちが２年ぐらい前に騒ぎ始めた“ゲームをカッコよく（大人に）したい”という行為自体が、新しい局面を迎えていることだけは確かだろう。当時の若者たちは、企業がここに参入してきたことを「それもただの消費だ」と感じているかもしれない。そしてこうした動きが、ゲームをファッションに変化させることへのフィードバックとなるかどうかも、まだ解らない。

しかし、ゲームが本当の意味で次世代になるために、こうした動きが不可欠だということだけは確かである。

愛の園

今月のアダルトソフト

文・愛の伝導者＊こじままさき

PARADISE LOST

エロCD-ROMには もうウンザリ。閉園だ

きっとあなたもそう思っているだろうが、パソコン用エロソフト界はとても寒い状況下にある。

なにがってソフトの質がだ。とくにCD-ROM。単に容量のデカい手軽な記憶装置が「マルチメディア」なんていうあやふやな宣伝文句に乗っただけで、なにかスゲエことのようにもてはやされているのはご承知の通り。そこで気合の入った良質のエロが生み出されていれば問題ないんだけど、現状は悲惨で、単にAVを移植しただけの人をナメたもの、それなりに手間と金をかけているんだけど完全に勘違いをしてるもの、のオンパレード。

…な～んて書くと、メーカーさんが怒って今後ソフトを提供してくれなくなったらどうすんだよ、まだ連載3回目なのに！という担当編集者の声が聞こえてきそうだが、いいのである。なぜなら、『愛の園』は今回で閉園なのである。当初「どうせ低レベルの安直なソフトが多いのなら、そんなトホホなソフトを笑ってやろう」というコンセプトで開園した『愛の園』だが、その目論見はあえなく頓挫した。要は「トホホ」どころか、単に手抜きの問題外ソフトばかりで、笑えるレベルにさえ達していないものがあまりにも多すぎた。ということで、もう少しマーケットが成熟するまでとりあえず閉園だ。

ってことで、今回はいろいろ書いちゃう。まず、なんでこんなに「単なるAVの移植」の手抜きが多いのか。バブルが弾けて低迷状態の金欠AV業界に対しては銀行も融資をしたがらないのだが、ここにきて「マルチメディア」ブームである。テクノロジーに疎い銀行のバカ担当者は、「これからはマルチメディアの時代ですよ」なんていうAVメーカーの言葉に騙され、CD-ROMを作るならって名目でホイホイ（…でもないか）金を貸しちゃう。そう、単に経営資金を集めるために無理やりCD-ROMをでっち上げる、なんていうナメたパターンも実際あるのですよ。

それともう一点は、やはり「まず期待を裏切られるだろうと予想はついても、新しいメディアでしかも『エロ』とくればアツくならずにいられない」という、たとえふだんは冷静でも「エロ」に関しては珍宝の命ずるまま暴走してしまう悲しい男の性につけ込んだ、悪徳ボッタクリ商売が大半を占めていること。制作費は限りなく低く、単価の高いおいしい商売ってことでしょうか。

200分の直球勝負だが… 『AMERICAN OVERDRIVE』

それでは、今月もソフトを見ていこう。まずは『AMERICAN OVERDRIVE』。なんと、200分以上のムービーと、200点以上のフォトを収録した、4枚組（！）の大作。さすがガイジン、珍宝もデカけりゃスケールもデカい（←無関係）。しかも4枚組で12,800円という破格の値段。…であるが、破格といってもあくまでもCD-ROM業界相対価格。中身は、変なCG「もどき」やインタラクティブ「ごっこ」のない、ヤッてヤッてヤリまくりの直球勝負で好感は持てるが、いかんせん洋モノからの流用ムービー集だし、書店売りオリジナルAVが2000円台で買えることを考えると、画面は小さく画像も荒いCD-ROMで、この値段を安いと言い切るのは苦しい。まあ現状を考えると、評価には値するけどな。言うまでもなくこのソフトを取り上げたのは、おな

じみ外人マニアの担当編集者・安藤の熱く燃える強力なプッシュによるが、安藤よ、もう少し冷静になってはどうか。珍宝の暴走に惑わされるようでは、まだまだだ（←何がだ？）。

映像とドラマ作りはいい『女囚幻想』

ガイジンばかりじゃなく、たまにはこじまの好きなSMモノも入れてくれよな、安藤。ってことで、つぎは『女囚幻想』。制作は、きっちりと作り込んだ映像と丁寧なドラマ作りに定評のある、老舗SM専門レーベル、シネマジック。期待大。が、しかし、ことCD-ROMとなると、やはりこうなってしまう悲しさよ。AVから移植されたムービーは、当然グレード高いし、ムード作り、バックの音楽ともに高得点なのだが、やはり「お手軽に作っちゃいました感」は否めない。拷問ゲーム（？）もいまひとつだし、拷問史の解説も「とりあえず入れてみました」ってのが残念。これは、企画はいいんだから、もっと気合入れて作ってくださいよ！　とりあえず俺はけっこうドキドキして、マニア心をくすぐられました。やり終わるまではね。第2弾に期待しよう。

データベースとしての意義『裏GIRL』

つぎのソフトは、ちょっと変わり種。80年代の裏風俗の徒花である「裏本」を集めたスチール集『裏GIRL』。往年の裏本から取り込んだ1300カットの画像…と聞いてあせっちゃいけない。元が裏と言ってもこれは合法、オモテ物。きちんとボカシがかかっている。それじゃ意味ないじゃないか！単に裏本の流用、手抜きソフトじゃん！　…と思ったあなた、そりゃあなたの勝手な思い込みってもんよ。このソフトは「エロ画像集」ではなく、いままで体系的にまとめられる機会のなかった裏本の「データベース」ととらえるべきでしょう。実際、この世界の大御所・奥出哲雄氏によって書かれた一冊ごとの解説はなかなか面白いし、検索性も高い。女の子の画像に、局部のボカシだけじゃなくて目線が入っているのがうっとうしい、と思うだろうが、これはもともと非合法で表に出ることはないという条件下で裏本に出演した女の子たちに対する、製作者の配慮。顔をちゃんと見たい、というあなたの気持ちは分かるが、製作者の裏本への真摯な愛を感じる一作ってことで許してあげたい。データベースとしてはこれ一本だけじゃまだ中途半端だけど、CD-ROMという媒体で出すことの必然性が、少なくとも大多数の馬鹿ソフトよりちゃんと感じられる。このソフトはスチール画像のみだけど、今後のCD-ROMの展開の方向性を模索する上では意義のある一作でしょう。

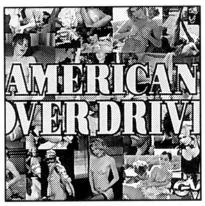
エロをナメちゃいけません

な〜んていろいろ書いたけど、要はユーザーをナメた製作者の態度が問題ってこと。たとえば、よくありがちな馬鹿エロソフトと、一般のファミコンソフトを比較してみてよ。値段も内容もあまりにひどすぎるでしょ、エロソフト。これは、メーカーも悪いけど、珍宝の誘惑に負けてつい買っちゃうユーザーも悪い。ダメなものはダメとはっきり態度で示すのが真の愛であると俺は思いますよ。そうしないとこの業界に未来はないし、ごく一握りの良質なソフトを作っている人たちにも失礼だしね。

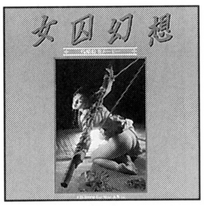
たとえば、98系美少女エロソフトのように、作り手が純粋に自分の見たいと思うものを作り、その媒体でしかできないレベルの高い商品とマーケットが形成されている例もある。こういったシーンは、好き嫌いはともかくとして、もっと評価されてもいいんじゃないでしょうか。

ってな感じで、真実の愛が訪れるその日まで。エロをナメちゃいけませんよね、皆さん。ナメるのは珍宝だけにしてくれ（←バカ！）。

またいつかどこかでお会いしましょう。



『AMERICAN OVERDRIVE』
Mac/Windows両用　12,800円（税別）
販売元：KUKI
非実用度　★★★☆☆（画面は小さいけど、ガイジン好きでBGMが気にならないあなたなら）



『女囚幻想』
Mac/Windows両用　11,456円（税別）
販売元：エイブイテック
非実用度　★★★★☆（拷問系SMマニアのあなた向き。ただし元ネタ未見者にかぎる）



『裏GIRL』
Mac/Windows両用　9,515円（税別）
販売元：エイブイテック
非実用度　★★★★☆（青春をこれのお世話になったあなた＆紙媒体が好きなあなたなら、イケる）

脳に効くソフト

真面目な、お見合CD-ROM『あした逢えたら』



ステキな美女が100人も！　誌上では、プライバシー保護のため写真を加工してあります。彼女の顔を見たい人は、CD-ROMを購入してください。

これがフィーリングテストだ。いくつもの質問に答えていけば、君と彼女の相性がバッチリわかるぞ。



文＝深沢英次
Text:FUKASAWA Eiji

脳に効くソフト

女性が100人登場する3000枚の限定版

いつかは出てくるだろうと思っていたが、ついに発見してしまった。「お見合CD-ROM」である。一見アダルトものかと見間違う人も多いようだが、残念ながら真面目な男女交際を望む人たちのためのソフトだ。何をもって真面目な男女交際と不真面目な男女交際を区別するかは非常に難しい問題なので、ここではあまり触れないでおこう。

『ハイパーキューピット倶楽部　あした逢えたら　Vol.1』は、Mac・Windows両対応のCD-ROMである。そしてこれは、3000枚限定プレスの男性向けなのだ。起動すると、わたせせいぞうからクレームのつきそうなイラストに続いて、現在恋人募集中の18才から30ウン才の女性100人のカタログがでてくる。データは、複数の結婚相談所などが提供しているらしい。顔写真とともに、生年月日や趣味、男性のタイプや希望する交際方法がつぎつぎと現れるのだが、それぞれが好き勝手なことを言っているので、なかなか面白い。

年収1千万の学生希望だと!?

たとえば、19才のフリーターA子ちゃんの希望する男性は、身長が180cm以上で20から23才までの学生。収入は1千万円以上がいいそうだ。年収1千万の学生ってどんなやつだ？　もしいるのなら、A子ちゃんに連絡しよう。ほかにも、家事をやってくれる男性を結婚相手として探している33才の女性や、条件は何もないがとにかく嘘をつかない誠実なヒトを募集、なんてのもある。嘘をつかれて嫌な思いをしたことがあるのだろう。ジンセイを感じさせるヒトコマだ。

女性によっては、QuickTimeムービーを見ることができる。おおよそ半数くらいの女性には、ムービーデータがついているようだ。なるほど、写真で見るのとビデオで見るのとではずいぶん印象が違うもので、特に声を聞けるというのは大きい。実物はもっと違ったりするのだろう。さらに、化粧を落としたときはどうなっているのやら。むー。女性は魔物である。

1分くらいのムービーは、どこか結婚相談所のような事務所で撮ったものから、自宅の玄関で撮ったもの、スナックのようなところで撮ったものなど、さまざまである。

相性度が70%あったら…

「あたしをー、ドライブにぃー、誘ってくれるヒト、ぼしゅーちゅーでぇ〜す〜」なんて甘ったるい声を出しているやつもいる。

とにかく100人の女の子から、自分が気に入ったヒトを選ぶ。この時点ではまだ主導権は君にある。しかし、これで安心してはいけない。「相性チェック」というのにパスしないと道は開かれないのだ。

相性チェックでは、血液型・星座に続いて、好きなスポーツや、デートに誘うとしたらどんな場所を選ぶ？などの質問がつぎつぎに出てくる。これらにすべて答えると、君と彼女の相性度が表示されるのだ。質問に答えるときは、正直に答えよう。嘘はいかんぞ、嘘は。

私も正直に何人かの女性との相性をチェックしてみたが、平均で30%、最高でも58%という悲しい結果に終わってしまった。結果が70%以上の相性だった君は、喜んでいい。パスワードがもらえるのだ。このパスワードとCD-ROMのジャケットについている応募券、そして君の顔写真を、発売元であるメディアリンクスに郵送すれば、メディアリンクスが責任を持って相手の女性に転送してくれるというシステムである。相手の女性から君に連絡があるかどうかは、神のみぞ知るということらしい。

応募できるのはふたりまで。いざ！

このCD-ROMは、「お見合」というよりも「恋人募集CD-ROM」といったほうが近いかもしれない。ねるとんなどを見て育った女の子たちは、こういう形での恋人募集にもあまり抵抗がないのだろうか。

このCD-ROMでの出会いがもとで結婚したとき、「ふたりの出会いは、お見合CD-ROMでした」と言うのだろうか。子どもが生まれて大きくなったとき、「お父さんはお母さんを、Macのお見合CD-ROMで見つけてね…」と話して聞かせるのだろうか。うーむ。

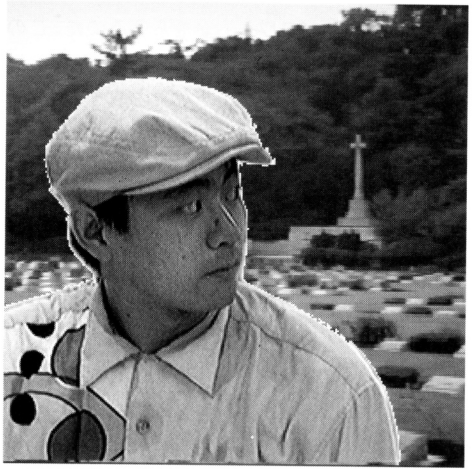
応募券は2枚ついている。つまり、1枚のCD-ROMで応募できるのは2人までだ。君の幸運を祈る。



相性度が70%以上なら、彼女へのアタックの道が開ける。私の場合ほとんど全滅だった。

『ハイパーキューピット倶楽部
あした逢えたら　Vol.1』
Mac／Windows両対応
7,800円（税別）
発売元：メディアリンクス
TEL 0423-24-4391

電脳探偵局



第3回報告書
「ホームパーティを開設したこと」

「SEX&COMIC&ROCKnROLL!をキーワードに、あらゆる面白いものをテーマとしたＨＰを開設しました。例えば、ゴールドマン、手塚治虫、実話スーパー、カンパニー松尾、XTC、東海林さだお、テクノポップ、イヤハヤ南友、けらえいこ、コンピュータゲーム、立ち喰いそば、マッキントッシュ、ＳＭ、イメージクラブ、性感、団鬼六、杉村春也、結城彩雨、平野勝之、ポップ・ウィル・イート・イット・セルフ、ジャズ・ブッチャー、北朝鮮、トーキング・ヘッズ、猟奇、残酷、拷問、スペース・エイジ・バチュラー・パッド・ミュージック、赤瀬川原平、ビーチ・ボーイズ、モノクローム・セット、裏商売、パンク／ニューウェーヴ、ビッグ・ブラック、ビッグ錠、藤子不二雄、エッセ、回転寿司、ビール、岡崎京子、定食屋、バカ、パソコン通信、裏情報…、こんなものが溢れ替えるＨＰになると楽しいですね。まあ、とりあえず何でも書き込んで見て下さい」

あとは、参加しているいくつかのＨＰに「僕もＨＰを開設したよ」との旨を書き込んだ。さあ、あとはお客様が来るのを待つばかりだ。

文・安田理央 NIFTY ID：(MXC03136)

ステレオタイプHP ついにスタート

僕にとってのパソコン通信(ここではニフティ・サーブ)はホームパーティ（以下HP）につきる。HPとは、ニフティの会員なら誰でも開設できる個人用のミニ会議室で、開設費用も500円／月と手頃な料金でOK。不特定多数が参加するフォーラムよりも、ぐっとマニアックなテーマを掲げているHPが多く、裏ビデオや裏商売のようなヤバイ情報なんかもガンガン書き込まれている。またフォーラムとは違って建前としてはモニタリングセンターの検閲もないということで、風俗やセックス体験談をテーマにしたHPもあるし、特定のミュージシャンの情報をひたすらマニアックに(CDの製造番号にまでこだわる！）追求するHPもある。なかにはマックのLC520という機種のユーザーだけのHPなんてものもあるのだ。僕などは、ほとんどフォーラムには行かないし、チャットもやらない。フリーソフトのダウンロードもしない。たまに掲示板をのぞくぐらいで、ひたすらHPを巡回している。本当に、パソコン通信＝HPという状態だ。現在は10コほどのHPに参加していて、そこで色々な人と知り合うことが出来た。で、先日、ついに自分でもHPを開設してしまった。自分のオンラインマガジン（前々号参照）にちなんで「ステレオタイプHP」と名付けたこのHPは、特定のテーマはなし。僕の興味のあるもの全てがテーマだ。

８月20日、僕はHPを開設すると同時に、開催のお知らせを掲示板の「仲間募集」「文通コーナー」のボードに掲載した。

「ステレオタイプHP」観察日記

●８月21日

オープンしてからちょうど12時間後の午前10時。どきどきしながら「ステレオタイプHP」を覗いてみる。あ、書き込みがある！某ＨＰのオーナーのリョウさんが朝の７時から（！）書き込んでくれていた。さっそくＲｅｓを書く。他のHPのオーナーにアドバイスしてもらったのだが、最初はとにかく丁寧にResを書くことが参加者を増やすコツらしい。夜、もう一度覗いて見る。新しい書き込みはないが、Guestコマンド（HPを覗いた人全てのIDなどが表示される。オーナーのみが使える機能）で見てみると、もう35人もの人がアクセスしてくれている。さて、このうち何人が書きこんでくれるだろうか。

●８月22日

朝、「ステレオタイプ」の読者で、何度かメールのやり取りをした卓実くんが書き込んでくれている。さっそくRes。あと、数日前に買ったレッドクロスというバンドのCDの話を書く。その日に某HPのオーナーと飲みに行くと「安田さんのとこのHP、ずいぶん盛況だね」といわれる。帰って慌ててアクセスしてみると、もう４人ほどが自己紹介している。ただ、みんな知り合いの人だった（うち１人はこのページの担当編集者の藤井さん)。Guestを見るともう60人以上覗いている。新しい参加者が増えるといいのだが…。ちなみに今日は僕の27回目の誕生日。

●８月31日

メッセージ総数は59、参加メンバーは18人に。「HPニュース」の渡邊さんや、イラストレーターのトキワヒビキさん、そしてSM作家の館淳一さんも書き込んでくれた。がんばれ元気、覚悟のススメ、奥瀬サキ、GON!、ドアーズ、パラシュート（！）、花と蛇…。テーマはフリーで関係ない話題があっちこっちに飛び交うHPにしたいという僕のもくろみ通りに、かなり節操のない状態になっている。毎回自分のHPを覗くのが楽しみで一日に何度もニフティにアクセスしてしまう。こうして書き込みが増えるのを見守っていると、シムシティでもやっているような気がしてくる。シム扱いしちゃ参加メンバーに失礼か。

●９月６日

メッセージ総数100を突破！　16日で100Mesということは一日平均６Mes以上。かなり盛況なＨＰだといえるのではないだろうか？　しかもほとんどが何十行というボリュームのある書き込みをしている。思わずニンマリする。新人さんもずいぶん登場しているが、ほとんどが他のHPのメンバーが流れ

安田理央プロフィール■27歳独身。東京・江古田在住。マッキントッシュLC520使用。自称マルチメディア・エロ・ライター。得意ジャンルはAV、アダルトCD-ROM、SM、その他変態一般。最近はもっぱら風俗取材が中心。ずっと活動休止していたテクノポップバンド、モデルプランツもこの秋より再起動し、「歌って踊れて男優もできるエロライター」というのをキャッチフレーズにしようかと考えている。

てきていることが、ちょっと気がかり。面識のない人が書き込みずらい雰囲気になっているのかもしれないと危惧する。最近の書き込みではBronzeFixxerさんがニール・ヤングなどについて思い入れたっぷりに書きまくる「私的CDレポート」シリーズが読み応えがあってよい。

●9月8日

メッセージ総数121。GURUリニューアル号発売日。新生GURUへのいろいろな感想がここにも書かれる。編集者が読んでるにも関わらずキツイ意見も（あ、僕が書いたのか)。話題はコブラとかいう外車やロビン・トロワーなど、もはや僕の守備範囲外のところまで飛んでいく。この頃、掲示板でハッカー騒動が起きる。この事件に関しても意見が飛び交う。

●9月18日

早くも200Mes突破。メンバーは固定化しつつある。それぞれのＨＰで活動しているマニアたちが、情報を持ち寄るという「場」になっているようだ。GURUにも、このＨＰの情報を載せたのだが、それを見て来たという人は意外に少ない。あんまり売れてないのか？GURU！（笑)。しかしGuestで見ると、200人以上の人がここを覗いていることがわかる。このROMメンバーをどうすれば引っ張りこめるのだろう？　話題はMO、ストリップ、ギャング・オヴ・フォー、中村京子、とますます渾沌化。ちょっとマニアックになりすぎてROMの人がビビっているのかもしれない。

そして10月１日現在、300Mesを突破した。はっきりいって、今の僕にとって仕事で原稿を書くことよりも、このHPを運営していくことの方がやりがいがある作業となってしまっている。朝起きると（僕は朝型です）午前中をほぼ費やして通信し、ログを書き、夜も２度３度とアクセスしている。通信の合間に原稿を書いているような気さえしてくる。一円にもならないどころか課金がかかってしまうというのに、だ。実は今、流行り目という病気にかかってしまっていて目を酷使できないため、仕事はセーブしているのだが、HPへの書き込みだけは休んでいない。それぐらいハマっている。オンラインマガジンの時にも感じたことだが、レスポンスが確実にあり、しかも早いということは、書き手にとって何よりも励みになる。誰も読んでいないかもしれない差し障りのない文章をダラダラと書いてお金を稼ぐことと、どっちがやりがいのある仕事かと考えると…。多くのプロのライターや小説家、マンガ家がパソコン通信にハマっている気持がわかるような気がする。

ある日のステレオタイプ

HP>MOVE MXC03136

SEX&COMIC&ROCKnROLL!

HP>REAd NEW

186　[94/09/16 11 : 50]　MXC03136

安田理央：食後のライスは大盛りで今週はヒマだと思っていたら、週末から地獄のような仕事の山。突然、宝島のCD-ROMレビューが鬼のような量とスケジュールで入ってきたし、「話のチャンネル」でAVレビューと、監督インタビューと、風俗体験ルポ（池袋「スィート」だよん→adolfさん）と、あと「実話スーパー」の風俗記事と…、あと何だっけ？　まあどっちにしろエロ記事です。骨の髄までエロ商売ですね。

●adolfさん

>>「フェティシズム叢書」

やっぱり、さすがはラッシュですよねえ。「マスカットノート」の「LEG TISSUE NEW」もいいしね。ラッシャーさんは、フェチとスケベというものを本当に理解してますよねえ。今、全国のスケベにもっとも影響力あるライターって、ラッシャーみよしさんじゃないかな。だいたい今のエロ雑誌業界はラッシュなしでは成り立たないもん。

>>理央さんもMOだとエッチなデータ交換できたのに～。:-)

えー。そんなこといわないでリムバにしなよ。早いし安いし、便利だよぉ。

>>オウム系の定食屋って、「うまかろう安かろう亭」っていうとこ?

そうです。江古田の物価から見れば、そんなに安くないし、おいしくないです (^^;.

●トキワさん

「マニュアル・オブ・エラーズ」まだ行ったことなかったな。今度、トキワさんがいるときにでもお邪魔しますね。高円寺のどこにあるんですか？

●タケノ>>ミクスチャーのことを忘れかけてるほらね、君はミクスチャーなんてガラじゃないんだから。

>>今度「風俗無法地帯」貸してね

やだ。XTCのビデオと引替になら考えてもいい。

●館さん

ご苦労様。

作家の方にとって250枚で３週間というのは早いペースなのですか？そんな長いの書いたことないからなあ。しかし今の中村さんのストリップかぁ。けっこう凄そうだなあ。さて、これから平野勝之監督のインタビューにいってきます！

187　[94/09/16 12 : 25]　********

タケノ：ふがいないわたしモデムが治ったのがうれしくて通信しまくっているタケノです。

●GOLDさん

もしかしてフレット（指板の裏）かな？それともサウンドホールの裏（ボディ本体、丸まってルところ）かなあ？どっちにしてもそれって結構重大なことかもしれないと思うのですが。。。。　ごめんなさい、リペア関係は弱いもんで。そおいえば、５月ごろに「つめたく冷えた月」というブコウスキー原作の映画をみたんですけど、そのなかに、プジョー405のふるそーなモデルがでてたんですよ。ライオンマークを見なければ全然わかんなかった。でもすんごくかっこよくってこのままのかたちで現行型も造って欲しかったと思ってしまいましたよ。いつごろのなのかな～。しかし、この映画も怠惰でよかったな～。ブコウスキーのマニアの人に云わせるとすごく奥深いらしいんだけど、そんなこと知らない私にとっては主演のデデとシモンと云う２人のばかさがおかしくてたまらなかった。デデというのは、部屋でジミヘンにあわせて狂ったように踊り捲るし、交通棒振り人形かっぱらってマルセルって名前付けて一緒にダンスしてしまいには高圧線に投げつけて燃やしちゃうし。話としては、遊び半分で死体をかっぱらったらそれが死後間もない若くてグラマーな女で、それを２人で死姦するんだけどシモンのほうはその女に惚れてしまって海に帰すってな映画でした。てなわけで、また。

ステレオタイプ！

「ステレオタイプ」は安田理央が主催するオンラインマガジンです。SEX&COMIC&ROCKnROLL!　をテーマに何の役にも立たないコラムが満載。安田はもちろん、カルトAV監督のゴールドマンや性感Xテクニシャンの南智子さんなども執筆しています。購読希望の方は安田までメールをくだされば、折り返し送信します。

また、ステレオタイプでは本文で紹介したようにHP（NIFTY ＩＤ：MXC03136　PASS：LOVE）も開設しています。この連載と連動させて面白いことをやっていこうと考えています。セックス全般（ＡＶ、風俗、ＳＭ、変態…）やマンガ、音楽などに興味がある方はぜひ覗いて見てください。またこの連載の感想などもお気軽に書き込んでください。

募集！　パソ通のウワサ

パソコン通信に関する様々なウワサや変な話を募集しています。GURU編集部「電脳探偵局」係、もしくは安田まで電子メールにて投稿してください。

手相改造入門
TUNEUP HAPPINESS

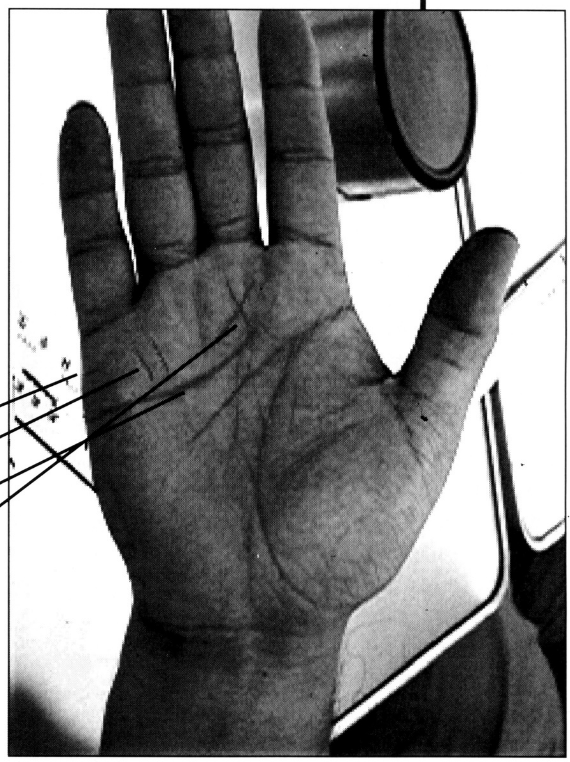
6号でMacを欲しがっていた大江君は、結局その後親からの援助が多少あって、めでたくQuadra630（LC630の海外モデル）を購入するに至ったそうです。Photoshopで手を入れるだけでも、運勢は変わるんでしょうか。"AQUA"先生曰く、「心理的に影響をうけて、よい方向にむかう可能性はあるかも」。だめでもともとの藁すがり、第3回。

"AQUA"プロフィール
23歳。「和光大学の母」と呼ばれ、学生の頃から占い師の実績あり。現在は大塚のオカルトショップDEJA-VUで毎週土曜日PM3:00-8:00まで営業。（完全予約制3915-3910）NIFTY-Serve占いフォーラム3番会議室「手相」ボードオペ（書き込み大歓迎！）。占い界初？のパソコンを駆使した手相占いをボードで実験中。

今月の"AQUA"チェック
とにかく結婚相手募集中、の
本間太一さん（29）のケース

昭和40年2月22日生まれのSE。現状の女性関係は全くのフリーだが。そろそろ結婚を意識し始める年齢でもあり、相手を探しているような状態。理想的なゴールイン年齢は32歳ぐらいかな、と考える今日このごろである。

現在の手相



ここの長さが直接結婚の時期を表す（1）
結婚線の延長線上にあるために影響が（2）
見てのとおり（3）
基本的に×印というのは凶相（4）

"AQUA"診断

"AQUA"「彼は、恋愛運がちょっと落ち込んでる時期ですね。結婚線あたりが非常に弱々しい。それに長さもありません。こういう時は、あまり人を好きになる気力がないはずです（1）。

また、結婚線の中腹に縦に2本障害線が入っています（2）。これは女性に心を開いていない証拠。そのくせひとたびつき合いはじめると、即結婚話を無理矢理相手におしつける……という一足飛びの自己中心的な恋愛を展開してしまう事があります。以前ふられた事があるそうですが、おそらくそれはあまりにも勝手な振る舞いをして、相手に愛想をつかされたのでは？

感情線はどの線よりも分厚く、人情味あふれる方（3）なのですが、恋人だけには超独占欲を出しますね。

また、人指し指の下に×（4）があります。これは凶相ですね。この辺りは、モテるかどうかを判断する部分なのです。ですから、×があるというのはちょっとつらい。

全体的な手相からみると、根はいい人みたいなので、それをこれからうまく活かせば、32歳という結婚の理想年齢は無理な数字ではありません。ただ、もう少し相手の言い分を聞いてあげる寛大な心を持つことと、自分の趣味の押しつけをやめることが必要です。

GURU「実は私（担当）も、結婚線が短い上に無数の障害線が入っていました（涙）。という訳でとても人ごととは思えないので、ぜひなんとかしてあげたいところです。では、その辺を次のページで」

おみくじは、漢字で書くと御神籤、つまり「神のクジ」となる。人間が決める事ができない運命などを占ったり、田畑の分配など、人々が争いそうなことをおみくじで決めたりと過去は活用されてきたものである。神の意志を伺う、という意図だ。

現代の神社にあるおみくじは、個々人の運命や悩みの解決という役割が主なもの。境内のおみくじが入っている箱から神託をいただくのである。もらったおみくじは神社の木の枝に結ぶのがポピュラーだ。が、実は、悪い運の時だけ木に縛りつけて神に預け、いい運勢のおみくじが出た時はそれを持って帰り、お守りにする……というのが正しい引き方のようである。

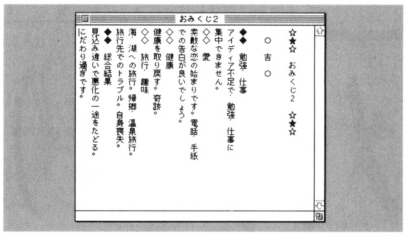
おみくじがお守りになる期間は1年が目安とされている。1年たったらおみくじを引いた神社に「処分」をお願いするのがいい。できるだけ1年に1度お参りできる「ごひいき」の神社以外ではおみくじを引かない事をおすすめする。神様だってお礼参りしてあげないとスネちゃうのだよ。

梶原氏作の「おみくじ2 VER0.10」は、巫女さんのような女の子をクリックすると、お告げが流れてくる。内容は大吉・吉・凶・大凶の4種類。仕事・愛・健康・旅行・総合運の5種類のお言葉も縦書きルーチンで流れてくる。

これは普通のおみくじと違い神託ではなく、診断はタロットカードで判断している。5つの運それぞれに22枚の大アルカナタロットの中からお告げを選ぶというプログラムを組んでいる。

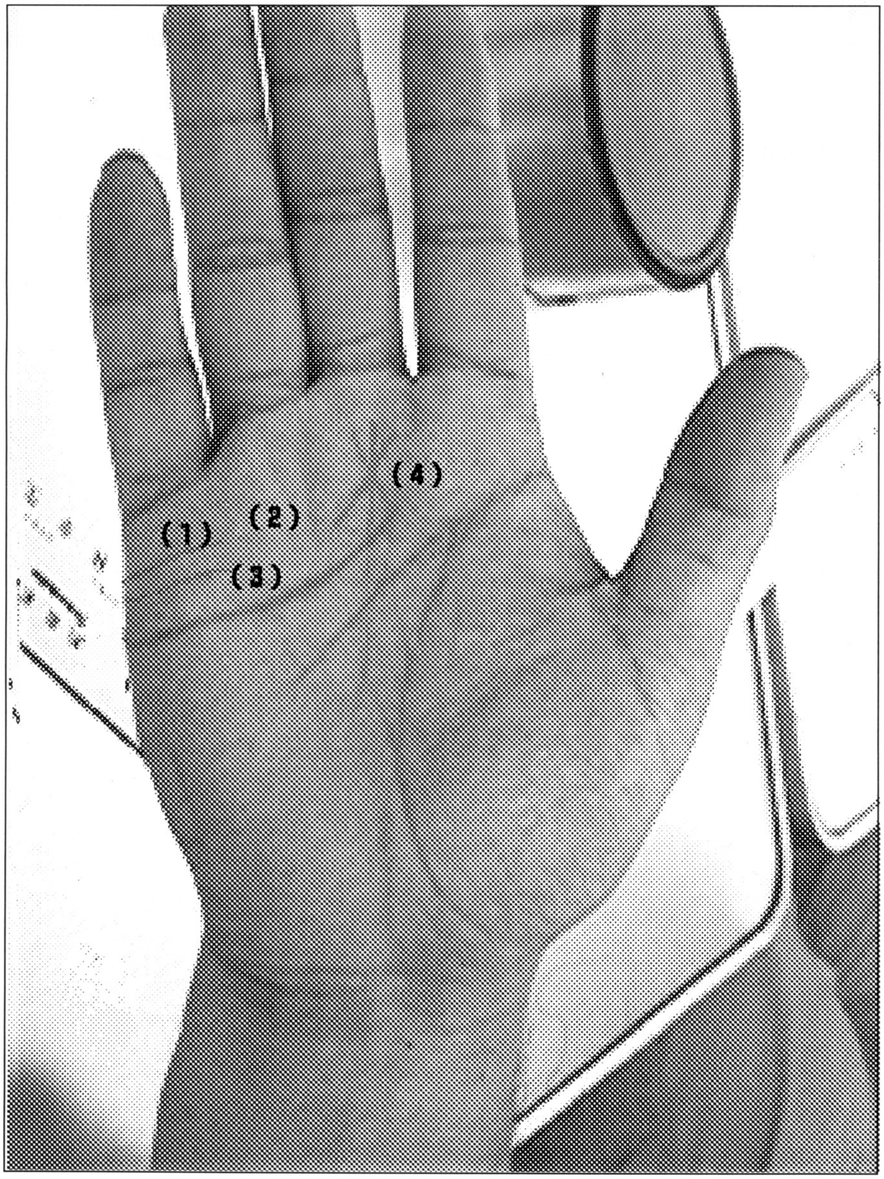
タロットカードは正位置と逆位置で意味がかわるため、各おつげごとに22枚×2（正・逆）の44のパターンの台詞があるわけだ。44のお告げと5項目の運勢判断がある。確率算でいくと44の5乗。実に1億6491万6224通りのおみくじがあるということ。全く同じおみくじに遭遇する事はマレなのだ。

また、吉兆の判断はタロットカードの正位置と逆位置の枚数によって判断している。ところで実は、作った本人が「ジョークソフトです」と言っているのですが、"AQUA"がやってみたところ結構当たりました。不思議なことに、うかがいたいことに沿った解答がでてくるのです。



●「おみくじ 2.Ver0.10」 梶原元平氏作　Mac用
入手先：NIFTY-Serve 占いフォーラム（FFORTUNE）

手相改造後



"AQUA"「では、『これで結婚生活も安泰』という手相にしてあげましょう。まずは深くて長めの結婚線（1）を作りましょう。こうすると、結婚が絵空事ではなく現実として自分に迫ってきます」

GURU「障害線とぶつかりませんか」

"AQUA"「当然、この2本の傷害線は消しゴムします（2）。これで相手との感情や会話のすれ違いもなくなり、アツアツのカップルになれますよ」

GURU「それもいいけど、やはり結婚するなら一生連れ添える安定も欲しいところ」

"AQUA"「その通りですね。では、ベスト・パートナー線を作ってあげましょう。こんな風に2本ならんだきれいな結婚線を描くんです（3）。線を見たまんまって感じですが、ずっとずっと喜びも悲しみも分かち合って行く夫唱婦随の夫婦になれますよ」

GURU「夫唱婦随ですか。演歌な響きが漂いますね。小料理屋の夫婦的な」

"AQUA"「実際、こういうパートナー線は大抵一緒に店を切り盛りするような自営業の方に多いんですよ」

GURU「あとは相手の登場を待つばかり」

"AQUA"「ええ。そのためには、この×を幸運の印、アスタリスクに変えましょう（4）。これでドラマチックな出会い方ができますし、すぐに恋に落ちるはず」

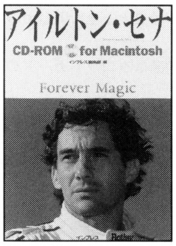
GURU「これだけやれば、すぐにでも結婚できるようになりますか？」

"AQUA"「結婚線の長さによって、結婚年齢も変わってきます。急ぐなら、線をとにかく長く育てるように（笑）」

パソコン本メッタ斬り

今月気になった本

セナが走る姿と、たけしの顔のアップはもう見たくないよ、そんなので商売するのはやめてくれー、と思っていたところに送られてきたのが、『アイルトン・セナ CD-ROM for Macintosh Forever Magic』(インプレス販売/3,800円)。さきのWindows版に続くもの。写真集(今宮純氏のパンタロン姿が凄い)と、ELF社所有のムービーなどが入ったCD-ROMで構成された、テレビ局の権利をかいくぐった意欲作。それにしてもセナは、様々な資本のために走っていたのだなあ。



『アイルトン・セナ CD-ROM for Macintosh Forever Magic』

『ヴァーチャル・ガール』(ハヤカワ文庫/680円)も送られてきた。純粋無垢な少女アンドロイドが、人格を確立して人間に幸福をもたらすというストーリーだそうです。

津野海太郎御大などの著作『コンピュータ文化の使い方』(思想の科学社/2600円)も、はやく読みたい。腰巻きの文句は“パソコン文化は落ちこぼれがつくった! 文化系中年以上のための「コンピュータアレルギー」解体マニュアル”!

(書店から) 秋葉原にそびえる「書泉ブックタワー」

書泉ブックタワー パソコン関連書籍売り上げ
9月月間ベスト30

1	こんなもんいかがっすかあ 上巻 水玉 螢之丞著(アスペクト 1,500円)
2	こんなもんいかがっすかあ 下巻 水玉 螢之丞著(アスペクト 1,500円)
3	CD Showcase(日本アイ・ビー・エム 1,500円)
4	Macintosh DEVELOPER'S JOURNAL No.9 アップルコンピュータ編 (技術評論社 1,500円)
5	これでやっと使えるぞ!! CONFIG.SYS & AUTOEXEC.BAT 本谷裕二著(オーエス出版社 980円)
6	プロフェッショナルBSD 砂原英樹/石井秀治/植原啓介/林周志共著(アスキー 3,200円)
7	ポイント図解式最新MPEG教科書 マルチメディア通信研究会著(アスキー 2,900円)
8	CD-ROM Magazine Vol.10 ビレッジセンター編(ビレッジセンター出版局 3,100円)
9	インターネット漂流記 吉田茂樹/森秀和/杉岡隆司共著(オーム社 2,100円)
10	CGあらもーど2 別府一道/八城年伸著(秀和システムトレーディング 2,800円)
11	Macすいすい通信術 波多野直樹/滝隆二著(ソフトバンク 1,700円)
12	SCSI-2 詳細解説 菅谷 誠一著(CQ出版社 3,800円)
13	実戦STRATA STUDIO Pro入門 永田 啓著(ビー・エヌ・エヌ 4,200円)
14	アイルトン・セナ CD-ROM for Windows Forever Magic(インプレス 3,800円)
15	CD-ROM Magazine Vol.11 ビレッジセンター編(ビレッジセンター出版局 3,100円)
16	Macの通信幕の内 牧野 武文著(毎日コミュニケーションズ 1,800円)
17	Mac Fan Books マックな人 藤原 鉄頭著(毎日コミュニケーションズ 1,200円)
18	マンガ パソコン入門 大村浩二著(サンマーク出版 500円)
19	インターネット・ユーザーズガイド Ed Krol著(インターナショナル・トムソン 4,400円)
20	DOS6/V活用ハンドブック フリーディア編著(翔泳社 2,400円)
21	Visual C++によるMFCライブラリの使い方 吉田弘一郎著(技術評論社 2,200円)
22	Windows版 Visual Basic パワフルテクニック大全集 Z.トーマス/R.アーンソン/M.ウエイト著(インプレス 5,980円)
23	MS-DOS/WINDOWS フリーソフト&シェアウェアPACK2000 '94後期版 ベクターデザイン編著(アスキー 5,800円)
24	Windows版Excel 5 マクロ オフィシャルコースウェア R.ジャコブソン著(アスキー 3,800円)
25	X680x0 Develop. & libc II 吉野智興/中村祐一/石丸敏弘/今野幸義/村上敬一郎/大西恵司著(ソフトバンク 2,900円)
26	コードコンプリート S.マックネル著(アスキー 7,800円)
27	イラストで読む ネットワーク入門 インプレス編(インプレス 3,500円)
28	CD-Recordable バイブル A.パーワ著(ソフトバンク 2,500円)
29	NetWare 素朴な疑問に答える本 インプレス編集部著(インプレス 2,500円)
30	ビジネスマンのMacintosh グエル鈴木眞里子著(日経BP出版センター 1,800円)

パソコンの街・秋葉原に、本格的な総合書店がオープンした。神田・神保町にある書泉グランデの系列で、名前は「書泉ブックタワー」。6フロアの堂々たる書店である。さらに大店舗法が緩和されることによって、この12月には2フロア増え、8フロアになるという。

近くに大型の書店が少ないこともあって、「あそこに建てたのは、大当たりでした」(書泉グランデの星野さん)。

パソコン関連の書籍に関しては、まわりにパソコンショップの書籍売場があるのでなかなかの激戦区だが、「こちらは、小さな出版社の本もこまめな補充がきくので、それを生かしたい」(書泉ブックタワーの古田島さん)とのことです。

（今月の1冊）

『インターネットマガジン』にお役所に対する文句がないのはなぜ？

文=五条 弾
Text:GOJO Dan

●

「実践派」の雑誌と「傍観派」の雑誌

「専門誌」というものがある。最先端科学から風俗まで、専門誌がない分野はないが、これに「インターネット」がついに加わった。『インターネットマガジン』の創刊である。

ところで、専門誌をあえて分けると、2通りになる。そこにいるあなたにも、書かれているものを実際に触れて楽しめる「実践派」と、あなたにも私にもまず手は届かない世界の話を「うらやましいだろう」とばかり紹介する「傍観派」だ。

『GURU』は「実践派」だろう。そこに書かれている内容に興味があれば、ソフトであれハードであれ、実際に店まで行って触れるし、買うこともできる。私のような「ぷー」に近いような人間でも、Macを買うことはできる（実際、Duo 280cを所有）。

また、『GUN』という雑誌があるが、これは「傍観派」だろう。いくら「やっぱ9mmパラがいいね」といわれたって、日本で普通の人がベレッタなりスコーピオンを買ったりして撃ちっぱなす射撃場なんてないのだ。

カー雑誌は、「実践派」か「傍観派」か？難しいところだ。『CAR GRAPHIC』という雑誌があるが、そこでフェラーリやポルシェを紹介していたとして、あなたにそれが体験できるだろうか？　カー雑誌は、「実践派」に見せかけた「傍観派」の雑誌のよい例とも言える。

インターネットをいますぐ実践できるの？

さて、『インターネットマガジン』は、見たところ「実践派」に見える。インターネットを紹介するいっぽう、インターネットにアクセスする方法を、専用回線の手に入れかたに至るまで紹介している以上、これは「実践派」の雑誌のはずだ。しかし、この雑誌をもとにインターネットをいますぐ実践できるであろうか？

『インターネットマガジン』に載っているCIX（Commercial Internet eXchange＝商用インターネット提供者）の値段は、どれも「1分30円」とか、「専用線64Kbpsで月45万円」とかで、とても普通の人には手が出ない。ポルシェのほうが「実践的」なぐらいだ。

かくいう筆者は、その「フェラーリ」や「ポルシェ」を試乗する立場につい最近なった。某CIXのシステム管理者になったのだ。



『インターネットマガジン』 インプレス販売／隔月刊（奇数月17日前後発売・第2号は11月17日発売）／1,980円（税込）

おかげで、金のほうはそれほど心配しなくてもいい。その筆者にして、実際に『インターネットマガジン』に紹介されている、Mosaicによるネットサーフィンを楽しむのは、なかなか大変なことだ。筆者のCIXは「上流サイト」に64Kbpsの専用回線でつながっており、筆者はそこに14.4Kbpsのモデムを介してアクセスしているが、これではとろくて、とてもネットサーフィンとは言えないのだ。

月20ドルで使い放題のアメリカ

では、外国ではどうか？　フェラーリやポルシェは、これは作っている本国でも高くてとても「実践的」ではないが、インターネットに関しては違うのだ。筆者は『netcom』というアメリカの大手CIXの加入者でもあるが、ここは1ヶ月20ドルで、何時間でも使い放題。アメリカにいれば、電話代も市内通話であれば月々10ドル弱で使いたい放題。専用回線がほしければ、1.5Mbpsの回線が月々1000ドルだ。

少なくともアメリカでは、インターネットの関係書物はほとんどが「実践派」だといえる。たとえば『Internet Starter Kit』には、『Northwest Nexus』という大手CIXの加入権がついている。それに対して日本の『インターネットマガジン』にも関係ソフトの入ったCD-ROMがついているが、その先が続かないのだ。

そう指導しているのはお役所だ

拳銃もぶっぱなせず、ポルシェを買っても渋滞に引っかかり、そしてポルシェよりもインターネットが高いように思われる日本。『インターネットマガジン』が実践派の雑誌になれる日はいつくるのだろう？　今のところ、日本の「情報スーパーハイウェイ」では、BMWより車格の低い車の乗り入れは認めてないようだ。そして、そう指導しているのは、お役所以外の何者でもない。パンピーに買えない車ばかり紹介している『CAR GRAPHIC』ですら、お役所に対する文句はいくらでも載っているのに、『インターネットマガジン』にそれがないのはどういうことだろう？

●著者のプロフィール
あるOLのペットを勤めるかたわら、NIFTY-ServeのFJAMES「パソコン千夜一夜」の副議長、FJAMEAの「パソコン多国籍群」の議長、そして最近になってJETONという弱小（今は！）インターネットプロヴァイダーのシステム管理者を勤める。本記事に関するコメントは、dankogai@jeton.or.jpまで。

ぐるぐるショッピング

GURUGURU SHOPPING

貯金がたまるまでは買い物は控えよう、と思っているアナタ。世の中にはボーナス一括払いという素晴らしい制度があります。などといって、貴方をドロ沼に引き込む、このページ。

結局98のXシリーズは何が売れているのか

低価格路線は好調、しかしPentiumとPCIは？

去る8月にPC-9821の新ラインナップ「Xシリーズ」を発表したNEC。それまでのBタイプMATEに代わる、一番の売れ筋モデルになると思われるこのXシリーズ、すでに市場にも出揃って、本格的に購入を考えている人も多いのではないだろうか。そこで今月は、秋葉原の98専門店であるFIRST POINT（03-3251-4698）の石井店長に、Xシリーズについての反応を聞いてみた。

●大まかな台数の割合を教えて下さい。

「Xシリーズ全体の売り上げの8割が、Xe/U7WとXs/C8Wです。その中でも、1位と2位の割合は、2対1ですね。残りの機種の中では、Xa、XtなどPCIバス搭載モデルがやや優位、というところです。総じて、『低価格』と『Pentium＋PCIバス』に、お客様の興味の傾向が分かれていますが、その中でも、低価格品に対する反響が圧倒的です」

●確かに、ローエンドモデルのXe/U7Wが、売れ筋のトップに来ていますが。

「3～4万円のマルチスキャンモニタと、2万円を切っている倍速CD-ROMを組み合わせても、同じCPUの98MULTIよりも安い上に、ハードディスクの容量が大きいという事が魅力でしょう。低価格機として、非常にがんばっているモデルです」

●DX2/66MHzのXs/C8Wも低価格で売れた？

「そうです。Windows3.1の動作環境として、ほぼ満足できるCPUパワーを提供していますから、店としても安心して薦められますね。これら2機種に増設メモリを8MB追加すれば、長く使っていただけると思います」

●それでは、反響のもう1つの傾向である、Pentium＋PCIバスについてはどうでしょう。

「一般のお客様にとっては、選択の決め手となるキーワードとはなっていないようです」

●では、マニア層に対してのアピール度という点ではどうでしょうか。

「基本的にAT互換機からの技術ですから、マニアのお客様はどちらかというとATの方に興味が移っている気がします。NECもがんばってはいるのですが、やはりATの同クラス機とくらべると多少割高な部分が残るというのも原因かもしれません」

●それは具体的にはどういった点ですか？

「例えば今回のラインナップの中でも、Xa/U1などは、オリジナルのシステムを自分で作っていくためのベーシックモデルとして、面白いスタンスのマシンだと思うのです。このマシンが、あと少し定価が低ければ、マニア層の人々にとって、もっとアピールできるものになると思うのですが」

Xシリーズ売れ筋ランキング

順位	メーカー名	CPU/MHz	メモリ	HDD	その他	標準価格
1	PC-9821Xe/U7W	486SX/33	5.6MB	210MB		238,000円
2	PC-9821Xs/C8W	486DX2/66	7.6MB	540MB	CD-ROM内蔵	398,000円
3	PC-9821Xa/U8W	Pentium/90	7.6MB	270MB		640,000円
4	PC-9821Xa/C10W	Pentium/90	7.6MB	1GB		880,000円
5	PC-9821Xs/U7W	486DX2/66	5.6MB	210MB		340,000円
6	PC-9821Xa/C9W	Pentium/90	7.6MB	540MB		730,000円
7	PC-9821Xt	Pentium/90	15.6MB	1GB	CD-ROM内蔵	1,000,000円
8	PC-9821Xn/U8W	Pentium/90	7.6MB	270MB		570.000円
9	PC-9821Xp/U8W	IntelDX4/100	5.6MB	270MB		448,000円
10	PC-9821Xp/C8W	IntelDX4/100	5.6MB	340MB	CD-ROM内蔵	488,000円

（First Pointの9月末までのデータから）

~~秋葉原のエイリアス~~

今月のテーマ

西新宿と秋葉原の相似点

マニアは常に自らの聖地を求めるものだ。アニメマニアは晴海、パソコンマニアは秋葉原、バイクマニアは上野。そして、音楽趣味における秋葉原的存在と言えば新宿である。ヴァージン・メガストアのような大型量販店から、新宿レコードやVINIL JAPANといったマニアックな専門店までありとあらゆるレコード店が存在する。それが今月のお題。

秋葉原のAT互換機マニアと新宿のレコードマニアはある意味でよく似ている。彼らにとっては、イギリスのインディー新人の発掘も、正式輸入されていないビデオボードを人より先に手に入れるのも、ベクトルとしては一緒。マニア心理とは「メジャーになる前が勝負」なのであるからして、多少のハズレは気にしない。むしろ、どれだけのハズレをへて本命に行き着くか、という過程に醍醐味があるとマニアはいう。おお、修羅の道。

また、両者とも趣味が高じると中古品を愛でる。新宿の廃盤専門レコード店も、秋葉原のNeXT大量在庫の中古店も、その扱い商品のあまりの一般性のなさにおいて、「素人が足を踏み入れてはいけない世界」という意味では一緒くたである。そういった店の店員は、はた目にはもはや墓守や番人のようで、間違えて店に入ってしまった日には店を出るタイミングを計ることすら難しい。だが終わっちゃった物を偏愛する彼岸の境地には、素人が知らない何かを感じるのだ。

さあ、ここまで来るともはや更正は難しい。となるとマニアの取るべき道はただひとつ。コレクターである。とにかくものをたくさん集めたものの勝ち、という意味でこれ以上判りやすい価値観はない。ところが、中古レコードコレクターという人種は割とメジャーだが、中古パソコンコレクターという人種はほとんど存在しない。なぜか？

たぶん、かさばるからなのであろう。

電脳街MAP

Macintosh専門店特集

TVCFでもすっかりお茶の間に浸透したMacintosh。今でこそ大メジャーなパソコンだが、3年程前なら、「デザイン専用」か、「マニアのおもちゃ」と思われていた頃もあった。今月は、そんな頃からMacを扱い続けているお店や、そんな頃のMacを今でも扱っているお店を4軒紹介しよう。貴方の探しているMacは、きっとここにあります。

秋葉館

東京都千代田区外神田3-6-16　TEL03-3255-8252

店長　鎌田 光さん

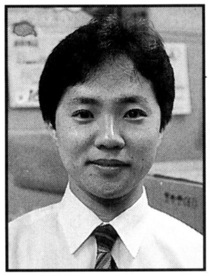


周辺機器では540MB以上のHDDがよく出ます。ギガクラスも珍しくありません。MOもありますが、むしろサイクエストのリムーバブルHDDは270MBで6万円台前半ということで、動きがいいです。店の特徴として、他の店ではあまり扱っていないPlus、SE用のアクセラレータや、SCSIカラーボックスなど、古い機種用の周辺機器もそれなりに出ています。品揃えが普通の店とは異なり、聞かれた事でも判る以上のことはお答えしていませんが、自分で苦労してMacを使いたいという方のために、扱い商品は全て動作チェックのうえ販売しています。

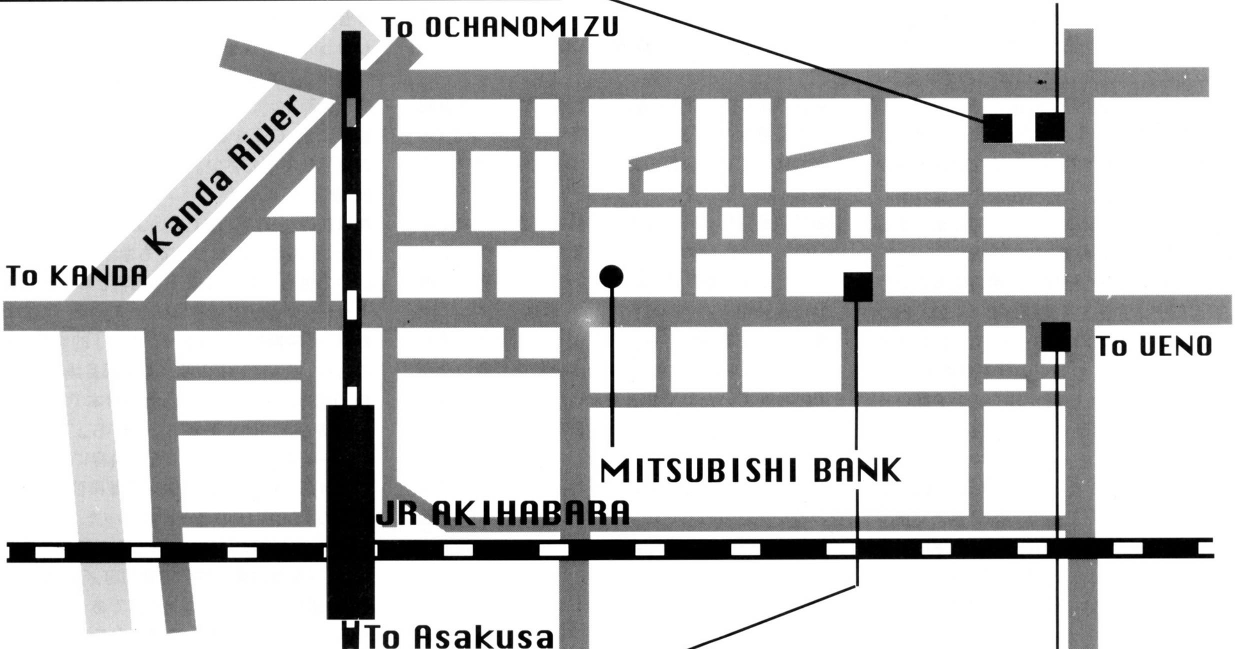
NAVIC

東京都千代田区外神田3-6-10 SCCビル1,2F　TEL03-3257-9391

ハードウェア担当　植村 祐司さん



PowerMacintoshのデモのイメージから、最近は3Dをやってみたいという質問が増えました。昔は資金的に法人系でしかできなかったことが、個人でもできる程度にコストダウンしてきたので、できることは広がりましたね。最近のMacは買い時が見えづらく待ちに入りがちですが、その際は、機能面で「何を待つか」が選択の鍵になるでしょう。コンピュータについて全く知識がない人がコンピュータを使う習慣を持つ過程は、私共にとっても刺激になるので、そういう人にどんどん来ていただいて、お互いに楽しんでいきたいと思っています。



リッツコンピュート2号店

東京都千代田区外神田3-14-6 恵光ビル2F　TEL03-3256-5010

店長　小川 三太さん

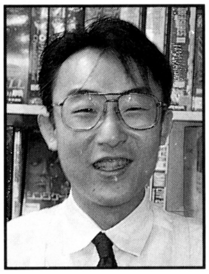


現在の売れ筋はLC/Performa575とPowerMacintosh6100、7100ですね。ただ、今年特によく売れた機種、となるとQuadra840AV、650です。現状でトップクラスの処理能力を持ち、数回行われたアップグレードキャンペーンによって安価にPowerPCにアップグレードできるというのが、お買得感を高めたのでしょう。最近の新機種は、店頭に並んでから3週間は何故かあまり反応がないのですが、雑誌等に載り始めてから、いきなり品薄の入荷待ち状態になるという感じです。すぐに新製品をご購入したい方は、発売直後にお越しくださるとベストかもしれません。

イケショップ　システムハウス店

東京都千代田区外神田4-7-5 石川興産ビル4F　TEL03-3251-9688

店長　渡部 至さん



AppleII全盛期はハードに詳しい男性のお客様ばかりでしたが、今はMacが変わったパソコンでなくなったためか、老若男女問わず、いろいろな層のお客様がお見えになります。あらかじめ下見に来たダンナさんが、あとで奥さんをつれてきたりとか。SE/30の頃までは、「Macの○○が欲しいんだけど、何が出来るの？」と、欲しいMacの機種が決まっているパターンでした。最近だと「○○がしたいんだけど、どのMacを買えばいいの？」と、目的から先に入る傾向がありますが、Macの進化に合わせて、店自体もそれに対応できるようにどんどん進化していきます。

ぐるぐるコミュニケーション

読者の広場

今回は、新装刊となった『GURU』に対する、読者のみなさんの賛否両論を集めてみました。…しかし読者って、言いたい放題だよな。

★まずは賛否両論の「賛」から。

●パソコンの雑誌を買おうと思って本屋に行くと、ほとんどがアダルトな記事ばかりで、ひどいなーと思っていたので、『GURU』には涙ものでしたヨ。(本間朝子／東京都大田区／26歳)

●買ってはみたもののパソコンをあまり詳しくは知らない私に、この本はむずかしくないだろーかという心配も吹き飛び、たいへんためになりましたし、あっという間に最後まで読んでしまいました。(堀口朋代／三重県尾鷲市／21歳)

●パソコンの本流をいく記事と大量の広告ということで、『月刊アスキー』を支持します。薄く軽い本ということで『EYE-COM』を読んでいたのですが、ドリフ的おふざけについていけずやめました。貴誌には、一風変わった連載が続くことを願います。(白井敬和／東京都足立区／33歳)

●以前の『GURU』は、ちょっと変。マニアックなのはいいけど、役に立たない。今度のは「実用的」で、しかも「読みやすく」翔泳社の本質がよく出ています。(佐伯俊世／福岡県福岡市／37歳)

●『アスキー』みたいに、半分カタログみたいになっていると、記事自体にいまひとつ信頼が置けなくなってしまう（メーカーの批判めいたことは何ひとつ載らなくなってしまう）。今後も、現在のちょっと変わった編集方針を守ってほしい。(村田稔／東京都杉並区／35歳)

●パソコン業界にヨイショなしの記事、読んでいてとても気持ちよいです。ほかのパソコン雑誌とはまったく違うコンセプト、とても気に入りました。(斉藤秀樹／北海道札幌市／27歳)

●いままでは10歳年下の弟が、すげー面白いといって買ってくるので読んでいたが、過激なレイアウトと、わけの分からないコラムの多さに目をまわし、自分の歳を痛感していたが、新装刊になって分かりやすくなった。やはり、あの内容についてこれないのは、私だけじゃなかったということか？(柳沢道直／東京都文京区／33歳)

●数多いパソコン雑誌のなかで入門編といえるのはあまりにチャチで、その点貴誌は、私のレベルにちょうど合うものでした。(稲永健／兵庫県芦屋市／33歳)

●Vol.7の特集は、本当におもしろかった。いろいろな雑誌を買っているが、ひさびさにとっておきたいと思った。貴誌は少々お値段が張るので、内容がすごく役立つとか、どこにも載っていないものじゃないと、続けてはなかなか手が出ないかもしれない。(三浦るり子／東京都杉並区／32歳)

●はじめてパソコンを購入するため、いろいろお勉強をしようと、パソコン雑誌を買いまくっているのですが、いまのところ『GURU』が一番よい。内容のバランスもよいし、コラムなども面白く読めるし、ページのレイアウトなども、ぐー。また買うよ。(寺田美紀／神奈川県厚木市／26歳)

★続きまして、賛否両論の「否」部門です。意識的に多く載せていきますが…ずいぶんとキツイな。それにしても、自分の雑誌への批判を、フツーこんなに載せるか!?

●新製品レビューなんて、他誌にまかせておけばいいでしょ。せめて『ぐるぐるコミュニケーション』だけは、前の形に戻してくれ!!(三野裕之／神奈川県浦和市／29歳)

●パソコン雑誌はどれも同じように思える。そんななか『GURU』はパソコンを広い社会現象のなかでとらえていたので愛読していたが、新装刊号は、あまりおもしろくなかった。(野口雅史／千葉県浦安市／28歳)

●独自路線が感じられた、夏休み以前のスタイルのほうが魅力的でした。『ブロス』や『WIRED』と張り合う方向への再転身を望みます。(橋詰靖之／大阪府豊中市／32歳)

●創刊号から愛読していたので、新装刊にはがっかりした。結局いまのパソコン業界は、パソコンをいじること自体に喜びを感じるオタクどもに仕切られているとゆーことでしょうか。本当は、パソコンで何をするかが肝心なハズなのに。(細貝亮／東京都江戸川区／25歳)

●とにかくパソコン雑誌のハード、ソフトの紹介記事は、ちょうちん記事ばかり。何も悪口を聞きたいわけじゃないし、広告が取れなければ雑誌の経営が成り立たないというのもわかる。しかし、プリプロ機や英語バージョンやβ版でたぶんよいだろうなんていういいかげんさや、プレスリリースそのまんまなんていうのはやめてほしい。雑誌の編集者は、一目見ればその製品がいいか悪いかすぐにおうでしょ。そのにおいを書いてほしいんです。以上。(瓜本忠夫／神奈川県川崎市／42歳)

●『ぐるぐるファクトリー』がなくなっていた。実はあのページが、一番おもしろかったのに。どうにかして、復活させてもらえないでしょうか？(磯谷佐智子／愛知県西尾市／26歳)

●巻末のコラムがなくなったのは残念。パソコンを知らない人間でも入り込める記事を増やしてほしい。(長岡義幸／東京都中野区／31歳)

●夏目房之介の連載はどうなったんだー!!(藤波勇吾／茨城県石岡市／18歳)

●以前は「『GURU』を読んでる」なんて人に言えない雰囲気があって、とても好きだったけど、新装刊で、どこにでもあるパソコン雑誌になってきた。もっと異彩で、むこーの世界を表現する雑誌であってほしい。(佐藤学／東京都田無市／29歳)

●昔の『宝島』にも似たあの勢いはどこに行ってしまったのでしょうか。一日も早く更生され、社会復帰されることをお祈りします。(中尾悟／大阪府東大阪市／35歳)

●なにか、こんなことやっていいのかよっ!!というのを見せてください。(長谷川博／福島県福島市／29歳)

●以前のパソコン誌でないような『GURU』もすてがたい。あれはあれでとても進歩していたと思う。いつの世も、進歩しすぎると評価がついてこないようだ。新装刊になり読みやすくなったのは事実だが、一時期の『ビックリハウス』的な要素も残してもらいたい。(中山明／東京都目黒区／29歳)

●『i-Dジャパン』亡きあとの日本で「侠気」のある雑誌の存在は立派だ。ただ、ちょっと見ないうちに一般のパソコン誌に近い内容になったのは少しだけ悲しい。(矢田目諭／宮城県仙台市／18歳)

●前の『GURU』のほうがよかった。結局、マーケティングは同じようなモノしか生み出さないのですね。(青嶋信廣／静岡県菊川町／34歳)

●『GURU』は、パソコン雑誌であってパソコン誌らしからぬことをやっていたところが好きで買っていたのに。『ぐるぐるファクトリー』や『過激床屋放談』がなくなってしまって、おしいことです。(中村良太／東京都小金井市／19歳)

●『GURU』は、よくみたら全冊（Vol.1〜5）購読しておりました。ワクワクして次号を待っていました。やっぱりハヤ過ぎたのかと、新装刊を見て感慨深くなりそうでしたが、連載コラムやニュース欄が変わっていなかったことに、ホッと胸をナデおろしたところです。ただし、ソフト紹介のページは、まったく喰い足りないものでした。『GURU』のような、ハード別の本づくりの壁をはじめて越えた雑誌だからこそできる、Macの弱点もWindowsの弱点もグリグリと突く、ツボを押さえた、ソフトのテスト記事をやるべき。(津島慎／

東京都中野区／32歳）
●ソフトや製品のレビューなど、他の雑誌で見れば十分。貴誌の目指したものは、そんなものではなかったように思うが…。（太田隆英／石川県河内村／39歳）
●思えば今年の4月、パフォーマを買ったのは、創刊された『GURU』を読み「そうか、パソコンを文房具的に遊ぶ感覚の人たちが出てきたんだ」ということを悟ったからでした。一定の機能のうえで、パソコンを自分の表現手段にしていこう、それが『不良のためのコンピュータ白書』だったと思います。『最低限クソDTP』のように、機能を求めるのでなくアイディアを充実させるような企画を待っています。（澤田暢／東京都練馬区／24歳）
●いまの『GURU』は、『ASAHIパソコン』のようだ。昔は、日本版『WIRED』になるかと期待したのだがなあ。（関正宏／東京都杉並区／23歳）
●どーして以前のスタイルで続けられなかったのか？　どこからかの圧力に負けたのか？（河合孝泰／愛知県名古屋市／30歳）
●コンピュータの具体的な使い方や新製品情報が載っているような雑誌には、『PC fan』のような安くてまとまっている雑誌もあるので、『GURU』にはこれからも「ハート」の部分に影響を与えるような内容を希望します。具体的には、『ぐるぐるファクトリー』の部分が、ひじょうによかったのに…。（古賀裕久／東京都文京区／21歳）
●夏休み前の『GURU』は、仕事上やむを得なくパソコンを使っていた私に、「いっちょう本気でパソコンやってやるか!!」と思わせてくれた。もっと「こんな使い方」「あんな使い方」を、目的を、ビジョンを見せてください。（田中寛／東京都中野区／28歳）
●パソコン雑誌とは思えないような、あんな企画こんな特集ができるのは『GURU』だけだ。あああ…だからやって！（深川正英／大阪府大阪市／25歳）



●いまさら『アスキー』のまねしたって仕方ないのに、と思います。もっと不良になってください。（新井浩／群馬県高崎市）
●やっぱ、文化としてのパソコンをマスの水準で月刊誌化するのには、無理があるのでせうか？（國松正源／奈良県広陵町／26歳）
●あっ!!『シムと生活』がなくなってる…。復活希望！（橋間司／和歌山県和歌山市／22歳）
●『GURU』よ、僕らを見捨てないでくれ。（白鳥哲／千葉県野田市／31歳）

★いろいろなご意見を、ほんとうにありがとうございます。『GURU』は、みなさんの考えを取り入れながら、前進していきたいと思います。ご意見ご希望は、巻末のハガキなどで、以下までどうぞ。
港区北青山3-10-18北青山本田ビル（〒107）
翔泳社『GURU』コミュニケーション係
FAX＝03-5467-0187
NIFTY-Serve＝LDB00443

●コモエスタ坂本の 治外法権

第3回　狂犬病の予防接種について

「ペットの飼える電子手帳」と銘打った製品が続々と発表されている。セガの『フェリエ』は、気に入った子猫を選んで毎日エサとトイレの世話をすると、3か月ほどで大人になり、いろいろ話しかけてくるらしい。エサを忘れると、猫は画面から消えて、隠れ場所を探さなければならないそうだ。いっぽう、カシオは猫だけでなく犬も飼える。その名も『ペット・テレパシー』だ。

パソコンにおいても、最近では熱帯魚を飼うような飼育ソフトはもはや一般化しているようなので、コンピュータとペットとの関わりは今に始まったことではないだろう。では、コンピュータのなかで飼育している犬は、飼い主に噛みつくことがあるのだろうか？

これを笑い話だと思ってはいけない。かと言って、ことさらオカルティックに考える必要もない。単なる事実として、真剣に考証しようとしているのだ。ここで一冊の本を取り出してみよう。ライアル・ワトソンの『シークレット・ライフ』だ。この本のある側面は、石器にはじまりコンピュータへとつながる道具の進化史である。そしてもう一つの側面――むしろこちらの方がメインなのだが――が、無生物たる道具たちの生命性に関しての考察だ。

そもそも生物／無生物という枠組みも、原子や素粒子のレベルで考えれば脆いものである。人間は生物であって、道具は無生物であり、双方はコミュニケートできない、という単純な割り切りはもはや通用しないかもしれない。ワトソンも人間と道具間の「電気的な」営みという観点から、以下のようなことを述べている。

ある種の石、すなわち水晶などの「パワー」についてはよく語られるところだが、これらの結晶体でも純粋な構造を持っているものはまれで、たいていは電気的平衡の乱れた状態である。この状態は結晶としては不安定なので、環境による微調整が必要となるのだが、その時に周囲の情報（エネルギーと言い換えてもいいかもしれない）を蓄積する、という仕組みらしい。

ここで私が何を言いたいか、「石」という言葉でピンと来た人もいるかもしれない。そう、我々が普段向き合っているコンピュータの核がこの「石」、すなわちシリコンなのだ。事実、工業用シリコンは純粋な素材に一定の不純物を極めて厳密な割合で加えるという製法を取られている。ということはつまり、この不純物含みのシリコン、すなわちコンピュータも人間と直接何らかの情報を交換しているのではないか、と考えてみたくなるのも人情だ。

こう考えると、コンピュータでしばしば起こる不可解な現象にも説明がつくのではないだろうか。よくマシンの調子のことは「機嫌」と擬人化されるが、これもあながち比喩ではない。マシンは意志を持った人間と対面しているうちにその情報を蓄え、マシン自体も意志を持って振る舞ってしまい、これが人間と噛み合わないとき、「機嫌が悪い」という状態を呈するのであろう。

さてでは、先の飼育ソフトの話に戻る。コンピュータ犬と人間が噛み合わない場合にはどうなるのか。「噛み合わない」のだから、人間が一方的に犬に噛まれるに違いない（笑）。飼い犬には手を噛まれないように注意しよう。

治外法権HPの問い合わせと電子メール：GHA00112@niftyserve.or.jp

Jリーグ プロフェッショナル・サッカー 1994

まだまだデータ募集中　雑誌対抗戦に応募するのは、あなただ!!

●問合せ　ビクターエンタテインメント　03-3406-9132

パソコン雑誌対抗の日本一決定戦が行われるこのゲーム。GURUでは、先月号から読者のみなさんのチームデータを募集しています。今回は、より強いチームを作るための秘訣「フォーメーション」を考えます。



PC-98シリーズ版
9,800円

FM TOWNS II版（CD-ROM）
9,800円

電撃王
Oh!FM TOWNS
GAMEBLAST
コンプティーク
マイコンBASIC Magazine
LOGiN
GURU

日本一決定戦に向けてみなさまのご協力を

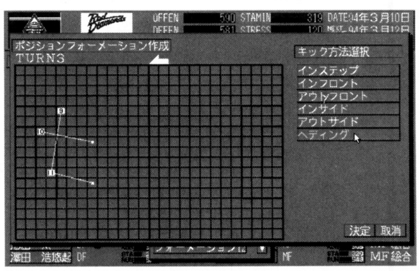
プレーヤーが監督となってチームを優勝に導くシミュレーションゲーム『Jリーグ　プロフェッショナル・サッカー 1994』。来年１月に、このゲームを使ったパソコン雑誌対抗の日本一決定戦が行われることは既報のとおりです。GURUでは、読者のみなさんから、百戦錬磨のデータを大募集しています。

この日本一決定戦には、ひとつの雑誌から２チーム出場できるので、編集部では自ら作ったチーム「浦和レレレ」も参加させるべく、特訓に励んでいる。読売ヴェルディから知らぬ間に浦和レッズに移籍していた鋤柄昌弘選手をカツラのCMだけで終わらせていいのか、という義憤に燃えた我々は、彼を最強のスターFWにすべく猛特訓を開始。その努力が通じてか、サッカーの哲学も知らぬまま、わが「浦和レレレ」は対コンピュータ戦では開幕から大健闘。６戦消化時点では、トップと勝率タイの３位だ。

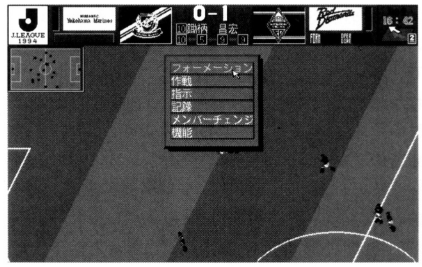
しかし、このぐらいで安心はできない。わがチームの最終的な目的は、なみいる対抗雑誌陣を抑えて、みごと決勝大会で優勝すること。しかし、読者のみなさんの作ったチームのほうが強ければ、決勝大会にはそちらを出場させる。さあ、君の作ったチームを、GURU代表として送り込んでみないか！

サッカーで最も大切なフォーメーションを考える

今月は、前回サボったフォーメーションについて研究する。選手を、ボールの動きに合うように的確なポジションに置くことがフォーメーションだが、ここでは単に、「浦和レレレ」のスターFW、鋤柄を目立たせるためのフォーメーションを考えてみる。



選手をグラウンドに配置しながらフォーメーションを作成



試合中は左クリックのコマンド入力モードで指示を出す

メインメニューで「FORM」をクリックし、ポジション単位あるいは個人単位で、待機位置やパス、シュートなどの動きを指示してゆく。ここでは、「パスがDFからMFにつながったらすかさずゴール前のFWにボールを回し、FWが鋤柄なら、そこで強烈なヘディングシュート!!」とするパターンを考えた。名付けて「ヅラアタック」。あとは試合で、必要に応じて指示を出せば、フォーメーションが実行されるというわけだ。

ところで、今回対戦する他誌は、ゲーム雑誌が多い。おそらく、段ボール何箱分もの応募のなかから選び抜かれた、必勝の技を繰り出してくるに違いない。それに対抗するためには、GURUチームも、最強の布陣を敷かなければならない。そこで、ゲーム専門誌ではないGURUだと応募者選考の倍率も低くなるだろう（!?）というメリットも考えつつ、どしどし応募してください。詳しくは下記を参照してください。

<応募要領>

『Jリーグ　プロフェッショナル・サッカー 1994』の「ユーザーディスク」をコピーして『GURU』編集部までご郵送ください。

ディスクのラベルには、監督名、クラブ名、住所・氏名、PC-98シリーズ版かFM TOWNS II版かの別を明記してください。

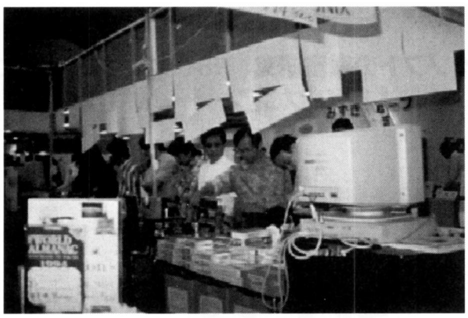
ゲームをプレーしているなかでの、どの時点でセーブするかは、自由です。つまり、チームがベストなコンディションだと判断したときのデータをお送りください。

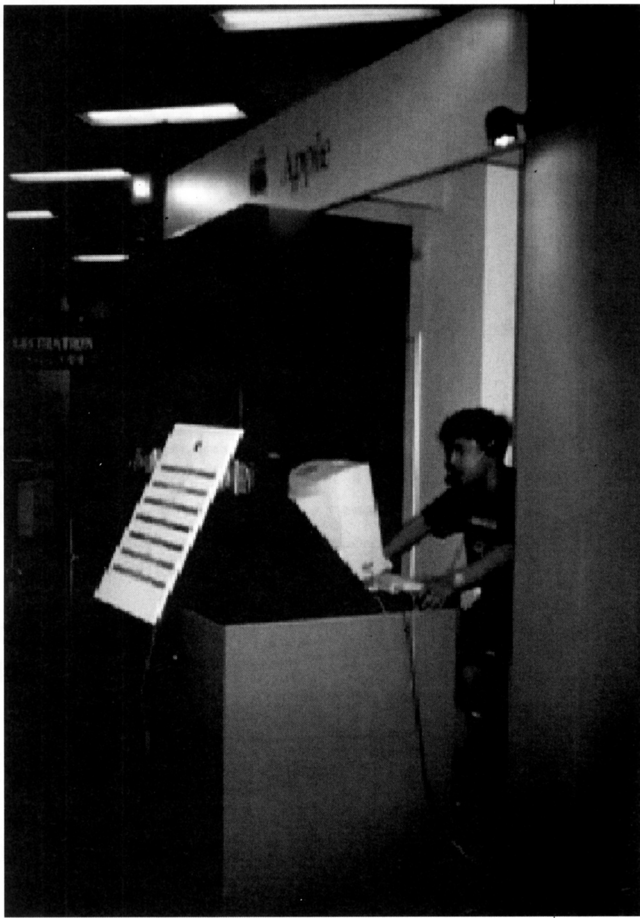
締切は12月10日（土）、当日消印有効。

MEDIA WORLD Expo Tokyo '94報告

静止画から動画への移行

昨年は、CD-ROMソフトのカタログを求める人々でサンシャインの階段を埋めたMEDIA WORLD Expoだが、早くもCD-ROMがイベントの王座を明け渡したようである。今年の話題の中心はMPEGによるビデオCDだったようだ





加藤賢崇氏によるCD-ROMディスクジョッキー

CD-ROMは相変わらず健在

本誌6号でもお知らせした「MEDIA WORLD Expo/Tokyo '94」が9月30日から3日間にわたって行われた。今年の出展ブース数は24。場所は、池袋のサンシャインシティである。

会場の出展ブースは、ふたつの展示品に分断された感があった。ひとつは、例年通りのCD-ROMタイトルが並ぶブース。そして、ふたつめがMPEGのボードを展示するハードメーカーのブースである。

昨年の今頃は、Windows対応のCD-ROMがあるというだけで珍しいという、供給がまるでない状況で、CD-ROMというメディアがどれだけのユーザーを獲得できるのかさえわからない中での開催だった。そんななか、海外CD-ROMタイトルがこのExpoで展示されるだけでなく、販売されたということには大きな意味があったと思う。昨年に続き今年もCD-ROMの販売をしたパシフィックハイテックインコーポレーテッド社のカタログを入手するために、会場が埋まり、階段まで人の列ができたことを覚えている人がどれだけいるだろう。このカタログで海外でのCD-ROMの普及に対して認識を改めた人もいるに違いない。わずか1年でこの状況が一転し、Windowsユーザーも記憶できないほどのCD-ROMタイトルが発売された。

今年の各社ブースでは自社プロモートのCD-ROMが並び、早くも発売過剰なイメージまで漂い始めている。

注目のMPEGボード

そんな中、MPEG対応ボードが各社から出展されていたのには驚いてしまった。MPEGについては、今後のMPEG2のこともあり、雑誌なども慎重であまり書かれた記事を読んだことがない。しかし、会場には何種類ものMPEGボードがならんで「ポストビデオテープはこれ」的な展示が行われていたからである。

MPEGは、世界的な動画圧縮の規格で日本では通信カラオケにこのデータが使われている。最近、映画の録画されたMPEGデータのCD-ROMもすでに発売されており、ビデオテープよりも制作コストが安いため注目されている規格である。パソコンで対応するためには、CD-ROMとMPEG対応ボードが必要で、すでにこのMPEGボードは5万円ほどで販売が始まっている。

わずか1年でまったく変わってしまうこの業界だけに、来年が楽しみな展示品である。

次 号 予 告

21世紀の
ゲーム大全集

次世代ゲームとパソコンゲーム。どちらも捨てがたい！
ラインナップの速報、オススメゲームなどの情報を徹底紹介
ゲームの世界をよりよく楽しむための完全ガイドブックで
年末はゲーム三昧だ！

●続々登場する高性能の次世代ゲーム機
サターン、プレイステーションをはじめこの秋の新ゲーム機、新作ソフトの徹底研究、98、Macなどの実力比較
●『SPACESHIP WARLOCK』『TOTAL DISTORTION』ほか人気パソコンゲーム10本、攻略事典、攻略速報
「先に進まない！」「話題作だけれどオモシロイの？」をクリア！
●仕事の合間についやってしまう魔のオンラインソフト
●総勢30人コラム「私がハマったおすすすゲーム」

GURU次号は12月8日(木)発売です!!

編集後記

これまでの生涯で最も高額な買い物はというと、Selmer製TenorSaxということになる。まだかせぎも少なかった頃の話だから、まさに「大枚はたいて」の買い物だった。そのTenorも今や部屋の片隅でほこりをかぶる不幸な境遇。買い主は、ただ所有しているだけでも十分幸福とうそぶくまでに堕落したが、それに次ぐ高額買い入れ品となったパソコンは、同じほこりをかぶる境遇でも主人からの視線が冷たい。パソコンがその存在だけで人を幸福にできるようになるのはいつの日か。(ら)

宮沢章夫のファンなら「正義の味方引っ越しセンター」をご存じだろう。私の住む市川市にも正義の味方引っ越しセンターのトラックがやって来る日が来た。朝の4時まで銀座のカラオケボックスで過ごし、東西線で西船橋〜三鷹間を睡眠のため往復した私の目の前に正義の味方引っ越しセンターのトラックがとまった。制服姿の正義の味方たちは酔っぱらった私の「オハヨウございます、また来てくださいね」という声に、ニコやかに挨拶を返してきた。(M.F)

うちの母の日課は仕事、家事、ねこ、そして「テトリス」。「テトリス」はあの一番最初のファミコン版のものだ。本当に毎日やっている。はじめのうちは父が戻ってくるときには、とりあえずスイッチを切るそぶりなどを見せていたが、最近は電話が鳴ってもやめない。毎日毎日1〜2時間はやっているようだ。始めたのは確か5年くらい前だったのではないだろうか？　いや、もっと前だったかもしれない。母にテトリスを教えてしまったことを私はかなり後悔している。(か)

半年ぶりにテレビを観た。『紺野美沙子の科学館』というものであったが、そこに映し出されていたテニスウェア姿の紺野が妙になまめかしく、かすかな危険を感じた。これが「隠蔽されたエロチシズム」なのか。ところで『日経クリック』って、何だありゃ。大槻ケンヂに、パソコンについて説かれたくはない。腹の突き出たおじさんが「こういうのが若者ウケするんだよな」とか言いながら作っているのがミエミエ。ああいうのの後追いをする義務は、GURUにはないにちがいない。(安健)

うそでしょっ？　っていうぐらい忙しくて本屋なんて行ってられませんよ状態のあなたに、しつこく続く余計なおせっかいシリーズ、すでに第三弾だ。G・E・Bでおなじみ白揚社発行『哲学事典〜というものについて考える』。読んだ方はe-mailを。もうひとつ「公平な立場を確立するため、当面は広告を入れません」と宣言するゲーム批評誌は、その名もズバリ『季刊　ゲーム批評』(マイクロデザイン出版局刊)。気合い入ってます。
h_ueno@twics.com or h_ueno@rimnet.co.jp

先月も不幸だったが、今月もその勢いは止まらない。とどめを刺したのがKDDからの約3万円の請求書と青キップ2枚1万4千円。…Doorsの「Waiting For The Sun」とDead Can Danceの「Sarpents Egg」で底辺までめりこんだあと、ケルト系のユーロトラッドな曲聞いて寝るのが、私にとっての小さな秋。関係ないが、ステレオに細工して、右からケイト・ブッシュ、左から谷山浩子を流すというのはなかなかいい考えだと今思った。同意者求む(鯖)

PC-PAGE GURU vol.8
1994年11月30日発行
発行人●長廻健太郎　編集人●安藤聡
発行所●〒107 東京都港区北青山3-10-18 北青山本田ビル
株式会社翔泳社　TEL 03-5467-0361(販売)●TEL 03-5467-3777(編集)

Products Release Info

マシン本体

アップグレード可能のサブノートPC！

AcerNote 300C



革新的なモジュール化設計に成功した結果、サブノートサイズのパソコンでは世界で初めて、メモリ、ファックス／モデム、ポインティング・デイス、バッテリ・パック、HDD、キーボードさらにはBIOSにいたるまでお客様ご自身の手で簡単に拡張することが可能になりました。

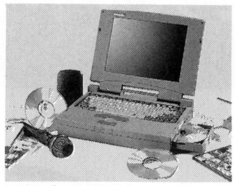
■298,000円　■10月3日発売
■DOS/V
■日本エイサー(株)
■問／03･3463･3222

＜資料請求番号R 01＞

マシン本体

CD-ROM内蔵型ノートパソコン遂に登場!!

CD-ROM内蔵型ノートパソコン（名称未定）



A4サイズノートPCとしては初の、5.25インチオートローディング倍速CD-ROM内蔵型シリーズ8モデル。10.5インチDSTNカラー液晶画面（65536色）。CPUにはDX4、またはPentium。キーボードは日本語版OADG88キー。PCMCIAはType2×2（Type3×1）で、オプションでType2×4（3×2）まで拡張可能。

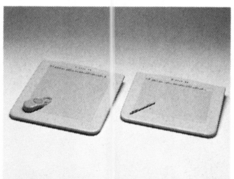
■498,000円～　■10月末発売
■DOS/V
■アサヒシステム
■問／03･3251･7691

＜資料請求番号R 02＞

タブレット

コードレスタブレット

HT-2000シリーズ



CADからCGまで多彩な用途に対応する高精度・高信頼性／低価格のコードレスタブレット。各種接続フォーマットの内蔵により、多くのソフトウェアが使用可能。またスタイラスペン使用時は、256レベルで筆圧情報を感知。

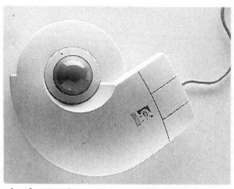
■93,000円～　■発売中
■対応／アプリケーションに依存
■セイコー電子工業(株)
■問／043･211･1306

＜資料請求番号R 03＞

マウス

Mac用高機能トラックボール。専用ソフト付き

トラックマン･マック（TrackMan Mac）



人間工学から生まれた、独特の優美な形状を持つ、高機能トラックボール。付属の専用ソフトウェアで、3つのボタンを使って様々な設定が出来ます。ワープロソフト、DTPソフトなどでの入力操作が格段に楽になる様なキーの設定をボタンに割付けたり、カーソルの速度や感度の調整なども出来ます。右手用。このシリーズには、マウスもあります。

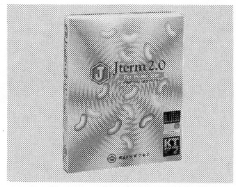
■14,800円　■発売中
■対応／Mac SE以降の全機種
■(株)ロジテックパシフィック
■問／03･3578･8851

＜資料請求番号R 04＞

通信ソフト

Power Mac用パソコン通信ソフトの定番

Jterm2.0 For Power Mac



Mac用パソコン通信ソフトの定番「Jterm 2.0（93年11月発売）」のPower Macネイティブ対応版。機能的には従来の68K Mac用「Jterm2.0」と同じであるが、動作速度は約1.4倍高速になった（エミュレーションモードと比べて）。尚、680X0系Macのもとでは動作しません。

■9,800円　■発売中
■対応／Power PC及びPower PCアップグレードカード装着のMacのみ。680X0系Macは不可
■(株)まつもと
■問／0462･61･0070

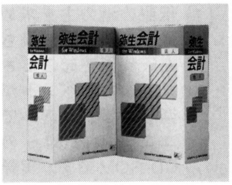
＜資料請求番号R 05＞

Products Release Info

財務・会計ソフト

ハイコストパフォーマンスを誇る最強のWindows版会計ソフト

弥生会計 for Windows 法人／個人



弥生会計for Windowsは、弊社商品開発のコンセプトである「使いやすさ」を徹底的に追及した個人・中小法人向けWindows版会計システムです。基本操作はWindowsに則った直感的な操作で行え、ユーザーの利用環境に応じ初心者にはやさしく、実務担当者にも使いごたえ充分の機能(手形・部門管理他)を備えた製品です。

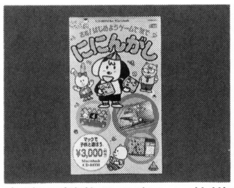
■80,000円 ■9月30日発売
■対応／Windows3.1
■日本マイコン販売(株)
■問／06･452･0023

＜資料請求番号R 06＞

教育関連ソフト

さあ！はじめようゲームで歌で「ににんがし」

ジュニア･マック塾 ににんがし



4人のキャラクタとおしゃべりしながら、聴いて、歌って、遊びながら「九九」が自然と身につく、親子で楽しめるCD-ROMです。子供たちの学習意欲を刺激する楽しい仕掛けやいろんな音が収録されています。

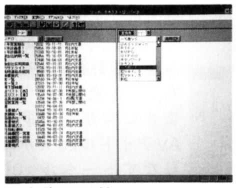
■3,000円 ■11月1日発売
■対応／Mac Color Classic以降
■テイチク(株)
■問／06･271･1361

＜資料請求番号R 07＞

ユーティリティソフト

Windowsでワープロ文書を相互に変換

リッチ･テキスト･コンバータ総合版 リリース1 for Windows



Microsoft Windows Ver.3.1上で、16社30形式のワープロ文書や表計算データなどの変換が可能。文書書式、罫線、倍角や文字修飾情報も双方向で変換が可能。
マウス操作だけで変換作業が行える軽快な操作性。変換機能の他に文書判別、ワープロディスクの圧縮DOSファイル化などワープロ文書の管理を支援するユーティリティも搭載。

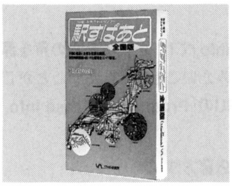
■79,800円 ■発売中
■対応／Windows3.1
■アンテナハウス(株)
■問／03･3234･9631

＜資料請求番号R 08＞

ユーティリティソフト

「駅すぱあと全国版」がバージョンアップ

「駅すぱあと全国版(94年10月版)」「駅すぱあと全国版(Mac版)」



運賃早わかりソフト「駅すぱあと全国版」をバージョンアップした「94年10月版」を10月14日（鉄道記念日）より発売開始。同時にMac対応版も発売、価格は他全国版と同様に29,800円です。現在発売中の「首都圏版」の価格を19,800円から12,800円に。そして既存ユーザーには7,000円で「94年10月版」にバージョンアップサポートします。

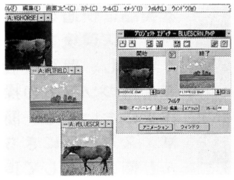
■29,800円 ■10月14日発売
■対応／Windows､MS-DOS､Mac(漢字Talk 7以降)
■(株)ヴァル研究所
■問／03･3370･0547

＜資料請求番号R 09＞

ユーティリティソフト

映画、TVコマーシャルでおなじみのCG技術「モーフィング」をパソコンで実現！

Photo Morph 2



映画、TVコマーシャルで話題のCG技術「モーフィング」をWindows3.1上で実現。編集効果としては、モーフィングの他に、ワーピング、トランジション、モーションモーフィング、カラーキーイング、アルファチャンネル使用の特殊透過効果など多くの編集機能があります。

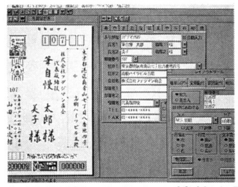
■25,000円 ■発売中
■対応／Windows3.1
■エクセルソフト(株)
■問／03･5440･7875

＜資料請求番号R 10＞

ユーティリティソフト

Windows用の手筆宛名印刷ソフト

筆自慢WIN Ver1.0



株式会社メッツから「筆自慢WINVer1.0」が11月10日に発売されます。MS-DOSで既にその名を轟かせている筆自慢シリーズ、他の同様ソフトとは比較にならない機能を誇り、結果販売本数2位の実績を築き上げています。もちろん、Windows版も他とは一線を画す基本スペックに操作性を実現しています。

■6,980円 ■11月10日発売
■対応／Windows
■(株)メッツ
■問／03･5485･4042

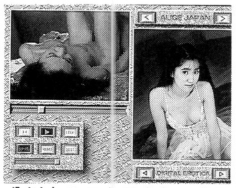
＜資料請求番号R 11＞

Products Release Info

CD-ROMソフト

究極のエクスタシー完全保存版！

DIGITAL EROTICA アリスJAPAN



最大ボリュームの２枚組！　朝岡実嶺、新堂有望、西野美緒、桐島ももこ、藤田リナ他、まさに今が旬の豪華AVアイドル20人が織りなすトータル100分以上のエクスタシームービーと鮮烈フォトを濃縮パッキング！

■9,800円　■発売中
■対応／Windows3.1、Mac
■(株)KUKI
■問／03･3476･8661

＜資料請求番号R 12＞

CD-ROMソフト

噂のCD-ROM サブスタンスvol.2 いよいよ発売

Substance Digizine vol.2



視覚・聴覚・知的好奇心を刺激する１枚。アクシオム・レコード社を創立したビル・ラスウェルらのビデオインタビュー（音楽サンプルは20種以上）、コエンライン作品集、アニメ、最新CD-ROM制作状況、ウッドストック’94の情報も入っています。また、近頃話題のマインドテクノロジーについて、脳の機能、サウンドセラピー等も満載。

■4,800円　■11月15日発売予定
■対応／Windows3.1
■CCIC JAPAN
■問／03･3388･8751

＜資料請求番号R 13＞

CD-ROMソフト

マウステクニックが冴える本格的釣りゲーム

ウキウキ釣り天国 ～幻の天国～



伝説の池の主を求めて、自然と謎に満ちた天狗池で起こるさまざまなイベントが楽しめる、リアルでユニークな釣りのCD-ROMです。実際の釣りと同じように仕掛けの選定や環境に応じたポイントとタナの選択が結果を大きく左右します。四季の変化にあわせたリラクゼーション音楽が再生されるモードもあります。

■5,800円　■11月１日発売
■対応／Mac LC Ⅱ以降
■テイチク(株)
■問／06･271･1361

＜資料請求番号R 14＞

アクセサリ

机の上の能率整理術

ノートパソコン収納用本箱



ノートパソコン収納本箱は、限られた机の上のスペースを有効に使うために生まれました。上段に小型プリンターを置き、下段にはノートパソコンを納めることをイメージして作った、一台３役の木製本箱です。
パソコン収納部には、スライドテーブルが付いていますので、ノートパソコンを使いたい時にサッと引き出して使うことができます。

■10,800円　■発売中
■対応／ノート型パソコン
■(株)矢野船装
■問／0898･41･8188

＜資料請求番号R 15＞

マニュアル

マニュアルビデオに新バージョン対応版が登場！

ウインドウズ版マニュアルビデオシリーズ『WINDOWS MASTER』



本製品は快適なウインドウズ環境を正しく理解し、豊富な機能を持つソフトの操作上においても、簡単・スムーズにきちんと使いこなして頂く為に各ソフト会社監修協力のもと構成。今回発売の５タイトルは、エクセル5.0（上下巻）、ロータス1-2-3R5J。パワーポイント4.0、ワード6.0。

■5,800円　■10月７日発売
■(株)NSS
■問／0120･092･168

＜資料請求番号R 16＞

このコーナーでは、もっとも商品を知り尽くしているメーカーの人からの声をダイレクトにお届けします。知っているからこそ伝えられる魅力が満載。掲載されている商品は、巻末のハガキを使って資料請求することができます。資料を集め、納得の行く買い物をしてください。

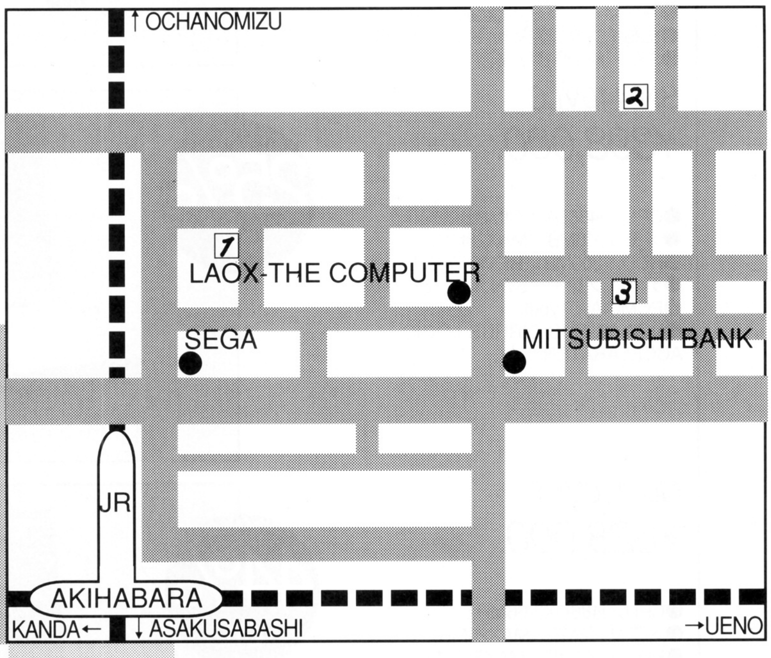
また「Products Release Info」では、各社様からの声を募集しております。売り込みたいこと、伝えたいことがございましたら、ぜひGURUの「Products Release Info」をご利用ください。

●応募方法

専用用紙をお送りいたします。下記にご連絡下さい。
〒107　東京都港区北青山3-10-18北青山本田ビル
TEL 03-5467-3459　FAX 03-5467-0360
株式会社　翔泳社
広告課パブリシティ係　担当・藤井(寿)
なお、原稿締切は下記の通りとなっております。
例：１月８日発売号の締め切り　11月11日(金)
２月８日発売号の締め切り　12月19日(月)
となります

GURU独占 お買得REPORT

12月最新!



PICK UP!! SHOPPER.

- ●DOS/Vアイランド・・・・・・・ 1
- ●アサヒシステム株式会社・・・ 2
- ●フリップフラップ・・・・・・・ 3
  （株式会社サイメトリックス）

今月の
目玉商品
得選
9機種！！

巻末のアンケートハガキ面のチケットをもって行くとオリジナル特典が受けられます。

GURU　12月号特別限定価格！

GURU
独占
買い得直前レポート
GURU Shopping Report

フジテレビ「どう〜なってるの？」出品で好評！
”提案型メーカー”のノートPCは必需品！

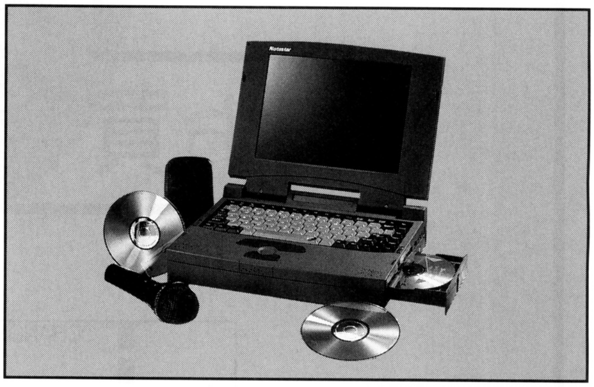
前略、最近はいろんなノートパソコンが登場し、いったい何を買えば良いのかお困りの方も沢山いらっしゃることと存じます。
帯に短しタスキに長し、どんなものでも適材適所がございます。ここはひとつ私共に相談してみて下さい。きっとお役に立つアドバイスをさしあげられると思います。何はともあれ以下に少しご参考になるノートパソコンをご紹介いたします。皆様のご納得のいくご購入をお祈り申し上げます。

■本格的マルチメディアノート誕生

A4サイズにCD-ROMドライブを内蔵。16ビットサウンドチップ内蔵で完璧なMPC仕様。更にMPEGデコーダチップ搭載のオプションによって最新の画像データ処理にも対応可能。TVチューナーやPCMCIA/TypeIIIなどモジュール交換によって様々なシチュエーションに適応します。大きな対応力を秘めた最新製品です。

NB-475CD10 *CPU/i486DX4-75MHz*
¥498,000.
NB-400CD10 *CPU/i486DX4-100MHz*
¥538,000.

●メモリ／8MB（MAX20MB）
●HDD／340MB
●ディスプレイ／DSTN-カラー10.5インチ
●PCMCIA／TypeIII
●キーボード／日本語OADG88
●5.25インチCD-ROMドライブ内蔵
●3モードFDD標準装備



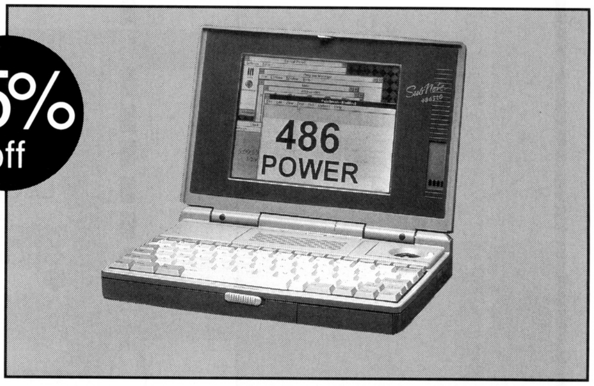
■B5サイズカラーサブノートの決定版

CPUはDX2-40とクラス最高峰を誇り、メモリ・HDDともに真のWindows環境を提供しています。液晶はカラーSTNにも関わらず、実際の表示はD-STNを遥かに凌ぐものになっています。VGAチップにはCIRRUSLOGICのVL-Busバージョンを採用、ビデオRAMを1MB搭載することにより外部ディスプレイに1024×768ドットで256表示を可能にしています。

SN-440VLC
¥398,000.

25% off

●CPU／i486DX2-40MHz
●メモリ／8MB（MAX20MB）
●HDD／200MB（REMOVABLE）
●ディスプレイ／STNカラー8インチ
●PCMCIA／TypeII
●VGA VL-BUS CIRRUS LOGIC ACCELARATER



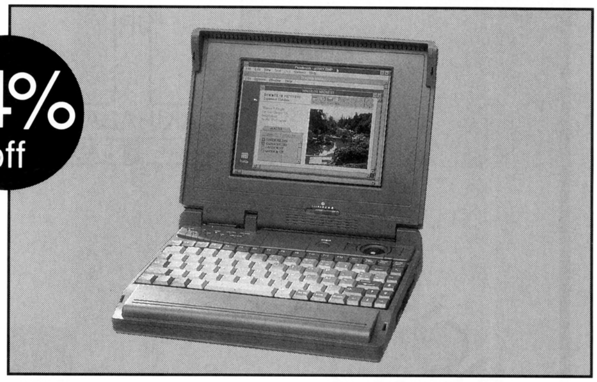
■TFTカラー液晶搭載A4サイズノート

TFT採用モデルとしては破格の値段で今話題の価格破壊モデルとしても有名です。キーボードの配列はUS101ながらキートップにひらがな表記をしているというオールラウンド・ワールドワイド・キーボードを採用。日本語キーボードでは操作できなかった英語版のオリジナルソフトを満喫できます。また、ドッキングステーションの利用でデスクトップを凌駕するスーパーマシンに早変わり。

NB-466VLT
¥628,000.

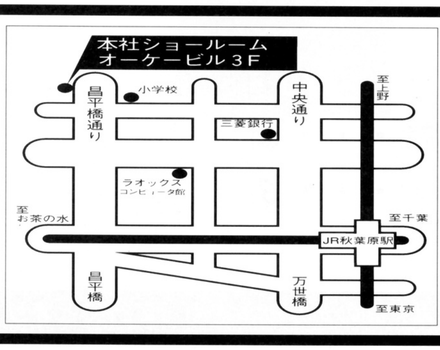
44% off

●CPU／i486DX2-66MHz
●メモリ／8MB（MAX20MB）
●HDD／200MB（MAX500MB）
●ディスプレイ／TFTカラー
●PCMCIA／TypeIII
●ステレオスピーカー内蔵



アサヒシステム株式会社

■住所／〒101　東京都千代田区外神田２−９−９　OKビル　B1F　TEL／03−3251−7691　FAX／03−3251−7692
交通／JR山手線・京浜東北線、営団地下鉄日比谷線　秋葉原駅　営団地下鉄銀座線　末広町駅　営業時間／平日10：00〜19：00定休日／毎週水曜日



GURUだけの
☆大特典☆
期間中本誌ご持参の方のみ
さらに、掲載価格より
１割引き

〈資料請求番号156〉

GURU　12月号特別限定価格！

GURU
独占
買い得直前レポート
GURU Shopping Report

モービルコンピューティング指向の方に・・・。ノートパソコン専門店です。

今年になってから各パソコンメーカーから続々とノートパソコンの新製品が投入され、モービルコンピューティングを目指すファンも増え続けています。そんなノートファンのための専門店。本店6月オープン以来好評を得ています。SX-25からDX4-75まで、お好みの製品をお選び下さい。

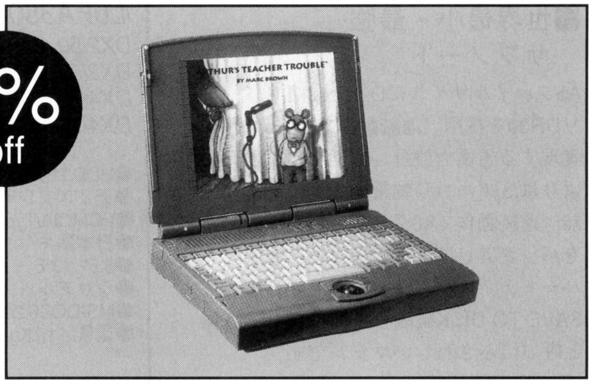
■DX2-50採用、SB-NOTEシリーズ

i486DX2-50MHz採用のノートパソコン。A4ファイルサイズに、TFT液晶画面（256色同時表示）操作性に優れたキーボードをはじめ、サウンドブラスター互換チップ内蔵、大型トラックボールなど使い勝手を優先した設計となっています。

SB-NOTE（SB-752）
¥398,000.

- ●i486DX2-50MHz
- ●A4ファイルサイズ
- ●3.0Kg
- ●9.5TFTカラー
- ●4MB（最大20MB）
- ●2モード
- ●PCMCIA タイプ3
- ●操作時間約2時間
- ●サウンドブラスター互換チップ搭載

5% off



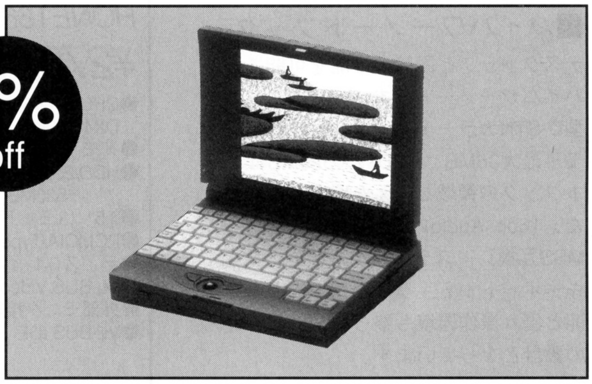
■DX4-75採用、A5サイズ最強サブノート

A5ファイルサイズ、1.7Kgの超小型軽量サイズながらDX4-75MHz採用、7.8インチD-STNカラー液晶を搭載し、ビデオ回路は512KB、VESAローカルバス、標準250MBのHDD、メモリ最大20MB、外付3モードFDD、PCカードTypeIIIと装備・拡張性共にトップクラス。とにかく小型・軽量をお考えの方には最適。

SWIFT M（SWM-170）
¥CALL.

- ●i486DX4-75MHz
- ●A5ファイルサイズ
- ●1.7Kg
- ●7.8DSTNカラー
- ●4MB（最大20MB）
- ●3モード
- ●PCMCIA タイプ3
- ●操作時間2時間〜4時間
- ●乾電池ケース利用可

5% off



■1台で4つの機能。カラースキャナ登場

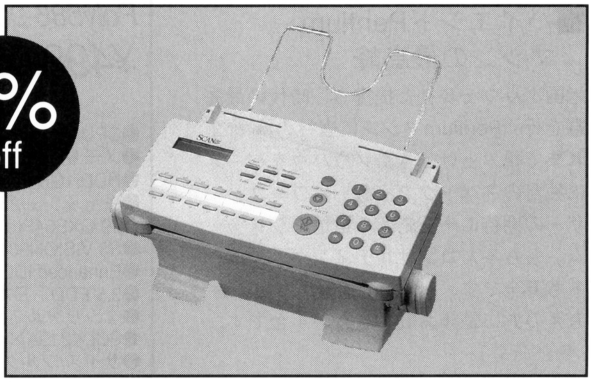
FAXモデム、カラープリンタ、日本語処理ソフトを組み合わせるとカラーFAX、カラーコピー、OCR、24bitフルカラースキャナと1台4役をこなすデスクトップ小型スキャナ。デスク周辺の環境をアップさせる予定の方には最適のオプションです。

SCAN FX
¥88,000.

- ●24bitフルカラー
- ●最大解像度1200dpi
- ●自動文字認識機能
- ●自動給紙機能
- ●プッシュダイヤル+ワンタッチダイヤル機能
- ●3モード

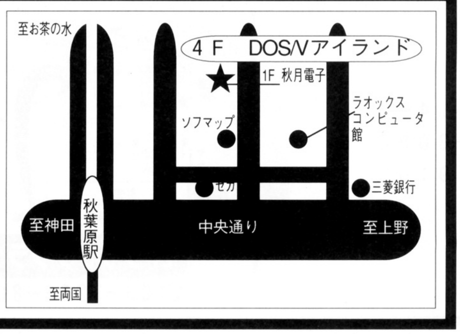
※各種付加機能を使うためには周辺機器・ソフトウェアが必要です。

5% off



DOS/Vアイランド

■住所／〒101　東京都千代田区外神田1－8－3　野水ビル　4F　TEL／03－5256－5755
交通／JR秋葉原駅より徒歩5分
営業時間／11：00〜19：00
定休日／毎週火曜日（但し祝日の場合には営業）



GURUだけの☆大特典☆
期間中本誌ご持参の方のみ
SSK-BELL特性
ボールペンプレゼント！！

〈資料請求番号157〉

GURU　12月号特別限定価格！

GURU 独占 買い得直前レポート

GURU Shopping Report

サブノートからハイエンドPCまでトータルソリューションの提案で完全サポートを目指します。

当店はPC/AT関連の周辺パーツとCD-ROMソフト等を中心に取り扱うショップです。新たに発売を開始した米国ポリウェル社との提携よるPentiumマシンを筆頭にオリジナルブランドのDOS/V PC-Cymmetrixや各種マザーボード等のパーツ類からケース、インフラまで豊富な品揃えと低価格でユーザーの期待にお応えしています。お客様のあらゆるトラブルに対しても万全のサポート体制を整えています。安心してご来店下さい。

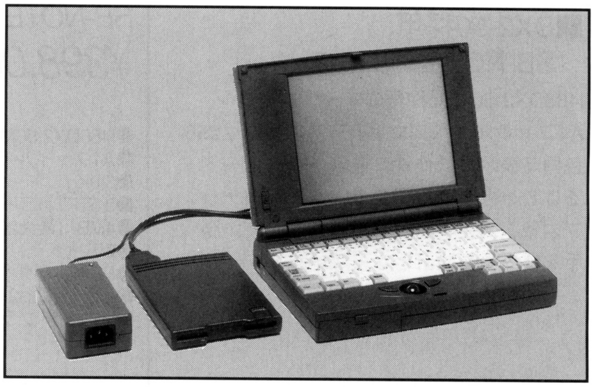
■世界最小・最強 サブノート

A5ファイルサイズにDuracell標準バッテリDR30を採用。連続動作で2～6時間を実現する省電力設計。電池ホルダ使用により単３アルカリ乾電池７本でも駆動可能（連続動作で40分～2時間）。メモリをバックアップするサスペンド機能とハードディスクに情報を退散させるSAVE TO DISK機能も搭載。最小・最強と呼ぶにふさわしいマシンです。

iLuFA350C

DX2/50,4MB ¥288,000.
DX2/50,12MB ¥348,000.
DX4/75,8MB ¥358,000.
DX4/75,12MB ¥398,000.

- ●HDD/260MB
- ●ディスプレイ/D-STNカラー7.8インチ
- ●PCMCIA/TypeIII×1またはTypeII×２
- ●日本語キーボード、トラックボール
- ●3.5"（3モード）外付けFDD
- ●シリアル（16550）、パラレル、VGAポート
- ●MS-DOS6.2/V,Windows3.1Jプリインストール
- ●重量／1.7Kg



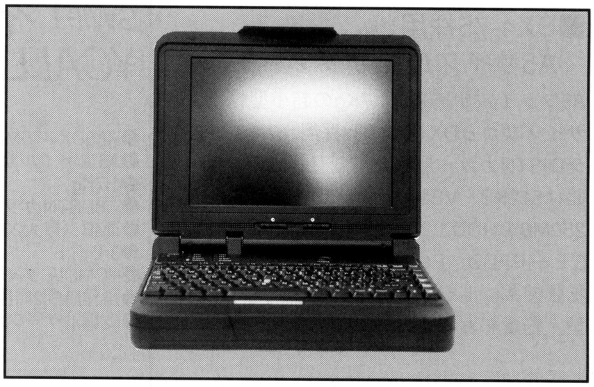
■ハイパワーノートブック

デスクトップと同等の性能を可能にしたハイパワーノートです。10.4インチの大型D-STNカラーディスプレイを採用。メモリ最大36MB、HDD最大520MBはノートブックの領域を越えた環境です。また、16bit Audio内蔵（SoundBlaster、MSS互換）。スティックポイント採用でキーボードから手をはなさずに操作が可能と優れ操作環境も整ったユーザー好みの設計となっています。

HONET66　　HONET100

¥278,000 ¥378,000

- ●CPU/DX2-66MHz（66）
  DX4-100MHz（100）
- ●メモリ/4MB（MAX36MB）
- ●HDD/256MB（66）
  520MB（100）
- ●3.5"（3モード）FDD、日本語キーボード
- ●PCMCIA/TypeIII×1またはTypeII×2
- ●ディスプレイ/D-STNカラー10.4インチ
- ●VL-BUS Video W/1MB
- ●外部モニタ接続時1280×1024 256色
- ●VL-BUS IDE



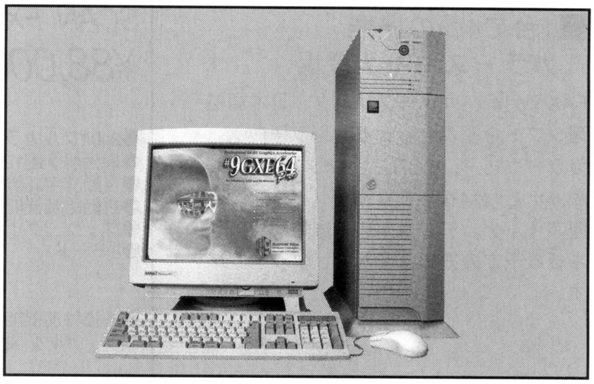
■ハイエンドPentium マシンの最高峰

米国ポリウェル社と提携し、時代の最先端を行くPentiumマシンに当社の持つこれまで積み上げてきたノウハウをベースに独自のスペックを搭載。パワーユーザーの期待に十分応える自信のシステム。もちろんコンサルティング、サポートも万全です。Pentiumマシン導入をお考えの方に是非お勧めしたい１台です。

Poly586-90

¥498,000.

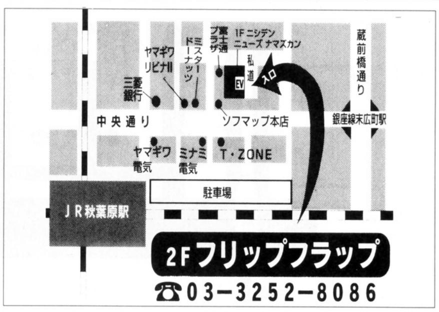
- ●CPU/Pentium90
- ●メモリ/16MB（MAX128MB）
- ●HDD/1GB Fast-SCSI2
- ●キャッシュ/256KB L2
- ●#9 GXE64Pro PCI w/4MB 日本語版
- ●S3 VISION964 PCI Windows ACCELARATER
- ●Enhanced IDE CD-ROMドライブ
- ●3.5"FDD、日本語版106キーボード
- ●２シリアル（16550）,1パラレルポート
- ●PCI×2,ISA×4,PCI/ISA×1
- ●サイズ/フルタワー610H×190W×440D



フリップフラップ

（株式会社サイメトリックス）

■住所／〒１０１　東京都千代田区外神田３－１４－３
福栄秋葉原ビル　２F　TEL／０３－３２５２－８０８６
交通／JR秋葉原駅　営業時間／１１：００～１９：００
定休日／毎週木曜日



GURUだけの ☆大特典☆

お買い上げの方にそれぞれプレゼント
ノートPC・・・・キャリングバック
Polywell・・・・CD-ROM10枚

SE Books

翔　　泳

海外ゲーム傑作選シリーズ

アメリカやイギリスの新作人気ゲームが攻略本とセットで、一般書店で購入できます。

アメリカなどでMacintoshやDOS/Vマシン用のCD-ROMとして発売されている人気ゲームや新作ゲームが攻略本とセットで、なおかつ秋葉原のショップよりも安く、書店で購入することができる新シリーズです。

いままでの添付ディスクといえばFreewareやSharewareといった時代はもう終わりを遂げました。これからは、添付ディスクは「モノホン」、まさにこれは「革命」です。

いまだにパソコンゲームの主流はアメリカです。発想のユニークさ、作り込みの細かさ、シナリオのオリジナリティ、凝ったサウンド。そのどれを取ってみても遥かに日本のレベルを凌駕しています。さらに最近話題のパソコンのインタラクティブ性を駆使したゲームとなるとなおさらです。その多くがいずれは日本語化されますが、残念なことにオリジナルが持っている独特の雰囲気やテンションの高さが失われてしまうケースが多く見受けられます。

「海外ゲーム傑作選」シリーズは、オリジナルゲームCD-ROM(もちろん英語版です)と攻略本(翻訳されています)を組み合わせることで、英語が苦手な人でも抵抗なくゲームをプレイすることができます。

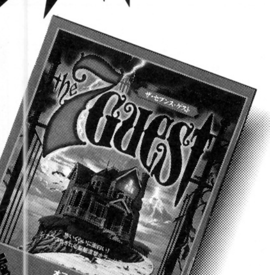
わざわざパソコンショップまで足を運ばなくても近くの書店でゲームが購入できるのも大きな魅力です。

第1回発売

The 7th Guest (Macintosh版)

好評発売中

攻略本バンドル



CD-ROM付

定価 9,800円 化粧箱入り

- 解説攻略本 :The 7th Guestシークレットブック（A5判　約380ページ）
- The 7th Guest　オリジナルCD-ROM2枚組

The 7th GuestはあのVirgin社のゲーム部門、VirginGAMESが満を持して発表し、アメリカで発売されるやいなやその完成度の高さで驚異的ベストセラーになったゲームです。The 7th Guestの世界を一言で言い表すことは困難ですが、敢えて言えば、（ホラー+パズル+アドベンチャー）×インタラクティブ性といったところでしょうか。とにかく一軒家という閉ざされた空間で繰り広げられるドラマは一度見たら釘付け、ましてプレイなどしようものならハマることうけあいです。

DOS/V版も順次発売予定です

第2回発売

予告!

The 11th Hour (Macintosh版)

- 予価：9,800円　化粧箱入り
- '94年　　発売予定
- 解説攻略本：
  The 11th Hour
  シークレットブック
  （A5判　約400ページ）

  The 11th Hour
  オリジナルCD-ROM2枚組

社　の　本

話題のCD-ROMはこれで攻略!!



The 7th Guestシークレットブック
The 7th Guest:The Official Strategy Guide

好評発売中

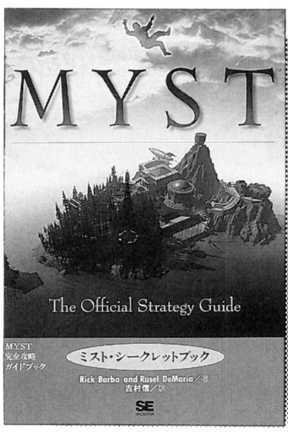
Rusel DeMaria 著　丸本達也 訳

定価 2,500円

DOS/VマシンとMacintosh用にリリースされているホラータッチのパズルゲームCD-ROM"The 7th Guest"を徹底解説。"The 7th Guest"は発売と同時に大変な反響を呼び、すでに全世界で45万本のセールスを記録しています。役者を使ったQuick Timeムービーと3Dグラフィックによるリアルで滑らかな画像、次々に出題される22種類のパズル、これが"The 7th Guest"の世界です。本書は、前半で"The 7th Guest"のストーリーを、後半でパズルの解法と解答を解説しています。本書なしでは到底解くことのできないゲーム、それが"The 7th Guest"。本書は、日本で唯一の The 7th Guest 公式攻略本です。

secret

The 7th Guest and MYST



MYSTシークレットブック
MYST:The Official Strategy Guide

好評発売中

Rick Barba & Rusel DeMaria 著

定価 1,600円

目の覚めるような美しいグラフィックがウリのCD-ROMアドベンチャーゲームの傑作、それが"MYST"です。日本語化され、ユーザー数も増え続けている"MYST"のすべてをここに明かします。日本で唯一の"MYST"公式攻略本です。

※定価はすべて消費税込みです。※翔泳社の本は全国どの書店でもお求めになれます。※図書目録をご希望の方は、官製はがきでお申し込みください。

SE SHOEISHA 株式会社 翔泳社　出版局販売課
〒107 東京都港区北青山3-10-18 北青山本田ビル
TEL.03-5467-0361　FAX.03-5467-0360

〈資料請求番号SE〉

バカスタックは死んだ。しかしIBAは生きている！

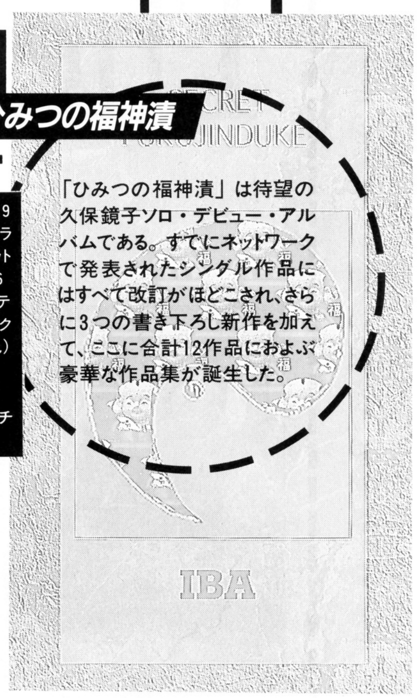


IBA COMPILATION

1990年代、軽々と世紀末を乗り越えてしまいそうなフラットなこの時代にあって、「スタックウェア」をメディアを挑発し続けるためのツールとすることを誰よりも先駆けて志向していたユニット、国際バカスタック協会(IBA)そのメジャーデビュー版にして解散記念作品集が、このIBA COMPILATIONだ。

●略語説明機／ニコラ&久保鏡子●からくり眼鏡ver2.0／久保鏡子 ●延長された手／EV ●GROOVE GIRL／macoy●ぷちぺち／久保鏡子●バーチャル爪切り2.0／久保鏡子●ブレインもみもみ／EV●たらこ／荒川為五郎●TARAKO2／荒川為五郎●パンク野郎／EV●ひいおじいさんの時計／ゆ～すけ& macoy &久保鏡子●常夏伝説／macoy●ゆび尻ver2.0／久保鏡子

ハイパーカードスタック集 標準小売価格5,000円(税別) メディア：3.5インチ2HDフロッピーディスク



ひみつの福神漬

「ひみつの福神漬」は待望の久保鏡子ソロ・デビュー・アルバムである。すでにネットワークで発表されたシングル作品にはすべて改訂がほどこされ、さらに3つの書き下ろし新作を加えて、ここに合計12作品におよぶ豪華な作品集が誕生した。

FLY simulater／眼玉貼りver1.2／究極の聖人ver6.9／福助人形ver99.9／月とたまご-自鳴琴ver1.1／ランダム熟語ワールド／天使の鐘（キューティマスコット256色）／菩薩でポンver1.2（キューティマスコット256色）／擬態。これはFDアイコンではないver2.1(キューティマスコット256色）／トポ爺（キューティマスコットモノクロ）／北京飯店の怪ver1.1(キューティマスコット256色)／ラッキーゴッドver2.1(キューティマスコット256色)

ハイパーカードスタック/キューティマスコット集 標準小売価格3,000円(税別) メディア：3.5インチ2HDフロッピーディスク

■IBAファンはNIFTYへGO!
MSAでは、通信ネットワークNIFTY-ServeでMSAフォーラムを開催しています。IBAの作品もデータライブラリに満載。是非アクセスしてください。MSAフォーラムはGO FMSAでアクセスできます。

■お近くのマックショップにないときは、下記の申込書にご記入になり、封書でお申し込みください。お支払いは一括払いのみ。お申し込みいただきましたご本人名義のカードしかお使いになれません。

●キューティマスコットによるマスコットの商品化については開発元の㈱コーシングラフィックシステムズより許諾を受けています。

●ソフトウェア名またはハードウェア名は一般に開発および著作・販売会社の商標または登録商標です。

IBAレーベル購入申込書

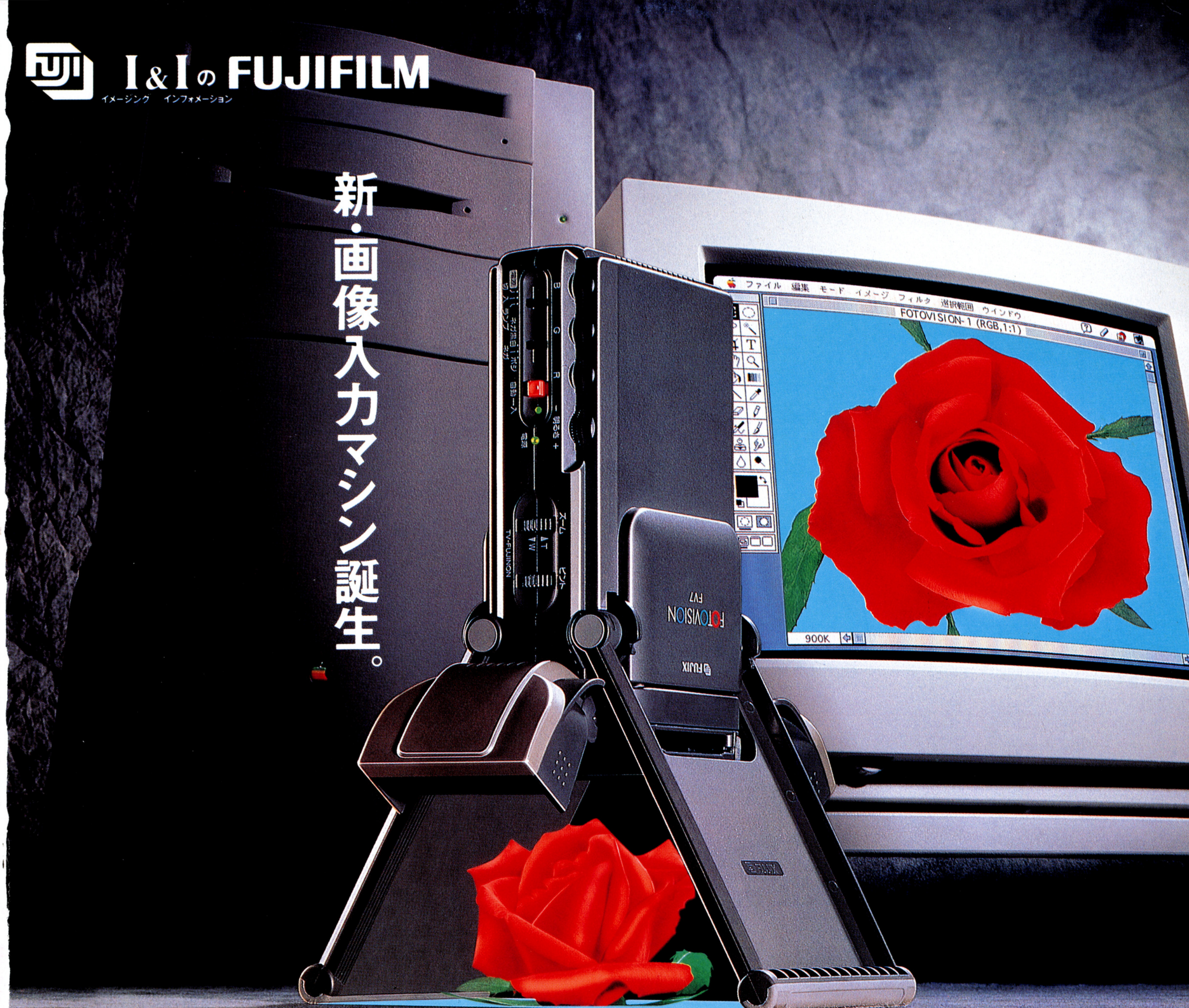
フリガナ お名前 （姓）	フリガナ お名前 （名）	電話 番号（　　）　　－
フリガナ 住所		

ご希望商品（レをつけてください）		お支払方法（いずれかにレをつけてください）
□IBA COMPILATION	5,150円(税込)	□JCB □VISA □DC □UC
□ひみつの福神漬	3,090円(税込)	会員番号
合計金額	円	有効期限　　年　　月

この申込書による通信販売代金(上記合計金額)は、カード会員規約に基づき、当方の預金口座より引き落としてください。　署名　　　　印

お申し込み、お問い合わせは：
〒110東京都台東区台東2-1-1東秋葉原ビル
㈱マイクロソフトウェア アソシエイツ内
IBAレーベル
TEL 03-5688-1411 FAX 03-5688-0950
NIFTY-Serve:HFE02611

〈資料請求番号162〉



※Macintoshは米国アップルコンピュータ社の商標です。※Adobe Photoshopはアドビシステムズ社の各国での登録商標もしくは商標です。

フィルム（ネガ・ポジ）、プリント、そのうえ立体物も、印刷物も、ビデオ出力してパソコンに直結*。フォトビジョン誕生です。

より手軽に。FV7は3つのカタチに変化。ネガ・ポジフィルム、プリントの画像入力はもちろん、立体物や印刷物も取り込み可能。だから、場所もとらずに今まで面倒だった作業が楽々。

より速く。FV7とパソコン画面はリアルタイムで直結。取り込みたい画像を瞬時に入力。だから、画像データベースやDTPへの利用など大量の画像入力も、楽々にこなします。

より美しく。色合いや輪郭を美しく映し出す41万画素HR CCD搭載。高性能FUJINONレンズを採用し、S端子も装備。だから、鮮明高画質。楽しさと説得力を際立たせます。



ネガは反転、ポジフィルムも美しくリアルな画像で入力。



プリント写真、印刷物、立体物までも取りこめる。



折りたため片手で持ち運べる薄型コンパクト設計。

（ハンディサイズのボディに
多彩なワザあり機能を満載。）

●ワンタッチでネガ/ポジ切り換え●拡大して見たい部分を2倍ズーム●タテ位置・ヨコ位置の写真に対応●色合い調整はオートでもマニュアルでも可能●S映像出力・ビデオ出力端子を装備●付属品：ACパワーアダプター(1)、ネガフィルム キャリア(1)、S映像ケーブル(1)、ビデオケーブル(1)、ソフトケース(1)＊アナログ入力がない機種はビデオキャプチャーボードが必要です。
※パソコンの機種と画像サイズにより色数が変化します。

表現力が加速する。

FUJIX FOTOVISION FV7

富士写真フイルム株式会社
電子映像事業本部 営業部 〒106 東京都港区西麻布2-26-30

瞬時に、綺麗に、画像入力。フォトビジョンFV7 お求めやすい74,800円

メーカー希望小売価格（消費税別）

〈資料請求番号C03〉

ドクター・ドブズ・ジャーナル日本版11月号増刊 PC-PAGE GURU Vol.8

PC-PAGE GURU Vol.8 1994年11月30日発行 発行人 長廻健太郎 ©SHOEISHA 1994 Printed in Japan

株式会社 翔泳社 〒107 東京都港区北青山3-10-18 北青山本田ビル 出版事業部 TEL.03-5467-0361(販売部) 03-5467-3777(編集部)

定価680円(本体660円)

T1016666110686 雑誌コード16666-11